

# 産業人材育成センター倉吉校 バリアフリー化工事 (建築) (昇降機設備)

## 図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-1	特記仕様書(1)		A-34	①本館棟: 断面詳細図1(既設・改修後)	1/40	S-01	構造特記仕様書		EV-1	昇降機設備工事特記仕様書(1)	
A-2	特記仕様書(2)		A-35	①本館棟: 断面詳細図2(改修後)	1/40	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)		EV-2	昇降機設備工事特記仕様書(2)	
A-3	特記仕様書(3)		A-36	①本館棟: 展開図(既設・改修後)	1/50	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)		EV-3	昇降機設備図(1)	1/20, 30
A-4	特記仕様書(4)		A-37	①本館棟: 1階建具平面図(既設・改修後)	1/100	S-04	鉄骨工作標準図(1)		EV-4	昇降機設備図(2)	1/20
A-5	特記仕様書(5)		A-38	①本館棟: 2階建具平面図(既設・改修後)	1/100	S-05	鉄骨工作標準図(2)		EV-5	昇降機設備図(3)	1/30, 50
A-6	特記仕様書(6)		A-39	①本館棟: 3階建具平面図(既設・改修後)	1/100	S-06	デッキ合成スラブ設計・施工標準仕様書		EV-6	昇降機設備図(4)	1/15
A-7	特記仕様書(7)		A-40	①本館棟: 建具表(1)	1/100	S-07	ISベース柱脚工法設計・施工標準図(1)				
A-8	特記仕様書(8)		A-41	①本館棟: 建具詳細図1	1/10, 50	S-08	ISベース柱脚工法設計・施工標準図(2)				
A-9	特記仕様書(9)		A-42	①本館棟: 建具詳細図2	1/10	S-09	先端羽根付き鋼管杭設計施工標準図				
A-10	改修工事特記仕様書(1)		A-43	②ハコビル駐車場整備: 平面詳細図(既設・改修後)	1/30, 50, 100	S-10	ポーリング柱状図	1/800			
A-11	改修工事特記仕様書(2)		A-44	②ハコビル駐車場整備: 立面図・断面図・配筋詳細図	1/30, 100	S-11	伏図	1/100			
A-12	改修工事特記仕様書(3)		A-45	③実習棟: 平面図(既設)	1/200	S-12	軸組図	1/100			
A-13	改修工事特記仕様書(4)		A-46	③実習棟: 平面図(改修後)	1/200	S-13	RC断面リスト	1/30, 50			
A-14	改修工事特記仕様書(5)		A-47	③実習棟: 部分詳細図	1/40, 50	S-14	鉄骨部材リスト	1/20, 30, 40, 50			
A-15	付近見取図・敷地配置図	1/400	A-48	④コンピューター制御技術科実習棟: 平面図(既設・改修後)	1/100	S-15	鉄骨架構詳細図・昇降機周辺部材	1/10, 20, 40			
A-16	面積表・求積図	1/200	A-49	④コンピューター制御技術科実習棟: 断面詳細図・展開図(既設・改修後)	1/50	S-16	②ハコビル駐車場整備 伏図・軸組図・リスト	1/30, 50, 100			
A-17	区画図	1/200	A-50	④コンピューター制御技術科実習棟: 外部スラブ詳細図(既設・改修後)	1/50						
A-18	工事概要配置図	1/400	A-51	⑤体育館: 平面詳細図・断面詳細図・建具表(既設・改修後)	1/50, 100						
A-19	①本館棟: 仕上表1(既設・改修後)		A-52	⑥渡り廊下: 平面図(既設・改修後)	1/100						
A-20	①本館棟: 仕上表2(既設・改修後)		A-53	⑥渡り廊下: 断面図(既設・改修後)	1/50						
A-21	①本館棟: 1階平面図(既設)	1/100	A-54	⑦外構整備: 外構図1(既設レベル)	1/200						
A-22	①本館棟: 1階平面図(改修後)	1/100	A-55	⑦外構整備: 外構図2(既設・撤去)	1/200						
A-23	①本館棟: 2階平面図(既設・改修後)	1/100	A-56	⑦外構整備: 外構図3(改修後・新設)	1/200						
A-24	①本館棟: 3階平面図(既設・改修後)	1/100	A-57	⑦外構整備: 外構図4(改修後レベル・誘導ブロック設置)	1/200						
A-25	①本館棟: R階平面図(既設・改修後)	1/100	A-58	内部仮設計画図	1/100, 150						
A-26	①本館棟: 立面図1(既設)	1/100	A-59	外部仮設計画図	1/50, 400						
A-27	①本館棟: 立面図1(改修後)	1/100	A-60	法規チェックリスト							
A-28	①本館棟: 立面図2(既設)	1/100	A-61	福祉まちづくり条例チェック図	1/400						
A-29	①本館棟: 立面図2(改修後)	1/100									
A-30	①本館棟: 天井伏図・屋根伏図	1/100									
A-31	①本館棟: 1階平面詳細図(既設・改修後)	1/50, 100									
A-32	①本館棟: 2階平面詳細図(既設・改修後)	1/50, 100									
A-33	①本館棟: 3階平面詳細図(既設・改修後)	1/50, 100									



建築工事仕様書

I. 工事概要

- 1. 工事場所 倉吉市福庭町二丁目
2. 敷地面積 14,138.40 m^2
3. 地域地区 都市計画地域(内・外) 市街化調整区域(内・外)
用途地域(第1種住居地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域)
準工業地域
防火地域(指定なし)

4. 建物概要

Table with columns: 番号, 名称, 工事種別, 構造, 階数, 建築面積(m^2), 延べ面積(m^2). Rows include 本館棟 and ホリ経車庫.

II. 建築工事仕様

- 1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁業務部制定「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下、「標準仕様書」という。)による。
(2) 請負者は、建築基準法に基づく完了検査(中間検査含む)の検査には、特行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意する。
(3) 電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
2. 特記仕様
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
(3) 項目に記載の( )内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) □印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)

Main specification table with columns: 章, 項目, 特記事項. Includes sections for general common items, safety, environment, and materials.

8 技能士

Table for skill requirements (技能士) listing construction tasks and required skills like 仮設工事, 鉄筋工事, コンクリート工事, etc.

技能士名札参考図 (Skill Worker ID Card Reference Diagram) showing a sample ID card with fields for name, photo, and company.

- 9 化学物質の濃度測定
1) 測定対象室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エテルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める計測値以下であることを確認し、監督職員に報告する。
2) パッシブ型採取器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。

10 完成写真

Table for completion photos (完成写真) with columns: 区分, 分類・規格, 撮影箇所, 部数, 備考.

11 完成時の提出図書

- 1. 1. 1~2)
(1) 原図 A2版 (設計の第2原図訂正不可) 1部
(2) CADデータ 1式
(3) 原図の大型コピー(白黒)の2つ折製本 2部
(4) 縮小版2つ折製本(A4版) 2部
(5) 複写 縮小版A3/バラ焼 部

12 施工図及び施工計画書

提出した施工図及び施工計画書の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

13 設備工事との取り合い

Table for equipment coordination (設備工事との取り合い) with columns: 設備工事との取り合い, 建築, 電気, 機械.

14 設計GL

建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速 V0 = 30 m/s
地表面粗度区分 I, II, III, IV
積雪区分 平成12年5月31日 建設省告示第1455号 別表

16 安全に関する資料

- 1. 7. 3)
(1) 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表
(2) 機械性能試験成績書及び取扱説明書
(3) 保証書
(4) 公害騒音届出書類(保守に必要とするもの)
(5) 建築物の保守に関する説明書、指導案内書

17 火災保険等

工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。(保険の加入期間は、工事完了後進捗まで(概ね工期+21日)とする。)

18 環境配慮

鳥取県公共事業環境配慮指針 ※ 対象工事 非対象工事

19 建設リサイクル法

※ 対象工事 非対象工事

20 鳥取県福祉のまちづくり条例

※ 対象工事 非対象工事

21 景観形成条例

※ 対象工事 非対象工事

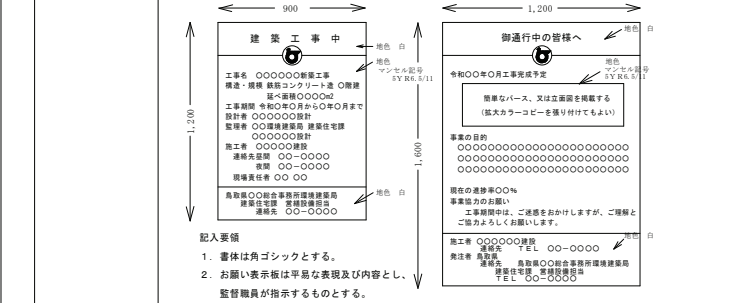
22 省エネ法

※ 対象工事 非対象工事

2 仮設工事

- 1 足場その他
(2. 2. 4) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)の手すり設置方式又は(3)手すり先行専用方式により行う。
2 監督職員事務所等
(2. 3. 1) ※ 設ける 20 m程度 設けない 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示事項による。

3 表示板



4 工事用水

構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)

5 工事用電力

構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)

6 工事用仮設物

構内既存の施設 ○ 利用できない ・ 利用できる

7 工事現場のイメージアップ

1 書体は角ゴシックとする。
2 お願表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。

3 土工事

- 1 埋戻し及び盛土
(3. 2. 3)
(表3. 2. 1)
※ 標準仕様書表3. 2. 1による種別
・ A種 適用場所( )
・ B種 適用場所( )
・ C種 適用場所( ) 土質( ) 受渡場所( )
・ D種 適用場所( )
(品質: 細粒分(75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。))
・ (材料: ) 工法: )
2 建設発生土の処理
(3. 2. 5) ※ 構外指示の場所に処分(現場説明書の施工条件明示による)
・ 構内指示の場所に敷き均し
・ 構内指示の場所に堆積

4 地業工事

- 1 共通仕様
(4. 3. 4~5)
(4. 4. 4)
(4. 5. 5~6)
(1) 杭基礎
支持地盤の位置及び種類(基礎ぐいの先端位置含む)
※ 構造図による
試験杭 (1) 本 位置は構造図による
杭の支持層への根入れ長さ
※ 構造図による
・ 直接基礎
支持地盤の位置及び種類(ラッフルコンクリートの底面位置含む)
※ 構造図による
支持地盤の設計支持力( ) kN/m^2以上
地盤の平板載荷試験 ※ 行わない
・ 行( )箇所
位置、深さ、対象地盤及び最大荷重は構造図による。
試験の方法、報告書の記載事項等は構造図による。
2 既製コンクリート杭
(4. 2. 2)
(4. 3. 1, 3~6. 8)
種類
・ セメントミルク工法
・ プレストレス鉄筋コンクリート杭(PCRC杭)
・ 外殻鋼管付きコンクリート杭(SCRC杭)
SCRC杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490
寸法、継手、性能等

符号	杭径(mm)	杭長(m)及び種別	壁厚(mm)	継手数	仕掛け数	コンクリート強度(N/mm^2)	長期設計支持力(kN/本)	備考
上杭								
中杭								
下杭								
本杭								

特定埋込杭工における杭材料はJIS又は認定条件に適合するものとする。
先端部材形状 ・ 間接形 ・ 半斜形 ・ 円錐形 ・ 構造図による
ネガティブフリクション対策
※ 不要 ・ 要(構造図による)
杭の継手
・ アーク溶接継手 ・ 標準仕様書4. 3. 6による
溶接材料 ※ 標準仕様書7. 2. 5(1)(2)による ・ 構造図による
・ 機械式継手(※評定等を受けた工法)
機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う。
施工は評定等に記された施工管理基準による。
・ 切断しない ・ 切断する
杭頭の処理
処理方法(切断しともなう補強方法含む)
※ 構造図による
杭頭の中詰め材料 ※ コンクリート(基礎コンクリートと同仕様) ・ 構造図による
施工方法
・ セメントミルク工法
アースオーガの支持地盤への掘削深さ ・ 1. 5m程度
杭の支持地盤への根入れ深さ ・ 1. 0m以上
掘削めど及び杭頭固定液の管理試験
※ 標準仕様書4. 3. 4(6)(a)による
・ 構造図による
・ 特定埋込み杭工法
・ H30国交省113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法
・ H30国交省113号第6による支持力算定式でα=、β=、γ=を採用できる工法
工法
・ プレバリング拡大掘削工法 ・ 中継り拡大掘削工法
杭頭固定液の使用 ・ する ・ しない
杭の傾斜
水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下
杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 評定条件または認定条件による

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 鋼杭地業 (Steel Pile Work), 砂利地業 (Gravel Work), and 捨てコンクリート地業 (Cast-in-place Concrete Work).

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 鉄筋工事 (Reinforcement Work), 基礎梁主筋の継手 (Reinforcement Lap Splices), and 各部配筋 (Reinforcement Details).

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for コンクリート工事 (Concrete Work), セメント (Cement), and 無筋コンクリート (Reinforced Concrete).

Table with 4 columns: Item No., Description, Specifications, and Remarks. Includes sections for 型枠 (Formwork), 鉄骨工事 (Steel Structure Work), and ターンバックル (Turnbuckle).

Project information block including 附記 (Remarks), 設計年月日 (Design Date), 管理建築士 (Supervising Architect), 担当・製図 (Responsible/Drawn), 製図 (Drawing), 名称 (Name), 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) (Industrial Human Resource Development Center Kurayoshi School Barrier-free Construction (Building) (Elevator Equipment)), SCALE (Scale), 図面No. (Drawing No.), and 枚数 (Number of Sheets).



Table with 2 columns: Item No. (e.g., 7, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21) and Description (e.g., スタッドボルト, 柱底均しモルタル, 製作精度, etc.).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100) and Description (e.g., 溶融亜鉛めっき工法, 梁貫通孔の補強, コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工法, etc.).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 101, 102, 103, 104, 105, 106, 107, 108, 109, 110, 111, 112, 113, 114, 115, 116, 117, 118, 119, 120, 121, 122, 123, 124, 125, 126, 127, 128, 129, 130, 131, 132, 133, 134, 135, 136, 137, 138, 139, 140, 141, 142, 143, 144, 145, 146, 147, 148, 149, 150, 151, 152, 153, 154, 155, 156, 157, 158, 159, 160, 161, 162, 163, 164, 165, 166, 167, 168, 169, 170, 171, 172, 173, 174, 175, 176, 177, 178, 179, 180, 181, 182, 183, 184, 185, 186, 187, 188, 189, 190, 191, 192, 193, 194, 195, 196, 197, 198, 199, 200) and Description (e.g., 立ち上がり部への断熱材及び絶縁用シート, 断熱材, 屋根保護防水工法, etc.).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 201, 202, 203, 204, 205, 206, 207, 208, 209, 210, 211, 212, 213, 214, 215, 216, 217, 218, 219, 220, 221, 222, 223, 224, 225, 226, 227, 228, 229, 230, 231, 232, 233, 234, 235, 236, 237, 238, 239, 240, 241, 242, 243, 244, 245, 246, 247, 248, 249, 250, 251, 252, 253, 254, 255, 256, 257, 258, 259, 260, 261, 262, 263, 264, 265, 266, 267, 268, 269, 270, 271, 272, 273, 274, 275, 276, 277, 278, 279, 280, 281, 282, 283, 284, 285, 286, 287, 288, 289, 290, 291, 292, 293, 294, 295, 296, 297, 298, 299, 300) and Description (e.g., 改質アスファルトシート防水, 防水層の種類, 改質アスファルトシートの種類及び厚さ, etc.).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 5 ケイ酸系塗膜防水, 6 断気装置, 7 シーリング, 10 石工事, and 3 外壁工法.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 11 タイル工事, 12 木工工事, and 13 造作用集材.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 4 合板等, 4 有機系接着剤によるタイル張り, and 13 木工工事.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 4 合板等, 5 接着剤, and 6 防露・防蟻処理.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes 10 石工事 and 3 外壁工法.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes 11 タイル工事, 12 木工工事, and 13 造作用集材.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes 4 合板等, 4 有機系接着剤によるタイル張り, and 13 木工工事.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes 4 合板等, 5 接着剤, and 6 防露・防蟻処理.

(有)フジイ総合設計事務所
〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町1 4 3 番地
TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 1級建築士 竹中 誠
担当・製図 1級建築士 永田 靖
製図 1級建築士 第 号

名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
特記仕様書(4)

SCALE 図面No. A-4
1枚の内



15 屋根及びとい工事
1 長尺金属板葺 (13.2.2.3)
2 折板葺 (13.3.2.3)
3 粘土瓦葺 (13.4.2.3)
4 とい (13.5.2.3)
14 金属工事
1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)
2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)
3 軽量鉄骨天井下地 (14.4.1)

5 軽量鉄骨下地 (14.5.3)
6 金属成形板張り (14.6.2.3)
7 アルミニウム製笠木 (14.7.2.3)
15 左官工事
1 モルタル塗り (15.3.2.5)
2 ラス系下地 (15.2.4)
3 床コンクリートの直直し仕上 (6.2.5)
4 セルフレベリング材料塗り (15.5.2)
5 仕上げ塗材仕上 (15.6.2)

6 マスチック塗料塗り (15.7.2)
7 ロックウール付付け (15.12.2.3)
8 しっくい塗り (15.10.2.3)
9 こまい壁塗り (15.11.2~5)
16 建具工事
1 防火戸 (16.1.3)
2 建具見本の製作 (16.1.4)
3 防犯建物部品 (16.1.6)
4 アルミニウム製建具 (16.2.2, 4, 5)
5 網戸等 (16.2.3)
6 樹脂製建具 (16.2.5)

7 鋼製建具 (16.2.2)
8 鋼製軽量建具 (16.2.2)
9 ステンレス製建具 (16.2.2)
10 木製建具 (16.7.2~4)
11 建具用金物 (16.8.2.3)
附記
設計年月日
(有)フジ総合設計事務所
管理建築士 1級建築士 竹中 誠
担当・製図 1級建築士 永田 靖
製図 1級建築士
名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
SCALE
図面No. A-5
61 枚の内

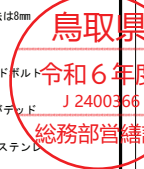


Table with 3 columns: ①ドアクローザ, ②ヒンジクローザ, ③フロアヒンジ. Includes performance test items like 'バックチェック性能', 'ゲイルド770性能', '戸の開閉位置', '耐久性の試験'.

Table with 3 columns: ①ドアクローザ, ②ヒンジクローザ, ③フロアヒンジ. Includes performance test items like 'バックチェック性能', 'ゲイルド770性能', '戸の開閉位置', '耐久性の試験'.

Table with 3 columns: ①ドアクローザ, ②ヒンジクローザ, ③フロアヒンジ. Includes performance test items like 'バックチェック性能', 'ゲイルド770性能', '戸の開閉位置', '耐久性の試験'.

Table with 3 columns: ①ドアクローザ, ②ヒンジクローザ, ③フロアヒンジ. Includes performance test items like 'バックチェック性能', 'ゲイルド770性能', '戸の開閉位置', '耐久性の試験'.



Table with 5 columns: Item No., Name, Description, Specifications, and Remarks. Includes items like 2. ビニル床シート, 3. ビニル床タイル, 4. ビニル幅木, 5. ゴム床タイル, 6. カーペット敷き, 7. 合成樹脂塗床, 8. 防じん用塗床, 9. フローリング張り, 10. 畳敷き.

Table with 5 columns: Item No., Name, Description, Specifications, and Remarks. Includes items like 11. せっこうボード, 20. フリーアクセスフロア, 断熱材, 断熱材打込み工法.

Table with 5 columns: Item No., Name, Description, Specifications, and Remarks. Includes items like 20. フリーアクセスフロア, 21. 移動間仕切, 22. トイレブース.

Table with 5 columns: Item No., Name, Description, Specifications, and Remarks. Includes items like 2. 可動間仕切, 3. 移動間仕切, 4. トイレブース.



Table with columns for Item (項目), Performance/Properties (品質・性能), and Durability (閉鎖耐久性). It lists various materials like melamine resin, low-pressure melamine resin, and their respective test methods and standards.

Table with columns for Item (項目), Form (形式), Operation Method (操作方法), and Material (材質). It details specifications for blinds (ブラインド), roller screens (ロールスクリーン), and curtains (カーテン).

Table with columns for Item (項目), Material (材質), and Performance (品質・性能). It covers various types of doors (扉), including sliding doors (移動式書架), display doors (展示扉), and fire doors (防火扉).

Table with columns for Item (項目), Material (材質), and Performance (品質・性能). It lists various types of fences (フェンス), concrete blocks (コンクリートブロック), and other architectural elements.

Footer section containing project details: 附記 (Remarks), 設計年月日 (Design Date), 管理建築士 (Supervising Architect) 竹中 誠, 担当・製図 (Responsible/Designer) 永田 靖, 名称 (Name) 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備), SCALE (Scale), 図面No. (Drawing No.) A-8, and 枚の内 (Total Pages) 61.







外壁改修工事(仕上げ外壁)

1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

工法	処理範囲	下地面の修繕
・サンダー工法 ・高圧水洗工法 吐出力 ・30MPa～50MPa ・50MPa～100MPa ・100MPa以上	・既存仕上げ面全体 ・図示	4-2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)・4-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)による
・塗膜はく剥ぎ工法	・既存仕上げ面全体 ・図示	
・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく剥ぎ工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・図示	
・石膏含有仕上げ塗材の除去は、9章環境配慮改修工事による。		

2 下地調整材

3 仕上塗り仕上げ

呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料		
○防水形外装薄塗材E (既設本館棟外壁)	○やず肌	○吹付	・適用する	・		
・厚付け仕上げ塗材						
呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り材	防火材料	
○適層仕上げ塗材						
呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材の種類	耐水性	防火材料	
○防水形 複層塗材E (既設本館棟外壁)	○やず肌	○吹付	溶媒 ※水系 樹膠 ※アクリル系	※耐水性3種	・	
外観 ※つやあり						
軽量骨材仕上げ塗材						
呼び名						防火材料
						・

4 マスチック塗料塗り

5 外壁用塗膜防水材塗り

5 建具改修工事

1 改修工法	2 防火戸	3 建具見本の製作	4 防犯建物部品	5 アルミウム製建具
改修工法 [5. 1. 3]	防火戸 [5. 1. 4]	建具見本の製作 [5. 1. 5]	防犯建物部品 [5. 1. 7]	アルミウム製建具 [5. 2. 2-5]
建具の種類	耐火等級	性能等級	断熱性能	性能等級
・アルミ製建具 ・樹脂製建具 ・鋼製建具 ・鋼製軽量建具 ・ステンレス製建具	・指定箇所(※建具表による) 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ※連動させる 適用箇所(※建具表による) ・連動させない	・製作しない ・製作する(納まり等が分かる程度のもの)	・適用する 適用箇所(※建具表による)	・耐風圧等の等級( )、気密等の等級( )、水密性の等級( ) ※改修標準仕様書5.2.11による種別 外部に面する建具 ○A種(建具符号: ○全て ・B種(建具符号: ○全て ・C種(建具符号: ○全て 防音ドア、防音サッシ 断熱ドア、断熱サッシ [G] 耐震ドアセット ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 枠の見込み寸法 ※建具表による 表面処理 外部に面する建具 種類 ○BB-1種 ○BB-2種 着色 ※標準色( ) 屋内の建具 種類 ○BC-1種 ○BC-2種 着色 ※標準色( ) 結露水の処理方法 ※図示 水切り板、ぜんば ※図示 ※製造所 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿に記載されている製造所

網戸等 [5. 2. 3] [5. 3. 3]

種類	材種	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16～18メッシュ
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

11 建具用金物 [5. 8. 2, 3]

錠

引張り強度

垂直荷重強度

錠前類(レバーハンドル)(性能)

錠の製作本数

錠の製作本数

錠の製作本数

錠の製作本数

クローザー類(品質・性能)

性能試験項目	①ドアクローザ		②ヒンジクローザ		③フロアヒンジ		
	番手	閉じモーメント(N・m)	効率(%)	閉じモーメント(N・m)	効率(%)	閉じモーメント(N・m)	効率(%)
閉じ速度(秒)	1	5以上	30以上	5以上	30以上	5以上	30以上
	2	10以上	30以上	10以上	30以上	10以上	30以上
	3	15以上	35以上	15以上	35以上	15以上	35以上
	4	25以上	40以上	25以上	40以上	25以上	40以上
	5	35以上	45以上	35以上	45以上	35以上	45以上
	6	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上

錠

ガラス

強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類

材料板ガラスの種類による名称

熱線吸収ガラスの材料板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類

複層ガラスの材料板ガラスの種類、厚さの組合せ及び複層ガラスの厚さ

日射取得性、日射遮蔽性による区分

熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

材料板ガラスによる種類

色調(ブルー、グレー)

反射被覆面・内面、外面

映像調整・行わない、行う

ガラスの留め材及び溝の大きさ

留め材の種類

ガラスの留め材

ガラス溝の大きさ(mm)

アルミニウム製

※シーリング材  
・ガスケット  
・グレイジングチャンネル形

※建具の製造所の仕様による

鋼製及び鋼製軽量

※シーリング材  
・

※建具の製造所の仕様による

ステンレス製

※シーリング材  
・

※建具の製造所の仕様による

樹脂製

※シーリング材  
・ガスケット  
・グレイジングチャンネル形

※建具の製造所の仕様による

6 内装改修工事

1 他の部位との取り扱い等 [6. 1. 3]

2 既存床の撤去及び下地補修 [6. 2. 2]

3 既存壁の撤去及び下地補修 [6. 3. 2]

4 製材 [6. 5. 2]

5 造作用集材

1 鋼材

2 鋼材

3 鋼材

4 鋼材

5 鋼材



6 造作用単板積層材 [6.5.2] ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

7 床張り用合板等 [6.5.2] ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・普通合板 [6]

8 防塵・防蟻処理 [6.5.5]

9 軽量鉄骨天井下 [6.6.2~4]

10 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3, 4]

11 ビニル床シート [6.8.2, 3]

12 ビニル床タイル [6.8.2]

13 接着剤 [6.5.3, 4]

14 ビニル幅木 [6.8.2]

15 フローリング張り [6.11.2~6]

21 セッコウボードその他のボード及び合板張り [6.13.2, 3]

16 化粧せっこうボード (木目) GB-D 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度

17 化粧せっこうボード (トラバーチン模様) GB-D 9.5 (準不燃)

18 天然木化粧合板 [G]

19 特殊加工化粧合板 [G]

20 マラミン樹脂化粧合板

21 ミディアムデンシティファイバーボード [G]

22 単板張りパーテュルボード [G]

23 化粧パーテュルボード [G]

24 ハードボード (素地) [G]

25 ハードボード (化粧) [G]

26 インシュレーションボード [G]

27 天井のボード類 (ロックウール化粧板を除く)の重ね張りを行う場合

28 モルタル塗り [6.15.3, 6]

29 タイル張り [6.16.2~4]

試験方法

イ) 試料の調製

ロ) 保水率

ハ) 単位容積質量

ニ) 接着強度 (標準時)

ホ) 接着強度 (温冷経過後)

ヘ) 長さ変化率

ト) 曲げ強度

既設調査目地材

品質性能等

試験方法

イ) 試験の条件

ロ) 試料の調製

ハ) 保水性 (ろ紙法)

ニ) 単位容積質量

ホ) 長さ変化率

ト) 吸水率

有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り

タイルの形状・寸法等

管理建築士 1級建築士 竹中 誠

担当・製図 1級建築士 永田 靖

製図 1級建築士

名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)

SCALE

図面 No. A-12

61 枚の内



7 塗装改修工事
1 材料 [7.1.3]
2 下地調整 [7.2.1~7]
3 錆止め塗料塗り [7.4.2.3]
4 仕上げ塗料塗り [7.5.2~7.12.2]

9 環境配慮改修工事
1 石綿含有建材の除去工事 [9.1.1] [9.1.3~6]
※ 県有施設は石綿除去に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。
施工調査
・石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。
調査範囲 ( )
貸与資料 ( )
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチナライト、アモサイト、アンソファイト、クリソタイト、クロソドライト、トシモライト
分析方法
材料名 定性分析 定量分析
JIS A 1481-1・2 JIS A 1481-3 JIS A 1481-4
材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと
サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 図示
分析結果については、監督職員に報告すること
石綿含有建材の除去
測定時期、場所及び測定点
測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工箇所ごと)
測定1 処理作業前 処理作業室内 - 計点
測定2 調査対象室外部の付近 - 計点
測定3 処理作業中 処理作業室内 - 計点
測定4 セキュリティーゾーン入口 - 計点
測定5 集じん・排気装置の排出口 吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) - 計点
測定6 処理作業室外 - 計点
測定7 処理作業後 (シート養生中) 処理作業室内 - 計点
測定8 処理作業後 (シート除去後) 処理作業室内 - 計点
測定9 調査対象室外部の付近 - 計点
測定方法
・自動測定機による測定
測定名称 測定方法
測定4 測定5 粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・JIS K 3850-1に基づいた測定
測定名称 メンブレンフィルタ直径 (mm) 試料の吸引流量 (l/min) 試料の吸引時間 (min)
測定4 測定5 測定 ( ) 25 5 30
測定 ( ) 47 10 120
測定 ( ) 47 10 240
測定 ( )
石綿含有建材の処理
・石綿含有吹き付け材の除去
除去対象範囲 図示
除去方法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化・セメント固化)
除去した石綿含有吹き付け材等の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 図示
除去方法 ※原形のまま、手ばらし・破碎して除去
除去した石綿含有保温材の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
石綿含有成形板等の除去 (ビニルシート、ビニル床材、建築用石膏板)
除去対象範囲 図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有石膏ボード
※埋立処分 (管理型最終処分場)
石綿含有石膏ボードを除くアスベスト含有成形板
埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去
下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による除去方法
・石綿障害予防規則 (平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号) 第6による条措置と同時に効果の有する措置とされる工法
・集じん装置併用工具ケレン工法
・集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa以下、30~50MPa程度)
・集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa以上)
・超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付き掃除機併用)
・剥離剤併用工具ケレン工法
・剥離剤併用高圧水洗工法 (30~50MPa程度)
・剥離剤併用超高圧水洗工法 (100MPa以上)
・剥離剤併用超音波ケレン工法
・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
除去対象範囲 図示
作業場の隔離 ※行わない ・行う
試験施工 ※行わない ・行う
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分 (安定型最終処分場) ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※改修標準仕様書9.1.3(3)による確認及び後片付け ※改修標準仕様書9.1.3(4)の(ア)、(イ)、(ウ)及び(エ)による
石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示
石綿作業主任者
特定科学物質等作業主任者技術講習を終了した者の中から選任する。
特別管理産業廃棄物管理責任者
保温材については、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。

10 その他
2 表示 (20.2.11)
6 ブラインドボックス及びカーテンボックス
7 点検口
表示
案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品
案内札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
※図示
6 ブラインドボックス及びカーテンボックス
寸法×高さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 図示
材質 ・集成材 (仕上げ)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
・表面処理 ・BC-1 ・BC-2 (標準色 ( ) ・特注色 ( ))
・鋼製 (仕上げ)
7 点検口
天井点検口
材質 寸法 (mm) 形式 外枠 内枠
アルミニウム製 600×460 一般形 屋内外用 縦横タイプ 縦横タイプ
600×600 一般形 屋内内用 縦横タイプ 縦横タイプ
(品質・性能)
内外枠の材質 アルミニウム製
JIS H 4100 A6063S又は同等の性能を有するもの
表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601(AA6)又は同等の性能を有するもの (外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの)
内枠及び外枠のコーナース
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
外枠の取付け金物
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
内枠の仕上げ材留付金物
アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの
耐久性能 (繰り返し開閉試験)
(1) 50回、100回、300回の内蓋の重れ下がり、0.5mm以内。
(2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。
枠の寸法許容差 ±0.5mm以内
外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内
(試験方法)
内蓋 (内枠) の繰り返し開閉試験
(1) 試験体は、特見込み40mm程度のものとする。
吊り金物は、外枠を天井下地取付け用チャンネルに直接留付ける方式 (天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野線の種類は、19形とし仕上げ材は、せつこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901「せつこうボード製品」のB-8の履歴2級又は発熱性2級以上) の二重張りとする。
(2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。
(3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の重れ下がり状態を測定する。
・床点検口
材質 寸法 (mm) 形式 備考
アルミニウム製 ・460×460 ・一般形 ・屋内外用 ・鍵付き
ステンレス製 ・600×600 ・密閉形 ・屋内内用
鋼製
密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。
(品質・性能)
以下のもの又は同等のものとする
部材名 材質 屋内外用 屋内内用
受枠材 受枠材 アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材 ステンレス鋼板
JIS H 4100のA6063S-T (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15
JIS G 4305のSUS304, SUS430J/L, SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度
鋼製又はJIS G 3313の類にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、鉛酸カルシウムさび止めペイント (JIS K 5629) の防錆処理を行ったもの
二重蓋の中蓋 鋼板 JIS G 5501のFC150, FC200
目地材 黄銅 JIS H 3100 C2600, C2720, C2801
JIS H 3250 C3602, C3604
ステンレス JIS G 4305のSUS304, SUS430J/L又はSUS443J1
JIS G 4308のSUS304
底板材 コーナーステンレス鋼板 JIS H 4000 (A1100P H24)
表面処理: 陽極酸化皮膜
合板製 JIS H 8601 (AA15)
JIS H 8602 (B)
鋼材
鋼製又はJIS G 3313の類にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、鉛酸カルシウムさび止めペイント (JIS K 5629) の防錆処理を行ったもの
パッキン材 塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパネ、エチレンプロピレン等 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの
アンカー材 鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆処理を行ったもの
取手 黄銅鋼板製、黄銅製、アルミニウム押出型材・合金鋼板製、ステンレス鋼板製、ステンレス製等
鋼材製、ステンレス鋼板製、アルミニウム押出型材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする
鍵 黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする
施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする
扉の耐荷重性能 扉中央部が荷重値P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内であること。
受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。
破壊荷重は、荷重値のPの2倍以上であること
受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下
蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下
受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内
(試験方法)
耐荷重試験
試験体は、張物用とし、600mm角程度、特見込みは、40mm以下とする。
試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加重板を設置し、加重する。
本試験前に200Nを加重した後、本試験を行う。
本試験は、1,000Nで加重、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する (終局荷重) まで加重する。
測定は、蓋中央部にかかる加重を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。

8 手すり (20.2.6)
8 天井見切り縁等
10 視覚障がい者誘導用ブロック (視覚障がい者用ブロック) (11.2.2) (19.2.2)
11 鉄筋 (5.2.1) (表5.2.1) (表5.2.1)
12 溶接金網 (5.2.2)
13 鉄筋の継手及び定着 (5.3.4)
14 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 (6.2.1~4)
15 セメント (6.3.1)
16 型枠 (6.8.2)
17 無筋コンクリート (6.14.1)
18 床コンクリート直均し仕上げ (表8.1.5)
19 あと施工アンカー (14.1.3)
手すり
材質 表面仕上げ 直径 (mm) 取付箇所
※集成材 ・ケナラ材 ・φ35 ・φ45
※ステンレスパイプ ・HL 図示
・鋼製パイプ ・SOP ・EP-G 図示
※ビニル製
天井見切り縁等
視覚障がい者誘導用ブロック (視覚障がい者用ブロック)
施工箇所 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm)
屋内 図示 塩化ビニル製 300×300 7.0 2.0
・セラミックタイル製 G 300×300
・レジンコンクリート製 300×300
・コンクリート製
屋外 図示 セラミックタイル製 G 300×300
レジンコンクリート製 300×300
図示 コンクリート製 300×300
表5.2.1
8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。
種類 呼び名
※S D 2 9 5 D 1 0, D 1 3, D 1 6
※S D 3 4 5 D 1 9 以上
表5.2.2
8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。
種類 網目寸法、鉄線の径 (mm)
※溶接金網 φ6~150目
鉄筋の種類
鉄筋の種類
表5.2.1
8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。
鉄筋の継手の方法等
鉄筋の重ね継手の長さ
※40dと標準仕様書表5.3.2重ね継手の長さのうち大きい値とする。
鉄筋の定着長さ
※柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書5.3.4による。
機械式定着工法
・適用する 適用箇所 図示による
種類 摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定
8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。
※普通コンクリート
設計基準強度 (F<sub>c</sub>) [N/mm<sup>2</sup>] スランプ (cm) 適用箇所
※24
図示 ※標準仕様書6.2.2による ※コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)
種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。
せき板の材料 ※合板 G 厚さ (※12mm )
・メッシュ型枠 (構造関係共通事項による)
・断熱材兼用型枠 25mm以下かつ熱抵抗値1m<sup>2</sup>/K以上
8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。
種類 設計基準強度 (F<sub>c</sub>) [N/mm<sup>2</sup>] スランプ (cm) 施工箇所
※普通コンクリート ※18 ※15 ※標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
床コンクリート直均し仕上げ
改修標準仕様書表8.1.5による
施工箇所
平坦さの種類
a種 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式) ( )
b種 カーペット張り、防水下地、セルフレベルング材張り ( )
c種 タイル張り、モルタル張り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ( )
6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記によるあと施工アンカー
あと施工アンカーの確認試験 ※行う ・行わない
確認強度

23 屋外雨水排水 [21.2.1] [表21.2.1.2]

排水管用材料		材種	管の種類	形状	呼び径	備考
・ 遠心力鉄筋コンクリート管		※ 外圧管 (1種)	・ B形管	※ 図示		
○ 硬質ポリ塩化ビニル管		○ VP		※ 図示		
		・ VU		※ 図示		
		・ RS-VU [G]		※ 図示		

基礎の厚さ及び種類 ○ 図示  
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※ 接着剤

側溝の形状及び寸法 ・ 図示 ・  
排水側の種類 ○ 図示 ・  
砂地層に用いる材料 ※ 標準仕様書21.2.1(a) (1)による ・ 図示  
砂利地層に用いる材料 ※ 標準仕様書 21.2.1(a) (2)による ○ 図示  
コンクリート基礎等に用いる材料  
※ 標準仕様書 6.14により、設計基準強度は18N/mm<sup>2</sup>とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の  
割合は (容積比) セメント1 : 砂2 : 砂利4程度とする。  
○ 図示  
凍上抑制層に用いる材料  
砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない

24 鋼鉄製ふた [21.2.1]

名称	種類	適用荷重	継	備考
鋼鉄製マンホールふた	・ 水封形 ・ 簡易密閉形 (バッキン式) ・ 密閉形 (テーパ・バッキン式) ・ 中ふた付き密閉形 (テーパ・バッキン式)	・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-20用	・ 有り ・ 無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による
塩ビ製	・ RS-VU [G]			

25 グレーチング [21.2.1]

材質	形式	用途	適用荷重	メッシュ	重鉛めつき (付着量)	上面形状
○ 鋼製	・ 受枠付き、ボルト固定	・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ・ 溝ふた用 ・ U字溝用	○ 歩行用	○ 細目	○ (メーカ) 指定	○ 凹凸形
○ ステンレス製	・ 受枠付き、ボルト固定	・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ・ 溝ふた用 ・ U字溝用	○ 歩行用	○ 細目	○ (メーカ) 指定	○ 凹形

(品質・性能等)  
<鋼製グレーチング>以下のもの又は同等のものとする

項目	品質・性能
メインバー、サイドバー及びエンドプレート	JIS G 3101 SS400 メインバーピッチ 普通目: 30mm~35mm程度 細目: 12.5mm~15mm程度
クロスバー	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3505 「軟鋼線材」 SBRM
受け枠用アングル材	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3132 「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼管」 SPHT
溶融亜鉛めっきの付着量	JIS H 8641 「溶融亜鉛めっき」による試験において溶融亜鉛めっきの付着量がHD240以上又は、HD2 50以上
表面仕上げ	塗膜仕上げとする場合は、樹脂系塗料
アンカー	間隔 側溝の場合500mm内外 ふた 幅及び長さの許容差 ±3.0mm
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする

<ステンレス製グレーチング>

項目	品質・性能
メインバー、クロスバー	JIS G 4303, JIS G 4304, JIS G 4305, JIS G 4306, JIS G 4317, JIS G 4318のSUS304 又はJIS G 4304, JIS G 4305のSUS430J1L
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303, JIS G 4304, JIS G 4305, JIS G 4306, JIS G 4317, JIS G 4318, JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304, JIS G 4305のSUS430J1L
受け枠用アングル材	JIS G 4304, JIS G 4305, JIS G 4317, JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304, JIS G 4305のSUS430J1L
アンカー	JIS G 3101 SS400、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行う 間隔 側溝の場合500mm内外
表面仕上げ	2B程度
ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする

(荷重試験方法)  
設計荷重は以下の通りとする

歩道	車道	歩道	車道	歩道	車道
側溝用 (KN)	側溝用 (KN)	横断溝用 (KN)	横断溝用 (KN)	側溝用 (KN)	側溝用 (KN)
78.5	109.8	78.5	109.8	78.5	109.8
54.9	76.9	23.5	33.0	23.5	33.0
7.8	11.0	7.8	11.0	7.8	11.0

試験体は、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。  
イ) 溝ふた 横断用 T-20~T-2のうち1体  
歩道用 T-20のうち1体  
側溝用 T-20~T-2のうち1体  
ロ) U字溝用 側溝用 T-20~T-2のうち1体  
歩道用 T-20のうち1体  
設計荷重を基準として一方繰り返し加力を行う。加力速度は、4.903N/sとする。繰り返し加力は3回行った後、残留ひずみ等がないか確認する。その後設計荷重の1.5倍まで加力し、溶接部のはずれ等異常の有無について確認する。

26 街きよ、緑石、側溝 [21.3.1.2] [表21.3.1]

種類	形状、寸法
○ 緑石	○ 図示 ・
○ U形側溝	○ 図示 ・
・ U形側溝ふた	・ 図示 ・
・	・ 図示 ・

地層の材料 ※ 標準仕様書 4.6.2(a)による ○ 図示  
砂利地層の厚さ ※ 100 (mm) ○ 図示  
コンクリート基礎等に用いる材料  
※ 標準仕様書 (6.14)  
設計基準強度18N/mm<sup>2</sup>とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の割合 (容積比) セメント1 : 砂2 : 砂利4程度とする。  
○ 図示  
凍上抑制層に用いる材料  
砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない

27 埋戻し土 [21.2.2]

28 路床 [22.2.2.3] [表22.2.1]

種別	材料	厚さ (mm)
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	・ 図示
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュヤラ [A] ・ クラッシュヤラン ・ 切込み砂利	・ 図示
・ フィルター層	・ 砂	・ 図示

路床安定処理  
・ 添加材料による安定処理  
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種  
・ フライアッシュセメントB種  
・ 生石灰 ( ) ・ 消石灰 ( )  
添加量 kg (目標CBR ・ 3以上 ・ )  
目標CBRを満足する添加量の確認方法  
・ 安定処理土のCBR試験  
・ ジオテキスタイル  
単位面積質量 ・ 60g/m<sup>2</sup>以上  
厚さ (mm) ・ 0.5~1.0  
引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上  
透水係数 ・ 1.5×10<sup>-6</sup> cm/sec以上

試験  
砂の粒度試験 ・ 行う ○ 行わない  
路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ○ 行わない  
路床締固め度の試験 ・ 行う ○ 行わない  
現場CBR試験 ・ 行う ○ 行わない

29 路盤 [22.3.2.3, 5] [表22.3.1]

路盤材料

種類	材料
砕石	・ クラッシュヤラン ・ 粒度調整砕石
再生材	・ クラッシュヤラン [G] ・ 粒度調整砕石 [G] ・ クラッシュヤラン鉄鋼スラグ [G] ・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]

路盤締固め度の試験 ※ 行う ・ 行わない

30 アスファルト舗装 [22.4.2~6] [表22.4.4]

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 ・  
材料  
アスファルト ○ 再生アスファルト [G] ・ ストレートアスファルト  
骨材  
・ 道路用砕石  
・ アスファルトコンクリート再生骨材 [G]

加熱アスファルト混合物等の種類

区分	地域	種類
表層	○ 一般地域	○ 密粒度アスファルト混合物 (I3) ・ 細粒度アスファルト混合物 (I3)
	・ 寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (I3F)

シールコートの施工 ・ 行う ○ 行わない  
試験  
アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ○ 行わない  
舗装の平坦性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度

31 コンクリート舗装 [22.5.2~4, 6] [表22.5.1, 3]

コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・ 図示	・ 図示
	歩行者用通路	・ 図示	※ 70

縁部立下り寸法等 ・ 図示  
材料  
コンクリート ・ 標準仕様書表22.5.2iによる  
早強セメント ・ 使用する ・ 使用しない  
注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ

目地  
種類、間隔、構造 ※ 標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1iによる ・ 図示

37 砂利敷き [22.9.2]

種別  
○ A種 (施工範囲) ・ 図示 ・ 通路 ( )  
○ B種 (施工範囲) ○ 図示 ・ 建物周囲 ( )

38 路面標示用塗料

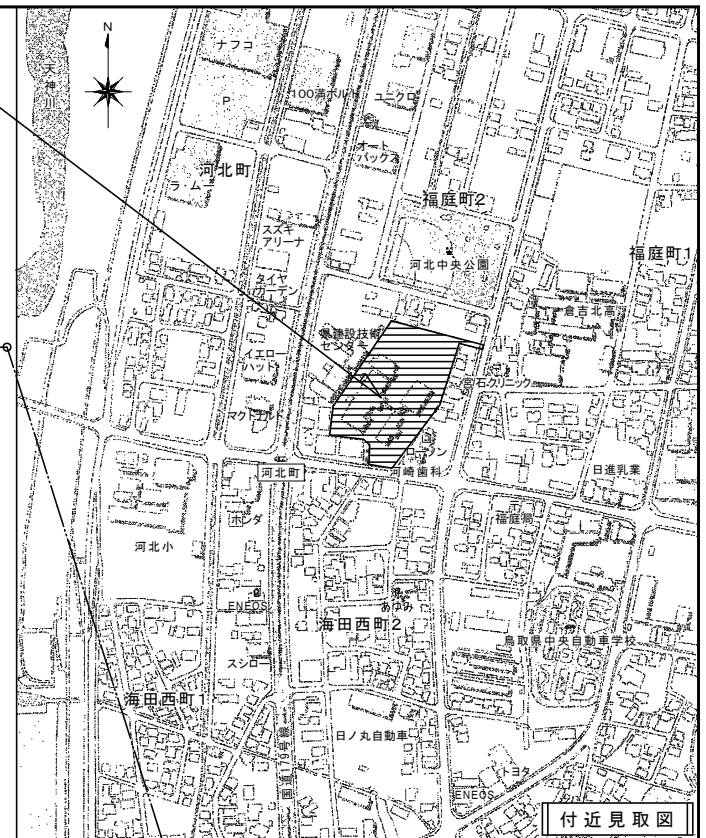
JIS K 5665 (路面標示用塗料) による

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	適用部位
※ 3種 1号	溶融	粉体状	・ 白	・ 150	・ 1.0	・ 白線 ・ 車椅子駐車場ライン
・ 1種 [G]	常温			・ 100		・ 視覚障害者用表示
・ 2種 [G]	加熱	液状				

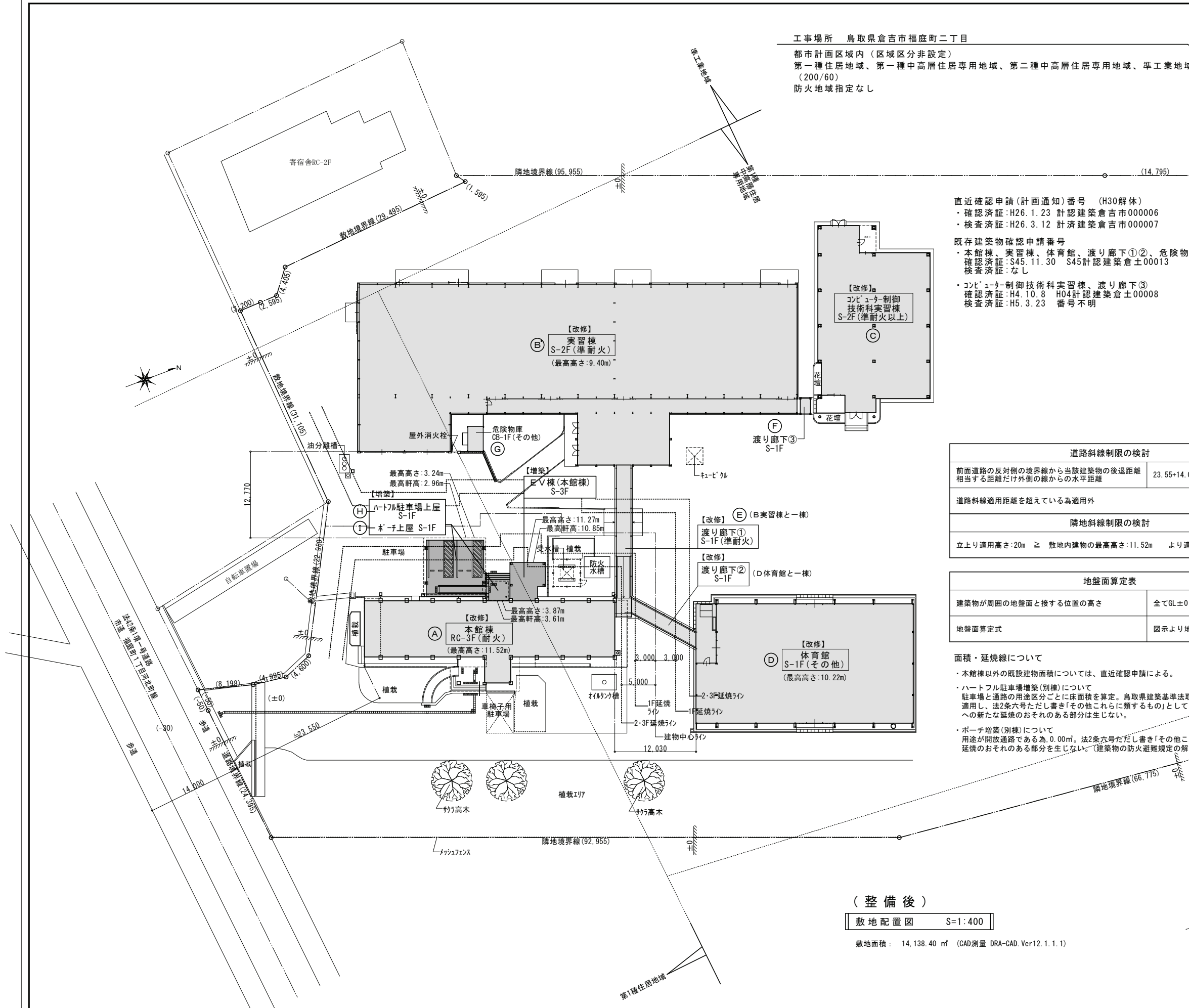
低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 [G]



工事場所 鳥取県倉吉市福庭町二丁目  
 都市計画区域内（区域区分非設定）  
 第一種住居地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、準工業地域  
 (200/60)  
 防火地域指定なし



付近見取図



直近確認申請(計画通知)番号 (H30解体)  
 ・確認済証:H26.1.23 計認建築倉吉市000006  
 ・検査済証:H26.3.12 計済建築倉吉市000007

既存建築物確認申請番号  
 ・本館棟、実習棟、体育館、渡り廊下①②、危険物庫  
 確認済証:S45.11.30 S45計認建築倉吉00013  
 検査済証:なし

・コンピューター制御技術科実習棟、渡り廊下③  
 確認済証:H4.10.8 H04計認建築倉吉00008  
 検査済証:H5.3.23 番号不明

道路斜線制限の検討	
前面道路の反対側の境界線から当該建築物の後退距離相当する距離だけ外側の線からの水平距離	23.55+14.00+23.55 = 61.10
道路斜線適用距離を超えている為適用外	
隣地斜線制限の検討	
立上り適用高さ:20m ≥ 敷地内建物の最高高さ:11.52m	より適合
地盤面算定表	
建築物が周囲の地盤面と接する位置の高さ	全てGL±0
地盤面算定式	図示より地盤面はGL±0

面積・延焼線について

- ・本館棟以外の既設建物面積については、直近確認申請による。
- ・ハートフル駐車場増築(別棟)について  
 駐車場と通路の用途区分ごとに床面積を算定。鳥取県建築基準法取扱い「R4.3.11軽易な自動車庫の取扱いについて」を適用し、法2条六号ただし書き「その他これらに類するもの」として取扱い、別棟増築することによる既存本館棟(耐火)への新たな延焼のおそれのある部分は生じない。
- ・ポーチ増築(別棟)について  
 用途が開放通路である為、0.00㎡。法2条六号ただし書き「その他これらに類するもの」として取扱い、延焼のおそれのある部分を生じない。(建築物の防火避難規定の解説2016.2-2)

(整備後)  
 敷地配置図 S=1:400

敷地面積: 14,138.40 m<sup>2</sup> (CAD測量 DRA-CAD, Ver12.1.1.1)



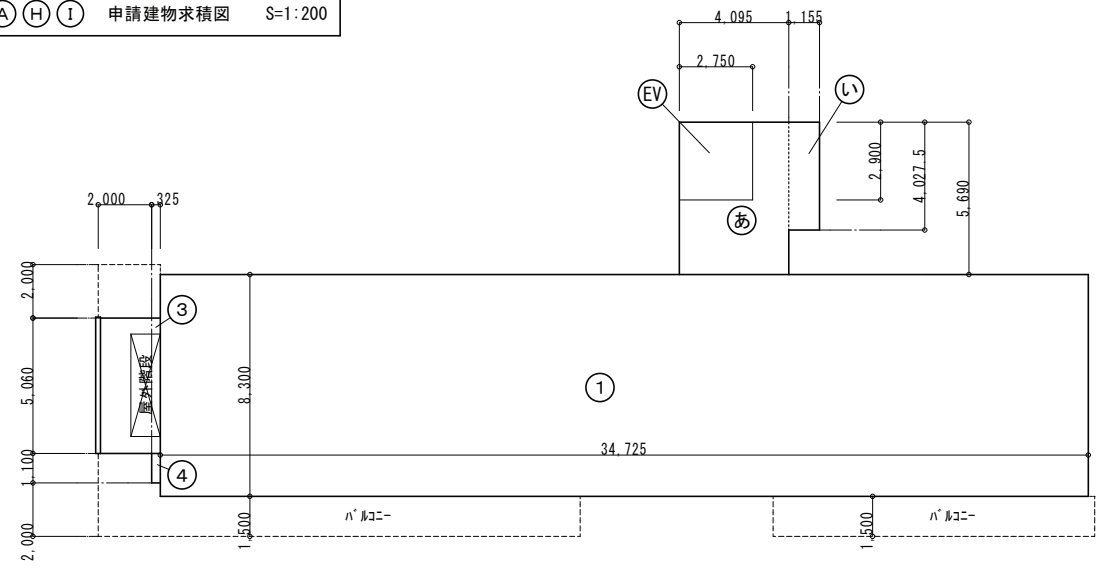
敷地全体面積 (㎡)								
敷地面積							14,138.40	
申請部分			申請以外の部分	合計	EVの昇降路	自動車庫等	合計 (EVの昇降路・ 自動車庫等除く)	
増築部分(EV棟)	別棟(ハコ)	別棟(チ屋根)						
27.95	62.89	5.67	2,798.48	2,894.99				
83.85	49.51	0.00	3,749.77	3,883.13	23.92	49.51	3,809.70	
延床面積							133.36	
建ぺい率							20.48%	
容積率							26.95%	

各階面積 (㎡)										
申請区分	申請部分			申請以外の部分					合計	
	ハコ増築	EV棟増築	本館棟	実習棟	コンピュータ制御 技術科実習棟	体育館 (渡り廊下②含む)	渡り廊下①	渡り廊下③		危険物庫
3階		27.95	300.33							300.33
2階		27.95	300.33		352.83					653.16
1階	49.51	27.95	315.16	1,530.85	383.82	507.50	48.40	3.45	7.10	2,796.28
計	49.51	83.85	915.82	1,530.85	736.65	507.50	48.40	3.45	7.10	3,749.77
	(1棟とみなす)		999.67	(1棟)			1,579.25			

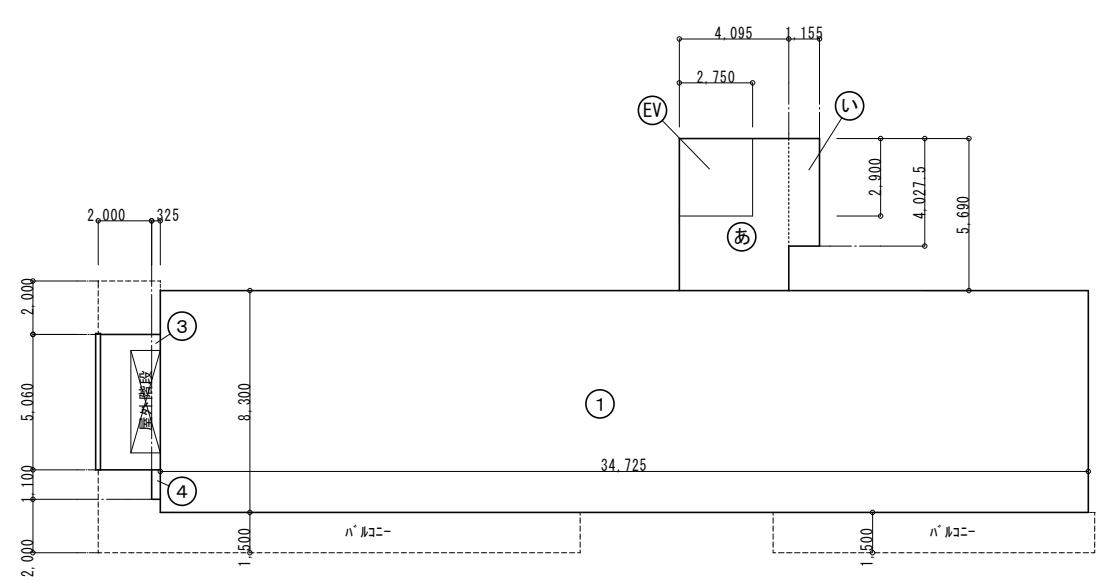
### LVSチェック

階	室名・床面積	採光 (採光補正係数: 1.0)		換気		排煙	
		必要面積	必要面積	必要面積	必要面積		
1階	職員室 事務室・職員室 122.44	1/20 6.13	AWC-101: ((1.545/0.955*2.0) + ((1.545/0.55*2.0))) * 3.0 = 13.95 計 = 13.95 O.K	1/20 6.13	AWC-101: ((1.545/2*0.955*2.0) + ((1.545/2*0.55*2.0))) * 4 = 9.30 計 = 9.30 O.K	1/50 2.45	AWC-101: (1.545/2*0.55*2.0) * 4 = 3.39 計 = 3.39 O.K
	進路指導室 8.33	1/20 0.42	AWC-106: 1.52/2*0.955*3.0 = 2.17 計 = 2.17 O.K	1/20 0.42	AWC-106: 1.52/2*0.955 = 0.72 計 = 0.72 O.K	1/50 0.17	AWC-106: 1.52/2*0.38 = 0.28 計 = 0.28 O.K
	校長室 25.02	1/20 1.26	AWC-106: ((1.52/2*0.955) + ((1.52/2*0.55))) * 3.0 = 3.43 計 = 3.43 O.K	1/20 1.26	AWC-106: 1.52/2*0.955 = 0.72 JWU-152: (0.515*0.48)+(0.515*1.000) = 0.76 計 = 1.48 O.K	1/50 0.51	AWC-106: 1.52/2*0.48 = 0.36 JWU-152: (0.515*0.48)+(0.515*0.22) = 0.36 計 = 0.72 O.K
2階	木造建築科 50.53	1/20 2.53	AWC-204: 1.545*1.705*3.0 = 7.90 計 = 7.90 O.K	1/20 2.53	AWC-204: ((1.545/2*1.705) + ((1.545/2*0.55*2.0))) * 3.0 = 2.90 計 = 2.90 O.K	1/50 1.02	AWC-204: 1.545/2*0.55*2.0 = 0.84 JWU-251: 0.515*0.47 = 0.24 計 = 1.08 O.K
	相談室 51.02	1/20 2.56	AWC-204: 1.545*1.705*3.0 = 7.90 計 = 7.90 O.K	1/20 2.56	AWC-204: ((1.545/2*1.705) + ((1.545/2*0.55*2.0))) * 3.0 = 2.90 計 = 2.90 O.K	1/50 1.03	AWC-204: 1.545/2*0.55*2.0*2 = 1.69 計 = 1.69 O.K
	コンピューター ルーム 97.23	1/20 4.87	AWC-202: 1.545*1.305*2.0*3.0 = 12.09 計 = 12.09 O.K	1/20 4.87	AWC-202: 1.545/2*1.305*2.0*2 = 4.03 AWC-204: ((1.545/2*1.705) + ((1.545/2*0.55*2.0))) * 3.0 = 5.77 計 = 5.77 O.K	1/50 1.95	AWC-201: 1.545/2*0.38*2.0*2 = 1.17 AWC-204: 1.545/2*0.55 = 0.42 AWC-204: 1.545/2*0.55 = 0.42 計 = 2.01 O.K
3階	造園管理科 50.53	1/20 2.53	AWC-304: 1.545*1.705*3.0 = 7.90 計 = 7.90 O.K	1/20 2.53	AWC-304: ((1.545/2*1.705) + ((1.545/2*0.55*2.0))) * 3.0 = 2.90 計 = 2.90 O.K	1/50 1.02	AWC-304: 1.545/2*0.55*2.0*2 = 1.69 計 = 1.69 O.K
	土木システム科 51.02	1/20 2.56	AWC-304: 1.545*1.705*3.0 = 7.90 計 = 7.90 O.K	1/20 2.56	AWC-304: ((1.545/2*1.705) + ((1.545/2*0.55*2.0))) * 3.0 = 2.90 計 = 2.90 O.K	1/50 1.03	AWC-304: 1.545/2*0.55*2.0*2 = 1.69 計 = 1.69 O.K
	視聴覚室 97.23	1/20 4.87	AWC-304: 1.545*1.705*3.0 = 7.90 計 = 7.90 O.K	1/20 4.87	AWC-304: ((1.545/2*1.705) + ((1.545/2*0.55*2.0))) * 2 = 5.81 計 = 5.81 O.K	1/50 1.95	AWC-302: 1.545/2*0.38*2.0*3 = 1.76 AWC-304: 1.545/2*0.55*2.0*2 = 1.69 計 = 3.45 O.K

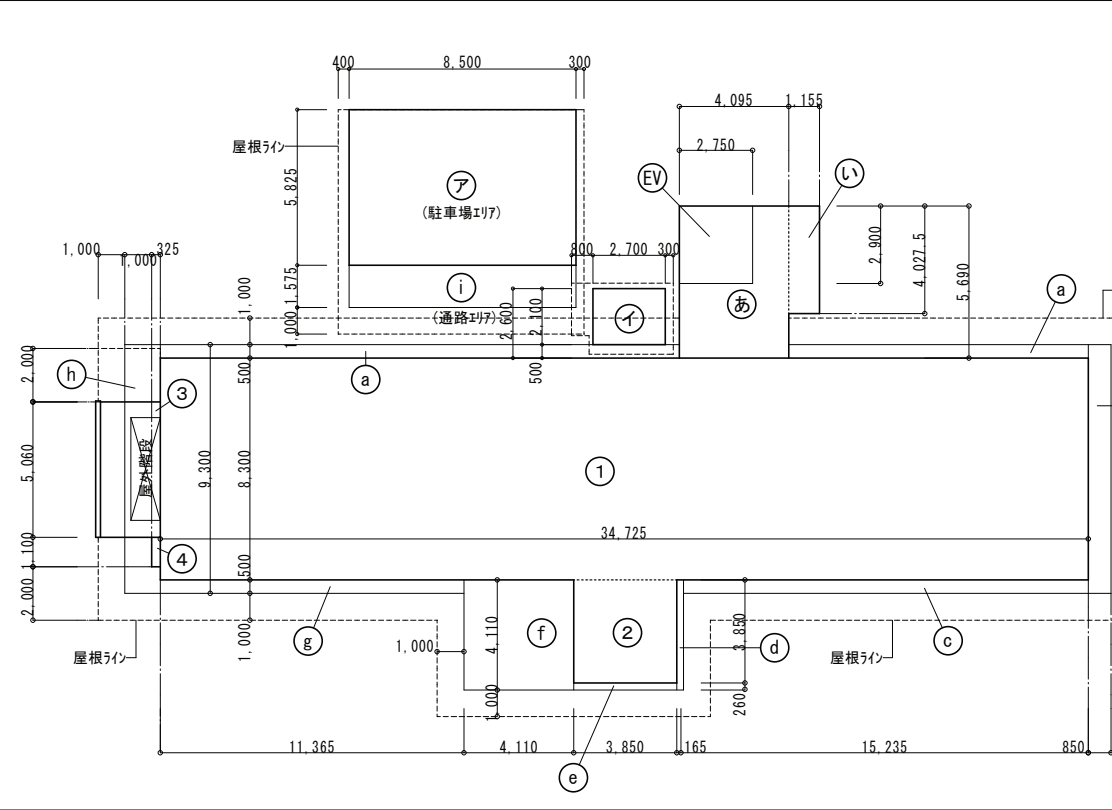
申請建物求積図 S=1:200



A. 本館棟 3階 床面積	
①	34.725*8.3 = 288.217
③	2.325*5.06 = 11.764 (既設小計)
④	0.325*1.10 = 0.357
あ	4.095*5.69 = 23.300 (増築小計)
い	1.155*4.0275 = 4.651
合計 328.289	



A. 本館棟 2階 床面積	
①	34.725*8.3 = 288.217
③	2.325*5.06 = 11.764 (既設小計)
④	0.325*1.10 = 0.357
あ	4.095*5.69 = 23.300 (増築小計)
い	1.155*4.0275 = 4.651
合計 328.289	



A. 本館棟 1階 床面積		昇降路	
①	34.725*8.3 = 288.217	3階(EV)	2.75*2.90 = 7.975
②	3.85*3.85 = 14.822	2階(EV)	2.75*2.90 = 7.975
③	2.325*5.06 = 11.764 (既設小計)	1階(EV)	2.75*2.90 = 7.975
④	0.325*1.10 = 0.357	合計 23.92 ㎡	
あ	4.095*5.69 = 23.300 (増築小計)		
い	1.155*4.0275 = 4.651		
合計 343.111		343.11 ㎡	

A. 本館棟 建築面積	
既設1階床面積 315.160	
①	34.275*0.50 - (4.095*0.50) = 15.090
②	0.85*9.30 = 7.905
③	15.235*0.50 = 7.617
④	0.165*4.11 = 0.678
⑤	3.85*0.26 = 1.001
⑥	4.11*4.11 = 16.892
⑦	11.365*0.50 = 5.682 (既設小計)
⑧	1.325*9.30 - ((1.325*5.06) + (0.325*1.10)) = 5.260
あ	4.095*5.69 = 23.300 (増築小計)
い	1.155*4.0275 = 4.651
合計 403.236	

H. ハコ増築		I. チ屋根	
⑦	8.50*5.825 = 49.512	①	2.70*2.10 = 5.670
床面積合計 49.512		合計 5.670	
49.512		5.67 ㎡	
①	8.50*1.575 = 13.387		
建築面積合計 62.89 ㎡			

設計年月日  
 (有)フジ総合設計事務所  
 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町1-4-3番地  
 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689

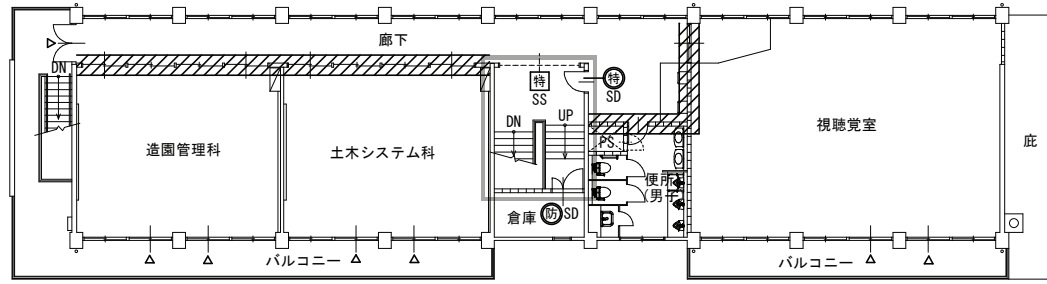
管理建築士  
 1級建築士 第325872号 竹中 誠  
 担当・製図  
 1級建築士 第379560号 永田 靖  
 製図  
 1級建築士 第 号

名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)  
 面積表・求積図  
 SCALE 1:200

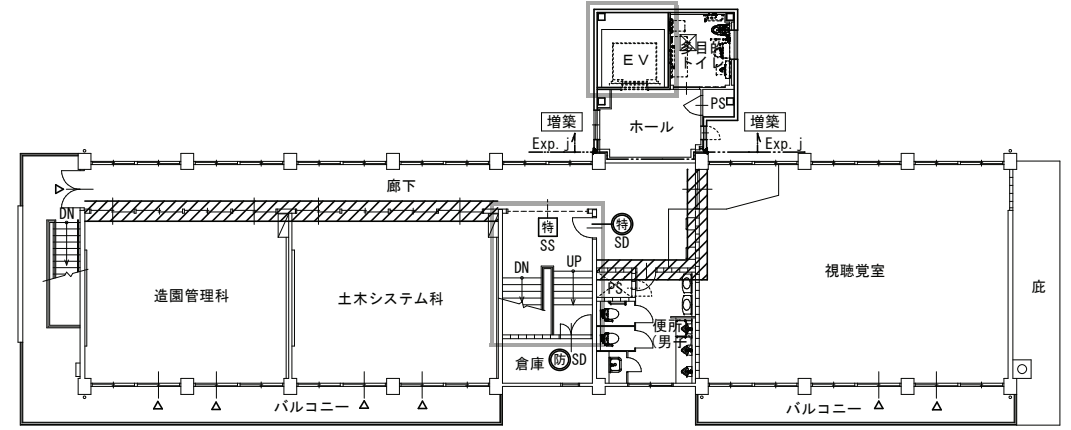
鳥取県  
 令和6年度  
 J2400366  
 総務部管轄課  
 A-16  
 61  
 枚の内

既設

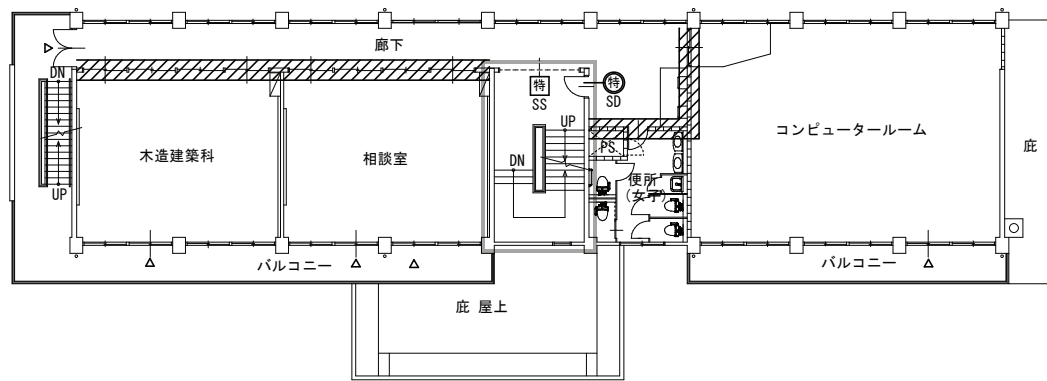
改修後



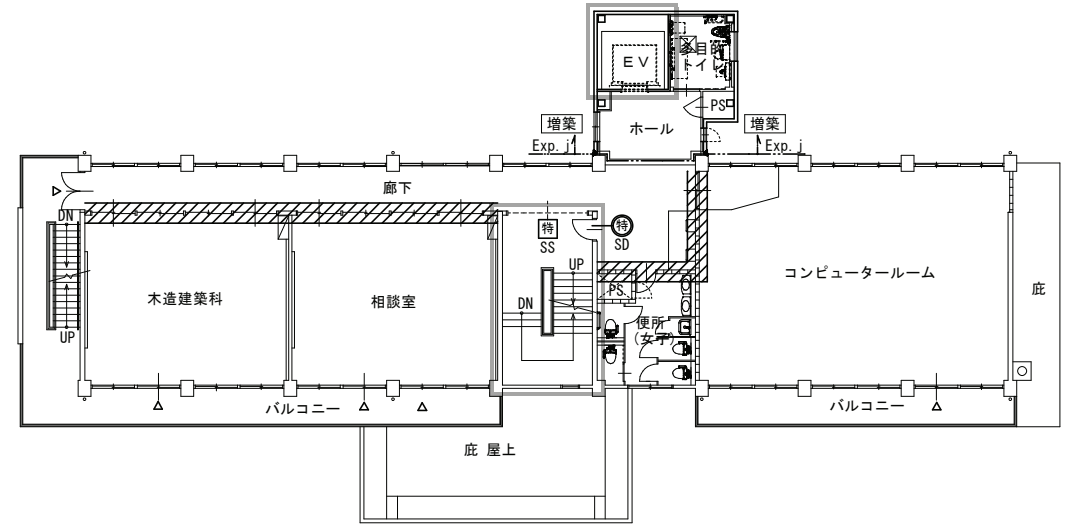
3階平面図(既設) S=1:200



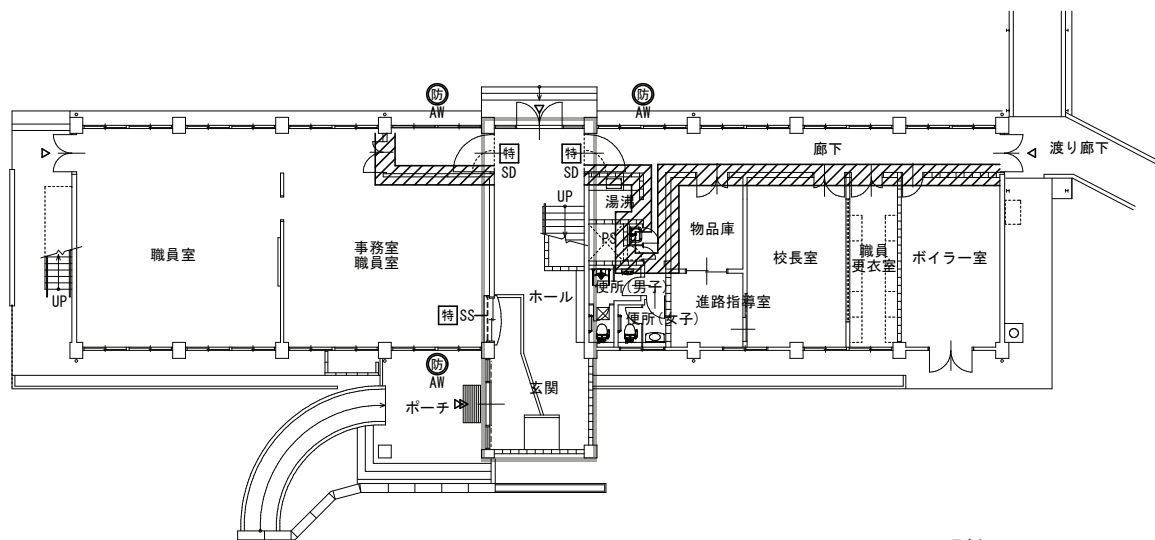
3階平面図(既設) S=1:200



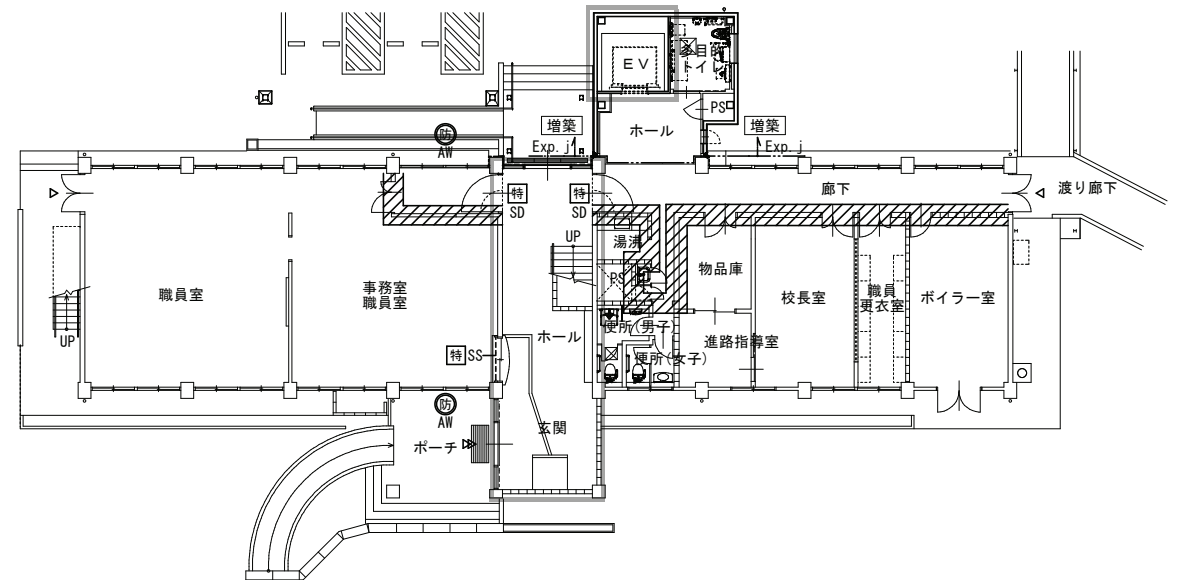
2階平面図(既設) S=1:200



2階平面図(既設) S=1:200



1階平面図(既設) S=1:200



1階平面図(既設) S=1:200



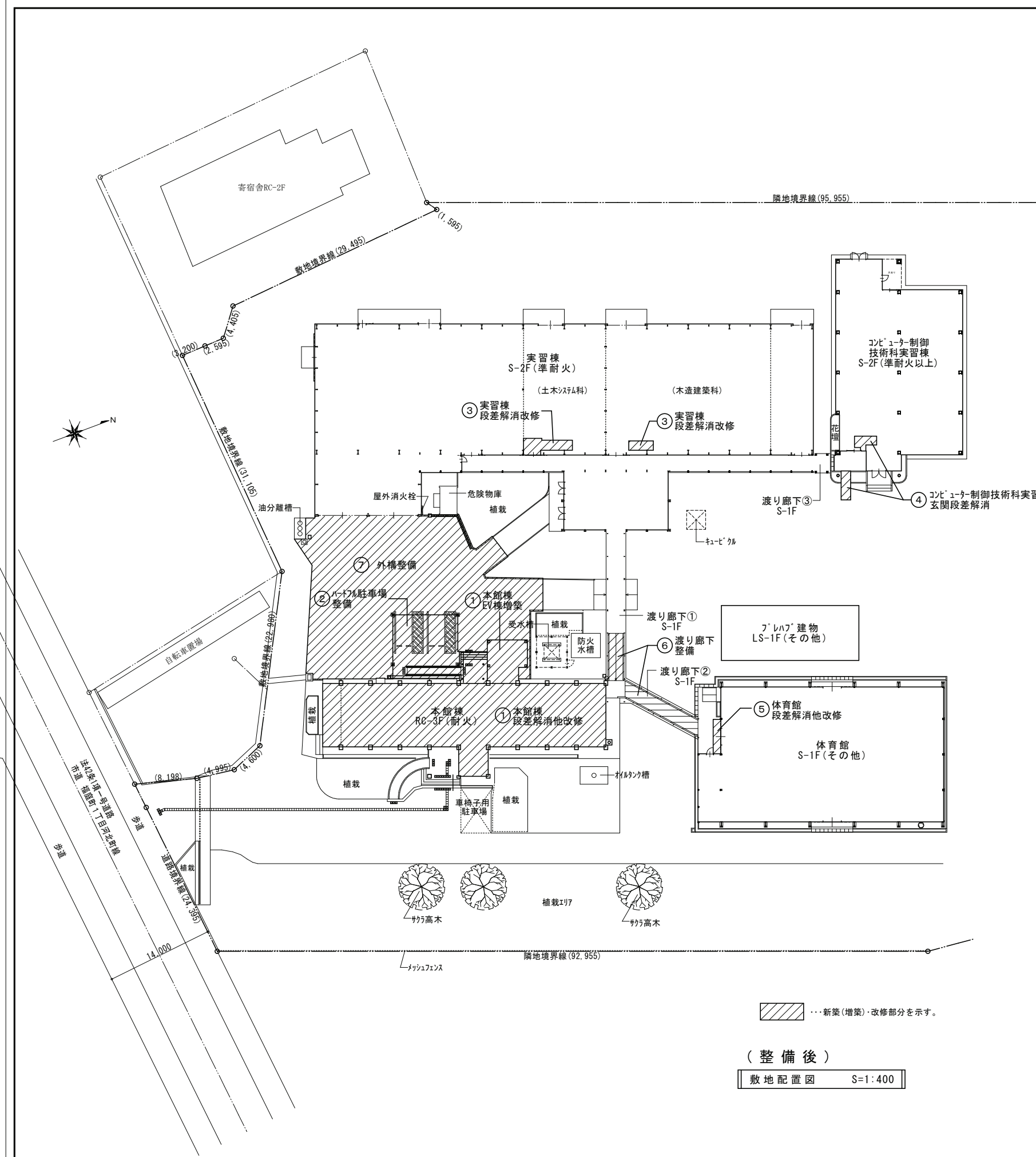
凡例

- 防 令第109条防火設備(旧乙種防火戸(常時閉鎖式))
- 特 特定防火設備(旧甲種防火戸(常時閉鎖式))
- 特 特定防火設備(旧甲種防火戸(煙感連動式))

- 壁穴区画
- ▨ 令114条壁(防火上主要な間仕切壁)

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日 (2025) R7. 1.	 <b>(有)フジイ総合設計事務所</b> 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町1-4-3番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)	SCALE 1:200	図面No. A-17
			1級建築士 第325872号			
			1級建築士 第379560号	区画図		
			製図 1級建築士 第 号			



...新築(増築)・改修部分を示す。

(整備後)  
敷地配置図 S=1:400

■ 工事概要一覧表 ■

棟名称等	工種	構造・階数	備考
① 本館棟	新築(増築)	S造・3階	本館棟にEV棟増築 ・エレベーター新設 (別途工事) : ロープ式, 13人乗り, 乗用兼車椅子用900kg ・多目的トイレ新設 ・既存壁、建具ほか EV増築部分の解体及び改修
	改修	RC造・3階	本館棟の段差解消他改修 ・コンピュータールの段差解消改修 ・視聴覚室の段差解消改修 ・移動円滑化経路に誘導ブロック設置 ・居室に換気設備, 給気口の設置(24H換気)
② ハトル駐車場整備	新築(増築)	S造・1階	本館棟西側に新設 ・車椅子使用者用駐車場(2台分・屋根付き)の新設 ・西側出入りにカー上屋新設 ・西側出入り口の段差解消ロープの設置
③ 実習棟 (土木システム科実習室 ・木造建築科実習室)	改修	S造・2階	実習室の段差解消他改修 ・土木システム科実習室の段差解消ロープ設置及び出入り口建具改修 ・木造建築科実習室の段差解消ロープ設置及び出入り口建具改修
④ コンピューター制御技術科実習棟	改修	S造・2階	玄関の段差解消 ・既設ロープの改修及び外部ロープの設置
⑤ 体育館	改修	S造・1階	体育館の段差解消他改修 ・出入り口の段差解消(土間嵩上)及び建具改修
⑥ 渡り廊下	改修	S造・1階	渡り廊下の整備 ・渡り廊下①と渡り廊下②の既設ロープの改修
⑦ 外構整備	改修		西側駐車場整備・誘導ブロック設置 ・外構、舗装の改修 ・移動円滑化経路に誘導ブロック設置

※この工程は概略であり、施設・監督員と十分に協議の上、実施施工工程表を作成し、承認を得て行う事。

工事工程表(案)

工期: 令和7年6月~令和8年3月

全体スケジュール	令和7年												令和8年		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
① 本館棟 【EV棟増築・改修】	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事
② ハトル駐車場整備 【新築(増築)】	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事
③ 実習棟 【改修】	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事
④ コンピューター制御 技術科実習棟 【改修】	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事
⑤ 体育館 【改修】	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事
⑥ 渡り廊下 【改修】	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事
⑦ 外構整備 【改修】	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事	仮設工事	撤去工事	スロープ 段差解消工事
申請・検査等															

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

外部仕上表 (既設) ・増築部仕上は、立面図参照。

部 位	既 設 外 部 仕 上 げ	改 修 後 外 部 仕 上 げ
屋 根 ( 屋 上 )	高分子系シート防水1.5t、ケレン系断熱材20t/モルタル下地 旗材・丸(2箇所) 屋上点検口(1箇所)	既設のまま
屋 根 ( 玄 間 庇 )	均しモルタル(水下30t)の上、塩ビ系シート防水露出仕様	既設のまま
軒 裏	外装薄塗材E吹付/モルタル下地 梁部:防水形複層塗材E吹付/モルタル下地	既設のまま
外 壁	防水形複層塗材E吹付/モルタル刷毛引き下地 (※一部撤去) 一部コンクリート打放し仕上、モザイクタイル・小口タイル張り	防水形複層塗材E吹付/モルタル下地 (★一部新設)
根 廻 り	モルタル金コシ仕上げ	既設のまま
外部建具廻り・外壁・リング	サッシ廻り:MS-2 10*10 外壁(打継・取合):MS-2 15*10	既設のまま
樋	屋上:ルーフレン 錆鉄製・縦引き・100用 パルコニ-外部階段:ルーフレン DP塗+錆鉄製・中継用・100用 壁樋:DP塗+塩ビ製100φ (※一部撤去)	壁樋:ガ-VP100 SUS製掴み金物φ1,200 (★一部新設)
庇・パルコニ-外部階段	床:塗膜防水2.0t(ケレン系X-2)/樹脂モルタル塗 軒裏:外装薄塗材E吹付/モルタル下地 外壁:防水形複層塗材E吹付 手摺:DP塗(ケレン系)+鉄製	既設のまま
ポ ー チ	床:磁器質150角タイル張り/モルタル下地(クローブ床:100角タイル張り) 壁:複層塗材E吹付/モルタル刷毛引き下地 一部「リム用」ロック型板がうら2.0t 天井:外装薄塗材E吹付/モルタル下地 一部「ナローリング」張り (※一部撤去)	誘導ブロック300角(磁器質タイル12t/モルタル下地) (★一部新設) 段鼻:磁器質段鼻タイル150角(平)/モルタル下地 (★一部新設)
犬 走 り	モルタル金コシ仕上げ (※一部撤去)	既設のまま

内部仕上表 (既設)

階	室名		CH	床	巾木	H	壁・腰壁・柱型	天井	廻縁	備考
			FL							
1階	玄関・ホール	既設	2,550・2,650	磁器質150角タイル張り/モルタル下地 (※一部撤去)	人研巾木	100	多彩色模様塗料吹付/モルタル下地 一部EP-G塗+モルタル下地	EP-G塗+PB9.5t(目透)/木組下地 一部EP塗+PB9.0t(目透)/木組下地(※一部撤去)		
			-100±0	ビニルシート2.0t張り/モルタル下地 (※一部撤去)	塩ビ製巾木(※一部撤去)	VP塗orEP-G塗+モルタル下地 (※一部撤去)	ロック-ル吸音板9.0t張り+PB9.5t/LGS下地	塩ビ製		
		改修後		ビニルシート2.0t張り/モルタル下地 (★一部新設)	一部UC-1塗+木製巾木	不燃ミネラル化粧板(木目)3.0t張り(粘着張り)				
				誘導ブロック300角(磁器質タイル12t/モルタル下地、ビニル床タイル2.0t) (★一部新設)	塩ビ製巾木(★一部新設)	EP-G塗+モルタル下地 (★一部新設)	EP-G塗+PB9.5t下地(目透)/LGS19下地 (★一部新設)	塩ビ製(★一部新設)	天井点検口:7M製450φ(目地タイル) (★新設)	
職員室	既設	2,700	コンポジションビニル床タイル2.0t張り(一部石綿含有レベル3)/モルタル下地	塩ビ製巾木	100	ビニルタイル張りorEP-G塗+モルタル下地	ロック-ル化粧吸音板9.0t張り	塩ビ製		
		±0			EP-G塗+PB12.5t下地(LGS50)	ビニルタイル張り/モルタル下地				
職員・事務室	既設	2,700	コンポジションビニル床タイル2.0t張り(一部石綿含有レベル3)/モルタル下地	塩ビ製巾木	100	EP-G塗+モルタル下地 EP-G塗+強化PB12.5t+強化PB12.5t(両面)下地(LGS100)	EP-G塗+PB9.5t(目透)/木組下地 一部EP塗+PB9.0t(目透)/木組下地	塩ビ製		
		±0	ビニルシート2.0t張り/モルタル下地		EP-G塗+PB12.5t下地(LGS50)	ロック-ル吸音板9.0t張り/木組下地				
校長室	既設	2,450	ビニルシート2.0t張り/モルタル下地	塩ビ製巾木	100	ビニルタイル張り/モルタル下地 ビニルタイル張り/PB12.5t下地(木軸)	ビニルタイル張り+PB9.5t下地/LGS19形(φ300)下地	塩ビ製		
		±0			ビニルタイル張り/PB12.5t下地(LGS65・50) ビニルタイル張り/PB12.5t+12.5t下地(LGS100)					
湯沸室	既設	2,100	モザイクタイル張り/モルタル下地	同右		上部:EP-G塗+モルタル下地 腰:陶器質75角タイル張り/モルタル下地(H=1,200)	化粧PB9.5t張り/LGS19形(φ300)下地	塩ビ製		
		-20								
便所	既設	2,180	ビニルシート2.0t張り/モルタル下地	同右		不燃ミネラル化粧板3.0t張り/既設タイル張り+モルタル下地	化粧PB9.5t張り/LGS19形(φ225)下地	塩ビ製		
		±0	光触媒タイル張り600*600*12.5t			不燃ミネラル化粧板3.0t張り/耐水PB12.5t(一部構造用合板12.0t)下地				
物品庫	既設	2,300	ビニルシート2.0t張り/モルタル下地	塩ビ製巾木	100	EP-G塗+モルタル下地	化粧PB9.5t張り/LGS19形(φ225)下地	塩ビ製		
		±0			EP-G塗+強化PB12.5t+強化PB12.5t下地(LGS100) EP-G塗+PB12.5t下地(LGS65)					
進路指導室	既設	2,300	ビニルシート2.0t張り/モルタル下地	塩ビ製巾木	100	EP-G塗+モルタル下地	化粧PB9.5t張り/LGS19形(φ225)下地	塩ビ製		
		±0			EP-G塗+PB12.5t下地(LGS65)					
職員更衣室	既設	2,700	コンポジションビニル床タイル2.0t張り(一部石綿含有レベル3)/モルタル下地	塩ビ製巾木	100	EP-G塗+強化PB12.5t+強化PB12.5t下地(LGS100) EP-G塗+PB12.5t下地(LGS50)	化粧PB9.5t張り/LGS19形(φ225)下地	塩ビ製		
		±0			EP-G塗+PB12.5t+PB12.5t下地(LGS100) EP-G塗+モルタル下地					
ボイラー室	既設	3,120	モルタル金コシ仕上げ	同右		モルタル金コシ仕上げ	木毛版15t打込みプラスター吹付			
		±0								



内部仕上表 (既設)

階	室名		CH	床	巾木	H	壁・腰壁・柱型	天井	廻縁	備考
			FL							
2階	木造建築科	既設	2,700	コホﾞジヨビニ床タイ#2.0t張り(一部石綿含有レ' #3)/モタ#28t下地	塩ビ製巾木	100	EP-G塗+モタ#金コ下地 EP-G塗+強化PB12.5t+強化PB12.5t下地(LGS90)	EP-G塗+PB9.5t(目透)/木組下地	底目	
			±0				EP-G塗+PB12.5t下地(GL,LGS50)			
		改修後		既設のまま	既設のまま		既設のまま	既設のまま	既設のまま	
	相談室	既設	2,700	コホﾞジヨビニ床タイ#2.0t張り(一部石綿含有レ' #3)/モタ#28t下地	塩ビ製巾木	100	EP-G塗+強化PB12.5t+強化PB12.5t下地(LGS90)	EP-G塗+PB9.5t(目透)/木組下地	底目	
			±0				EP-G塗+PB12.5t下地(GL)			
	改修後			既設のまま	既設のまま		既設のまま	既設のまま	既設のまま	
コンピュータールーム	既設	2,600-2,650	0A707H50+カヘ' ット#6.5t張り	OP塗+木製巾木	100	EP-G塗+モタ#金コ下地 EP-G塗+強化PB12.5t+強化PB12.5t下地(LGS90)	化粧PB9.5t張り/LGS19形(@255)下地	塩ビ製		
		±0	コホﾞジヨビニ床タイ#2.0t張り/モタ#28t下地	塩ビ製巾木	60	EP-G塗+PB12.5t下地(LGS50)				
	改修後		既設のまま	既設のまま		既設のまま	既設のまま	既設のまま	移動式折畳みスロープ W810×L900(★新設) [参考品番:クワ' イカ' デ' ヲ' ヲ' EBL (脱輪防止用エン' 付)]	
便所(女子)	既設	2,180	ビニ床シート2.0t張り/モタ#レ' リン' 10t下地	同右		陶器質100角タイル/モタ#下地	化粧PB9.5t張り(※一部撤去) /LGS19形(@255)下地	塩ビ製		
		±0				不燃' ン化化粧板3.0t張り/構造用合板12.0t下地				
	改修後		既設のまま	既設のまま		既設のまま	化粧PB9.5t張り (★一部新設)	既設のまま		
3階	造園管理科	既設	2,700	コホﾞジヨビニ床タイ#2.0t張り(一部石綿含有レ' #3)/モタ#28t下地	塩ビ製巾木	100	EP-G塗+強化PB12.5t+強化PB12.5t下地(LGS90)	EP-G塗+PB9.5t(目透)/木組下地	底目	
			±0				EP-G塗+PB12.5t下地(GL)			
		改修後		既設のまま	既設のまま		既設のまま	既設のまま	既設のまま	
	土木システム科	既設	2,700	コホﾞジヨビニ床タイ#2.0t張り(一部石綿含有レ' #3)/モタ#28t下地	塩ビ製巾木	100	EP-G塗+強化PB12.5t+強化PB12.5t下地(LGS90)	EP-G塗+PB9.5t(目透)/木組下地	底目	
			±0				EP-G塗+PB12.5t下地(GL)			
	改修後		既設のまま	既設のまま		既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	
視聴覚室	既設	2,700-2,650	0A707H50+カヘ' ット#6.5t張り	塩ビ製巾木	100	EP-G塗+モタ#金コ下地 EP-G塗+強化PB12.5t+強化PB12.5t下地(LGS90)	EP-G塗+PB9.5t(目透)/木組下地	底目		
		±0	コホﾞジヨビニ床タイ#2.0t張り/モタ#28t下地							
改修後		既設のまま	既設のまま		既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	移動式折畳みスロープ W810×L900(★新設) [参考品番:クワ' イカ' デ' ヲ' ヲ' EBL (脱輪防止用エン' 付)]	
便所(男子)	既設	2,180	ビニ床シート2.0t張り/モタ#レ' リン' 10t下地	同右		陶器質100角タイル/モタ#下地	化粧PB9.5t張り/LGS19形(@225)下地	塩ビ製		
		±0	光触媒#600×800×5t張り			不燃' ン化化粧板3.0t張り/構造用合板12.0t下地				
改修後		既設のまま	既設のまま		既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま		
倉庫	既設	1,880	モタ#金コ仕上げ			EP-G塗+モタ#金コ下地	木毛版15t打込み' ラ' ス' 吹付			
		3FL+1330								
改修後		既設のまま	既設のまま		既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま		
共通	廊下	既設	2,300	1F:ビニ床シート2.0t張り/モタ#28t下地 (※一部撤去)	塩ビ製巾木(※一部撤去)		EP-G塗+モタ#金コ下地(※一部撤去) EP-G塗+強化PB12.5t+強化PB12.5t下地(LGS90)	化粧PB9.5t張り/LGS19形(@225)下地(※一部撤去)	塩ビ製(※一部撤去)	2-3F' ヲ' 廻り:SUS手摺32φ取外し(※一部撤去)
			±0	2F-3F:コホﾞジヨビニ床タイ#2.0t張り(一部石綿含有レ' #3)/モタ#28t下地(※一部撤去)		100	EP-G塗+PB12.5t下地(LGS50)			
		改修後		1F:ビニ床シート2.0t張り/モタ#28t下地 (★一部新設)	塩ビ製巾木(★一部新設)		EP-G塗+モタ#金コ下地(★一部新設)	化粧PB9.5t張り/LGS19形(@225)下地(★一部新設)	塩ビ製(★一部新設)	2-3F' ヲ' 廻り:SUS手摺32φ再取付
	階段	既設		コホﾞジヨビニ床タイ#2.0t張り(一部石綿含有レ' #3)/モタ#28t下地	磁器質100角タイル	100	EP-G塗+モタ#金コ下地	EP-G塗+モタ#金コ下地		
				(※一部撤去)			多彩色模様塗料吹付(一部EP-G塗)/モタ#金コ下地			
		改修後		誘導' ロ' ヲ' 300角(ビニ床タイ#2.0t) (★一部新設)	既設のまま			既設のまま		1F天井点検口:7#製450口(目地タイプ) (★新設)

内部仕上表 (増築EV棟)

階	室名	CH	床	巾木	H	壁・腰壁・柱型	天井	廻縁	備考	
		FL								
共通	ホール	2,300	ビニ床シート2.0t張り/モタ#28t下地	塩ビ製巾木	100	EP-G塗(5分' )+PB12.5t下地(LGS50,65) 柱型:EP-G塗(5分' )+モタ#25t下地(出隅R20)	化粧PB9.5t張り/LGS19形(@225)下地	塩ビ製(突付)	Exp. J金物:7#製 ク' ア' ス' 100	
		±0	床見切:SUS目地棒			防火区画:EP-G塗/強化PB12.5t+12.5t(両面)(LGS65)	3F下り壁:EP-G塗(5分' )+PB9.5t下地	塩ビ製出隅材(3Fのみ)	床下点検口:SUS製600角(張物用,防水・防臭形,ホ' ト固定式)(裏XPS-2b貼付)	
			誘導' ロ' ヲ' 300角(ビニ床タイ#2.0t)			出隅7#コーナー				壁・天井点検口:7#製450口(目地タイプ)
			EPS・PS内:OON金コ仕上げ							室名札:7#製200(EV用+WC用) [参考品番:フ' ヲ' FTY200(側面型)]
多目的トイレ		2,500	防滑ビニ床シート2.0t張り/モタ#28t下地	床材巻上	300	' ン化化粧板3.0t張り/耐水石膏' -' 12.5t下地(LGS50,65,90)	化粧PB9.5t張り/LGS19形(@225)下地	塩ビ製(突付)	ライン' 甲板:' ン' ス' フ' ー' 160	
		±0		(天端塩ビ製見切)		' ン化化粧板(不燃) 平目地・入出隅・下部見切:専用' ヲ' ン,7#' ヲ' ヲ'			天井点検口:7#製450口(目地タイプ)	
						ライン' :' ン化化粧板3.0t張り/耐水石膏' -' 12.5t下地(LGS65)			配管' ヲ' 内:' ヲ' ヲ' :SUS22φ W400(埋込)2段	
					防火区画:' ン化化粧板3.0t張り/強化PB12.5t+12.5t(両面)(LGS65)					

<p>■ 特記事項</p> <p>・表中[ ]書き商品名,商標番号は全て参考とし,同等品以上の使用とすること。</p> <p>・内装仕上げ部分については,全て' ヲ' ヲ' 規制対象外の建築材料を使用すること。</p> <p>天井裏等の措置(天井裏,間仕切壁,外壁内,収納,造付家具等)についても同様とする。</p>	<p>○耐火構造 1時間</p> <p>屋根:' ヲ' 合成ス' ヲ' 屋根第1399号 外壁:ALC75t以上 建造第1399号</p> <p>柱:' ヲ' ヲ' 吹付25t FP060CN-9460 壁穴区画:強化PB12.5t+12.5t(両面)/LGS65</p> <p>梁:' ヲ' ヲ' 吹付25t FP060BN-9408 FP060NP-0483(1)</p> <p>床:' ヲ' ヲ' 吹付 FP060FL-9096 Exp. j: EAJ防災3013</p>	<p>○防火材料・認定番号リスト</p> <p>石膏' -' 9.5t 準不燃QM-9828 強化石膏' -' 12.5t 不燃NM-8615</p> <p>石膏' -' 12.5t 不燃NM-8619 ' ン化化粧板3.0t 不燃NM-2183</p> <p>耐水石膏' -' 12.5t 不燃NM-9639</p> <p>化粧石膏' -' 9.5t 準不燃QM-0524</p>	<p>○断熱材</p> <p>床下:押出法' リ' フ' ーム板30t-2種b(XPS-2b)</p> <p>屋根裏面(EV' ヲ' 除く):現場発泡' ヲ' ン20t吹付</p>
--	---	---	--

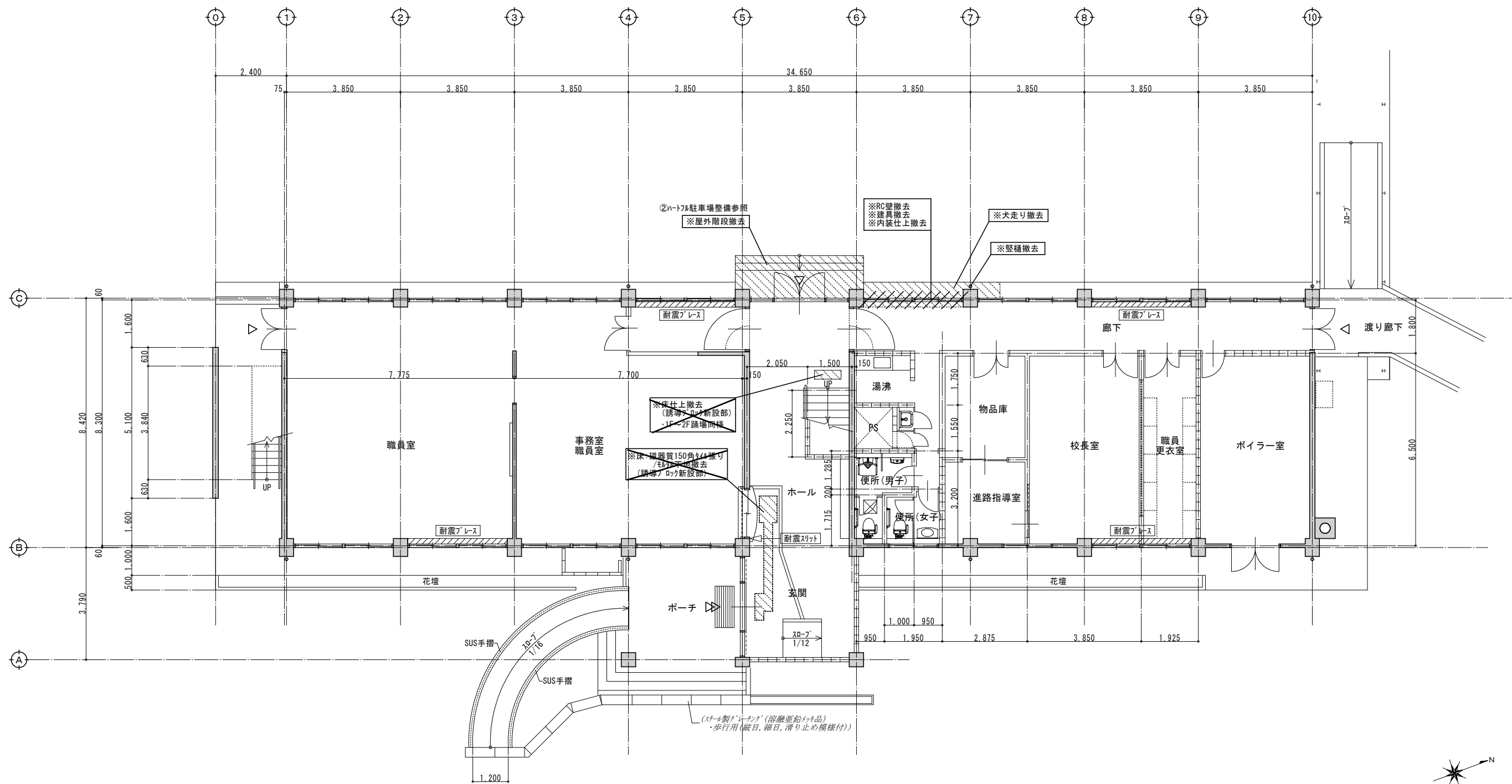


<p>設計年月日</p>	<p>(有)フジイ総合設計事務所</p> <p>〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町1-4-3番地</p> <p>TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689</p>	<p>管理建築士 1級建築士 竹中 誠</p> <p>担当・製図 1級建築士 永田 靖</p> <p>製図 1級建築士 第 号</p>	<p>名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)</p> <p>①本館棟:仕上表2(既設・改修後)</p>	<p>SCALE</p>	<p>図面No. A-20</p> <p>61 枚の内</p>
--------------	--	---	--	--------------	---------------------------------

※印：撤去処分を示す  
( )書き：既設のまま

既設

× / // // ...撤去(処分)部分



1階平面図(既設) S=1:100 ...撤去復旧部分を示す

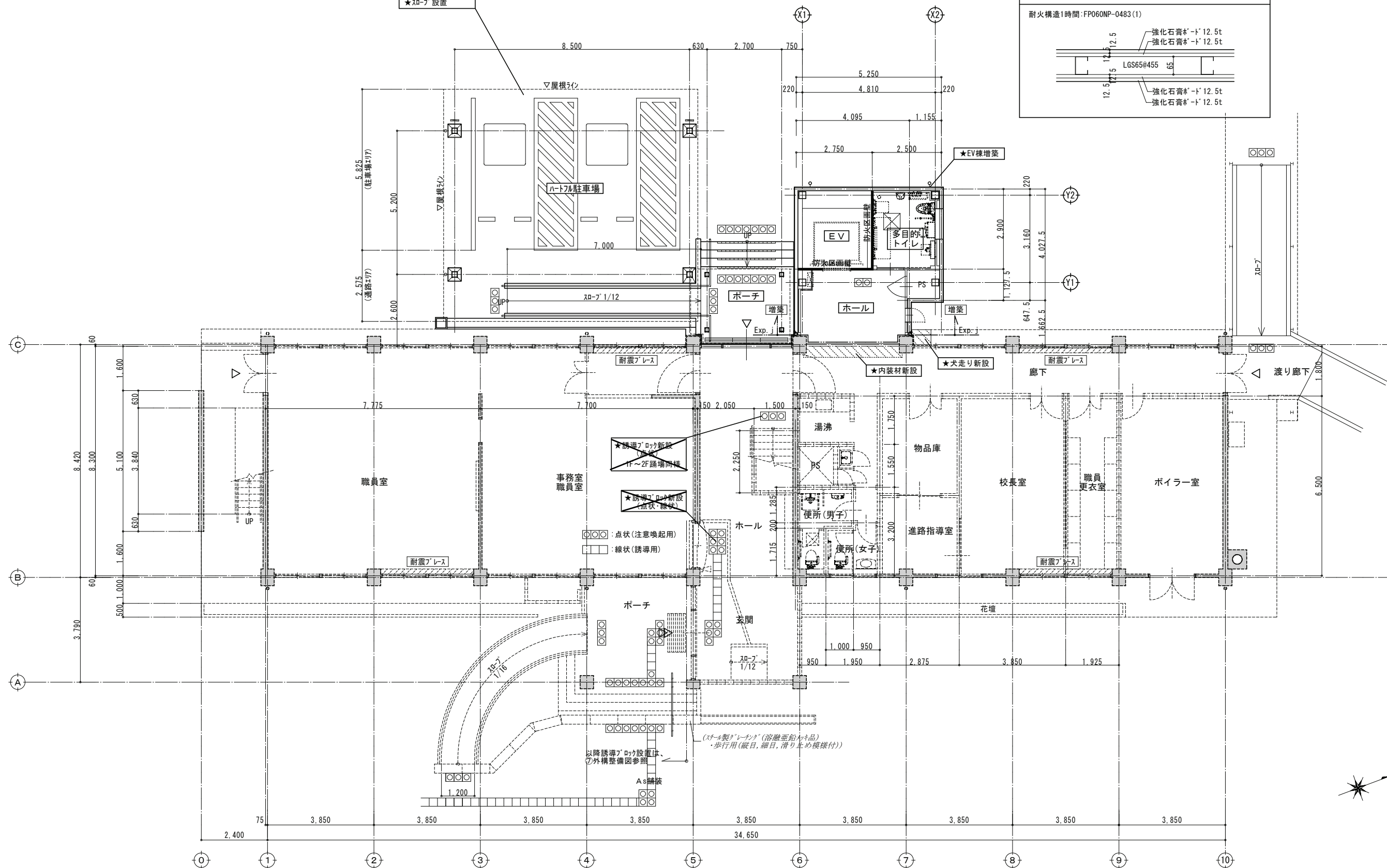
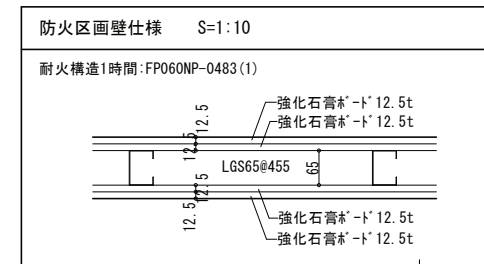
鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日	 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) ①本館棟：1階平面図(既設)	SCALE 1:100 図面No. A-21 61枚の内

★印:新設を示す  
( )書き:既設のまま

改修後

②ハトル駐車場整備参照  
★ハトル駐車場新設  
★キ-子新設  
★XO-7 設置



1階平面図(改修後) S=1:100

撤去復旧部分を示す



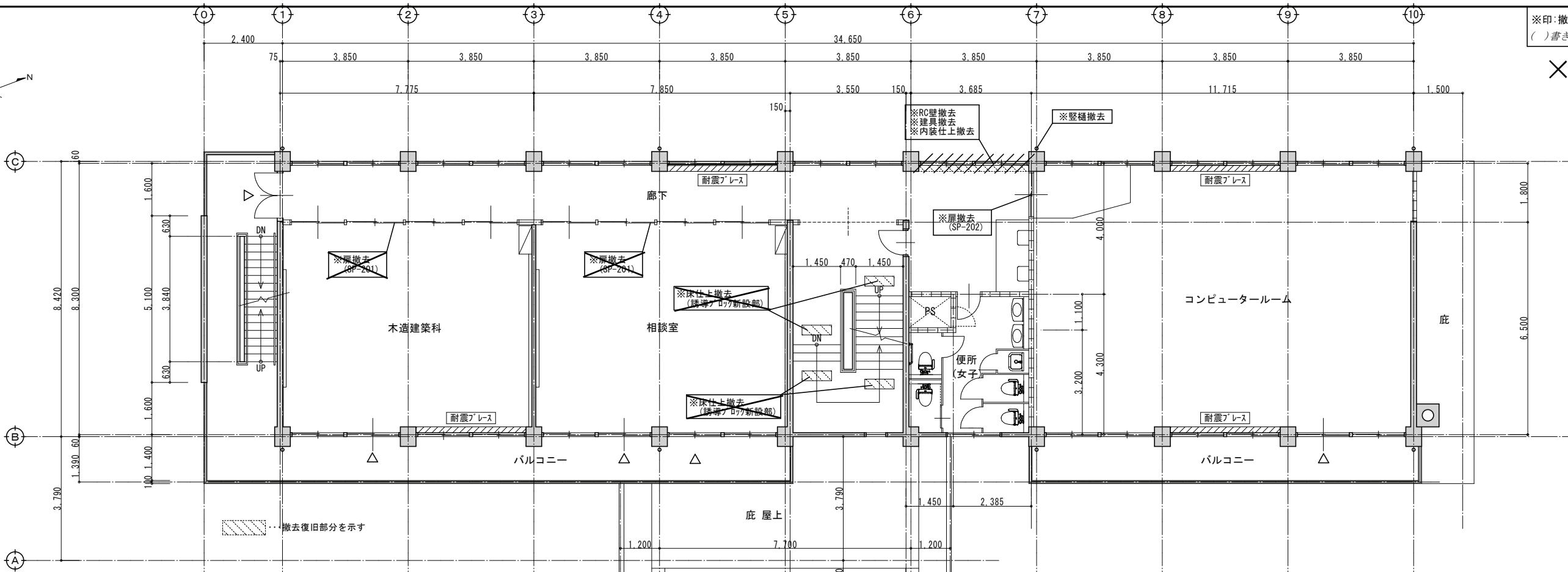
鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日	 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689	管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)  ①本館棟:1階平面図(改修後)	SCALE 1:100	図面No. A-22
					担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖	

※印: 撤去処分を示す  
( )書き: 既設のまま

既設

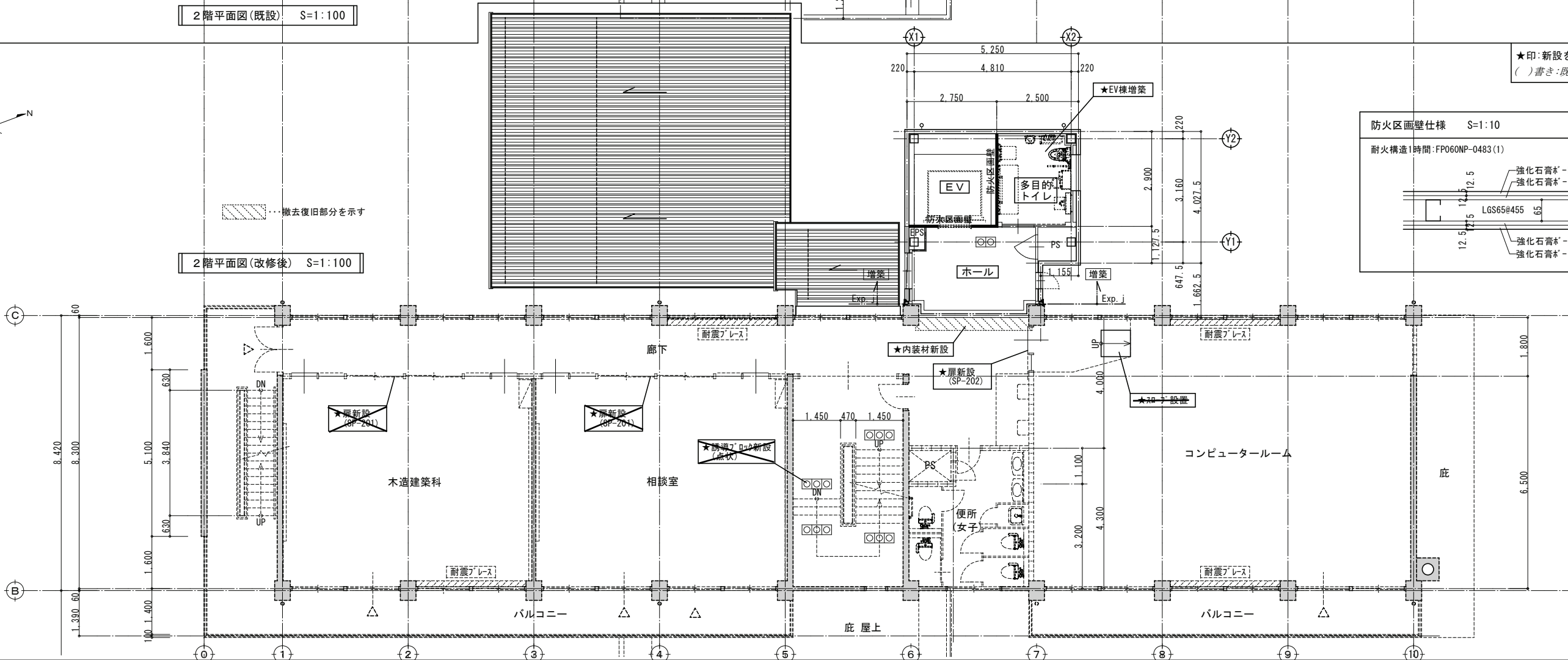
× / // // ...撤去(処分)部分



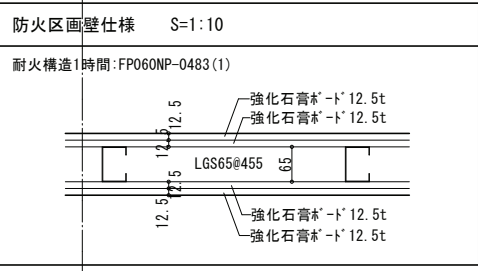
2階平面図(既設) S=1:100

★印: 新設を示す  
( )書き: 既設のまま

改修後



2階平面図(改修後) S=1:100



附記	設計年月日

**(有)フジ総合設計事務所**  
 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地  
 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠  
 担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖  
 製図 1級建築士 第 号

名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
SCALE	1:100

図面No.	A-23
枚の内	61

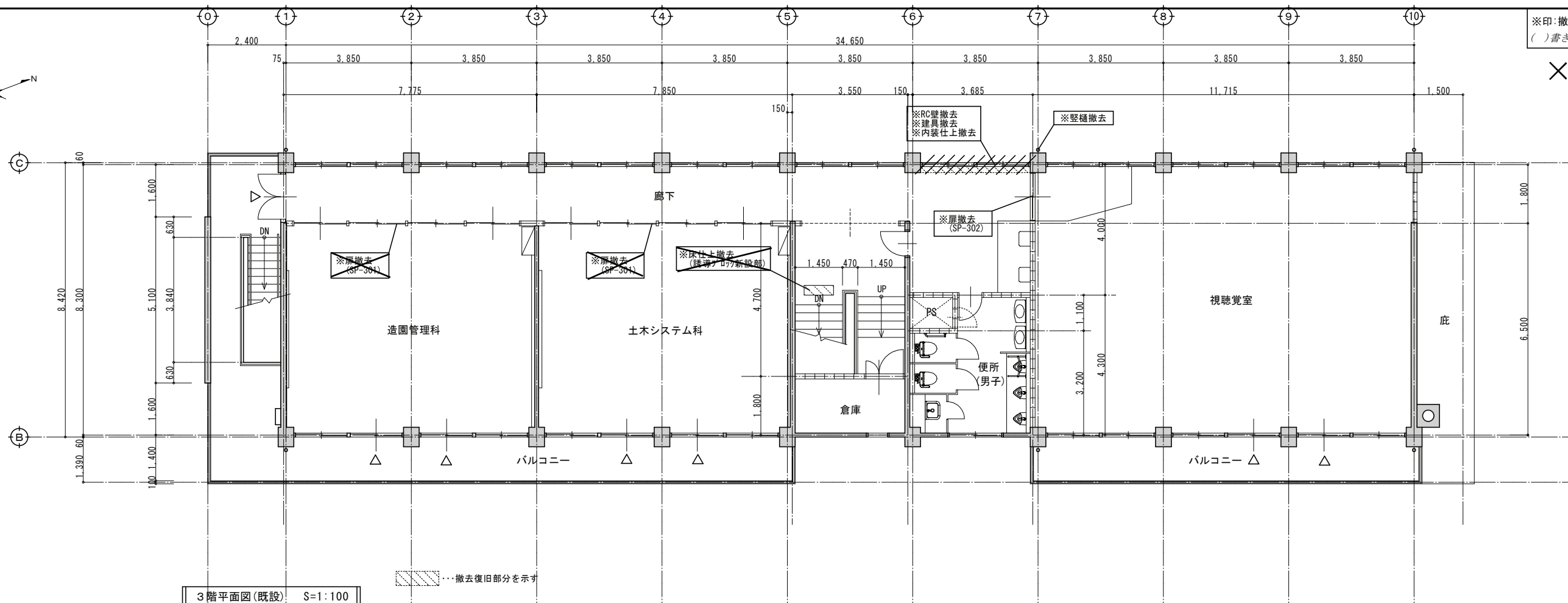
鳥取県  
 令和6年度  
 J2400366  
 総務部営繕課

①本館棟: 2階平面図(既設・改修後)

※印: 撤去処分を示す  
( )書き: 既設のまま

既設

× / // // ...撤去(処分)部分

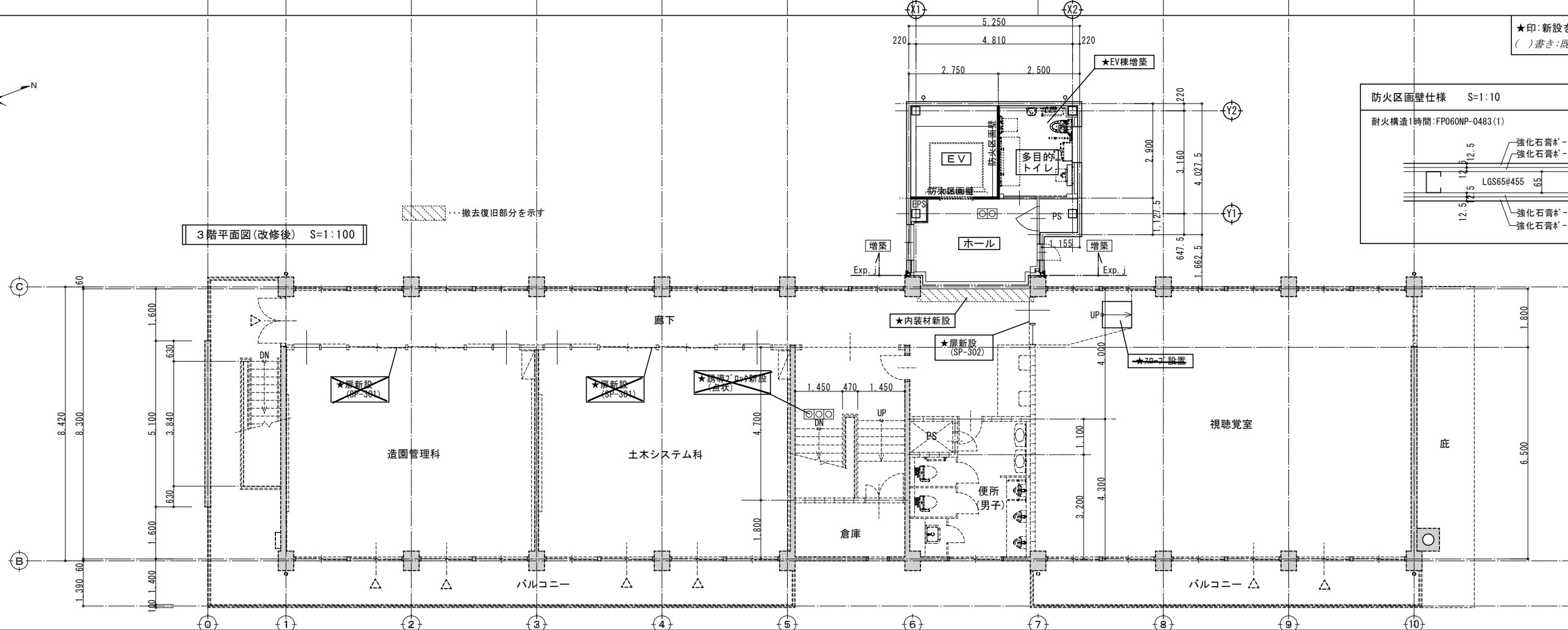


3階平面図(既設) S=1:100

撤去復旧部分を示す

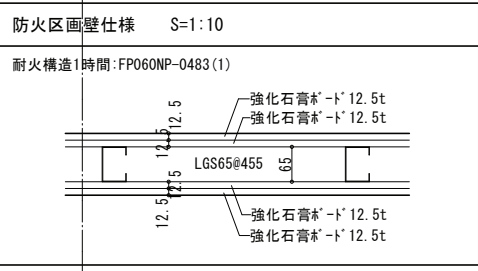
★印: 新設を示す  
( )書き: 既設のまま

改修後



3階平面図(改修後) S=1:100

撤去復旧部分を示す



防火区画壁仕様 S=1:10

耐火構造1時間: FPO60NP-0483(1)

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日

**(有)フジ総合設計事務所**  
〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地  
TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689

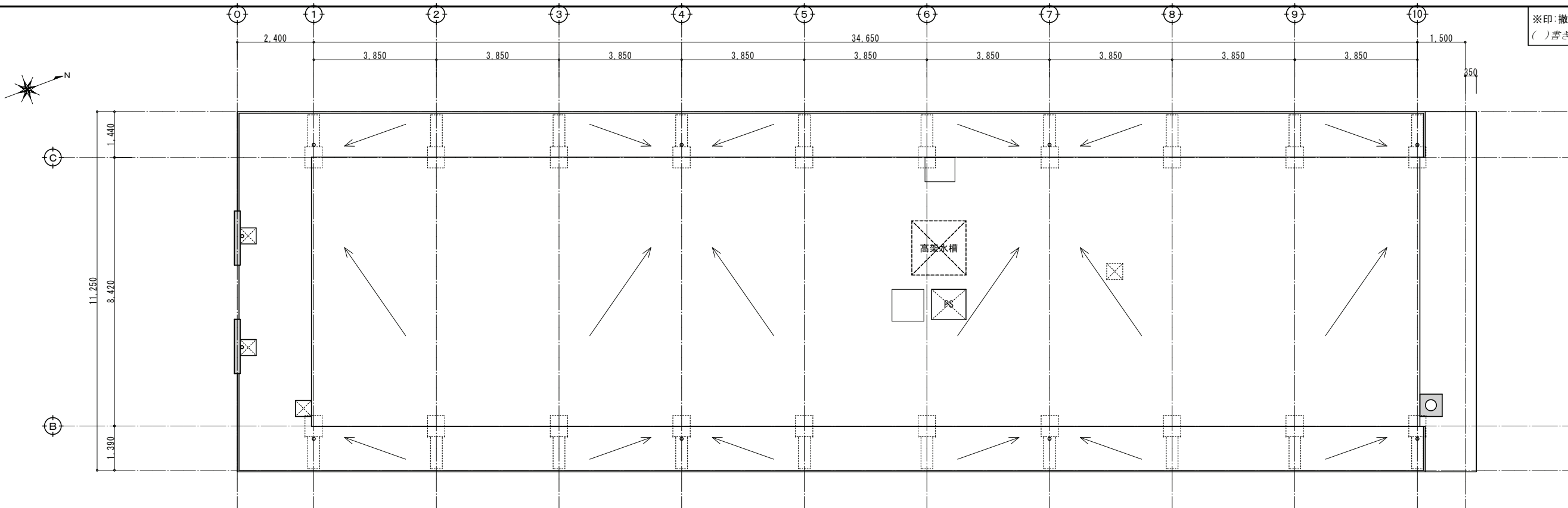
管理建築士 1級建築士 担当・製図	第325872号	竹中 誠
1級建築士 製図	第379560号	永田 靖
1級建築士	第 号	

名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
SCALE	1:100
図面No.	A-24
枚の内	61

①本館棟: 3階平面図(既設・改修後)

※印:撤去処分を示す  
( )書き:既設のまま

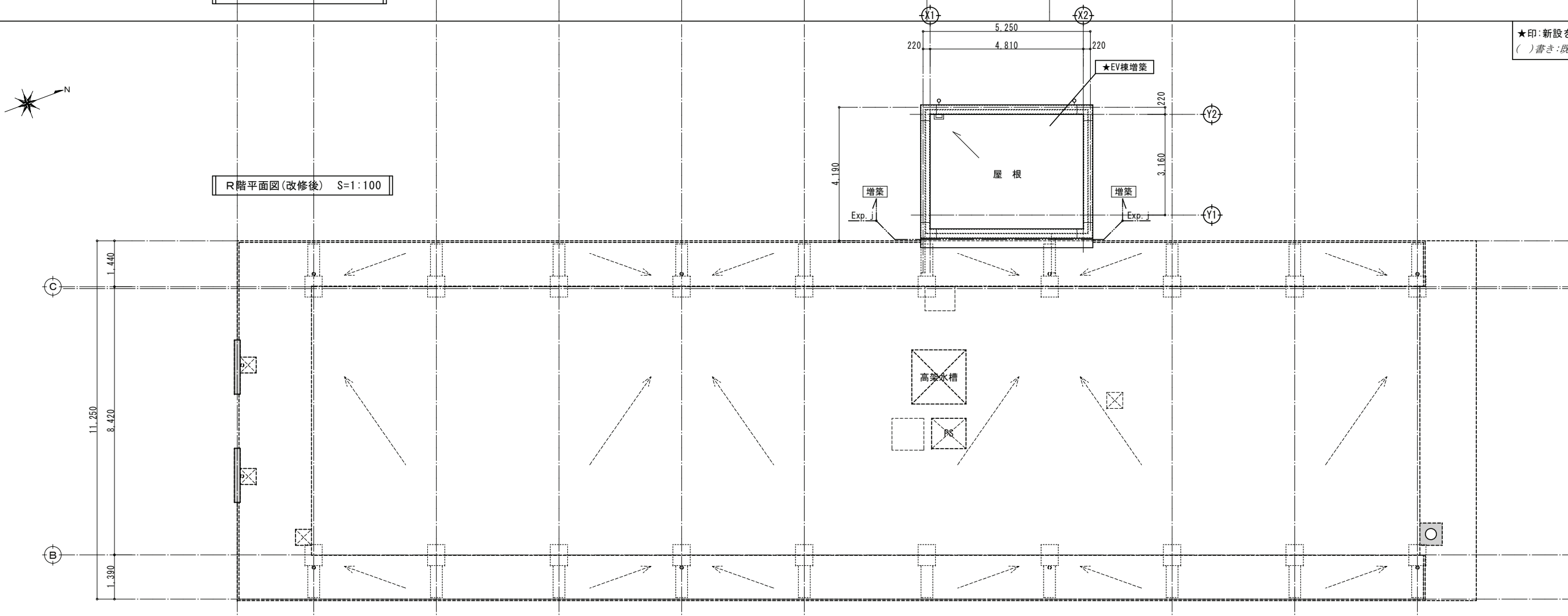
既設



R階平面図(既設) S=1:100

★印:新設を示す  
( )書き:既設のまま

改修後



R階平面図(改修後) S=1:100

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日

**(有)フジ総合設計事務所**  
〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町1-4-3番地  
TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

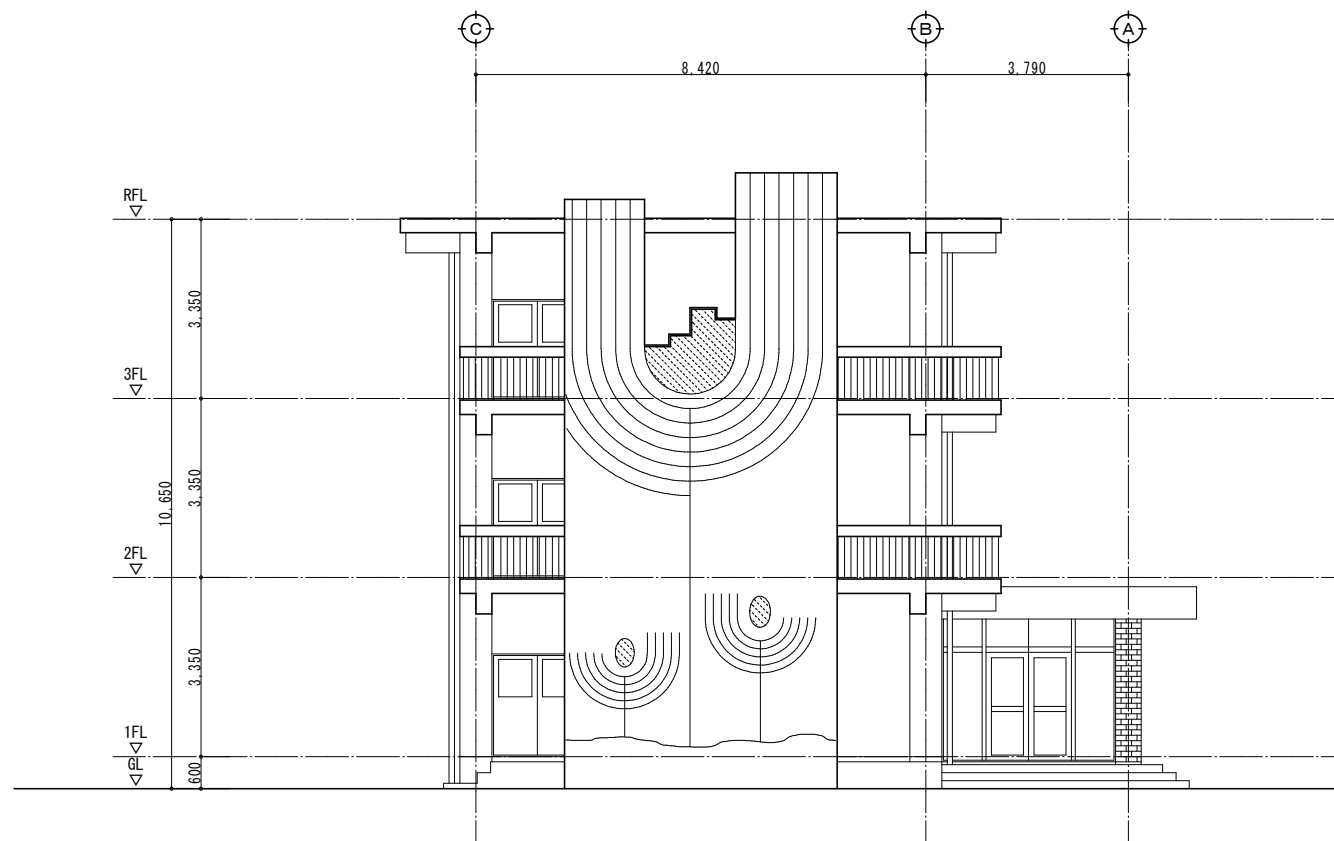
管理建築士 1級建築士 第325872号	竹中 誠
担当・製図 1級建築士 第379560号	永田 靖
製図 1級建築士 第 号	

名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
①本館棟: R階平面図(既設・改修後)	

SCALE	1:100	図面No.	A-25
			61
			枚の内

※印:撤去処分を示す  
( )書き:既設のまま

既設



南側立面図 S=1:100

凡例	
●	撤去・新設建具 (撤去工法)
□	新設建具
⊗	撤去建具



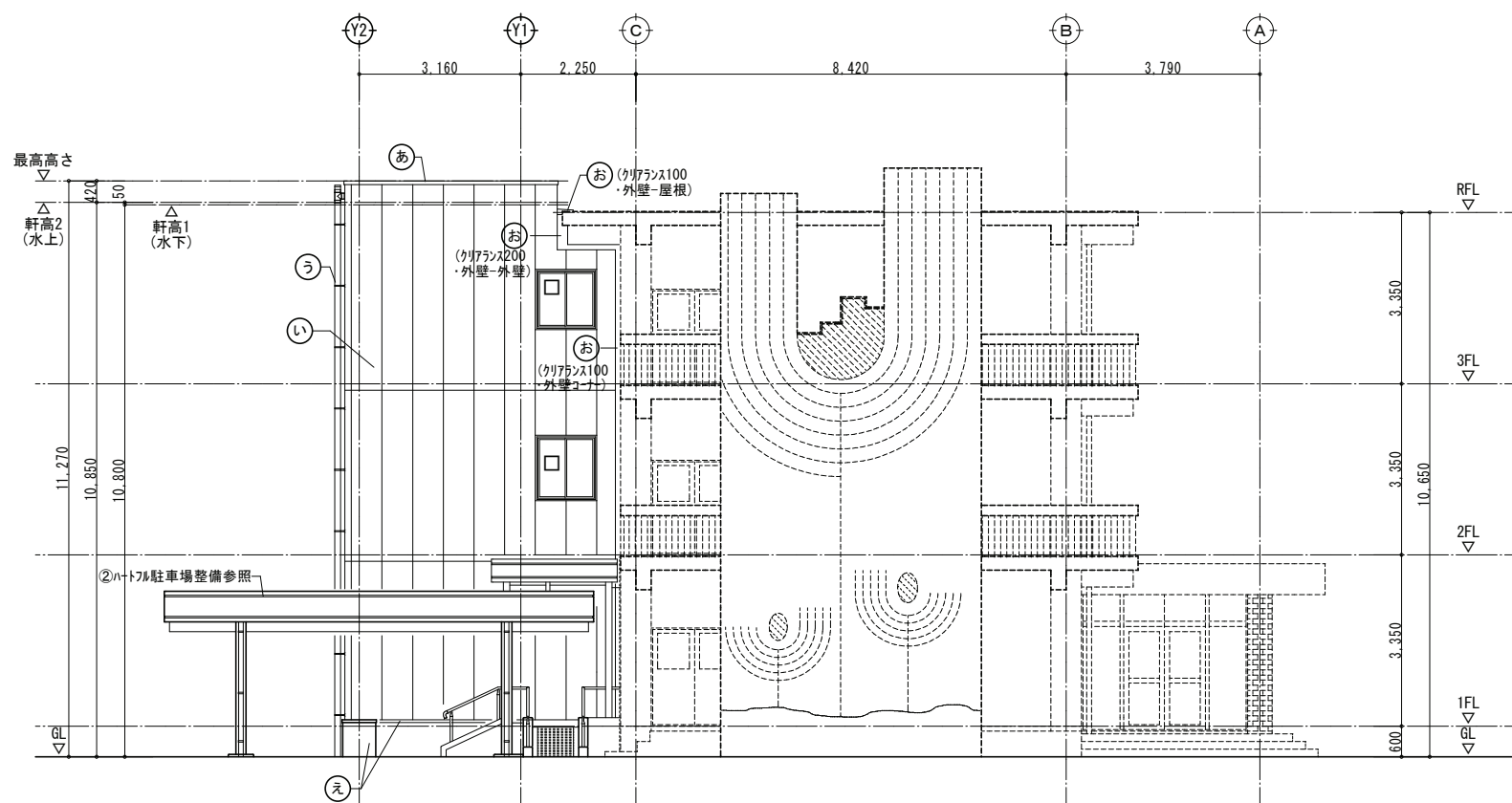
東側立面図 S=1:100

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日	 <b>(有)フジイ総合設計事務所</b> 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町1-4-3番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) ①本館棟:立面図1(既設)	SCALE 1:100	図面No. A-26 61 枚の内

★印:新設を示す  
( )書き:既設のまま

改修後

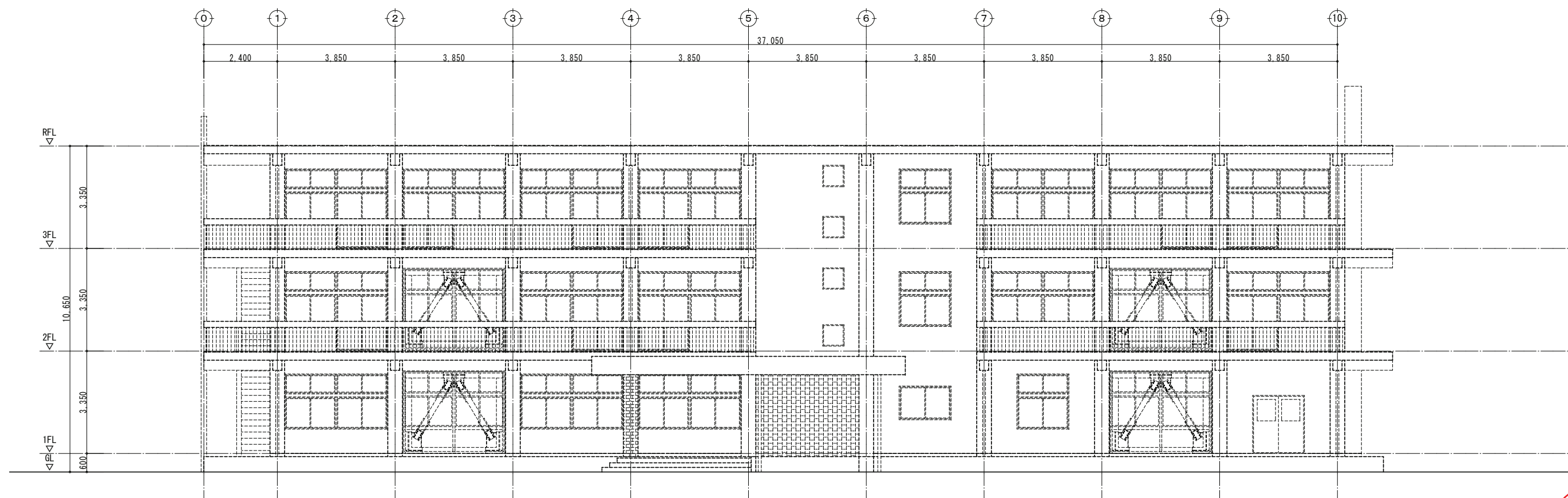


南側立面図(改修後) S=1:100

外部仕上表 (改修後)

あ	屋根	合成高分子系 $\mu$ -フィン $\mu$ シート防水(S-F1)/ $\mu$ 合成スラブ 130t(山高H50), 7 $\mu$ 押え金物 笠木:7 $\mu$ 製W300
い	外壁	防水形複層塗材 E/ALCa $\mu$ 糸125t縦張り下地(下地調整)
う	樋	横引ドレン100(鉄製) 呼樋 $\mu$ -VP100 シート防水用 縦樋: $\mu$ -VP100 SUS製摺金物 $\mu$ 1,200(ALC用 $\mu$ カ) 縦樋(既設ドレン $\mu$ 新設縦樋接続): $\mu$ -VP100 SUS製摺金物 $\mu$ 1,200, 一部屋外排水用可とう継手VP100 $\times$ L500
え	根廻り	水切: $\mu$ -GL鋼板0.4t加工 7 $\mu$ シリコン樹脂系多彩色仕上塗材+CON打放し下地
お	Exp. J	7 $\mu$ 製 ガラス100(既設片持梁-外壁部分はガラス200) 耐火仕様

凡例	
●	撤去・新設建具(撤去工法)
□	新設建具
⊗	撤去建具



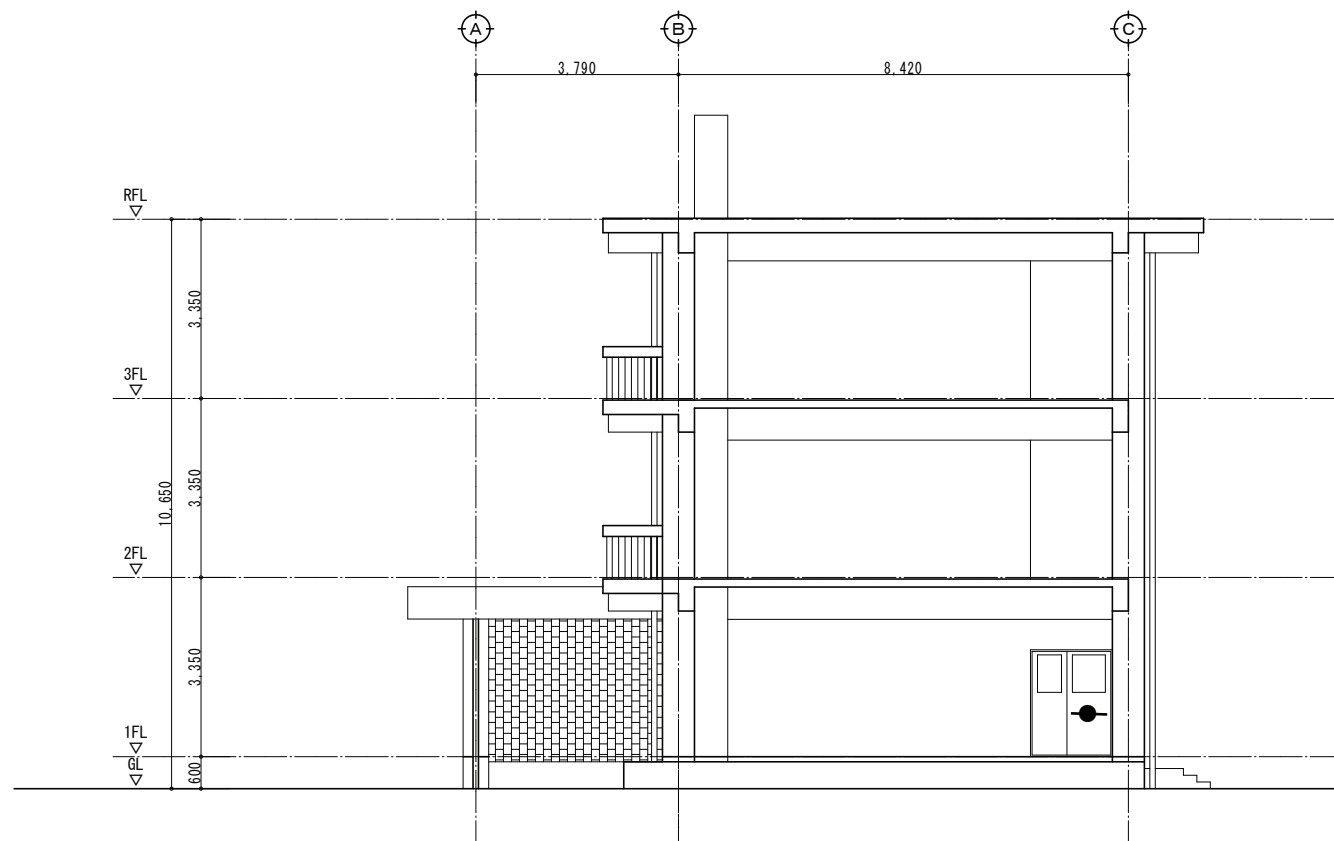
東側立面図(改修後) S=1:100

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日	 <b>(有)フジイ総合設計事務所</b> 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町1 4 3 番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) ①本館棟:立面図1(改修後)	SCALE 1:100	図面No. A-27 61 枚の内

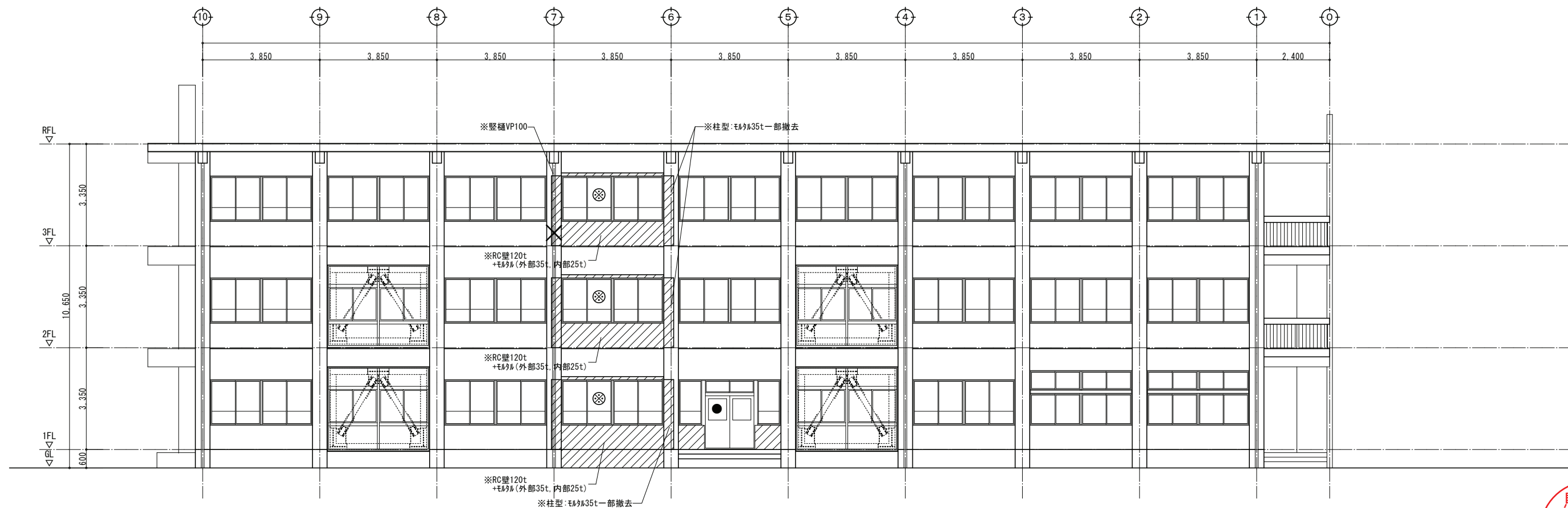
※印:撤去処分を示す  
( )書き:既設のまま

既設



凡例	
●	撤去・新設建具 (撤去工法)
□	新設建具
⊗	撤去建具

北側立面図(既設) S=1:100



西側立面図(既設) S=1:100

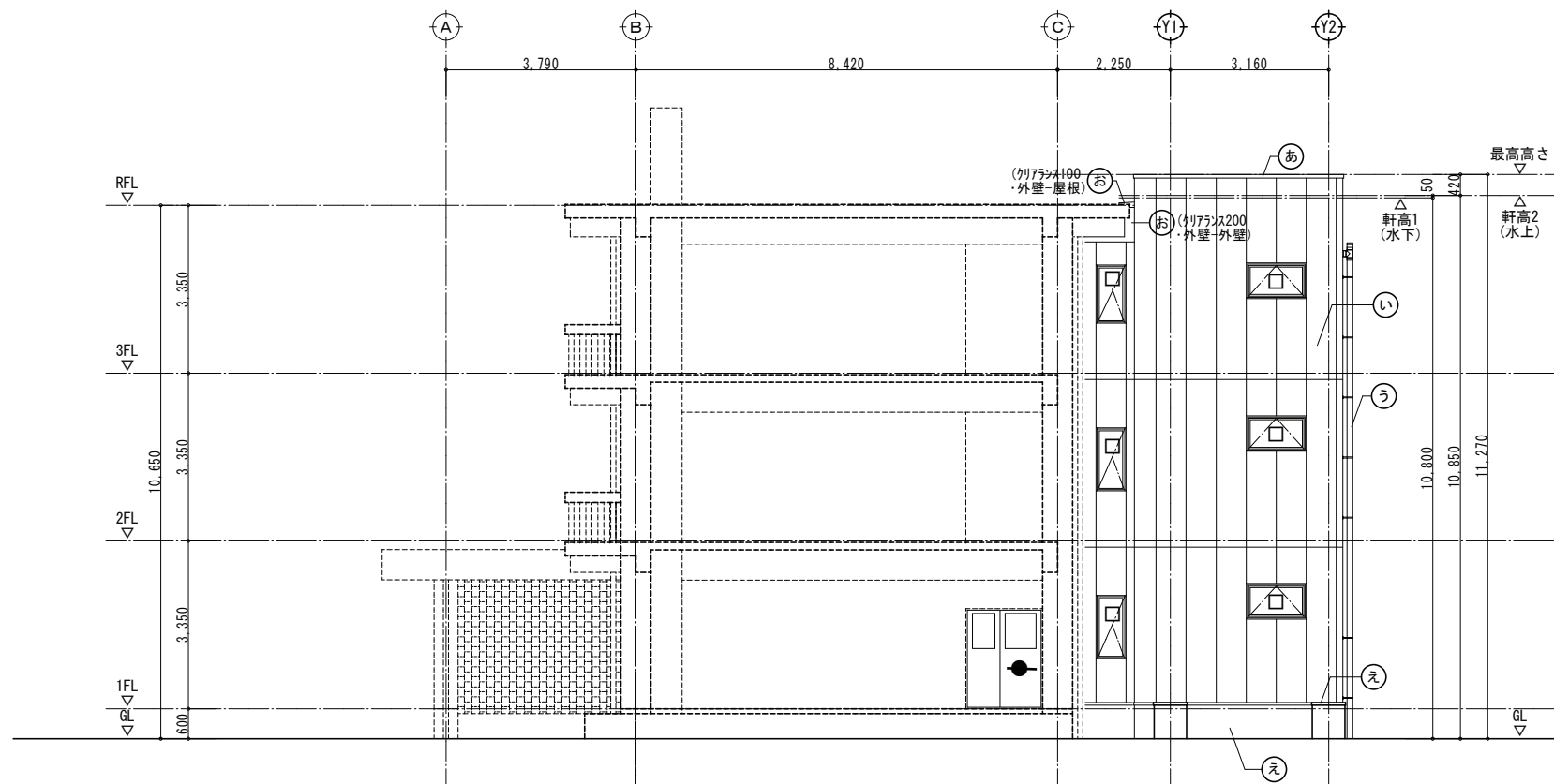
...※撤去部分

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日	 <b>(有)フジイ総合設計事務所</b> 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) ①本館棟:立面図2(既設)	SCALE 1:100	図面No. A-28 61 枚の内

★印:新設を示す  
( )書き:既設のまま

改修後

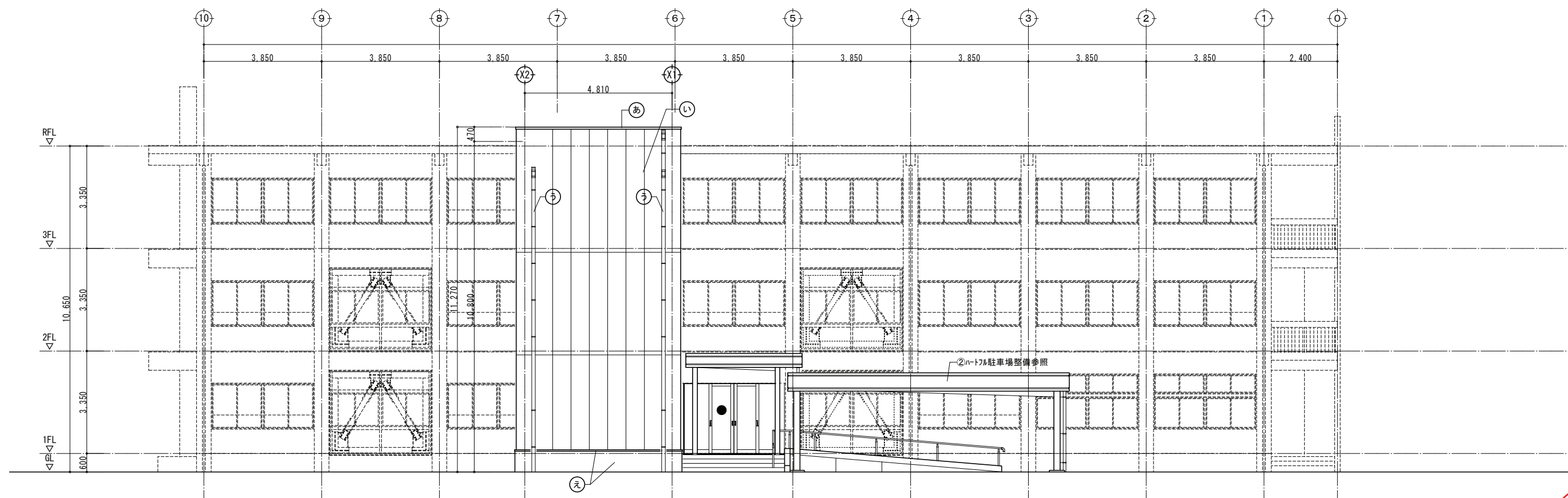


北側立面図(改修後) S=1:100

外部仕上表 (改修後)

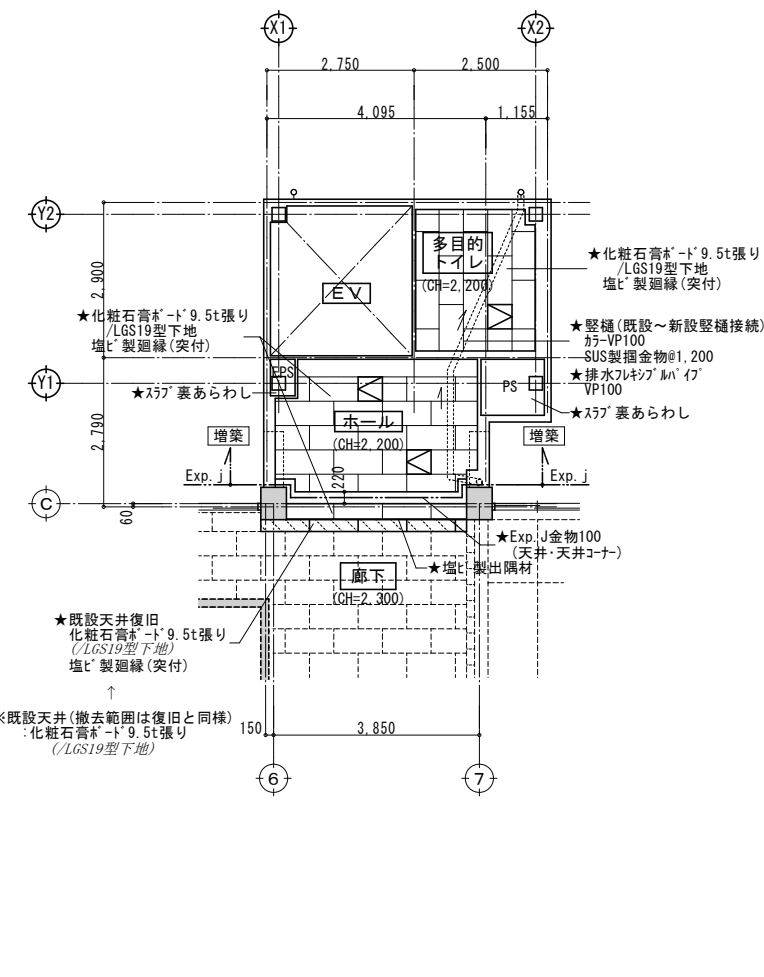
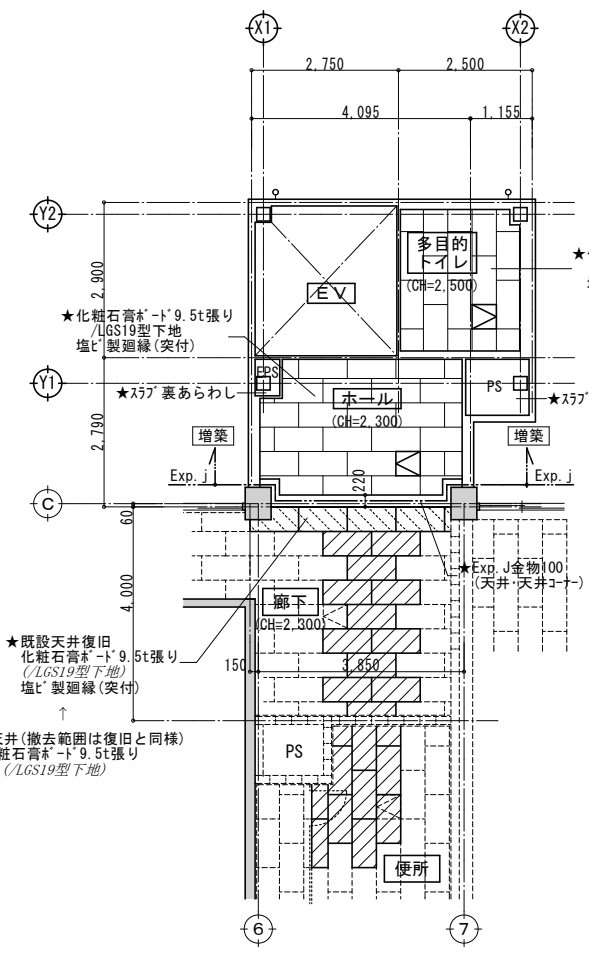
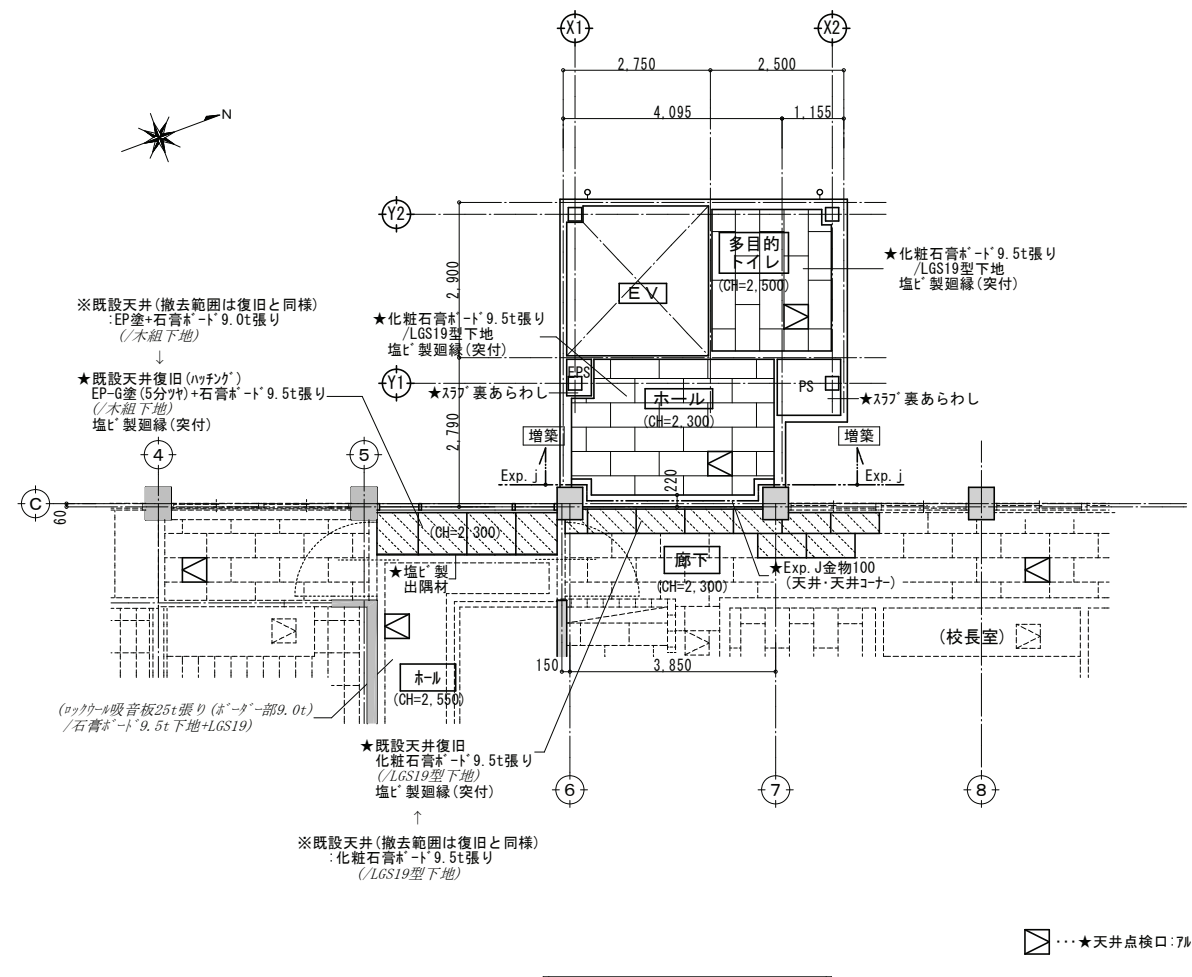
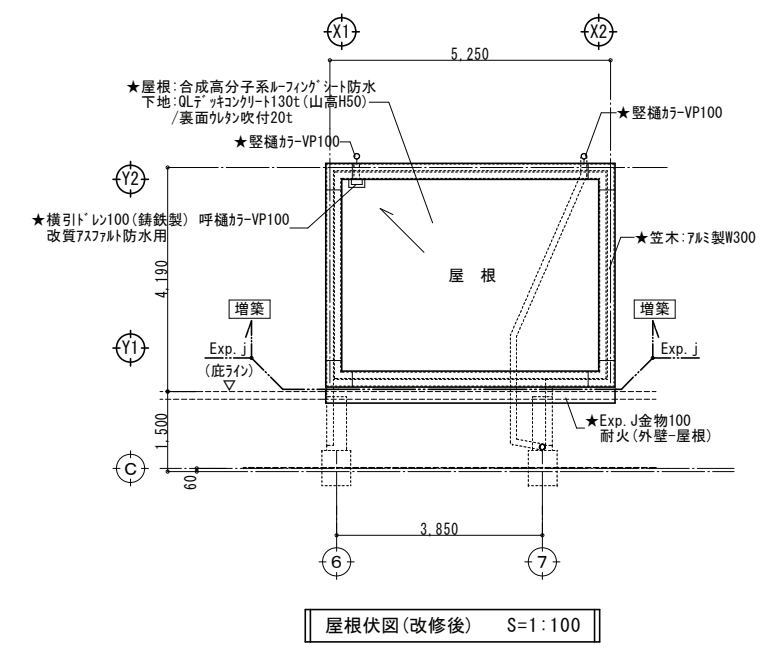
あ	屋根	合成高分子系 $\mu$ -フィンシート防水(S-F1)/ $\mu$ 合成スラブ130t(山高H50),7 $\mu$ 押し金物 笠木:7 $\mu$ 製W300
い	外壁	防水形複層塗材E/ALC $\alpha$ 補125t縦張り下地(下地調整)
う	窓	横引 $\mu$ レン100(鋳鉄製) 呼樋 $\mu$ -VP100 シート防水用 縦樋: $\mu$ -VP100 SUS製掘金物 $\phi$ 1.200(ALC用 $\mu$ -カ) 縦樋(既設 $\mu$ レン $\sim$ 新設縦樋接続): $\mu$ -VP100 SUS製掘金物 $\phi$ 1.200, 一部屋外排水用可とう継手VP100 $\times$ L500
え	根廻り	水切: $\mu$ -GL鋼板0.4t加工 アクリル樹脂系多彩色仕上塗材+CON打放し下地
お	Exp. J	7 $\mu$ 製 クリテックス100(既設片持梁-外壁部分はクリテックス200) 耐火仕様

凡例	
●	撤去・新設建具(撤去工法)
□	新設建具
⊗	撤去建具



西側立面図(改修後) S=1:100

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課



- ☒ ...★天井点検口:7&#226;製450口(目地付)
- ▨ ...既設天井仕上材撤去復旧 (下地LGS19型下地組は既設のまま)
- ▨ ...既設天井仕上材撤去復旧(別途機械設備工事用) (下地LGS19型下地組は既設のまま)
- ※印:撤去処分を示す
- ★印:新設を示す
- ( )書き:既設のまま



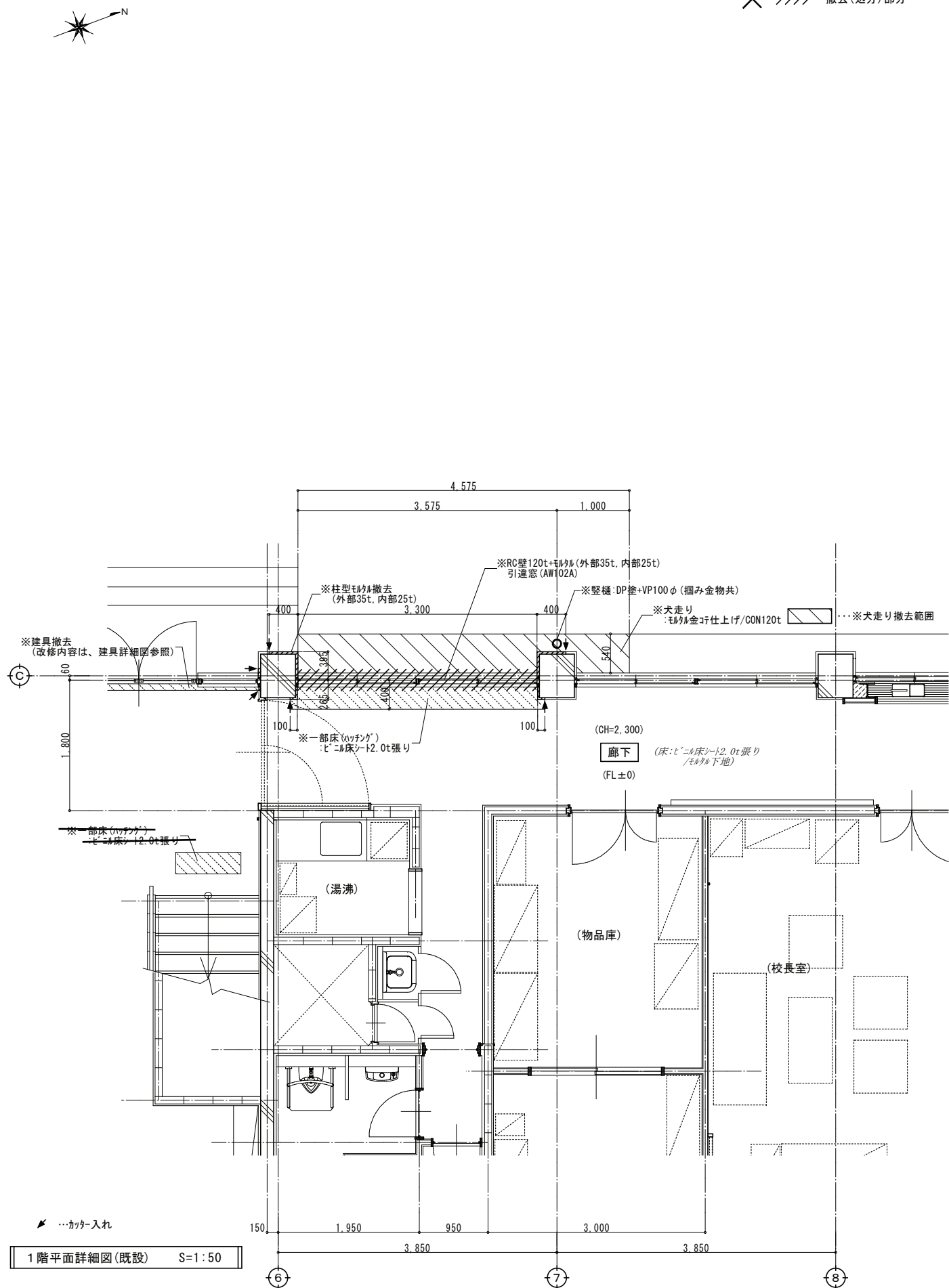
附記 . . .	設計年月日 .	 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) ①本館棟:天井伏図・屋根伏図	SCALE 1:100 図面No. A-30 61枚の内
	管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠 担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖 製図 1級建築士 第 号				

※印:撤去処分を示す  
( )書き:既設のまま  
X・////撤去(処分)部分

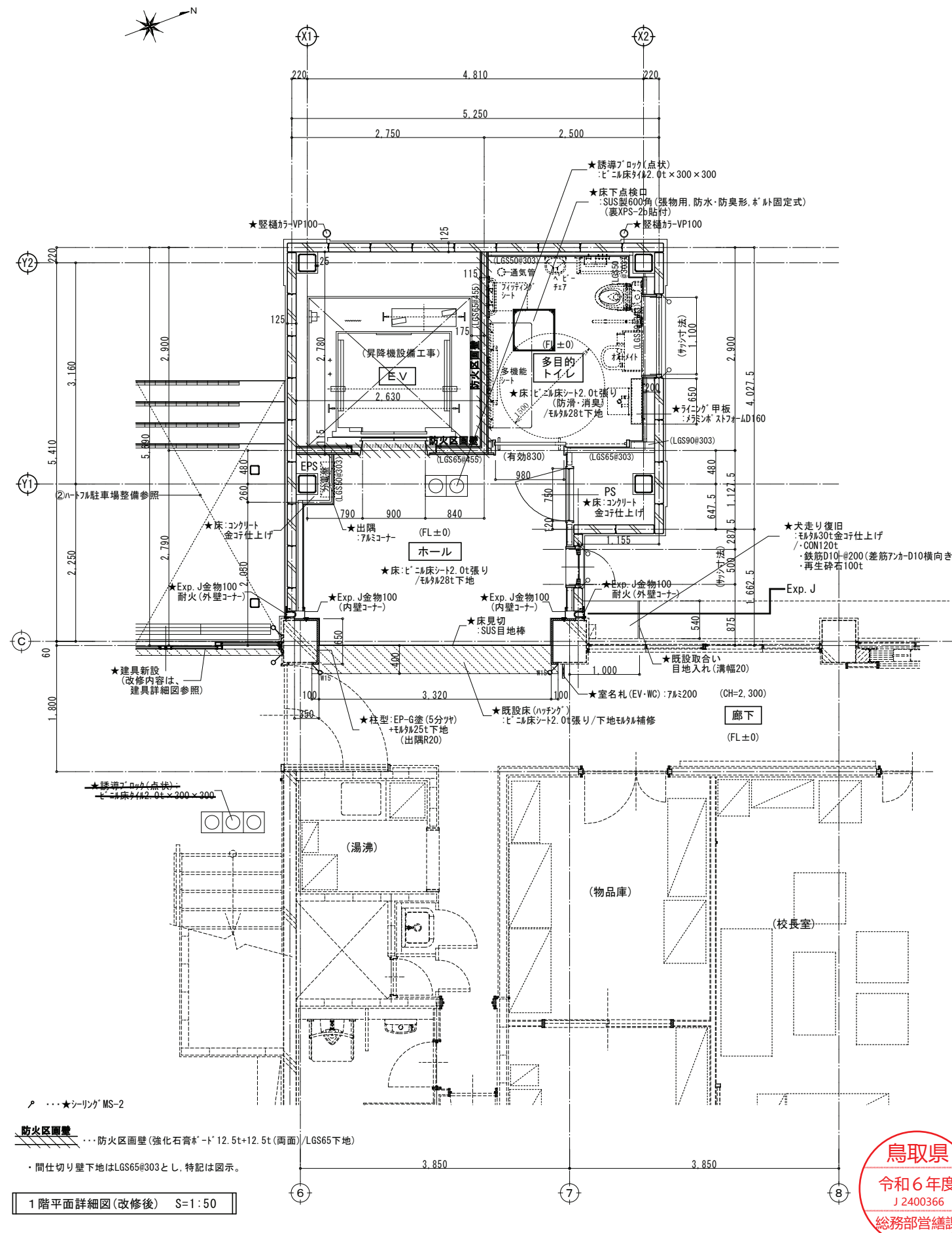
既設

★印:新設を示す  
( )書き:既設のまま

改修後



1階平面詳細図(既設) S=1:50



1階平面詳細図(改修後) S=1:50

附記 設計年月日 (有)フジ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) ①本館棟:1階平面詳細図(既設・改修後)	SCALE 1:50	図面No. A-31 61 枚の内
	鳥取県 令和6年度 J2400366 総務部営繕課			

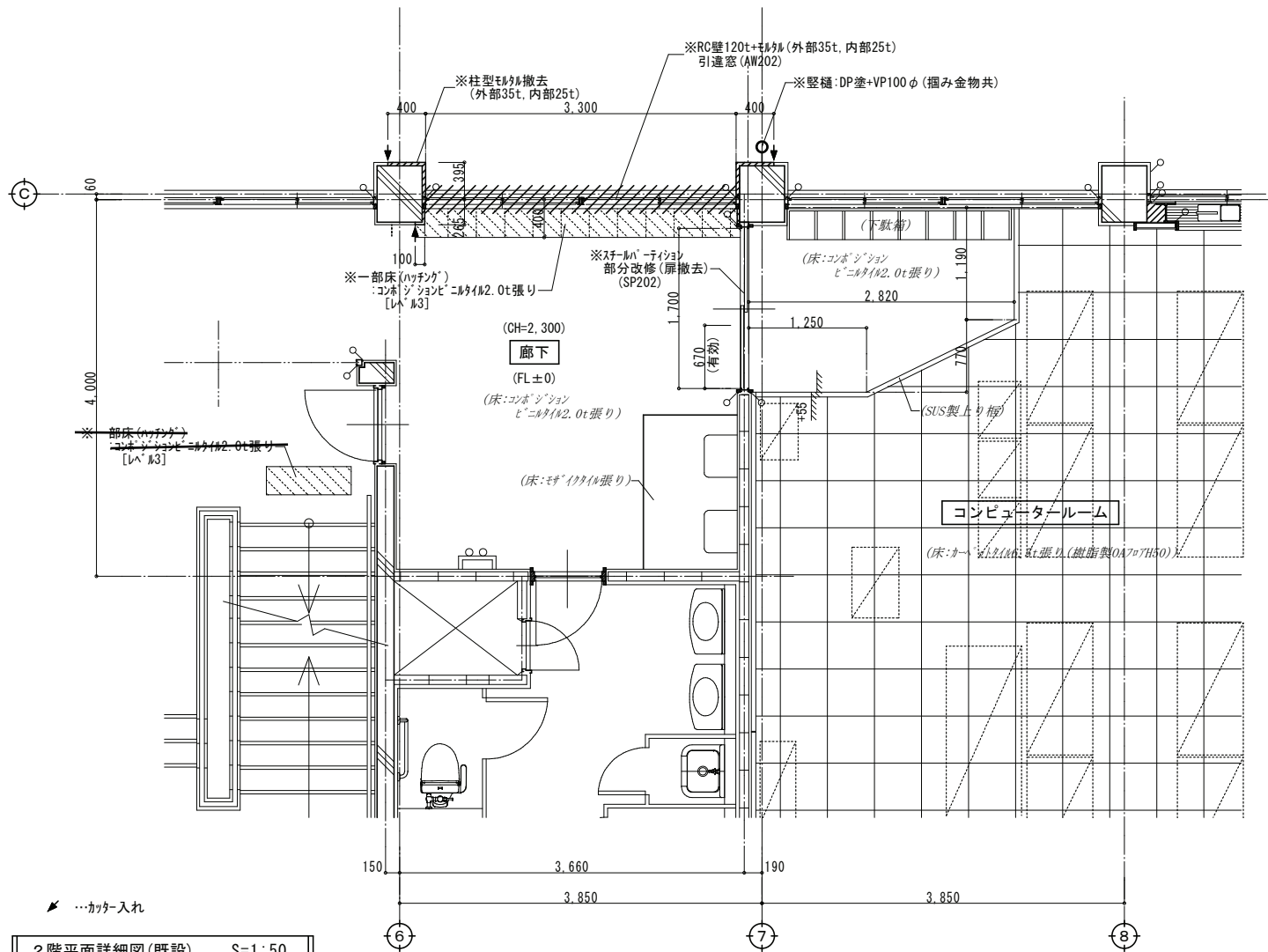
※印:撤去処分を示す  
( )書き:既設のまま

# 既設

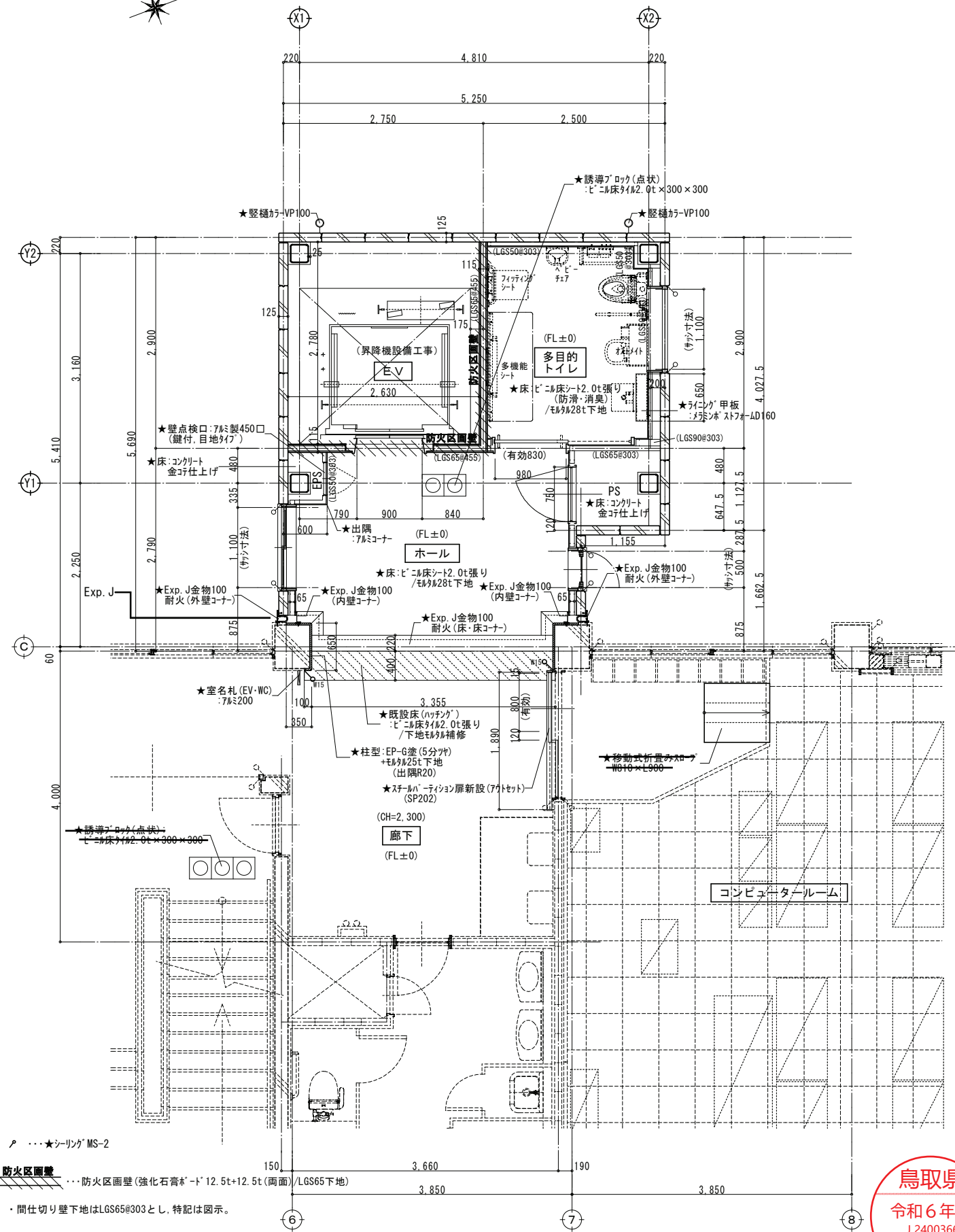
× / // // ...撤去(処分)部分

★印:新設を示す  
( )書き:既設のまま

# 改修後



2階平面詳細図(既設) S=1:50



2階平面詳細図(改修後) S=1:50

鳥取県  
令和6年度  
J 2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日

**(有)フジ総合設計事務所**  
〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地  
TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠	名称
担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
製図 1級建築士 第 号	①本館棟:2階平面詳細図(既設・改修後)

SCALE	図面No.
1:50・100	A-32
	61 枚の内

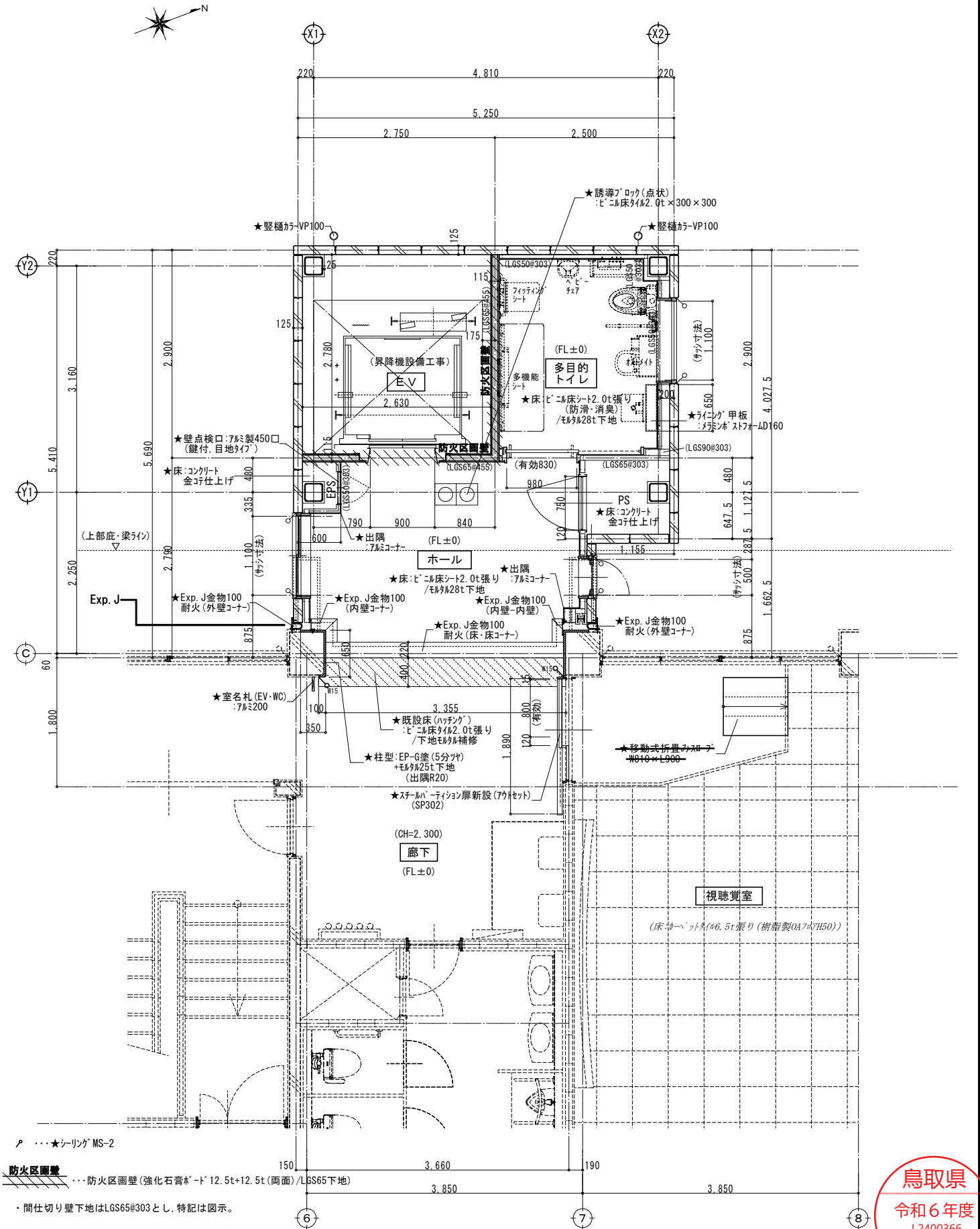
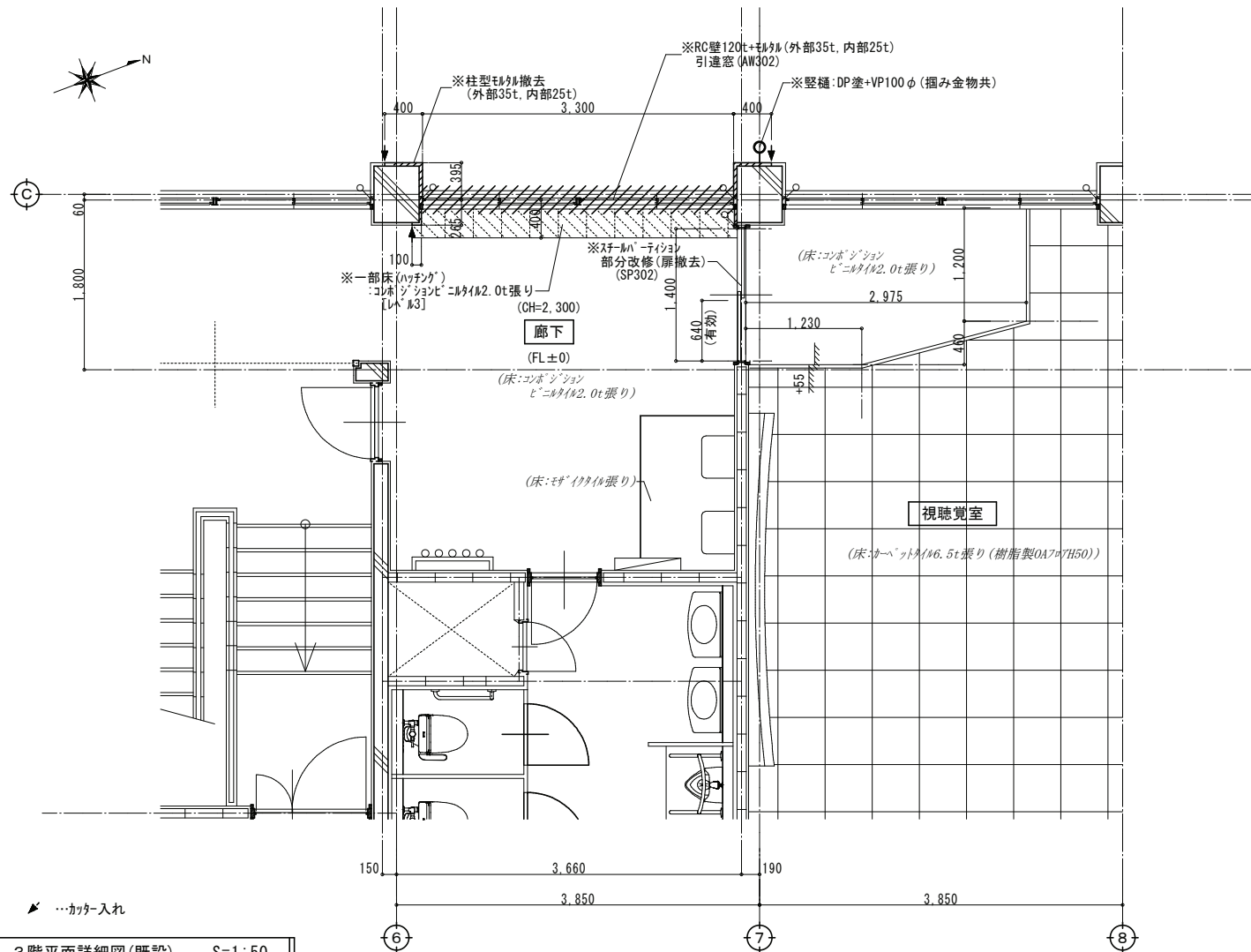
※印:撤去処分を示す  
( )書き:既設のまま

# 既設

× // // // ...撤去(処分)部分

★印:新設を示す  
( )書き:既設のまま

# 改修後



附記	設計年月日

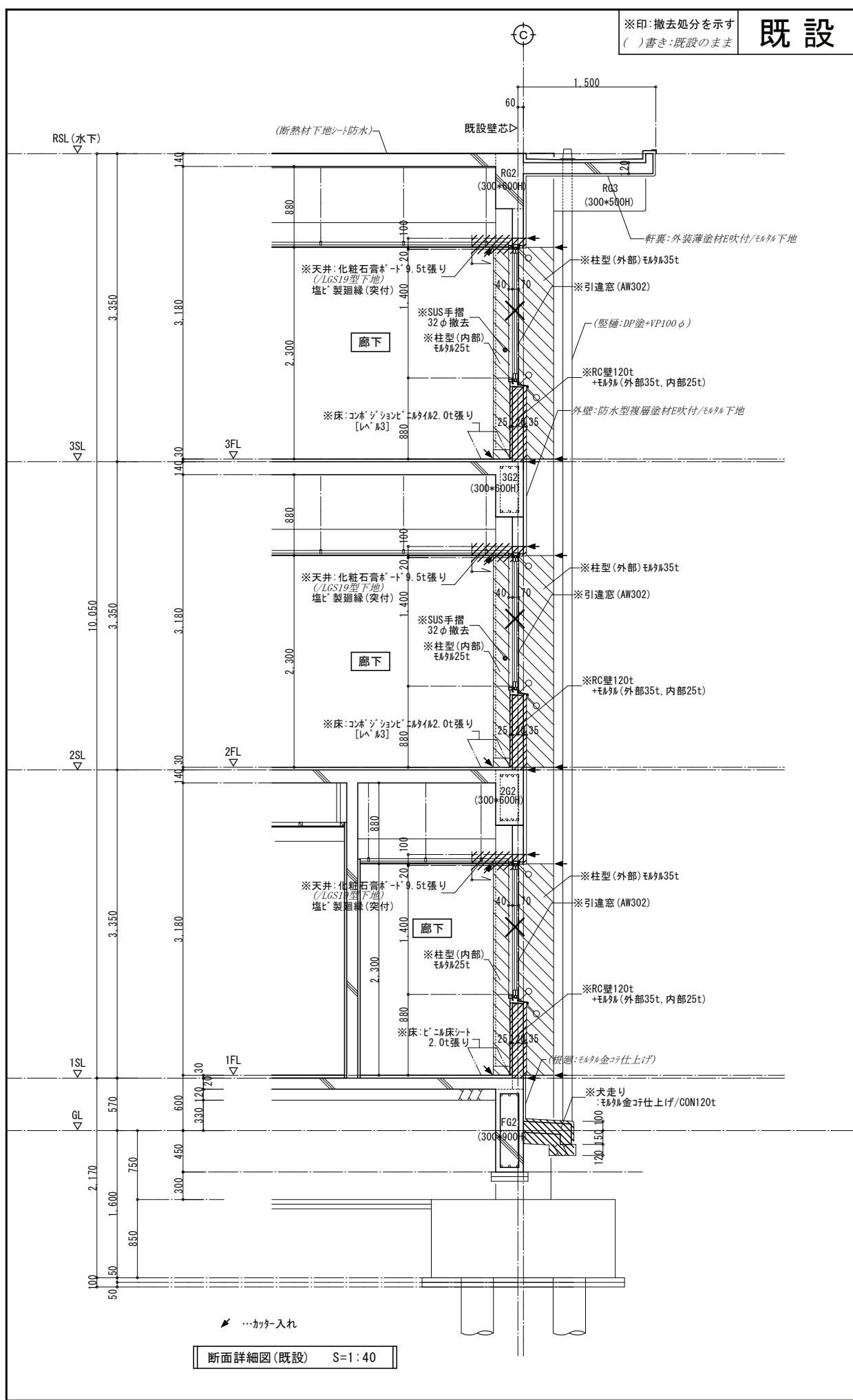
**(有)フジ総合設計事務所**  
〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地  
TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士	竹中 誠
1級建築士	第325872号
担当・製図	永田 靖
1級建築士	第379560号
製図	
1級建築士	第 号

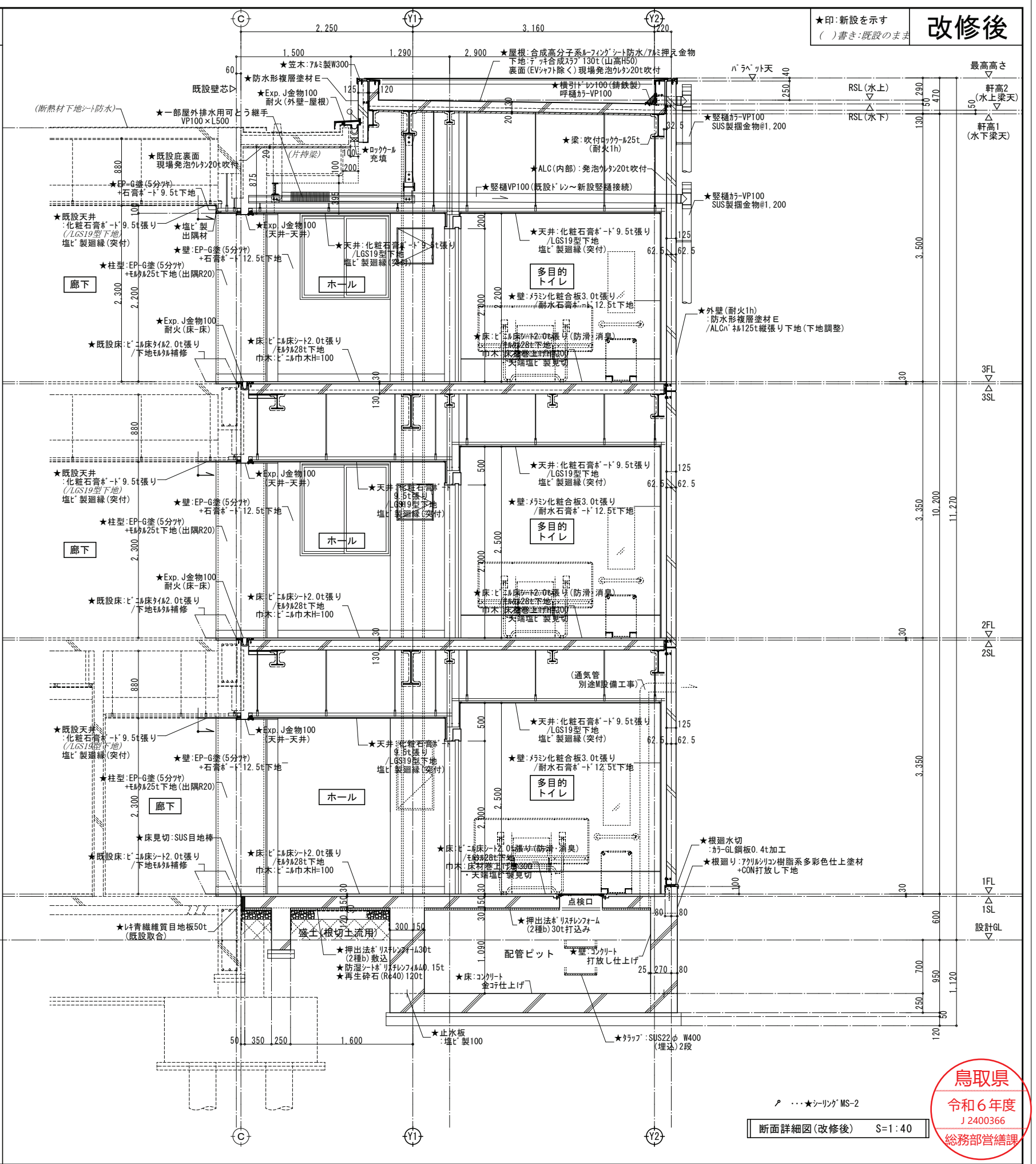
名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
①本館棟:3階平面詳細図(既設・改修後)	

SCALE	1:50・100
図面No.	A-33
61	枚の内





断面詳細図(既設) S=1:40

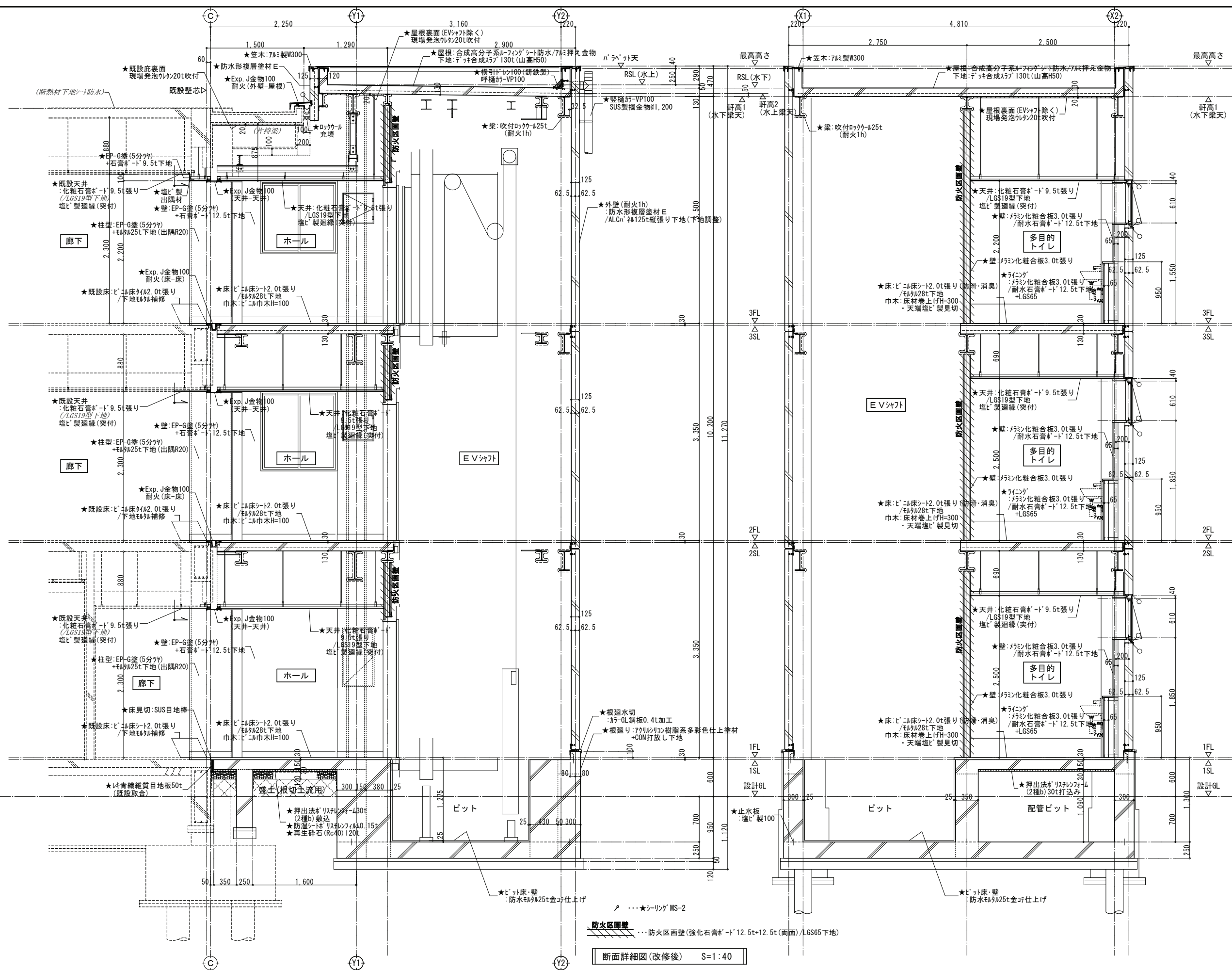


断面詳細図(改修後) S=1:40

附記 ...カッター入れ	設計年月日 . . .	<b>(有)フジ総合設計事務所</b> 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠 担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)	SCALE 1:40	図面No. A-34 61 枚の内
	①本館棟：断面詳細図1(既設・改修後)		鳥取県 令和6年度 J2400366 総務部営繕課			

★印：新設を示す  
( ) 書き：既設のまま

改修後



断面詳細図(改修後) S=1:40

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日

**(有)フジ総合設計事務所**  
〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地  
TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 1級建築士 担当：製図	第325872号	竹中 誠
1級建築士	第379560号	永田 靖
製図 1級建築士	第 号	

名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
SCALE	1:40
図面No.	A-35
	61
	枚の内

①本館棟：断面詳細図2(改修後)

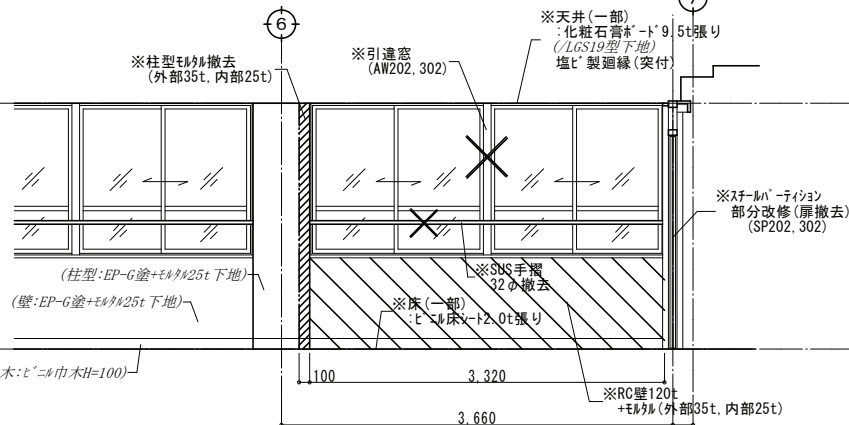
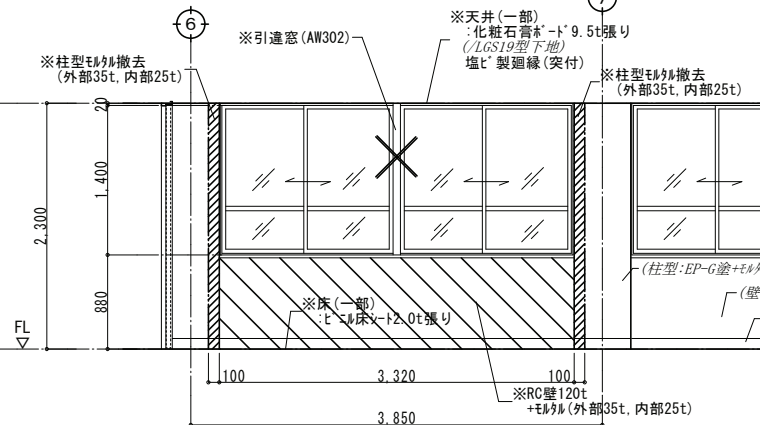
展開図(既設) S=1:50

1階廊下 A

2~3階廊下 A

※印:撤去処分を示す  
( )書き:既設のまま

既設



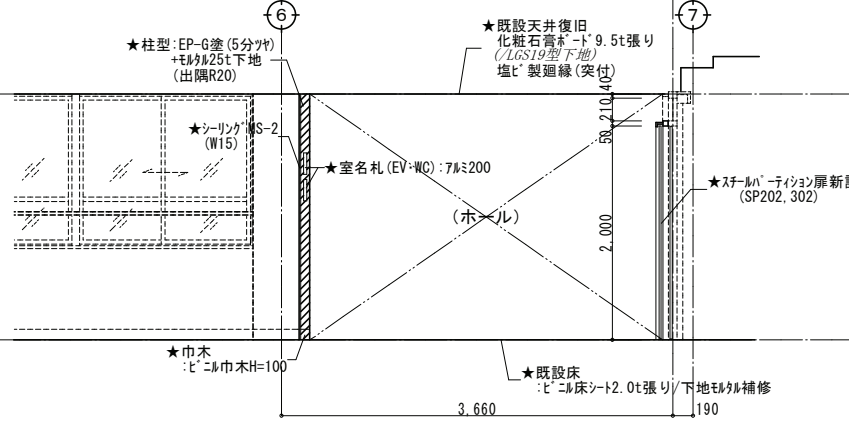
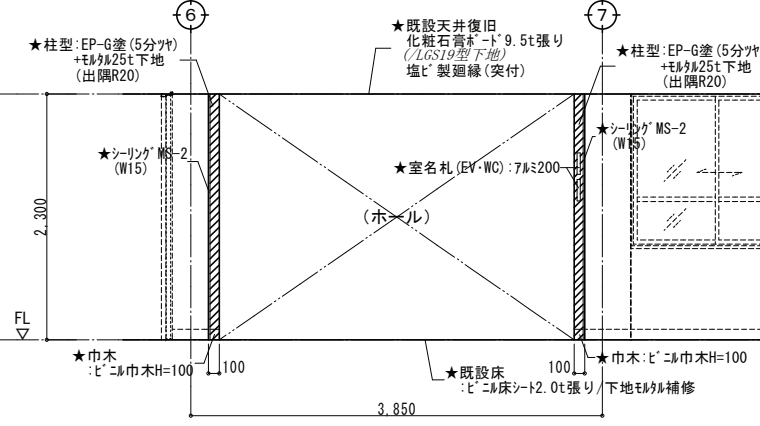
展開図(改修後) S=1:50

1階廊下 A

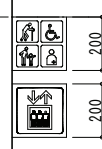
2~3階廊下 A

★印:新設を示す  
( )書き:既設のまま

改修後

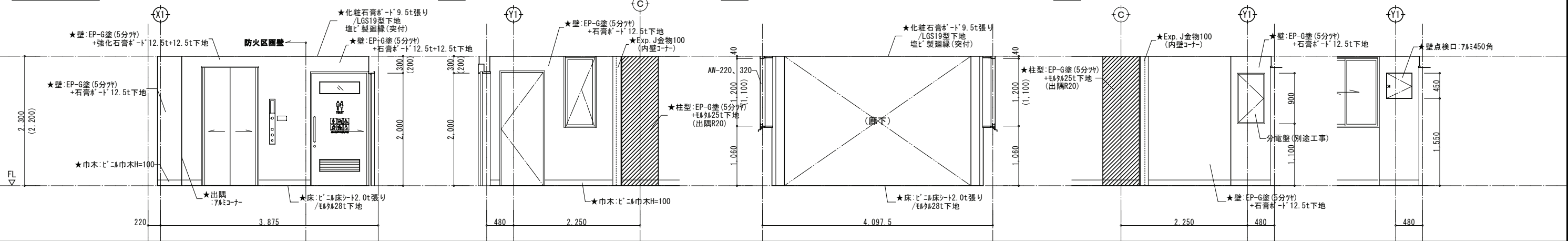


○新設室名札参考バリエーション

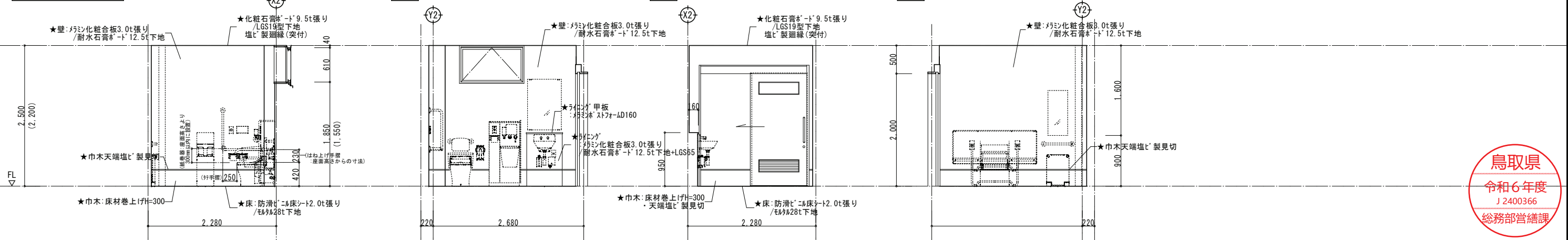


★バリエーション、色彩、フォント、詳細寸法、設置位置は、打ち合わせによる。

1~3階ホール A ( )は、3階部分の寸法。

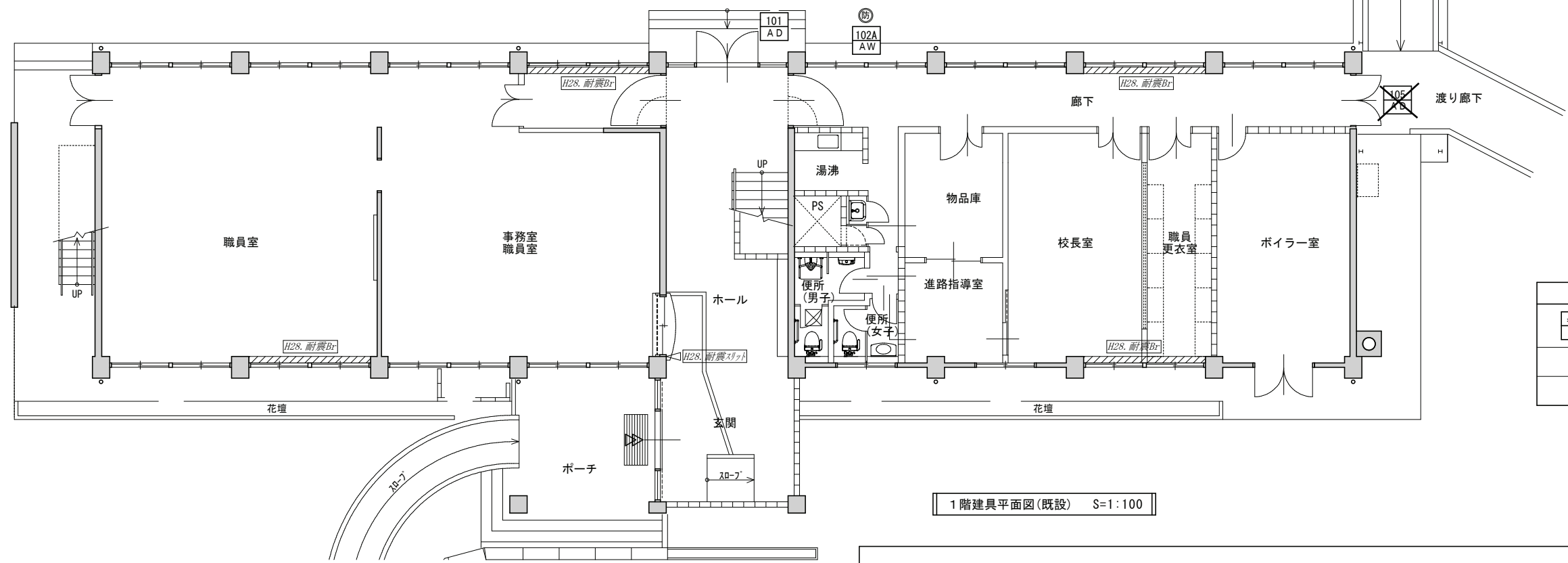


1~3階多目的トイレ A ( )は、3階部分の寸法。



<p>附記</p>	<p>設計年月日</p>	<p><b>(有)フジ総合設計事務所</b> 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689</p>	<p>管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号 製図 1級建築士 第 号</p>	<p>名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)</p>	<p>SCALE 1:50</p>	<p>図面No. A-36 61 枚の内</p>
-----------	--------------	--	---	---	-------------------	------------------------------

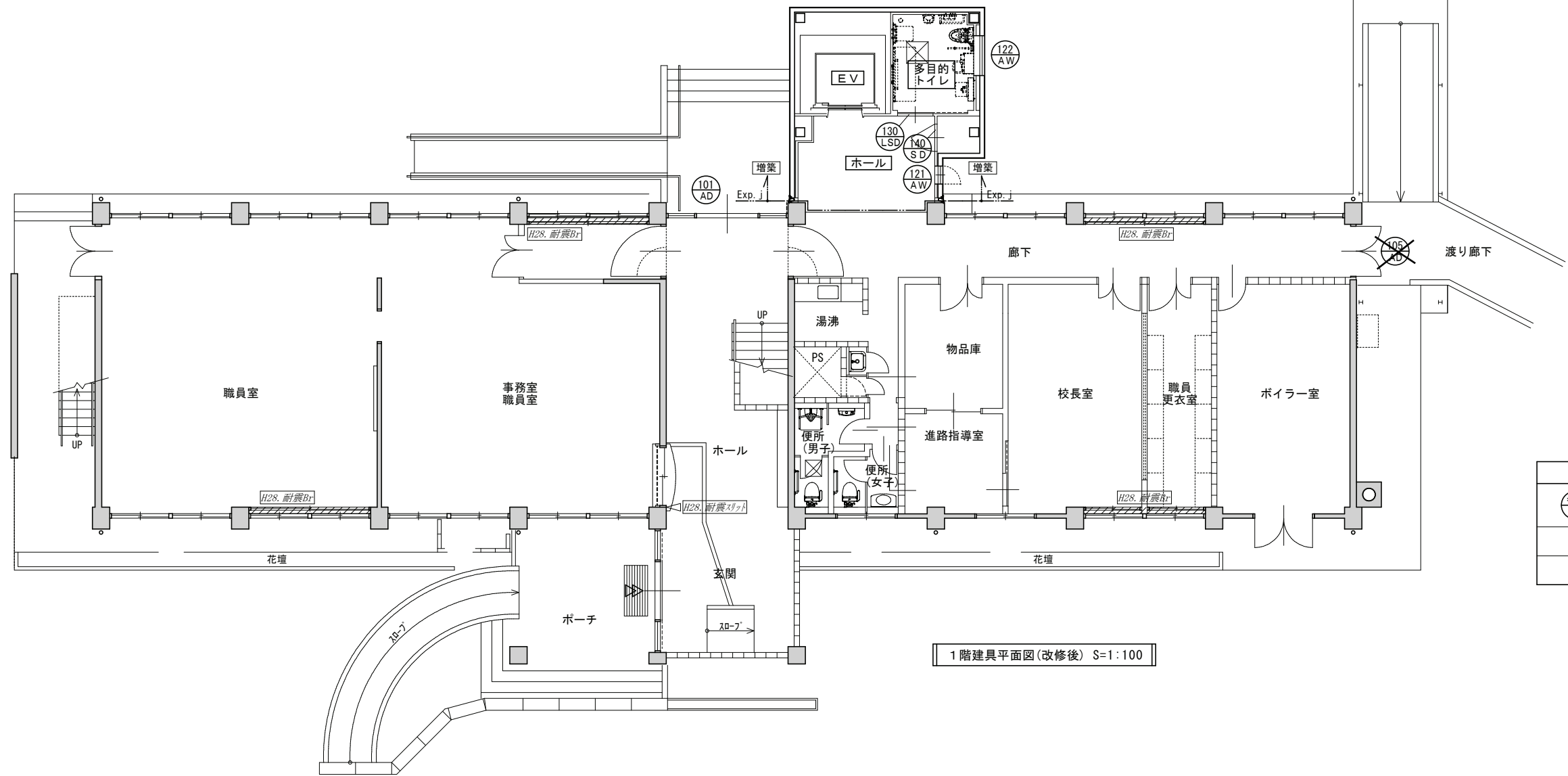
既設



凡例	
***	撤去建具(枠共)
**	

1階建具平面図(既設) S=1:100

改修後



凡例	
***	新設建具(枠共)
**	

1階建具平面図(改修後) S=1:100

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日

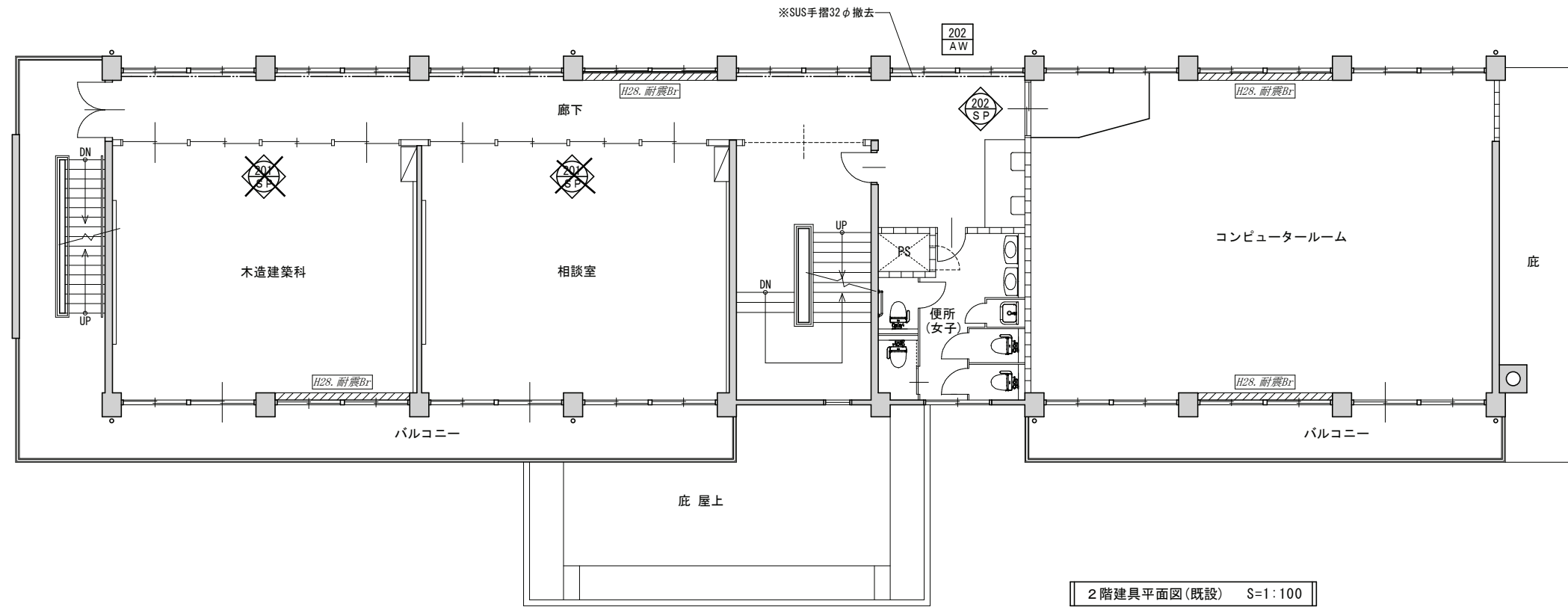
**(有)フジ総合設計事務所**  
〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地  
TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 1級建築士 担当・製図 1級建築士 製図 1級建築士	第325872号 永田 靖 第379560号 第 号	竹中 誠 永田 靖
---	-------------------------------------	--------------

名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
①本館棟	1階建具平面図(既設・改修後)

SCALE	1:100	図面No.	A-37
			61枚の内

既設

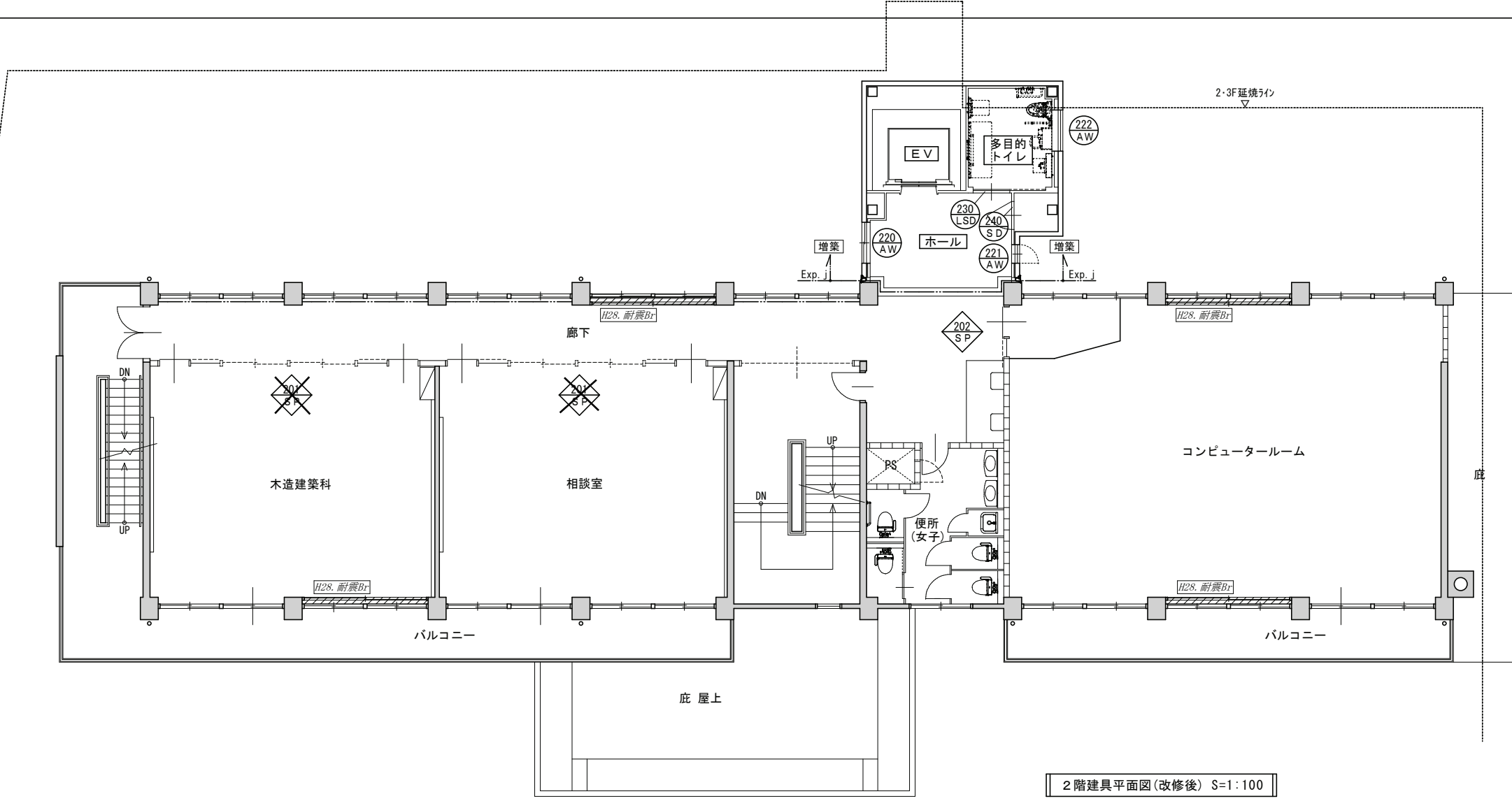


凡例	
	部分改修建具(扉撤去)
	撤去建具(枠共)

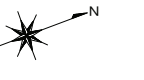


2階建具平面図(既設) S=1:100

改修後



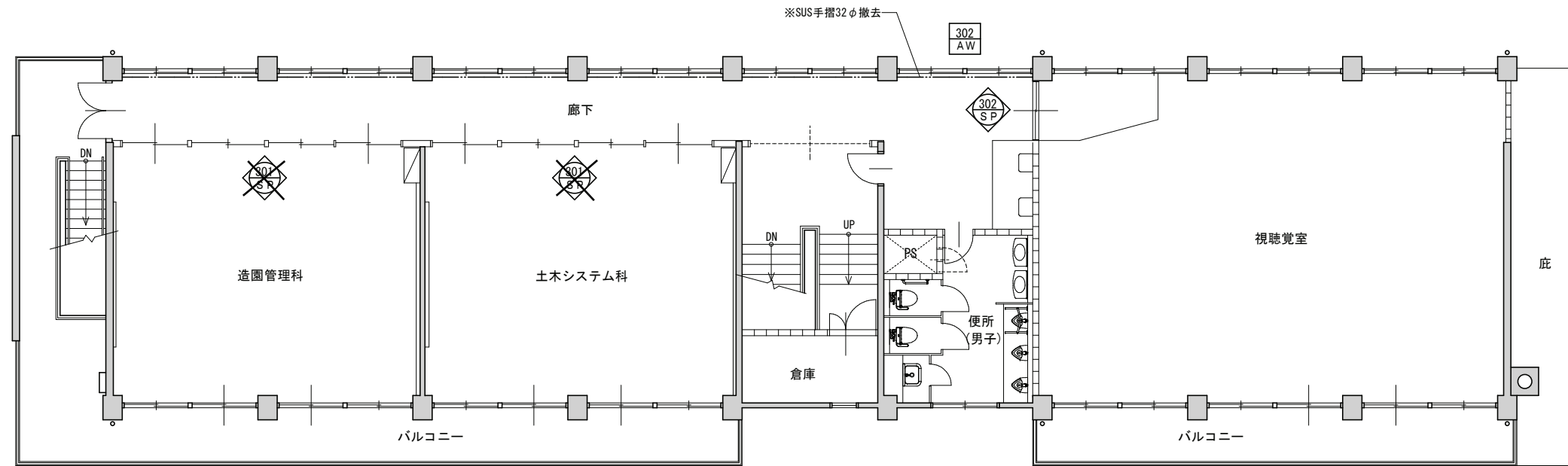
凡例	
	部分改修建具(扉新設(70tett))
	新設建具(枠共)



2階建具平面図(改修後) S=1:100



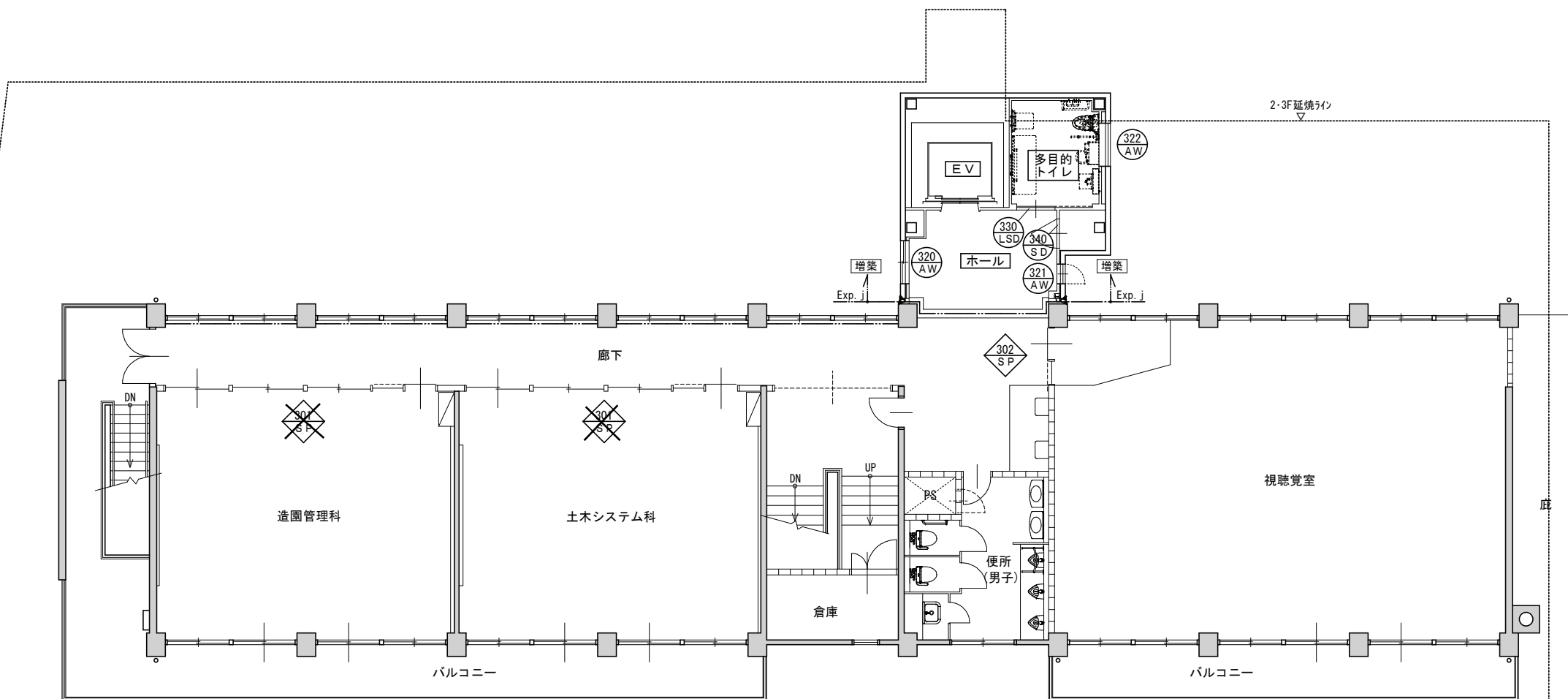
既設



凡例	
	部分改修建具(屏撤去)
	撤去建具(枠共)

3階建具平面図(既設) S=1:100

改修後

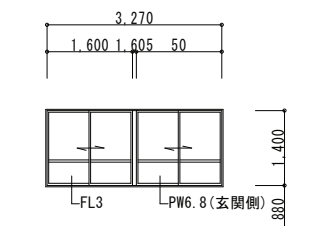
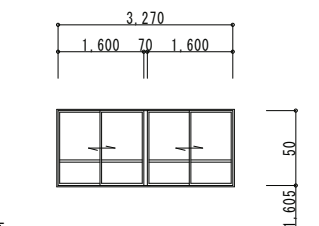
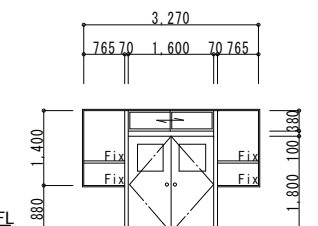
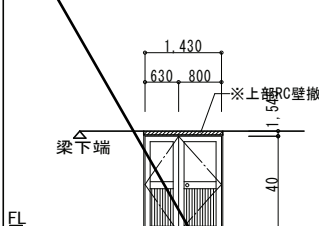
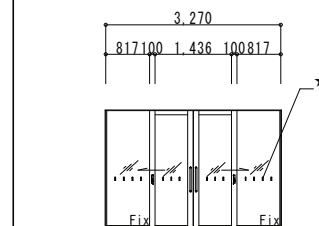
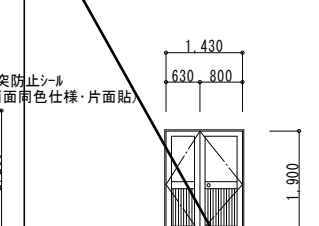
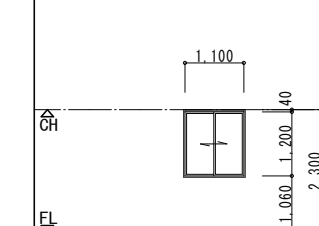
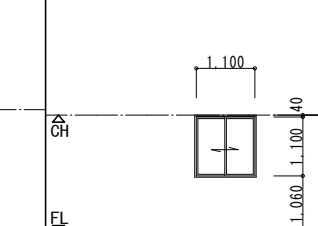

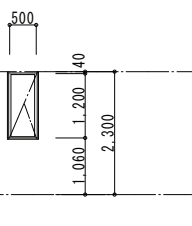
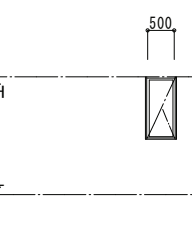
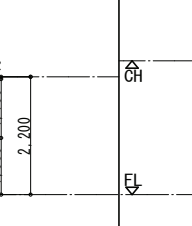
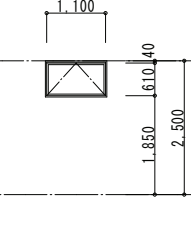
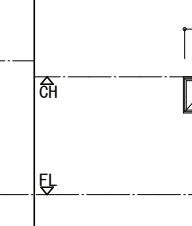
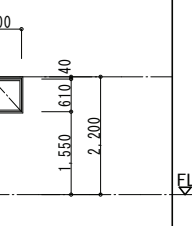
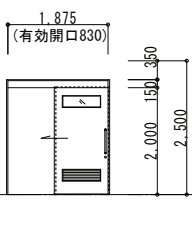
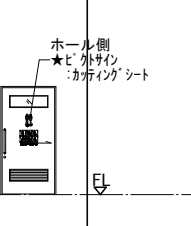
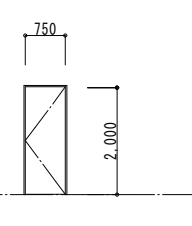

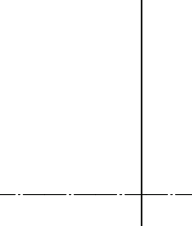

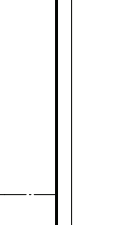
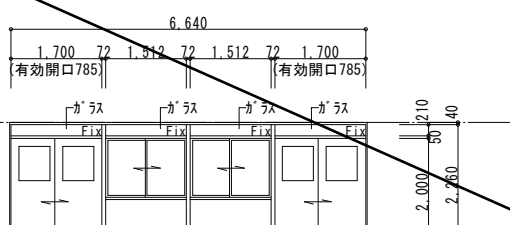
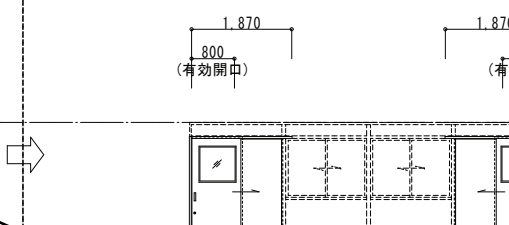
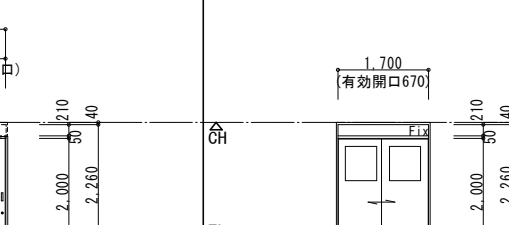
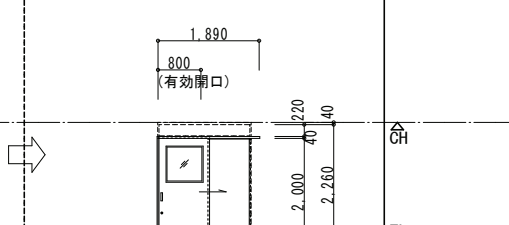
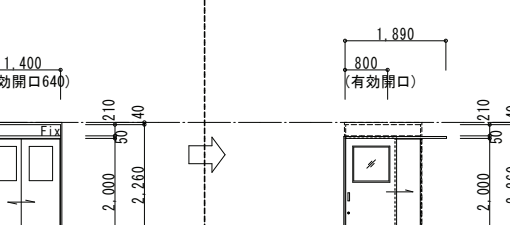
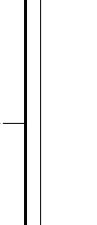


凡例	
	部分改修建具(屏新設(70tett))
	新設建具(枠共)

3階建具平面図(改修後) S=1:100

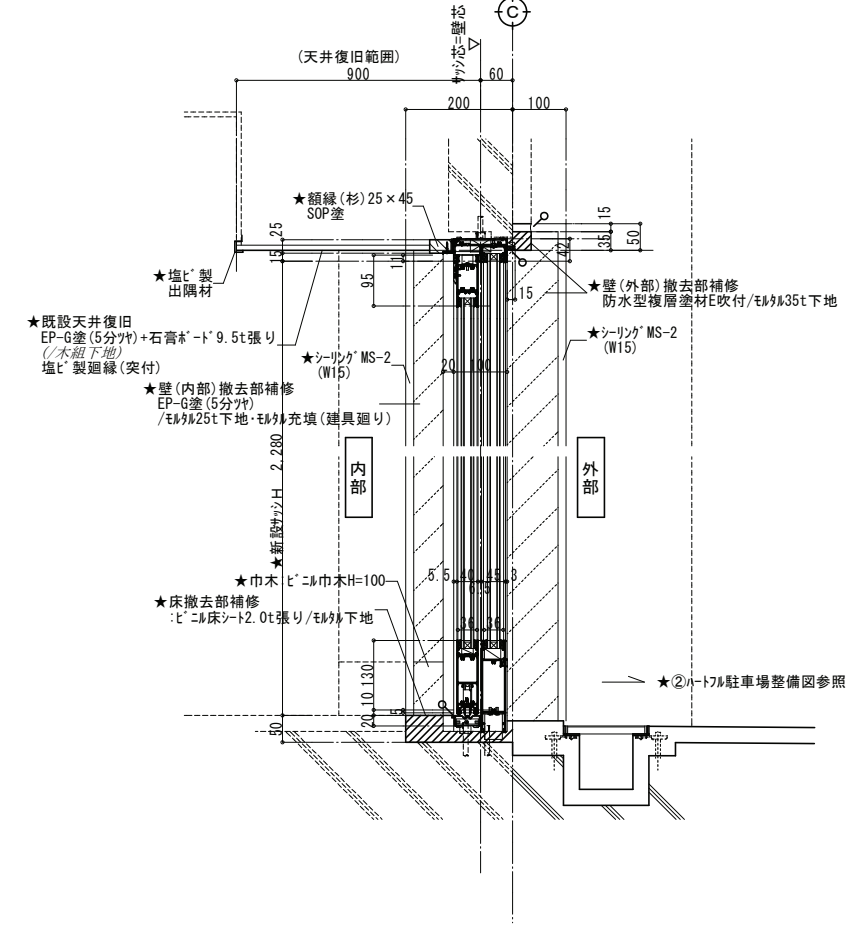
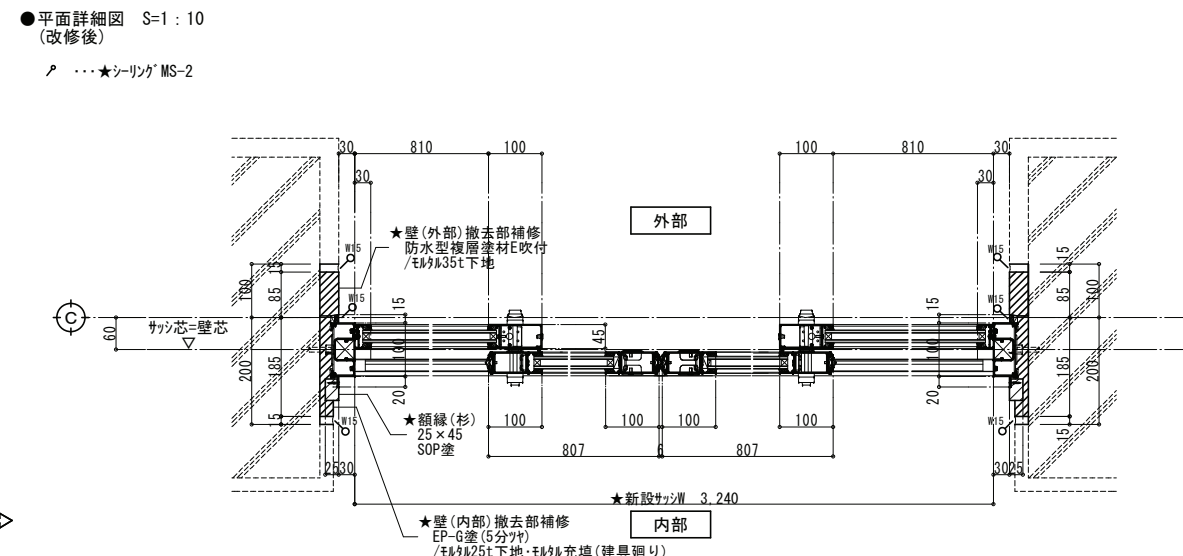
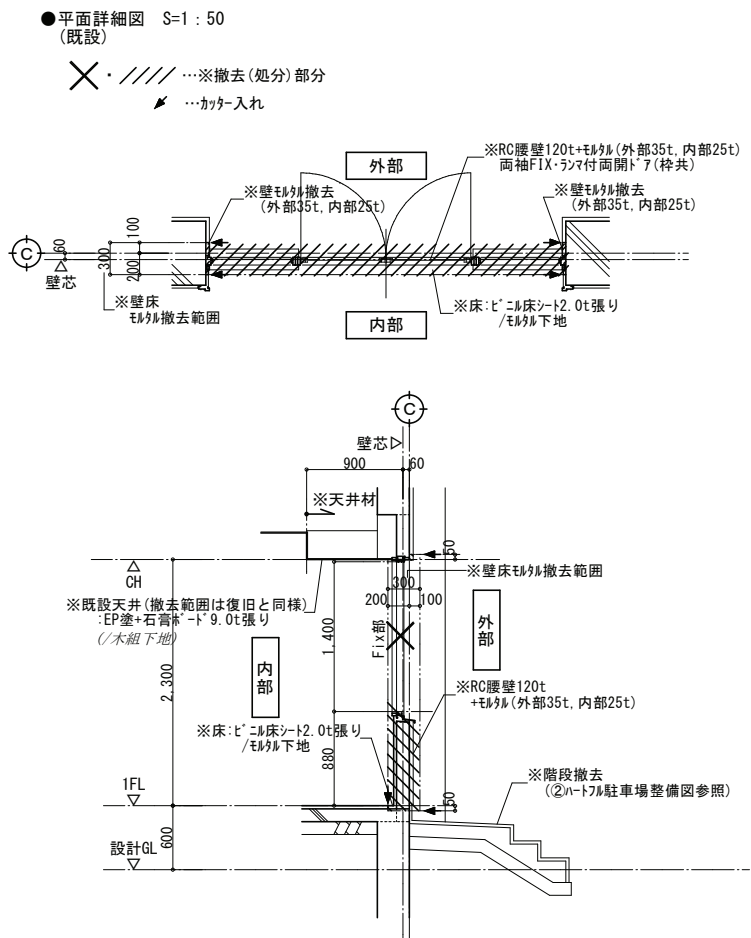
鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

FL...フロート板ガラス  
 F...型板ガラス  
 Low-E...低放射板ガラス  
 PW...網入磨板ガラス  
 FW...網入型板ガラス

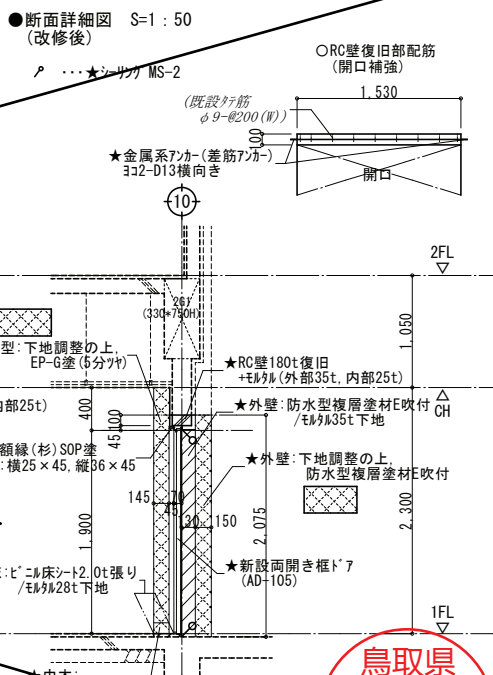
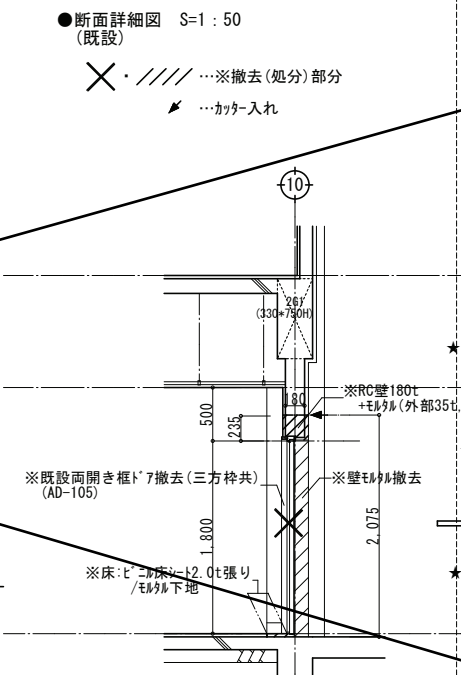
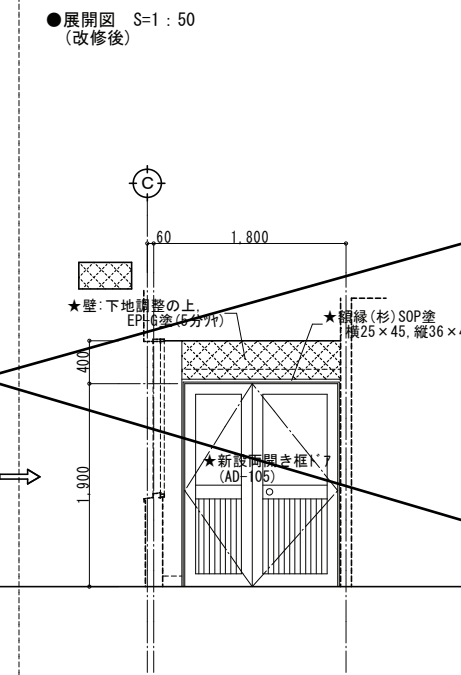
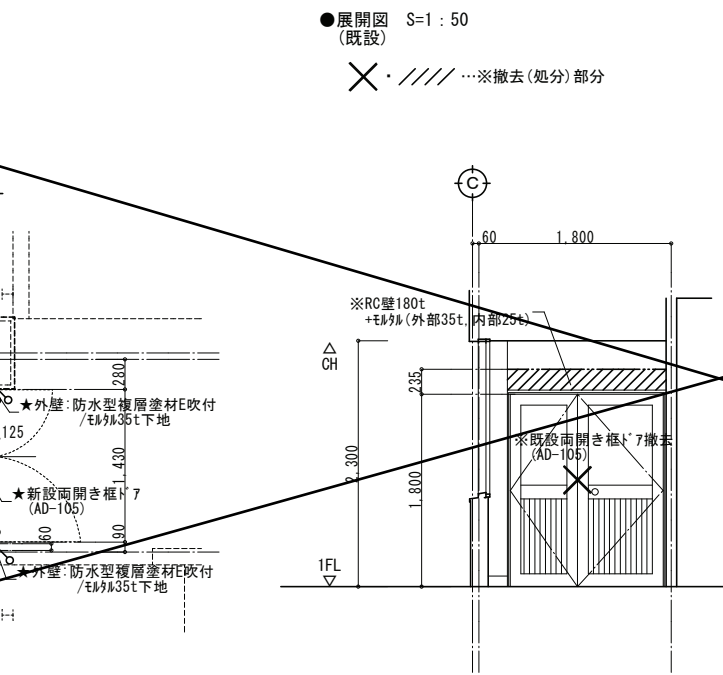
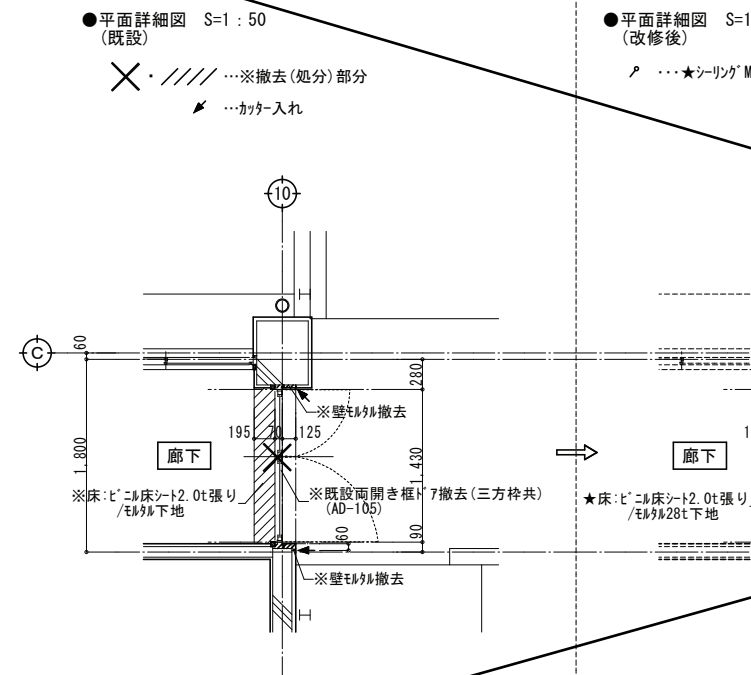
記号	数量	1F	2F	3F	1F	2F	3F	1F	2F	3F	1F	2F	3F	1F	2F	3F	1F	2F	3F	1F	2F	3F										
102A AW	1				202 AW				302 AW					101 AD					105 AD													
※撤去建具(枠共)		※撤去建具(枠共)		※撤去建具(枠共)		※撤去建具(枠共)		※撤去建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)										
																																
型式 室名	2連引違窓		1階 廊下		2連引違窓		2階・3階 廊下		両袖FIX・ラマ付両開ド7		1階 ホル・廊下		両開ド7		1階 廊下		引分けハコド7(両袖FIX)		1階 ホル・廊下		両開ド7		1階 廊下		引違い窓		ホル		引違い窓		ホル	
材質 見込	7&ミ(シム)-		70		7&ミ(シム)-		70		7&ミ(シム)-		70		7&ミ(シム)-		100		7&ミ(シム)-		70		7&ミ(シム)-		70		7&ミ(シム)-		70		7&ミ(シム)-		70	
硝子	FL3(ラマ共)・PW6.8(玄関側)				FL3(ラマ共)				FL3(ラマ共) 扉:FL5				扉:FL5 7&ミ(シム) 枠				Low-E3+A6+FL3		扉:AP2.0t+断熱P7.0t+AP2.0t				Low-E3+A6+F4				Low-E3+A6+F4					
塗装																																
金物・備考	付属金物一式 水切・AP				付属金物一式 水切・AP				付属金物一式 AP・シリング・錠・宙すり・DC・フラス落し				付属金物一式 AP・シリング・錠・宙すり・DC				付属金物一式 下框シリング・錠(引分用)・SUS下枠・押棒 額縁:25×45(杉)SOP塗				付属金物一式 シリング・錠・宙すり・DC 額縁:横25×45、縦36×45(杉)SOP塗				付属金物一式 7&ミ二重水切・止水アングル 7&ミ額縁				付属金物一式 7&ミ二重水切・止水アングル 7&ミ額縁			
121 AW	1				221 AW				321 AW					122 AW	222 AW				322 AW													
★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)		★新設建具(枠共)								
																																
型式 室名	縦入り窓		ホル		縦入り窓		ホル		突き出し窓		多目的トイレ		突き出し窓		多目的トイレ		鋼製軽量引戸		多目的トイレ		片開きド7		ホル									
材質 見込	7&ミ(シム)-		70		7&ミ(シム)-		70		7&ミ(シム)-		70		7&ミ(シム)-		70		F4:700×200 ガラリ:山型 700×200(開口率30%)		扉:38		スチール1.6t フラツク SOP塗		100									
硝子	Low-E3+A6+F4				Low-E3+A6+F4				Low-E3+A6+F4				Low-E3+A6+F4						F4:700×200 ガラリ:山型 700×200(開口率30%)		扉:38		スチール1.6t フラツク SOP塗									
塗装																			粉体焼付塗装				スチール SOP塗									
金物・備考	付属金物一式 7&ミ二重水切・止水アングル 7&ミ額縁				付属金物一式 7&ミ二重水切・止水アングル 7&ミ額縁				付属金物一式 7&ミ二重水切・止水アングル・チェーンレター 7&ミ額縁				付属金物一式 7&ミ二重水切・止水アングル・チェーンレター 7&ミ額縁						付属金物一式 自閉、引き棒、フリーストップ、大型表示錠 小窓・ガラリは、エッジレスフラツクとして				付属金物一式 丁番、分電盤錠 SUS2.0t下枠(HL) 枠:スチール SOP塗									
201 SP	2				301 SP	2			202 SP	2				202 SP	2				202 SP	2												
※扉撤去建具		※扉撤去建具		※扉撤去建具		※扉撤去建具		★扉新設(70tセット)		★扉撤去建具		★扉撤去建具		★扉新設(70tセット)		★扉撤去建具		★扉新設(70tセット)		★扉撤去建具		★扉新設(70tセット)		★扉撤去建具		★扉新設(70tセット)		★扉撤去建具		★扉新設(70tセット)		
																																
型式 室名	スチール・チェーン(固定)		2階 木造建築科 相談室 3階 造園管理科 土木作業科		スチール・チェーン(固定)		2階 コミュニティ		スチール・チェーン(固定)		2階 コミュニティ		スチール・チェーン(固定)		2階 コミュニティ		スチール・チェーン(固定)		2階 コミュニティ		スチール・チェーン(固定)		3階 視聴覚室		スチール・チェーン(固定)		3階 視聴覚室					
材質 見込	化粧鋼板及び粉体焼付塗装鋼板		80~90		戸・戸袋ハ・枠:粉体焼付塗装鋼板		80~90		化粧鋼板及び粉体焼付塗装鋼板		80~90		粉体焼付塗装鋼板		化粧鋼板及び粉体焼付塗装鋼板		80~90		粉体焼付塗装鋼板		化粧鋼板及び粉体焼付塗装鋼板		80~90		粉体焼付塗装鋼板		化粧鋼板及び粉体焼付塗装鋼板		80~90			
硝子	扉:窓:F6 ラマ:強化FL4				扉:窓:F6				扉:窓:F6 ラマ:強化FL4				扉:窓:F6				扉:窓:F6 ラマ:強化FL4				扉:窓:F6				扉:窓:F6							
塗装	焼付塗装及び粉体焼付塗装 額縁:SOP塗				粉体焼付塗装				焼付塗装及び粉体焼付塗装 額縁:SOP塗				粉体焼付塗装				焼付塗装及び粉体焼付塗装 額縁:SOP塗				粉体焼付塗装				焼付塗装及び粉体焼付塗装 額縁:SOP塗							
金物・備考	付属金物一式 シリング・錠・AP・クレセント・クッションパッキン・引手・SUSフロッターレール				付属金物一式 下枠SUSレール 高さ調整式引戸車・堀込引手・引違戸用錠錠・振止・外止・スロリローザ				付属金物一式 シリング・錠・AP・クレセント・クッションパッキン 引手・SUSフロッターレール				付属金物一式 下枠SUSレール 高さ調整式引戸車・堀込引手・引違戸用錠錠 振止・外止・スロリローザ				付属金物一式 シリング・錠・AP・クレセント・クッションパッキン 引手・SUSフロッターレール				付属金物一式 下枠SUSレール 高さ調整式引戸車・堀込引手・引違戸用錠錠 振止・外止・スロリローザ				付属金物一式 シリング・錠・AP・クレセント・クッションパッキン 引手・SUSフロッターレール				付属金物一式 下枠SUSレール 高さ調整式引戸車・堀込引手・引違戸用錠錠 振止・外止・スロリローザ			

鳥取県  
 令和6年度  
 J240036  
 総務部宮崎課

AD-101改修詳細図

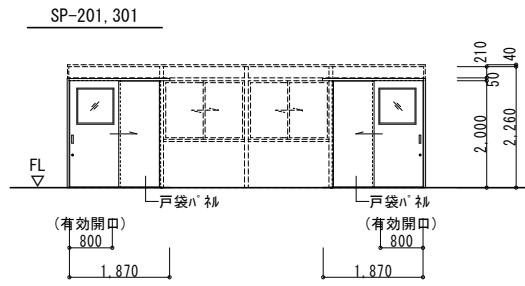


AD-105改修詳細図

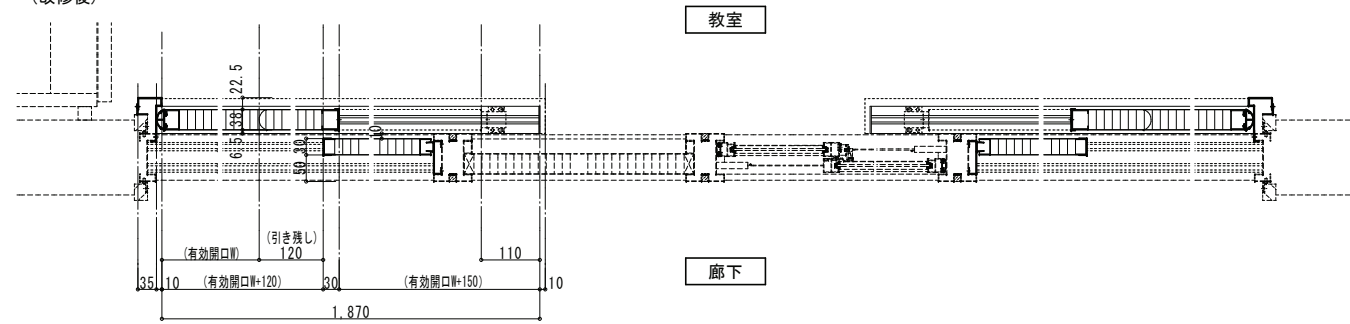


鳥取県  
 令和6年度  
 J2400366  
 総務部営繕課

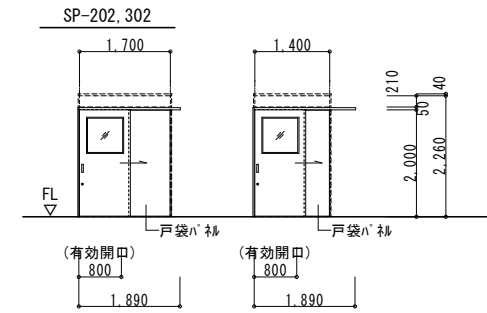
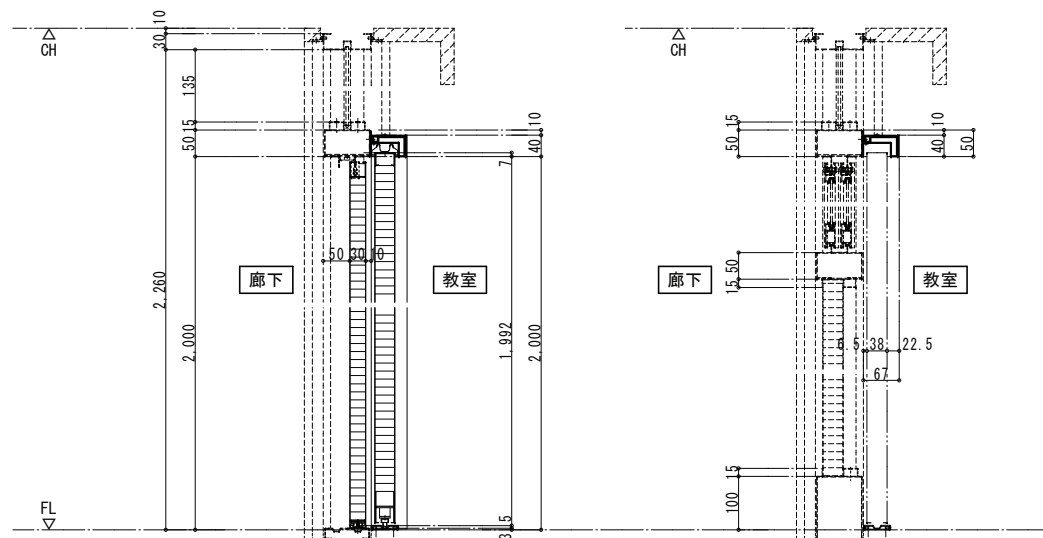
附記 設計年月日	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) ①本館棟:建具詳細図1	SCALE 1:10-50 図面No. A-41 61 枚の内
-------------	--	---	---------------------------------------



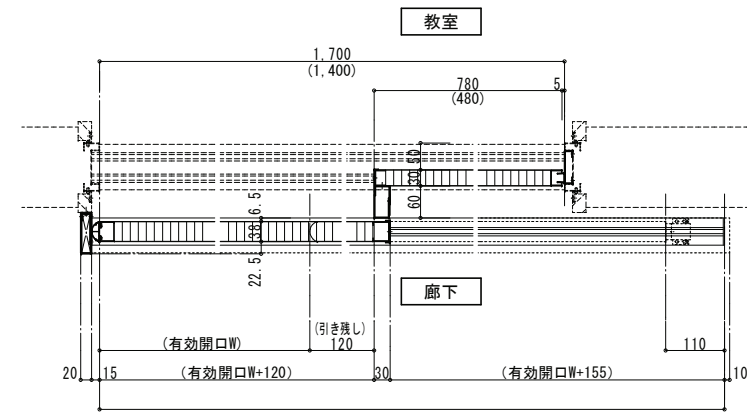
●平面詳細図 S=1:10 (改修後)



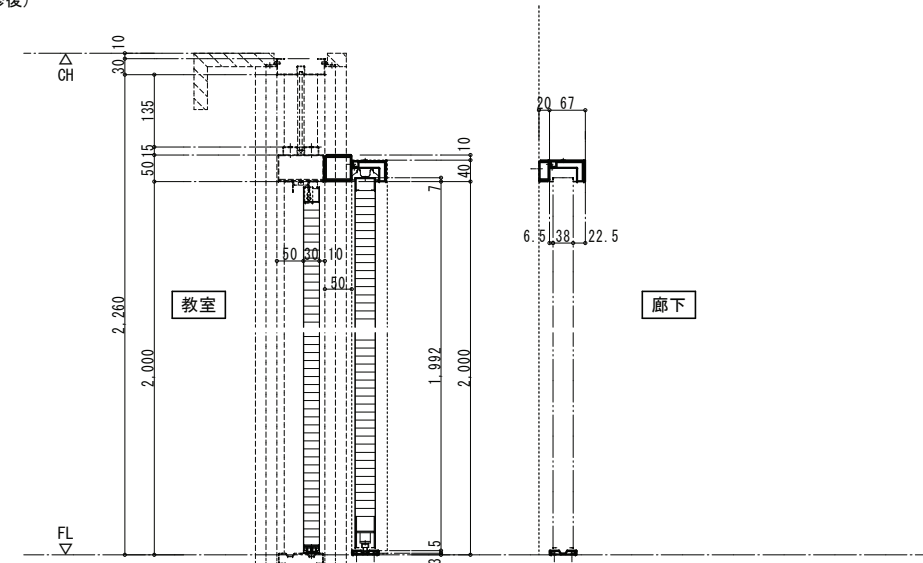
●断面詳細図 S=1:10 (改修後)



●平面詳細図 S=1:10 (改修後)



●断面詳細図 S=1:10 (改修後)



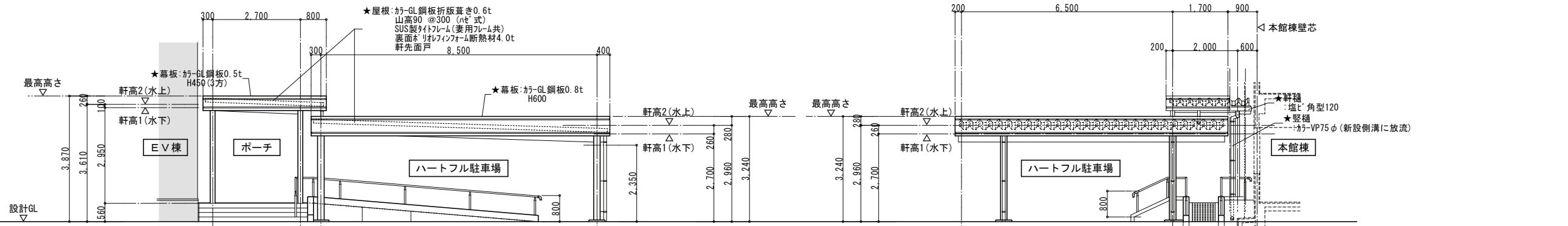
鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記 . . .	設計年月日 . . .	 (有)フジ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) ①本館棟: 建具詳細図3	SCALE 1:10・100	図面No. A-42 61 枚の内
-------------------	----------------------	--	---	--	-------------------	----------------------------



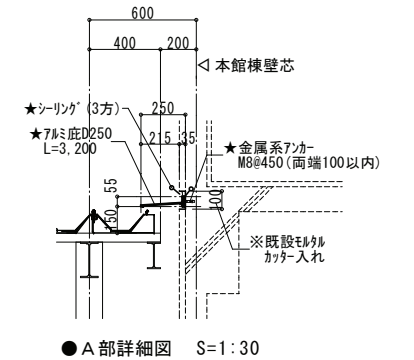
★印:新設を示す  
( )書き:既設のまま

△...★シーリングMS-2  
★鉄骨部材は溶融亜鉛メッキ

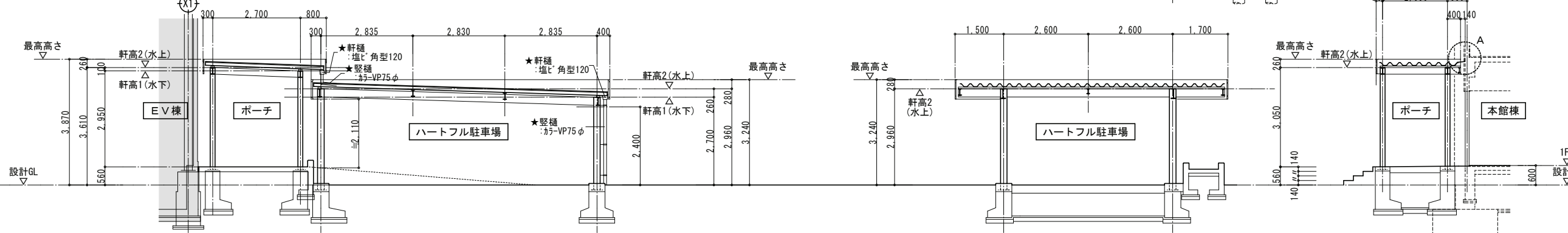


立面図1(改修後) S=1:100

立面図2(改修後) S=1:100

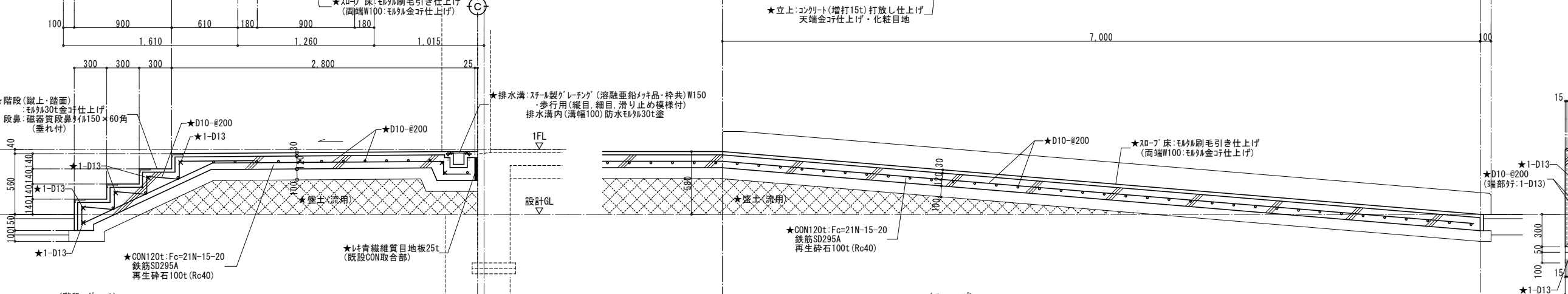
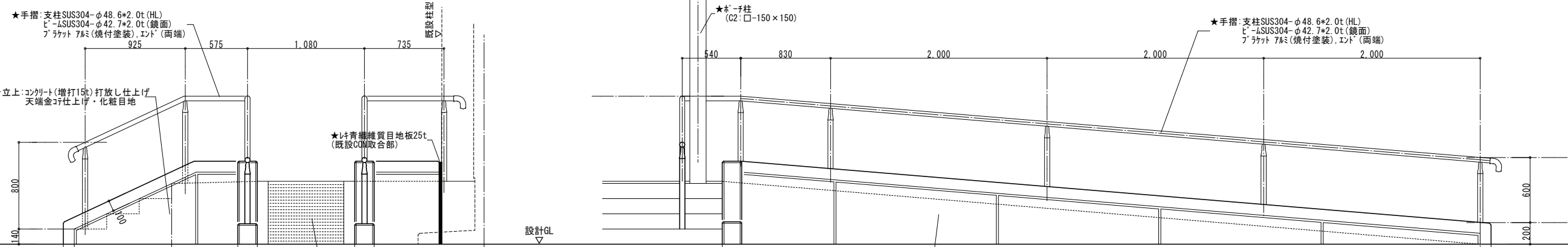


●A部詳細図 S=1:30



断面図1(改修後) S=1:100

断面図2(改修後) S=1:100



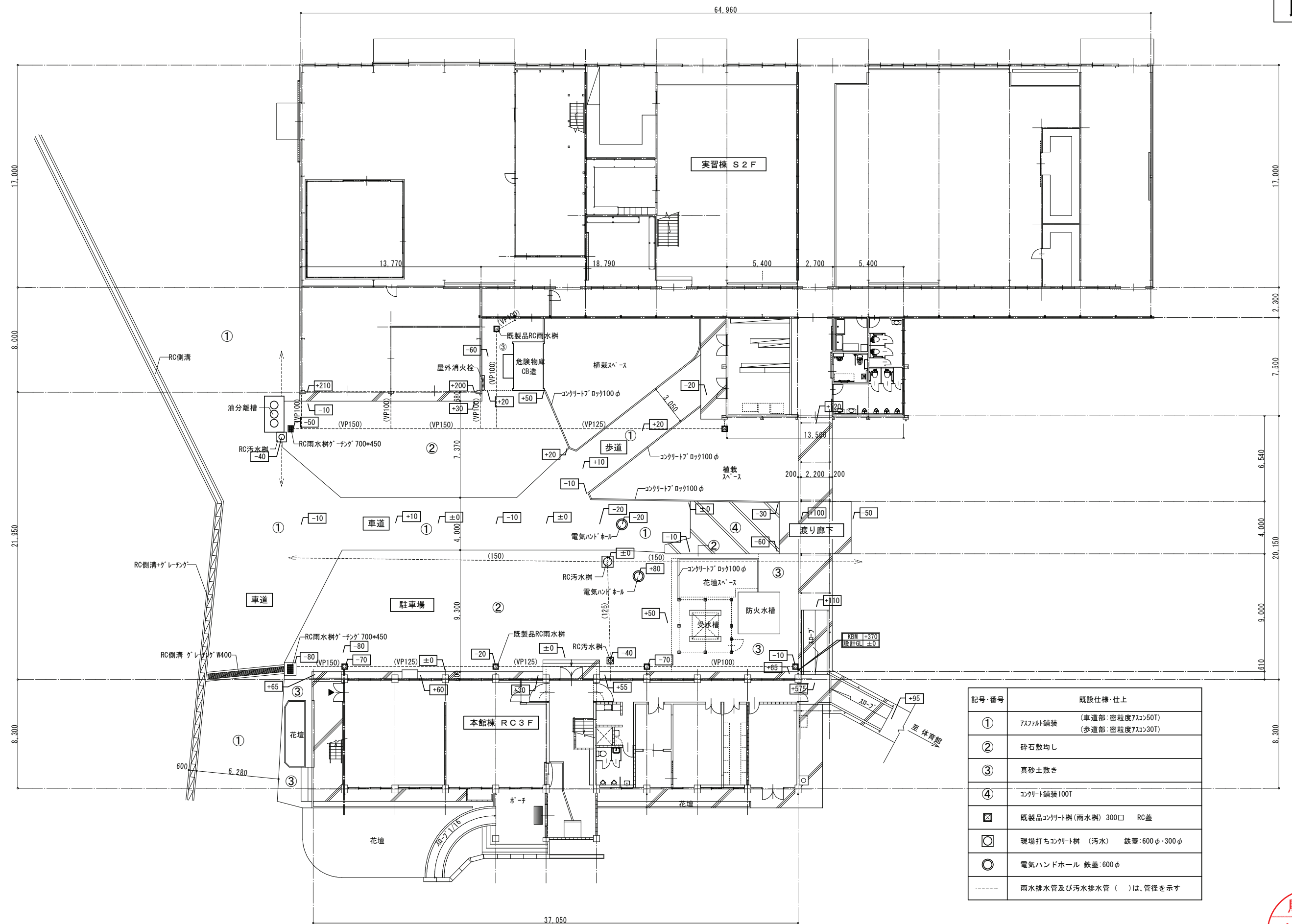
配筋詳細図(改修後) S=1:30

配筋詳細図(改修後) S=1:30

配筋詳細図(改修後) S=1:30

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

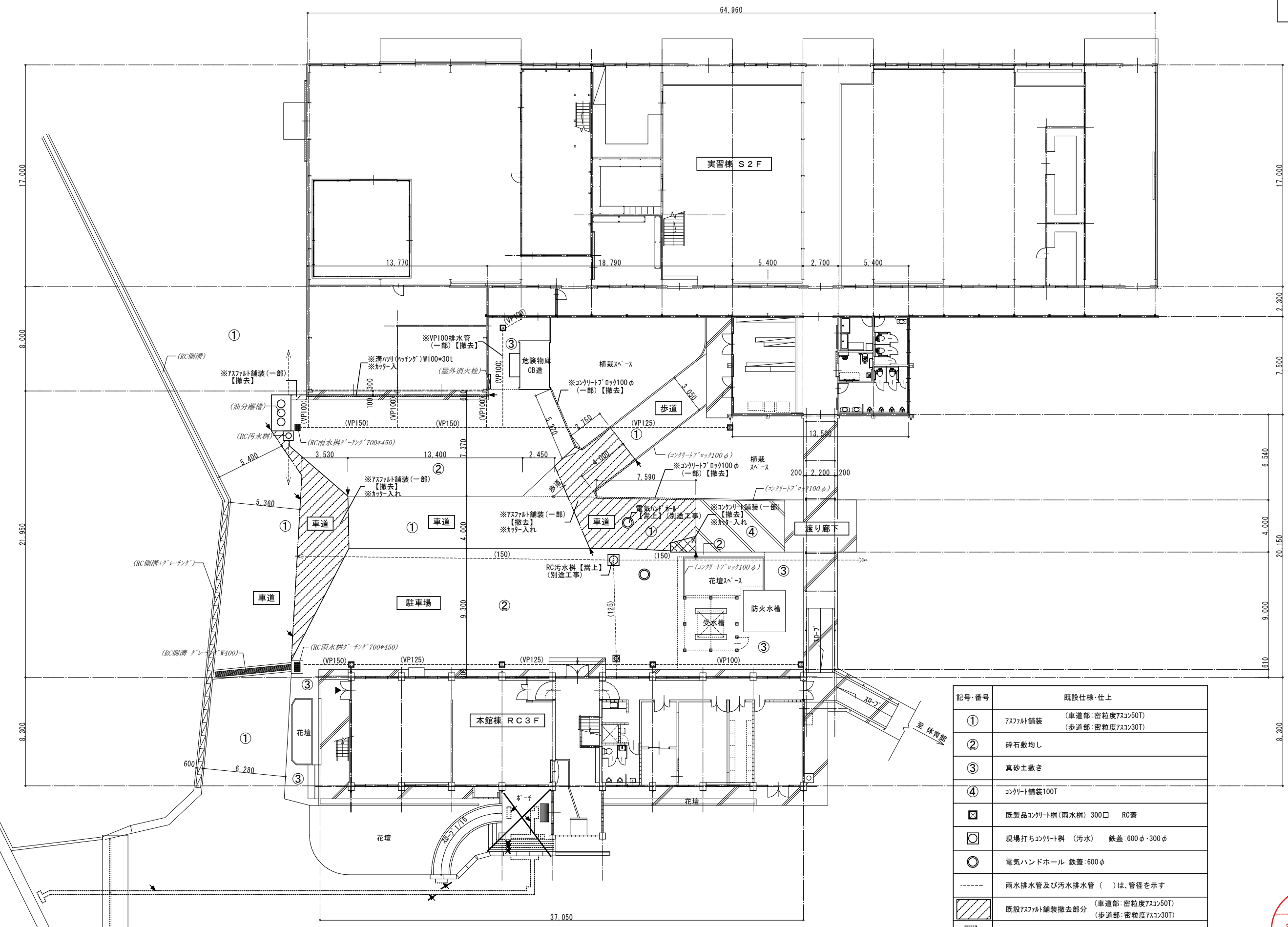
<p>管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠</p> <p>担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖</p> <p>製図 1級建築士 第 号</p>	<p>管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠</p> <p>担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖</p> <p>製図 1級建築士 第 号</p>	<p>名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)</p> <p>②ハートフル駐車場整備:立面図・断面図・配筋詳細図</p>	<p>SCALE 1:30・100</p> <p>図面No. A-44</p> <p>61 枚の内</p>
---	---	--	---



外構図(既設) S=1:200

記号・番号	既設仕様・仕上
①	7ｽﾌﾟﾙﾄ舗装 (車道部:密粒度7ｽｺ>50T) (歩道部:密粒度7ｽｺ>30T)
②	砕石敷均し
③	真砂土敷き
④	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装100T
☒	既製品ｺﾝｸﾘｰﾄ樹(雨水樹) 300口 RC蓋
☉	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ樹 (汚水) 鉄蓋:600φ・300φ
○	電気ハンドホール 鉄蓋:600φ
----	雨水排水管及び汚水排水管 ( )は、管径を示す

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課



外構図(既設) S=1:200

記号・番号	既設仕様・仕上
①	757mm舗装 (車道部:密粒度750/50T) (歩道部:密粒度750/30T)
②	砕石敷均し
③	真砂土敷き
④	コンクリート舗装100T
☒	既製品コンクリート樹(雨水樹) 300口 RC蓋
⊙	現場打ちコンクリート樹 (汚水) 鉄蓋:600φ・300φ
⊗	電気ハンドホール 鉄蓋:600φ
---	雨水排水管及び汚水排水管 ( )は、管径を示す
▨	既設757mm舗装撤去部分 (車道部:密粒度750/50T) (歩道部:密粒度750/30T)
⊥	既設757mm舗装・磁器質150角416(※)ノ子/モルタル下地撤去部分

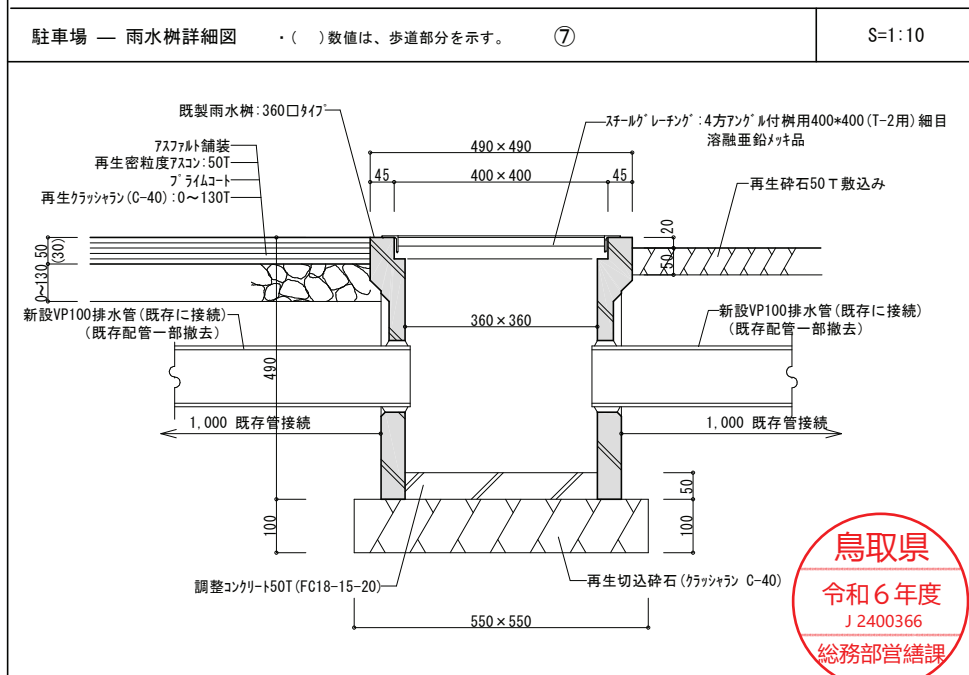
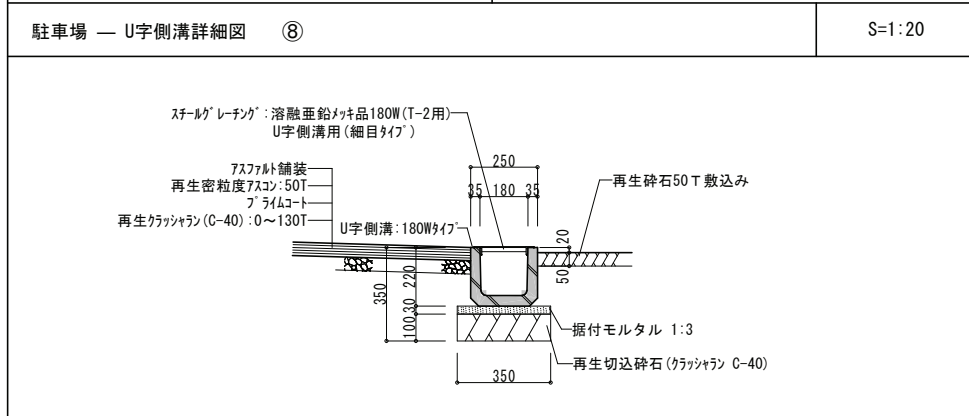
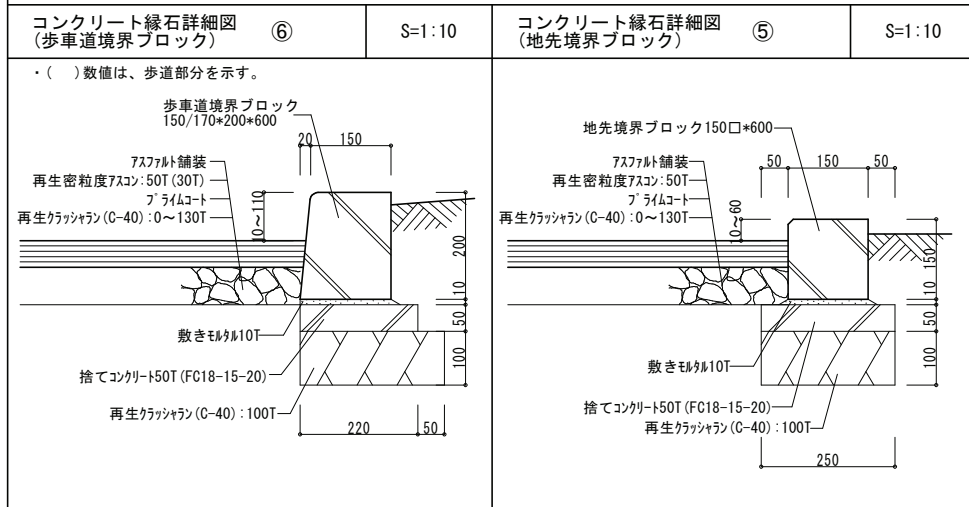
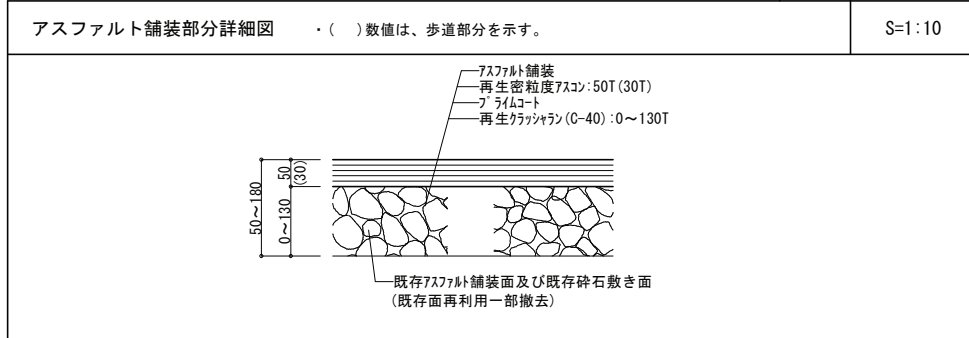
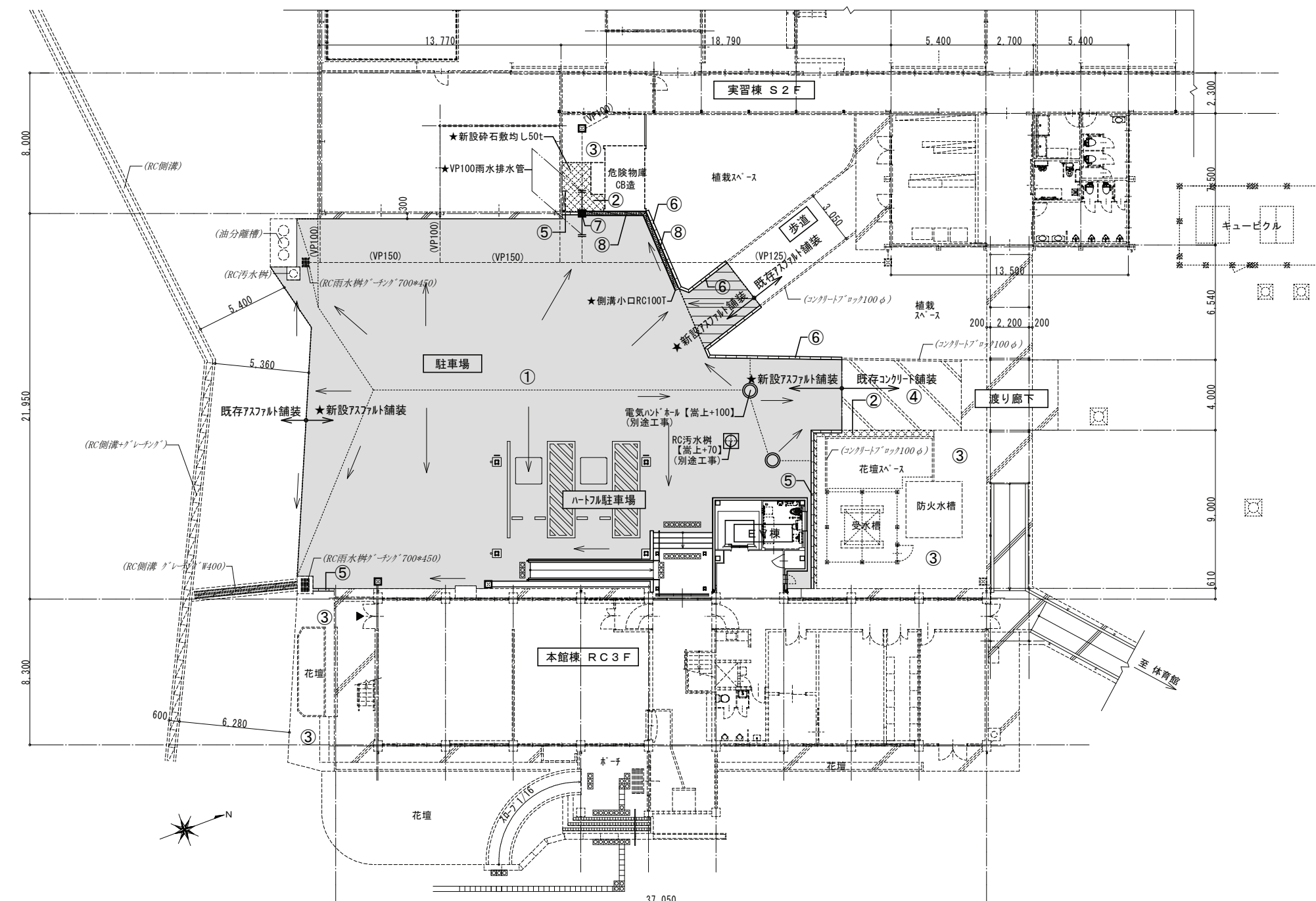


附記	設計年月日

**(有)フジ総合設計事務所**  
 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地  
 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠	名称
担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
製図 1級建築士 第 号	⑦外構整備:外構図2(既設・撤去)

SCALE	図面No.
1:200	A-55
	61 枚の内



記号・番号	新設及び既設仕様・仕上	参考数量
①	既設:アスファルト舗装 新設:アスファルト舗装 再生密粒度7スコン:50T 歩道部30T	506.0㎡(駐車) 11.1㎡(歩道)
②	既設:砕石敷き均し 新設:再生砕石敷き均し50t	9.1㎡
③	既設:真砂土敷き	
④	既設:コンクリート舗装100T	
⑤	新設:コンクリート緑石(地先境界ブロック) 150×150×L600 敷きモルタル10T・スチコンクリート50t・W250・基礎再生砕石100t・W250	12.9m
⑥	新設:コンクリート緑石(歩車道境界ブロック) 150/170×200×L600 敷きモルタル10T・スチコンクリート50t・W220・基礎再生砕石100t・W270	20.3m
⑦	新設:既製品コンクリート樹 360口径 グレーチング 蓋400口径(T-2用) 細目	1箇所
⑧	新設:既製品U形側溝W180 U字側溝用 細目グレーチング(T-2用)	8.2m
☒	既設:既製品コンクリート樹(雨水樹) 300口径RC蓋(再利用)	
☑	既設:現場打ちコンクリート樹(汚水鉄蓋:600口径・300口径)(再利用) (1箇所 既存+70 既存蓋撤去・再取付・コンクリート打:別途工事)	
○	既設:電気ハンドホール 鉄蓋:600口径(再利用) (1箇所 既存+100 据方・嵩上げ取付・埋戻し:別途工事)	
—	既設:VP雨水排水管 新設:VP100雨水排水管(両側1.0m) 既存管接続	2.0m

外構図(改修後) S=1:200

ハートフル駐車場廻りは、舗装整備以外②ハートフル駐車場整備図による。

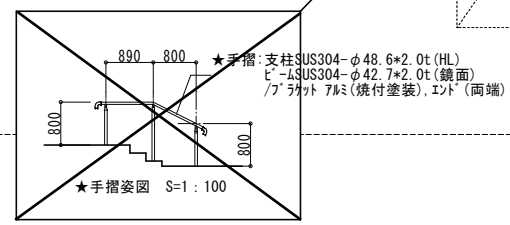
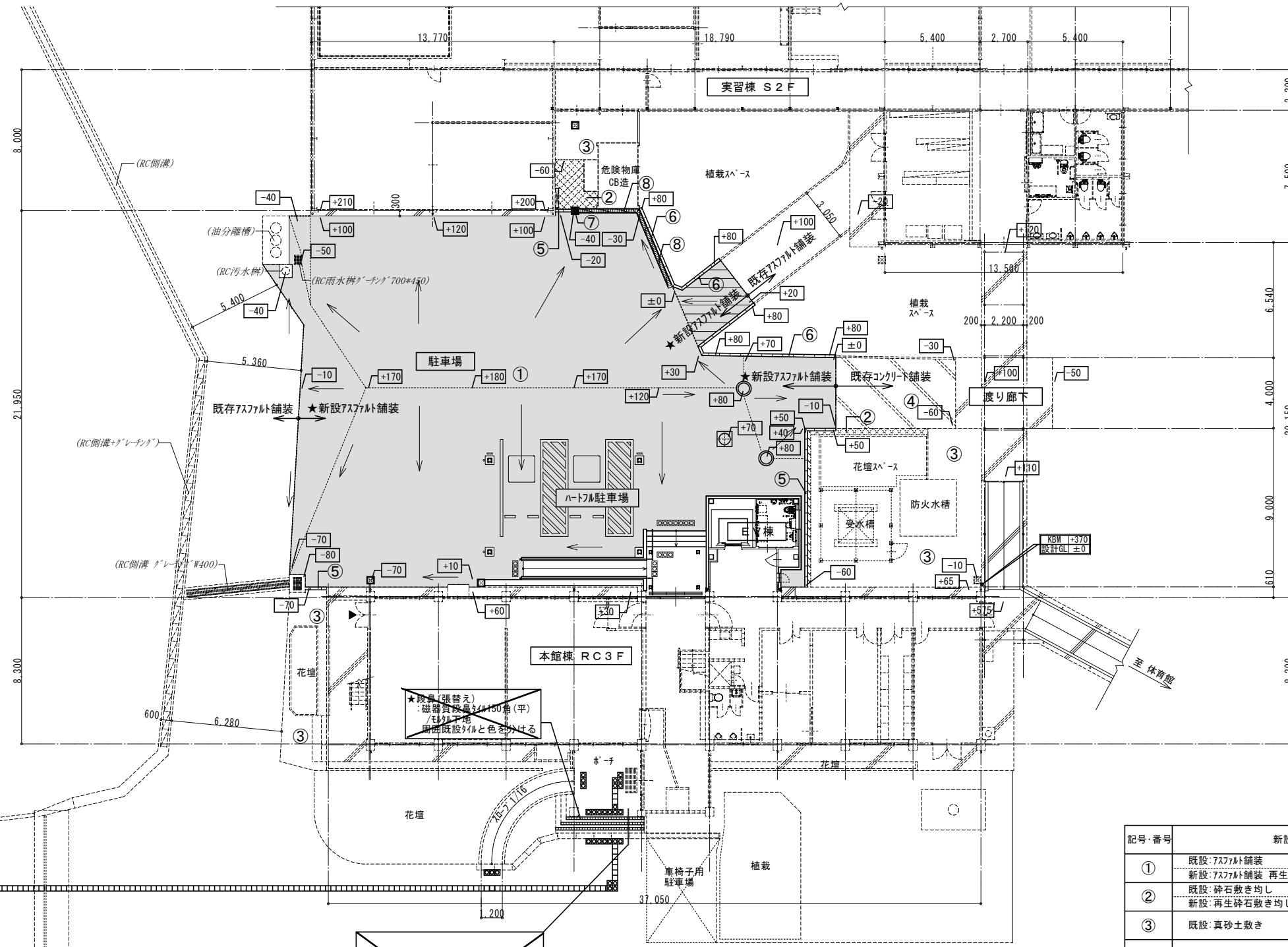
《凡例》

【 】 内表記は、新設改修を示す。

■ 新設アスファルト舗装 駐車部分 再生密粒度7スコン:50T 路盤材 再生クワッチャラン(C-40) 厚さ:0~130T 既存不陸調整・レベル調整(スチリ)等  
既存アスファルト舗装面(一部撤去有り)及び既存砕石敷き面(一部スチリ) 再利用

▨ 新設アスファルト舗装 歩道部分 再生密粒度7スコン:30T(一部撤去有り) 路盤材 既存再利用

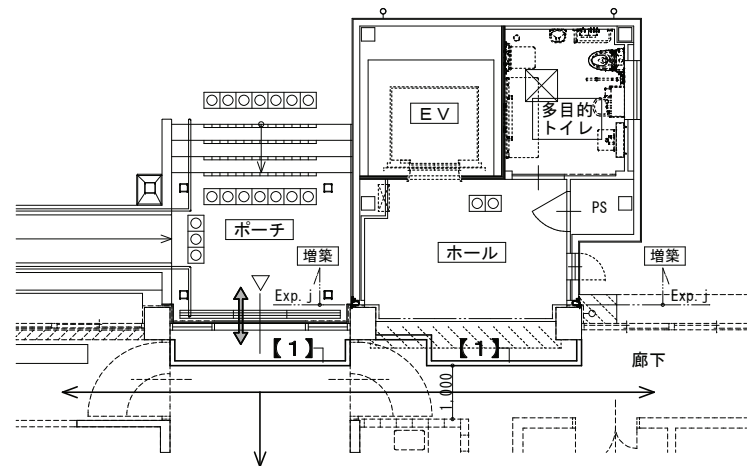
▩ 新設:再生砕石敷き均し50t



外構図(改修後) S=1:200

記号・番号	新設及び既設仕様・仕上
①	既設:アスファルト舗装 新設:アスファルト舗装 再生密粒アスコン・駐車部50t 歩道部30t
②	既設:砕石敷き均し 新設:再生砕石敷き均し50t
③	既設:真砂土敷き
④	既設:コンクリート舗装100t
⑤	新設:コンクリート緑石(地先境界ア)ロック 150×150×L600 敷き厚10t・スコンクリート50t*W250・基礎再生砕石100t*W250
⑥	新設:コンクリート緑石(歩車道境界ア)ロック 150/170×200×L600 敷き厚10t・スコンクリート100t*W220・基礎再生砕石100t*W270
⑦	新設:既製品コンクリート樹 360口 グレーチング 蓋400口(T-2用)細目
⑧	新設:既製品U形溝W180 U字側溝用 細目グレーチング(T-2用)
☒	既設:既製品コンクリート樹(雨水樹) 300口RC蓋(再利用)
☑	既設:現場打ちコンクリート樹(汚水鉄蓋) 600φ・300φ(再利用) (1箇所上 既存+70 既存蓋撤去・再取付・コンクリート打)
⊙	既設:電気ハンドホール 鉄蓋:600φ(再利用) (1箇所上 既存+100 掘方・嵩上リッパ 取付・埋戻し) 新設:誘導アロック(点状・線状) ・As舗装部:CON製300×300×60t 黄色 ・ボ-チ部:磁器質タイル300×300×12t/タイル下地 黄色

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

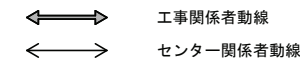


(本館棟)  
1階仮設計画図 S=1:100

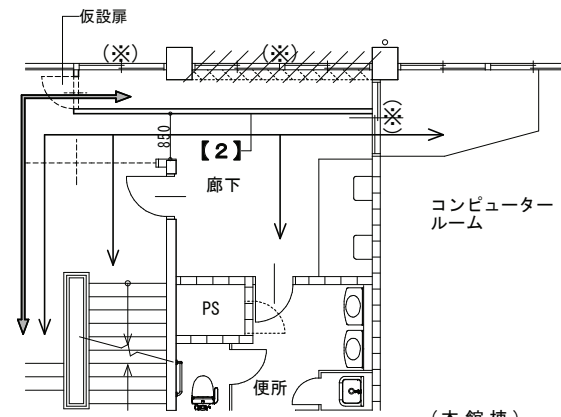
凡例	名称	参考数量
【1】	仮壁(B種)天井面迄(CH=2,300) ・仮壁設置前に天井材は撤去し、養生シート張り。	21.5 m <sup>2</sup>

【共通】

- 仮設間仕切壁(改修仕様表2.3.1)
- ・仮壁(B種): LGS65下地+石膏ボード9.5t張り(片面)
- ・仮設扉: 木製(合板張り)



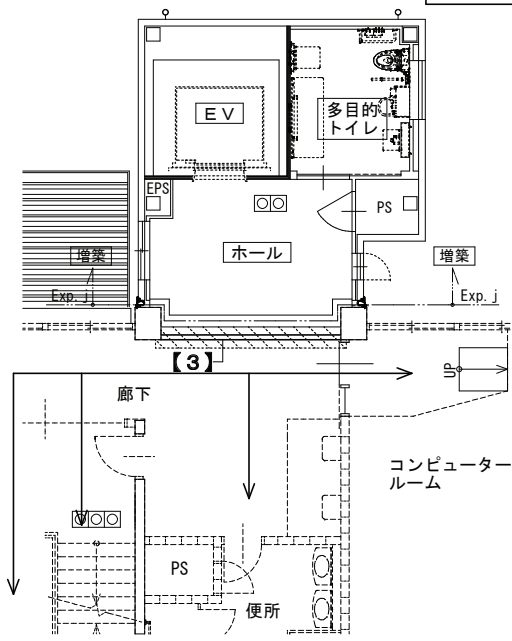
既設



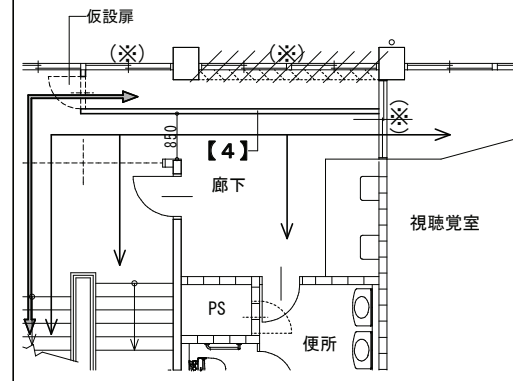
(本館棟)  
2階仮設計画図 S=1:100

凡例	名称	参考数量
【2】	仮壁(B種)天井面迄(CH=2,300)+仮設扉 ・設置期間:7スベト含有材及び既設建具撤去完了迄。 ・7スベト含有材(レベ#3)撤去時は、(※)印建具を閉鎖・密閉し作業を行う。 ・仮壁設置前に天井材は撤去し、養生シート張り。	仮壁15.0 m <sup>2</sup> 扉1箇所 シ-ト34.0 m <sup>2</sup>
【3】	仮壁(B種)天井面迄(CH=2,300) ・設置期間:既設撤去完了後から増築部完了迄。	8.0 m <sup>2</sup>

改修後



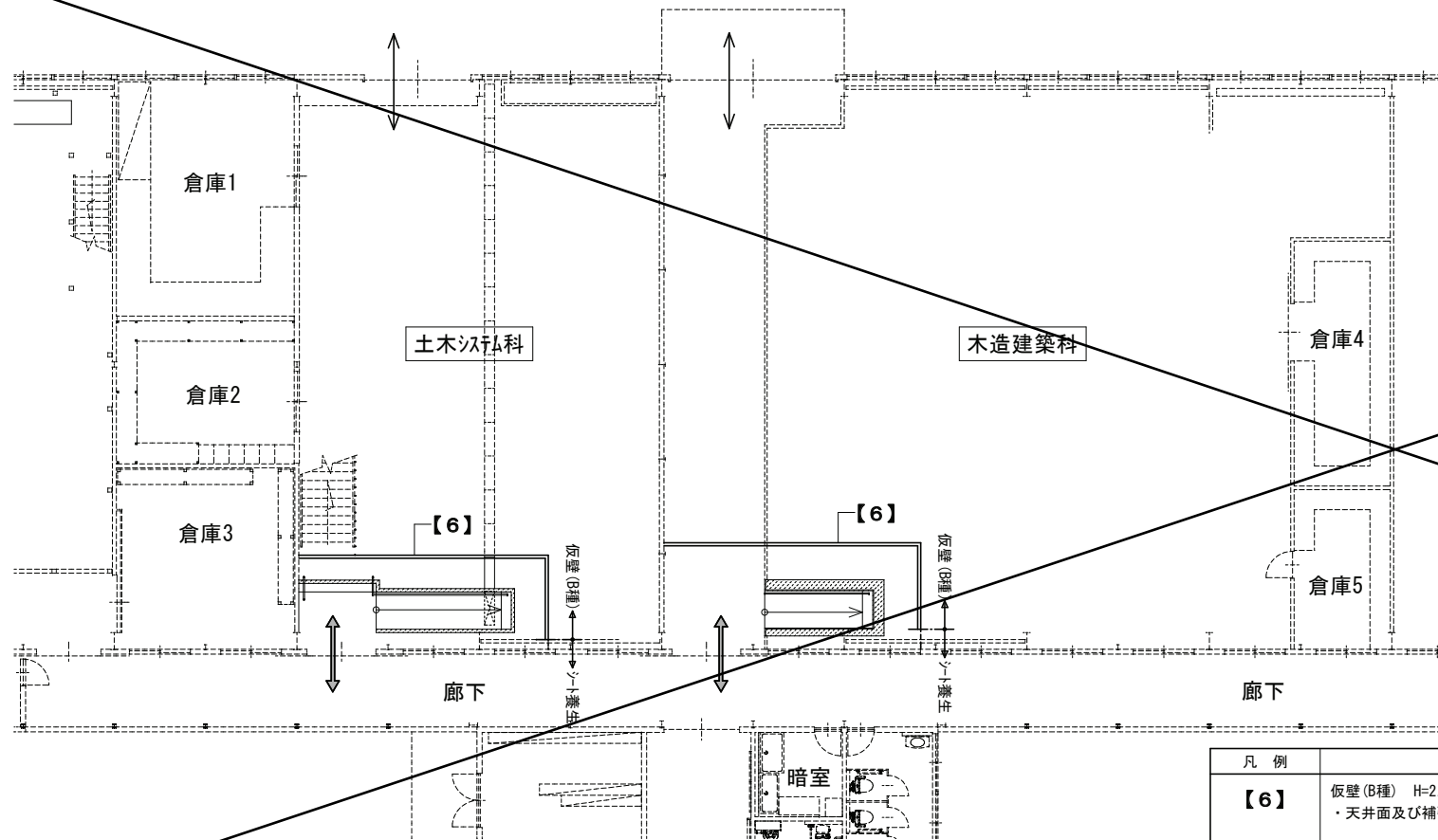
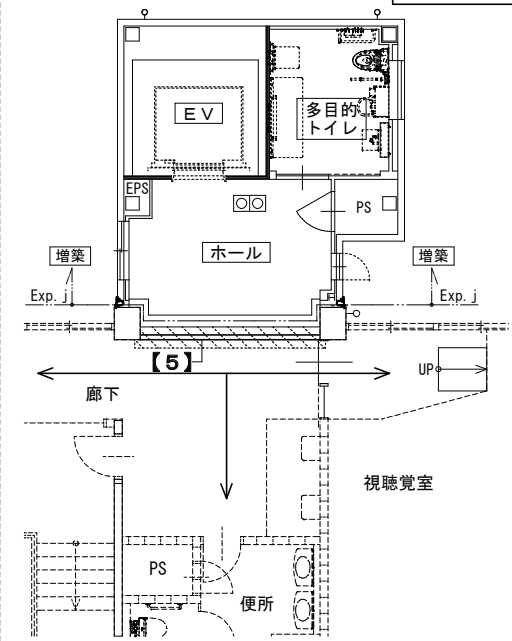
既設



(本館棟)  
3階仮設計画図 S=1:100

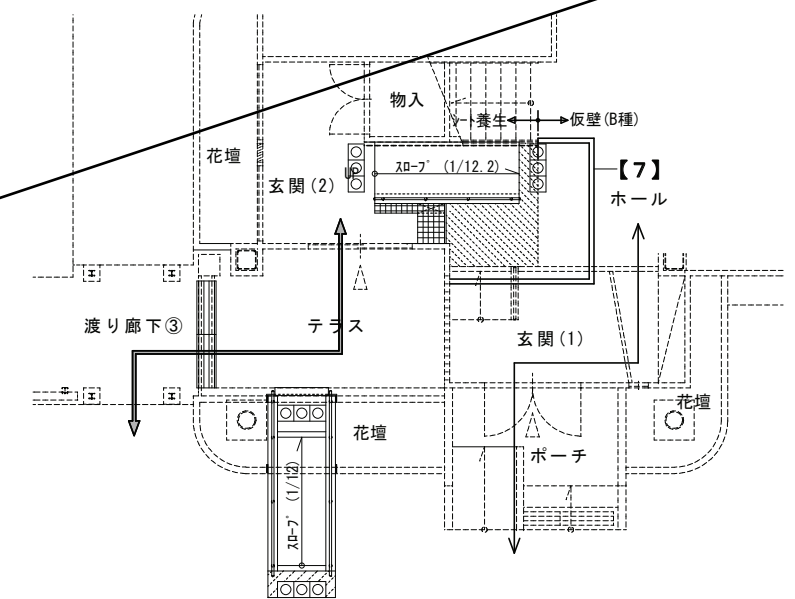
凡例	名称	参考数量
【4】	仮壁(B種)天井面迄(CH=2,300)+仮設扉 ・設置期間:7スベト含有材及び既設建具撤去完了迄。 ・7スベト含有材(レベ#3)撤去時は、(※)印建具を閉鎖・密閉し作業を行う。 ・仮壁設置前に天井材は撤去し、養生シート張り。	仮壁15.0 m <sup>2</sup> 扉1箇所 シ-ト34.0 m <sup>2</sup>
【5】	仮壁(B種)天井面迄(CH=2,300) ・設置期間:既設撤去完了後から増築部完了迄。	8.0 m <sup>2</sup>

改修後



(実習棟)  
仮設計画図 S=1:150

凡例	名称	参考数量
【6】	仮壁(B種) H=2.5m ・天井面及び補強ブレース部は、養生シート張り。	50.0 m <sup>2</sup>



(コンピュータ制御技術科実習棟)  
仮設計画図 S=1:100

凡例	名称	参考数量
【7】	仮壁(B種)天井面迄(CH=2,480)+階段部+養生	24.0 m <sup>2</sup>

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記

設計年月日

(有)フジ総合設計事務所  
〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地  
TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 竹中 誠  
1級建築士 第325872号  
担当・製図 永田 靖  
1級建築士 第379560号  
製図  
1級建築士 第 号

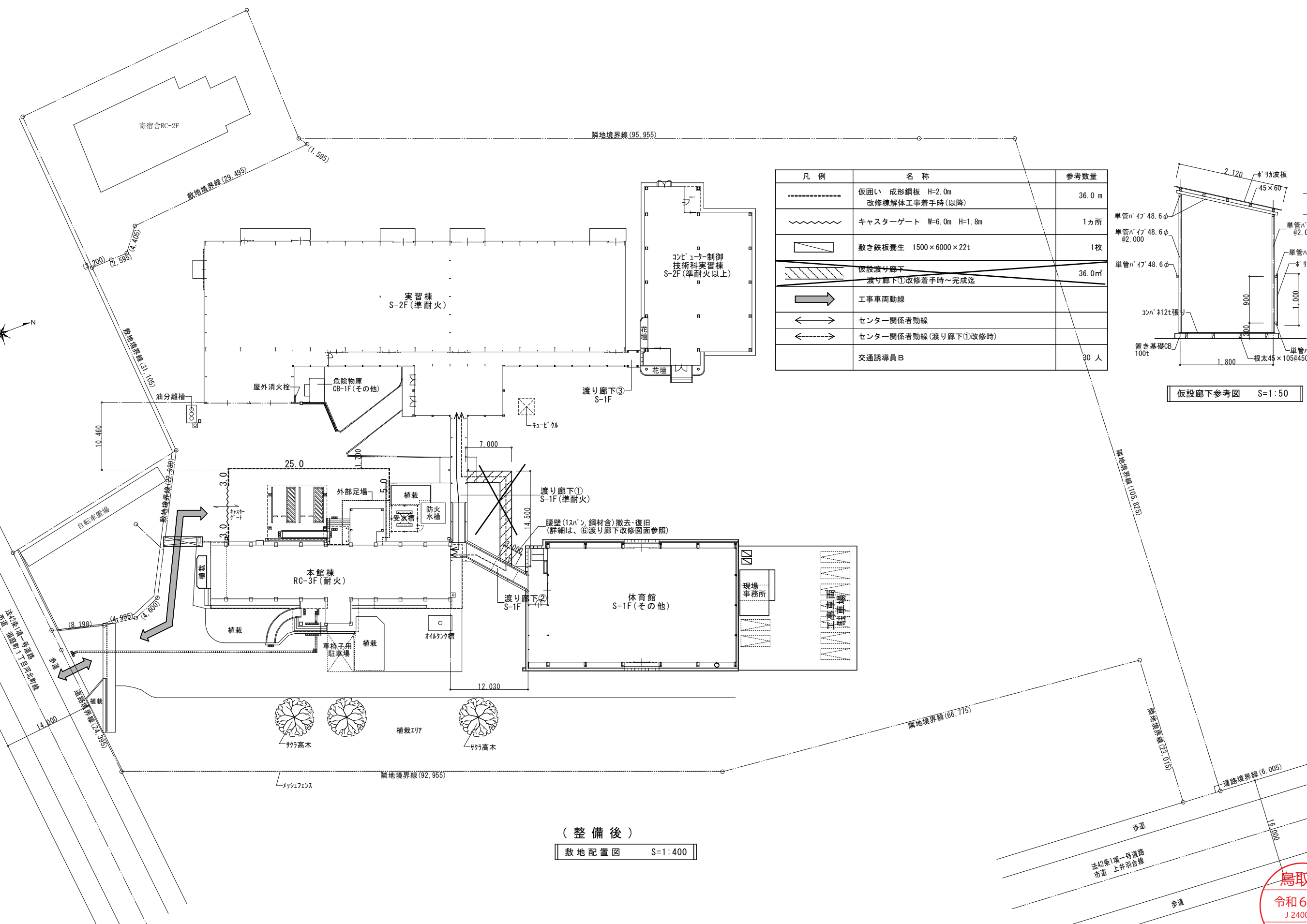
名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)

内部仮設計画図

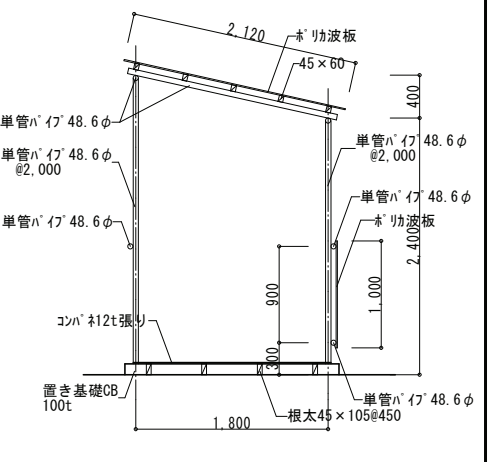
SCALE 1:100・150

図面No. A-58

61  
枚の内



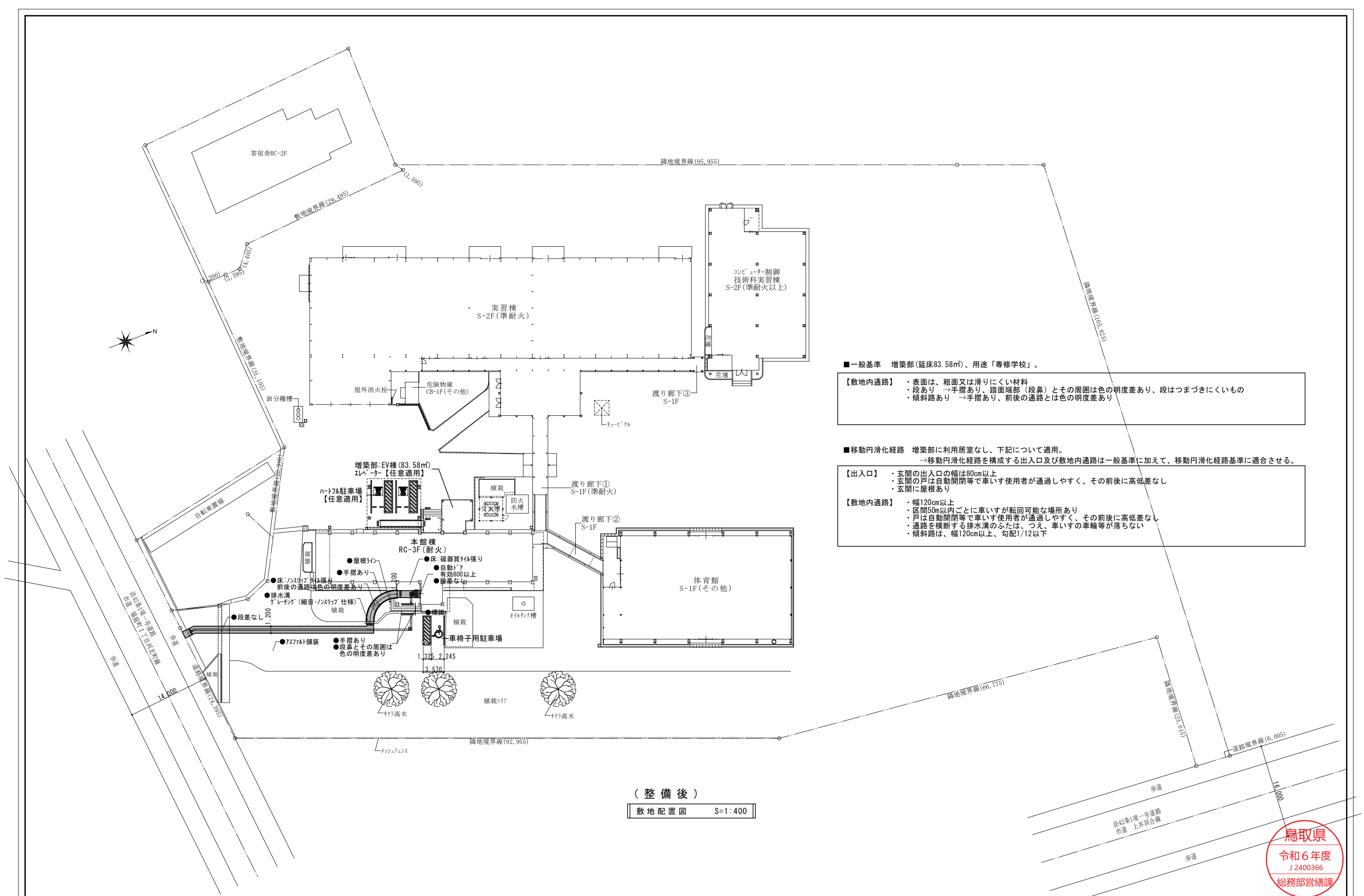
凡例	名称	参考数量
-----	仮囲い 成形鋼板 H=2.0m 改修棟解体工事着手時(以降)	36.0 m
~~~~~	キャストゲート W=6.0m H=1.8m	1カ所
▨	敷き鉄板養生 1500×6000×22t	1枚
▨	仮設渡り廊下 渡り廊下①改修着手時~完成迄	36.0㎡
→	工事車両動線	
↔	センター関係者動線	
↔	センター関係者動線(渡り廊下①改修時)	
	交通誘導員B	30人



仮設廊下参考図 S=1:50

(整備後)  
敷地配置図 S=1:400

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課



■一般基準 増築部(延床83.58㎡)、用途「専修学校」。

【敷地内通路】

- ・表面は、粗面又は滑りにくい材料
- ・段あり →手摺あり、踏面端部(段鼻)とその周囲は色の明度差あり、段はつまづきにくいもの
- ・傾斜路あり →手摺あり、前後の通路とは色の明度差あり

■移動円滑化経路 増築部に利用居室なし、下記について適用。  
→移動円滑化経路を構成する出入口及び敷地内通路は一般基準に加えて、移動円滑化経路基準に適合させる。

【出入口】

- ・玄関の出入口の幅は80cm以上
- ・玄関の戸は自動開閉等で車いす使用者が通過しやすく、その前後に高低差なし
- ・玄関に屋根あり

【敷地内通路】

- ・幅120cm以上
- ・区間50m以内ごとに車いすが転回可能な場所あり
- ・戸は自動開閉等で車いす使用者が通過しやすく、その前後に高低差なし
- ・通路を横断する排水溝のふたは、つえ、車いすの車輪等が落ちない
- ・傾斜路は、幅120cm以上、勾配1/12以下

(整備後)  
敷地配置図 S=1:400

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日	 <b>(有)フジイ総合設計事務所</b> 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) 福祉のまちづくり条例チェック図	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)	SCALE 1:400	図面No. A-60 61 枚の内

工事名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化ほか工事			法 文	建基法	施行令	チェック事項	確認
工事場所	鳥取県倉吉市福庭町二丁目	敷地位置	都市計画区域内 用途地域：第一種住居地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、準工業地域 防火地域：無指定	非常照明の設置		126の4	居室、廊下に非常照明を設置する。→学校は免除	○
主要用途	職業訓練校(専修学校に類するもの)			非常照明の構造		126の5		
主要構造	申請部分：S造	工事種別	増築	非常用の進入口の設置		126の6	1項二号適用	○
階 数	申請部分：地上3階(EV棟)、地上1階(ハトル・ホ-子屋根)	耐火建築物等	耐火建築物 (EV棟)、その他(ハトル・ホ-子屋根)	非常用の進入口の構造		126の7		
建築面積	申請部分：27.95㎡ (EV棟)、62.89㎡(ハトル)、5.67㎡(ホ-子屋根)	延べ面積	申請部分：83.85㎡ (EV棟)、49.51㎡(ハトル)、0.00㎡(ホ-子屋根)	敷地内の通路の適用範囲		127	法35条適用	○
法 文	建基法	施行令	チェック事項	確認	敷地内の通路			
建築物の建築等に関する申請及び確認	6		第1項第一号に該当する。	○	大規模な木造等の建築物の敷地内における通路		128の2	
国、都道府県又は建築主事を置く市町村の建築物に対する確認等	18		法6条の規定に準じ、計画通知書を提出する。	○	地下街		128の3	
敷地の衛生及び安全	19		敷地を衛生上、安全上必要な措置をする。	○	特殊建築物の内装	35の2	特殊建築物等は壁及び天井の室内に面する部分の仕上げを防火上支障がないようにする。→学校は免除	○
構造耐力	20		法6条3号に該当し構造計算必要(適判申請済)	○	制限を受ける窓その他の開口部を有しない居室(2)		128の3の2	排煙：1/50以上(床面積50㎡を超える居室)の窓を有しない居室(別途LVSチェック)
構造方法に関する技術的基準等		36~80の3	法20条で定める技術的基準は各条に適合する構造方法とする。	○	制限を受けない特殊建築物等		128の4	
構造計算		81~99	各条に適合する構造計算とする。	○	無窓の居室等の主要構造部	35の3		無窓居室の主要構造部は耐火構造とする。
大規模の建築物の主要構造部	21				窓その他の開口部を有しない居室等(3)		111	採光：1/20以上、1m以上の円が内接又は75cm×1.2m以上の窓を有しない居室
主要構造部を木造とすることができる大規模建築物		129の2の3			各規定の技術的基準	36		安全上、防火上及び衛生上必要な技術的基準は、政令で定める。
屋根	22				居室の天井の高さ		21	居室の天井高2.1m以上
外壁	23				居室の床の高さ及び防湿方法		22	
木造建築物等である特殊建築物の外壁等	24				階段の寸法		23	表(3) 階段幅1200以上、蹴上200以下、踏面240以上
第22条第1項の市街地の区域の内外にわたる場合	24の2				踊場の位置及び踏幅		24	高さ4m以内ごとに踊り場
大規模の木造建築物等の外壁等	25				階段等の手すり等		25	
防火壁	26		延べ面積が1000㎡を超える建築物は、防火壁で区画する。→耐火、準耐火建築物は免除	○	階段に代わる傾斜路		26	勾配1/8以下 粗面仕上げ
木造等の建築物の防火壁		113			特殊の用途に専用する階段		27	
耐火・準耐火建築物としなければならない特殊建築物	27		別表第一 三項の用途で3階以上は耐火建築物とする。	○	防火区画		112	面積区画：1500㎡以内(別途区画図参照)
耐火・準耐火建築物としなければならない特殊建築物		115の3						配管が防火区画を貫通する場合は隙間を不燃材料で埋める。
居室の採光及び換気	28		別途LVSチェックによる	○	建築物の界壁、間仕切壁及び隔壁		114	区画(学校)：教室等相互の壁及び教室等と避難経路を区画する壁。(別途区画図参照)
学校、病院、児童福祉施設等の居室の採光		19	法28条に規定する建築物、居室、採光の割合	○				
有効面積の算定方法		20	採光有効面積は採光補正係数を乗じて計算する。	○	建築物に設ける煙突		115	屋根面からの垂直距離60cm以上、各号に適合する仕様とする。
換気設備の技術的基準		20の2~3	換気設備の技術的基準は各条に適合する仕様とする。	○	建築設備の構造強度等		129の2の4~7	法20条の建築設備に係るものは各号に適合する仕様とする。各設備の設置及び構造は各条に適合する仕様とする。
石綿その他の物質の飛散又は発散に対する衛生上の措置	28の2		石綿その他の物質の飛散又は発散による衛生上の支障がないよう各基準に適合するものとする。(シックハウス)	○	建築材料の品質	37		安全上、防火上又は衛生上重要である部分に使用する建築材料は、各規格、基準に適合する品質であること。
居室の建築材料についてのホルムアルデヒドに関する技術的基準		20の7	第一種ホルムアルデヒド発散材料は用いないこと。第二種・第三種は本条に示す計算により床面積を超えないこと。	○	道路の定義	42		
居室の換気設備についてのホルムアルデヒドに関する技術的基準		20の8	換気設備の技術的基準は各号に適合するものとし、必要有効換気量以上であること。	○	敷地等と道路との関係	43		
地階における住宅等の居室	29				用途地域等	48		
地階における住宅等の居室の技術的基準		22の2			容積率	52		都計200%以下
長屋又は共同住宅の各戸の界壁	30				建ぺい率	53		60%以下
遮音性能に関する技術的基準		22の3			建築物の敷地面積	53の2		
便所	31		水洗便所とする。	○	第一・二種低層住居専用地域内の外壁の後退距離	54		
便所の構造等		28~35	便所の構造は各条に適合する仕様とする。	○	第一・二種低層住居専用地域内の建築物の高さの限度	55		
電気設備	32		電気設備は法律・命令の規定で建築物の安全及び防火に関するもの定める工法によって設けること。	○	建築物の各部分の高さ	56		
避雷設備	33				防火地域内の建築物	61		
避雷設備の設置・構造		129の14~15			準防火地域内の建築物	62		
昇降機	34		安全な構造、昇降路の周壁及び開口部は防火上支障がない構造とすること。	○	屋根	63		
昇降機の構造		129の3~13の3	各条に適合する仕様とする。	○	外壁の開口部の防火戸	64		
特殊建築物等の避難及び消火に関する技術的基準	35		政令で定める技術的基準に従って、避難上及び消火上支障がないようにする。	○	隣地境界線に接する外壁	65		
窓その他の開口部を有しない居室等(1)		116の2	採光：1/20以上 排煙：1/50以上の窓を有しない居室(別途LVSチェック)	○	看板等の防火措置	66		
適用の範囲		117	特殊建築物、階数3以上、無窓居室、延べ面積1000㎡を超える建築物に適用する。	○	建築物が防火地域又は準防火地域の内外にわたる場合の措置	67		
客席からの出口の戸		118						
廊下の幅		119	両側居室：1.6m以上 その他：1.2m以上	○				
直通階段の設置		120	表(2) 50(+10)m以下	○				●既存不適格(既存建築物：本館棟) 増築区分：令137条の2第2号イ
2以上の直通階段を設ける場合		121	1項六号口(2項適用)、3項	○				・集団規定 →適法
								・構造耐力関係規定 →既存不適格：令77条(柱の構造)帯筋の規定 ……適法
屋外階段の構造		121の2	木造以外の構造とする。	○				・上記以外の規定 →既存不適格：法28条の2(24時間換気) ……本工事で適法
避難階段の設置		122						
避難階段及び特別避難階段の構造		123						
共同住宅の住戸の床面積の算定等		123の2						
物品販売業を営む店舗における避難階段等の幅		124						
屋外への出口		125						
屋外への出口等の施設装置の構造等		125の2						
屋上広場等		126						
排煙設備の設置		126の2	排煙設備を設ける。→学校は免除	○				
排煙設備の構造		126の3						



附記	設計年月日	 管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠 担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖 製図 1級建築士 第 号	名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)	SCALE	図面No.
			法規チェックリスト		A-61	61枚の内



鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

§1 一般事項  
 1. 1-1 基本事項  
 1. 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。  
 2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。  
 また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5 (2018)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・解説 (2021)」による。  
 3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。  
 4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

§2 共通事項  
 鉄筋の表示記号及び最大径は下表による。

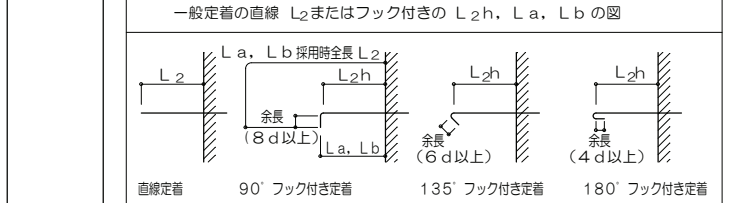
記号	●	×	○	◎	⊗	◆	⬠
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29
	D32	D35	D38	D41			
最大径 D	11	14	18	22	26	29	33
	37	40	43	47			

- フックのない場合
- フックのある場合
- 本数に差がある場合
- 機械式継手表示
- ガス圧接、溶接継手表示

柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

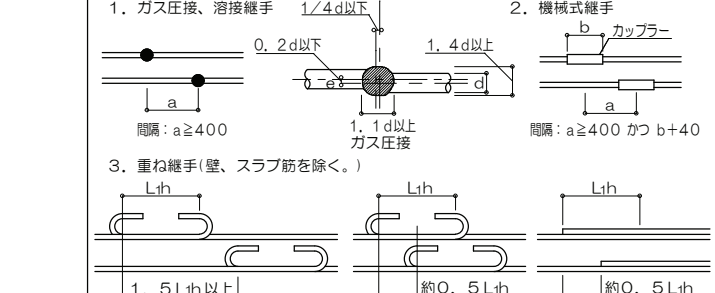
折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径 (D)
180°		柱・梁主筋 基礎主筋 帯筋 あばら筋 スパイラル筋 スラブ筋 壁筋	SD295 SD345	D16以下 D19~D41	3d以上 4d以上
135°			SD390	D41以下	5d以上
90°		(SD490のみ)	SD490	D25以下 D29~D41	5d以上 6d以上

鉄筋の種類	コンクリートの設計強度 (N/mm <sup>2</sup> )	重ね継手の長さ	定着の長さ				
			一般	小梁・床スラブ	土に接しない部分	土に接する部分	基礎・擁壁
SD295 SD345 (1はSD345を示す)	18	45d (50d) 35d	40d 30d, 20d	15d (20d)	L <sub>3</sub> =20d L <sub>3h</sub> =10d 床スラブの場合 L <sub>3</sub> =10d かつ 150以上	SD490 は適用外	
	21	40d (45d) 30d	35d 25d, 15d (20d)	15d			
	24~27	35d (40d) 25d (30d)	30d (35d) 20d (25d), 15d (20d)	15d			
	30~36	35d (40d) 25d (30d)	30d (35d) 20d (25d), 15d (20d)	15d			
SD390 (SD490 (-)は適用外)	21	50d (-) 35d (-)	40d (-) 30d (-), 20d (-)	20d (-)			
	24~27	45d (55d) 35d (45d)	40d (45d) 30d (35d), 20d (25d)	15d			
	30~36	40d (50d) 30d (35d)	35d (40d) 25d (30d), 20d (25d)	15d			
	39~45	40d (45d) 30d (35d)	35d (40d) 25d (30d), 15d (20d)	15d (-)			



- 重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きの L<sub>2h</sub> は仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
- 軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5dを加算する。
- 構造特記仕様書2-2で第73条を選択した場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは上表 L<sub>1</sub> かつ 40d (軽量コンクリートを使用する場合は 50d) とする。但し、計算ルートにルート1とした場合は、柱に取り付け主筋の定着長さは上表 L<sub>2</sub> かつ 40d 以上とする。
- 構造特記仕様書2-2で JASS5 (2018)、RC規準 2018 とした場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは設計図によるが、参考値として上表 JASS5 (2018) に L<sub>1</sub>, L<sub>2</sub> を示す。

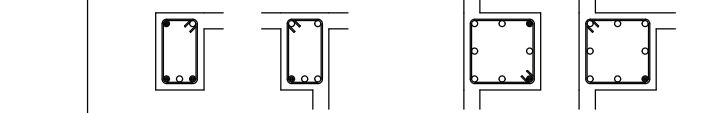
2-4 継手一般  
 ガス圧接継手・溶接継手・機械式継手に関する事項は、標準仕様書および、施工要領ならびに鉄筋継手工事特記仕様書 (2019年版) 共に公益社団法人日本鉄筋継手協会編に準拠。



- ガス圧接、溶接継手 1/4d以下
- 機械式継手
- 重ね継手 (壁、スラブ筋を除く)
- D35以上の鉄筋は原則として重ね継手は用いない。 (ガス圧接、溶接、機械式継手等による)
- 溶接継手及び機械式継手の場合はメーカー仕様による。

2-5 鉄筋のフック  
 ○下記の1.~7.に示す鉄筋の末端部にはフックをつける。

- あばら筋及び帯筋
- 煙突の鉄筋
- 柱及び梁 (基礎梁を除く) の出隅部分の鉄筋 (下図参照)



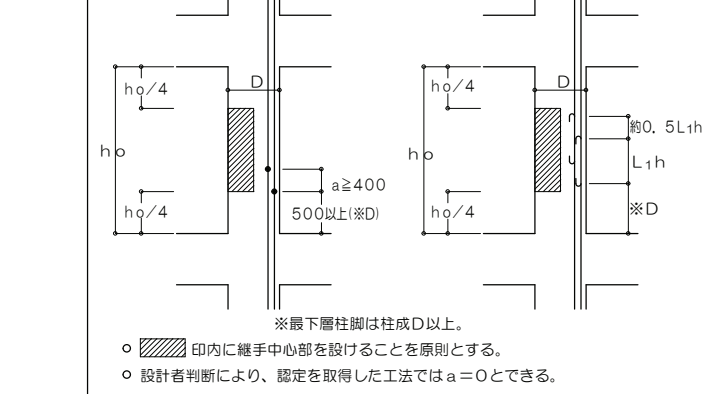
- 片持ちスラブの上端筋の先端
- 最上階及びこれに準ずる箇所の柱頭側の四隅の鉄筋
- 杭基礎の基礎筋 (偏心基礎及び杭2本以上の場合)
- 鉄骨柱の脚部の基礎柱、又は根巻コンクリートの四隅の鉄筋

2-6 鉄筋のあき  
 ○鉄筋のあき a は原則として下記による。  
 呼び名の数値 d の1.5倍以上 (粗骨材の最大寸法の1.25倍以上) かつ2.5以上  
 ○鉄筋径が異なる場合は大きい方による。  
 ○二段筋のあきは1.5d かつ 粗骨材最大寸法の1.25倍以上とする。

部位	かぶり厚さ	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分		
屋根スラブ	30 (20)	30 (20)
床スラブ		
非耐力壁	30 (20)	40 (30)
柱		
耐力壁	40 (30)	40 (30)
擁壁		
土に接する部分		
基礎・擁壁	50 (40)	50 (40)

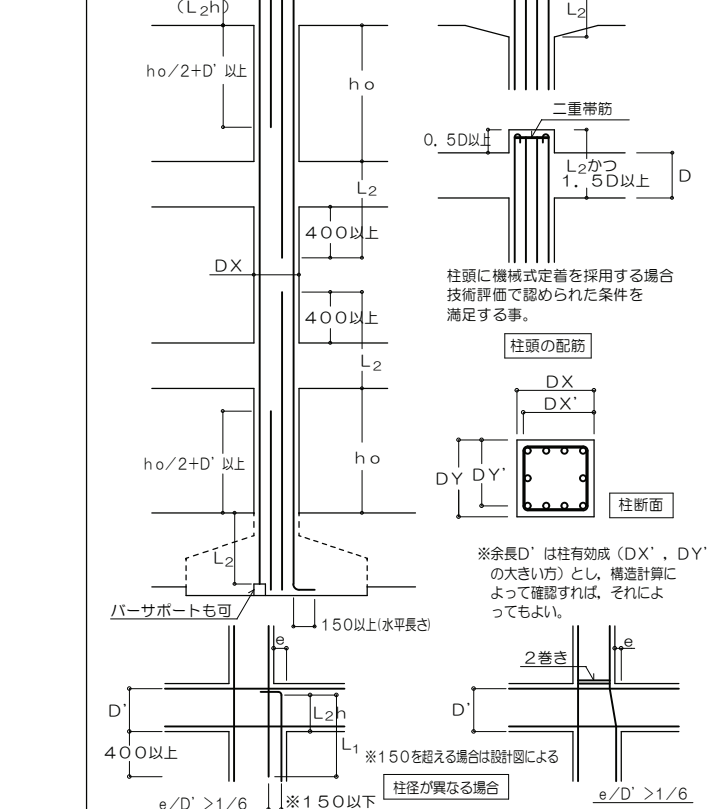
- ( ) 内の数値は最小かぶり厚さを示す。
- 仕上げありとは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
- \*1 品質・施工方法に応じ、工事監理者の承認で10%減の値とすることができる。
- \*2 軽量コンクリートの場合は、これに10加算する。
- 柱・梁の主筋の最小かぶり厚さは、表の数値以上かつ主筋径の1.5倍以上とする。

§3 柱

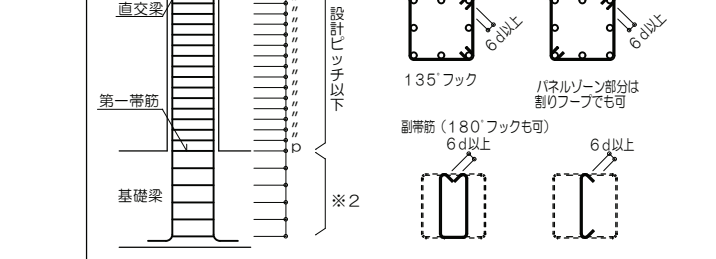


- 印内に継手中心部を設けることを原則とする。
- 設計者判断により、認定を取得した工法では a=0 とできる。

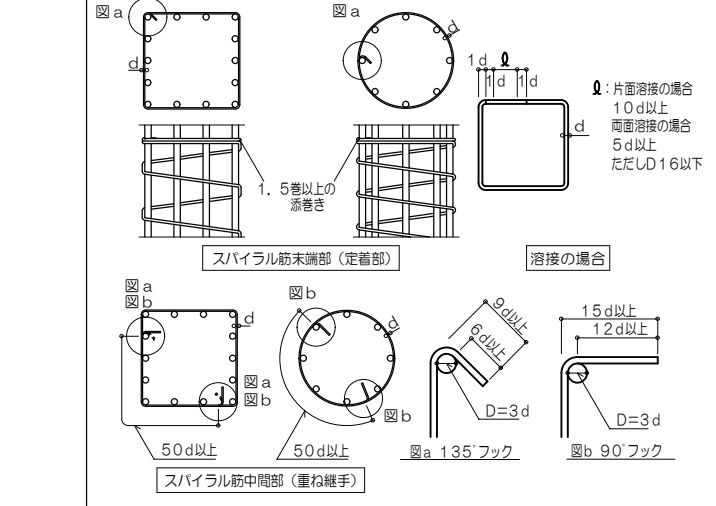
3-2 主筋の定着  
 (L<sub>2h</sub>) は RC規準 2018 17条によってもよい。又は下図による。



3-3 帯副筋  
 ○第一帯筋 (D13以上使用の事) は梁上端筋直上に入れ、その間を設計ピッチ以下に割り付ける。  
 ○帯筋の加工は下図による。



- パネルゾーンでの帯筋は設計図によるが、明記なき場合は下記による。ただし帯筋量 (ρ<sub>w</sub>) は 0.2% 以上とする。
- \*1 設計ピッチの1.5倍以下とする。D形以上の場合は同径同材質で □形 @ 100 以下とする。
- \*2 基礎梁部分は、同径で □形 @ 150 以下とする。
- スパイラル筋の末端処理及び継手は下記のとおりとする。
- 1. 末端は 1.5巻以上の巻数をし、図 a のフックをつける。
- 2. 重ね継手は重ね長さ 50d 以上とし、図 a 又は図 b のフックをつける。

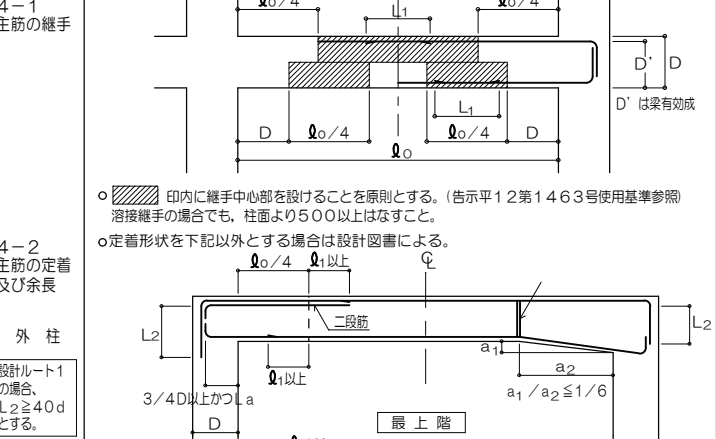


3-4 補助筋  
 3-5 柱のコブファインド補強

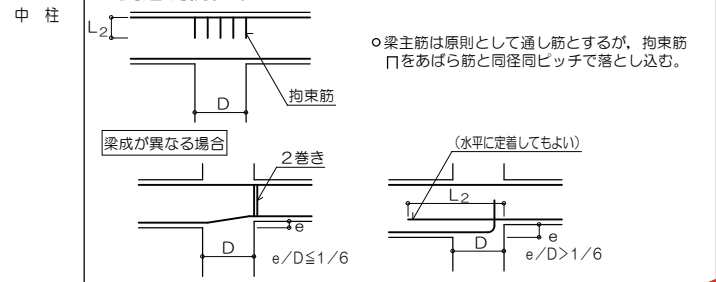


補強する柱は設計図による。(柱頭、柱脚柱成の範囲を補強する。)  
 a: スパイラル帯筋 @ 60~75 (有効間隔 50 程度)  
 b: 溶接閉鎖型帯筋 @ 60~75 (有効間隔 50 程度)

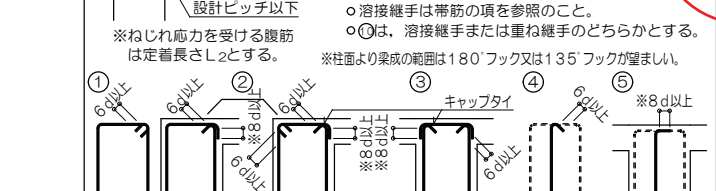
§4 梁



4-1 主筋の継手  
 ○印内に継手中心部を設けることを原則とする。(告示平12第1463号使用標準準拠 溶接継手の場合でも、柱面より500以上はなすこと。)  
 ○定着形状を下図以外とする場合は設計図による。

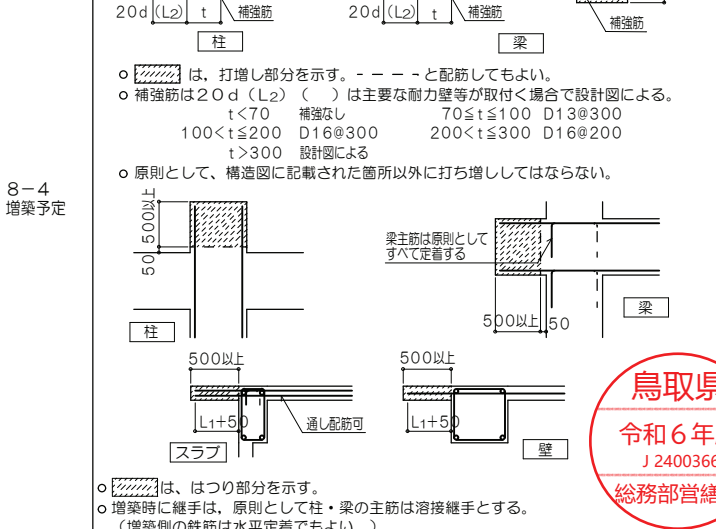
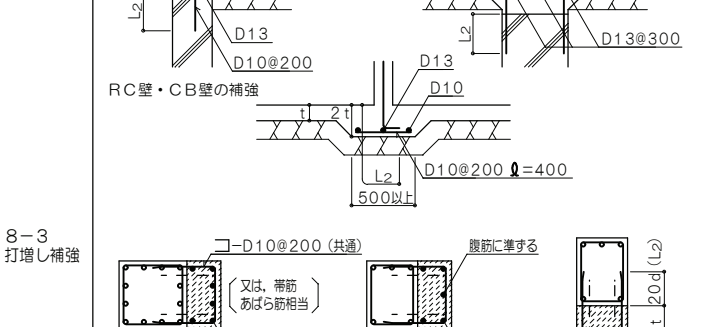
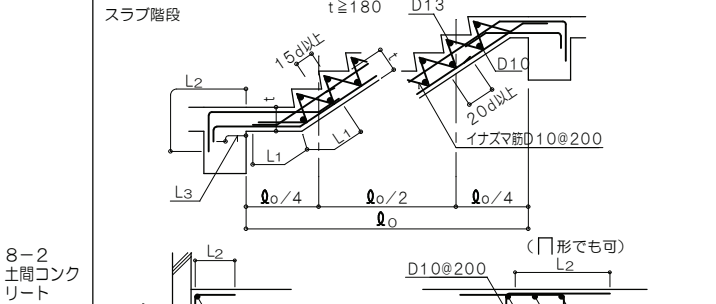
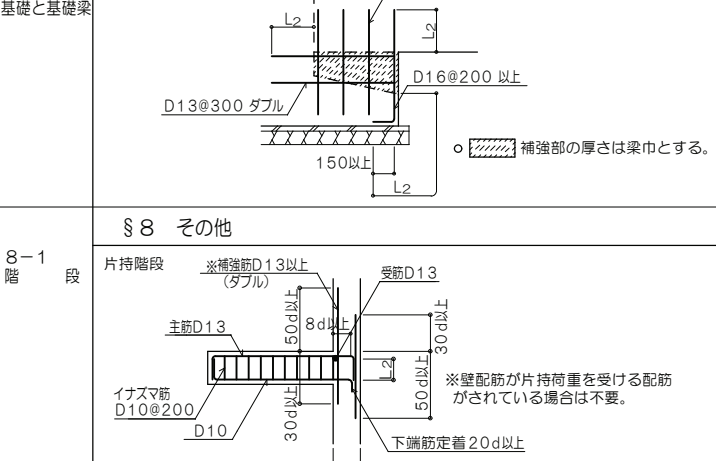
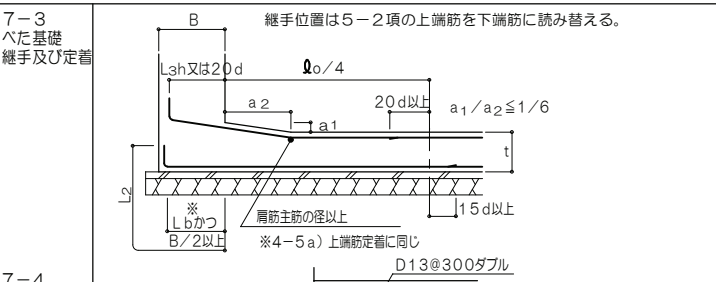
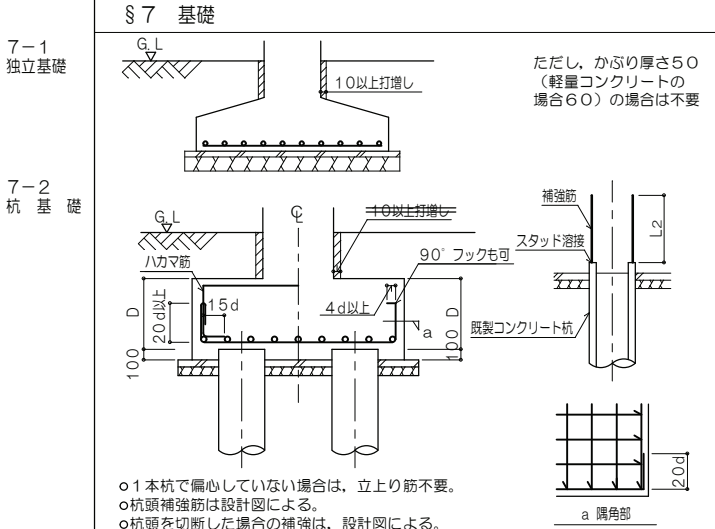
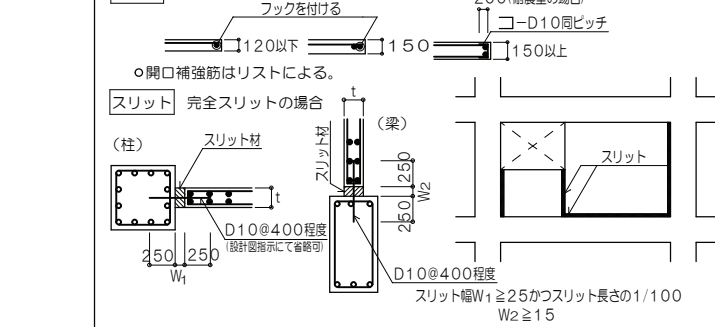
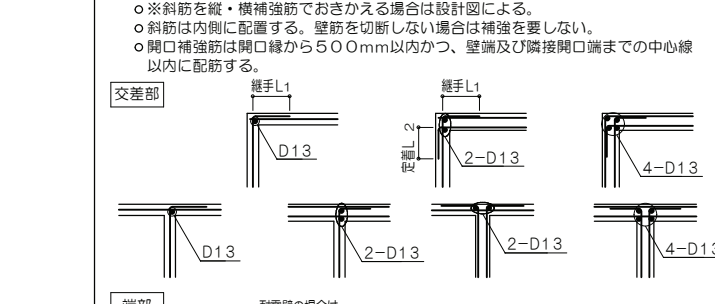
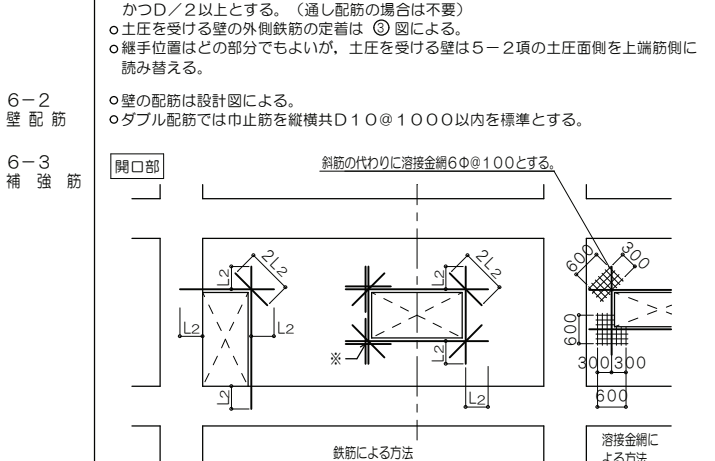
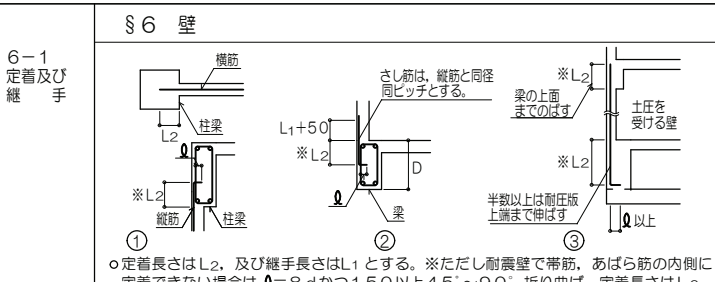
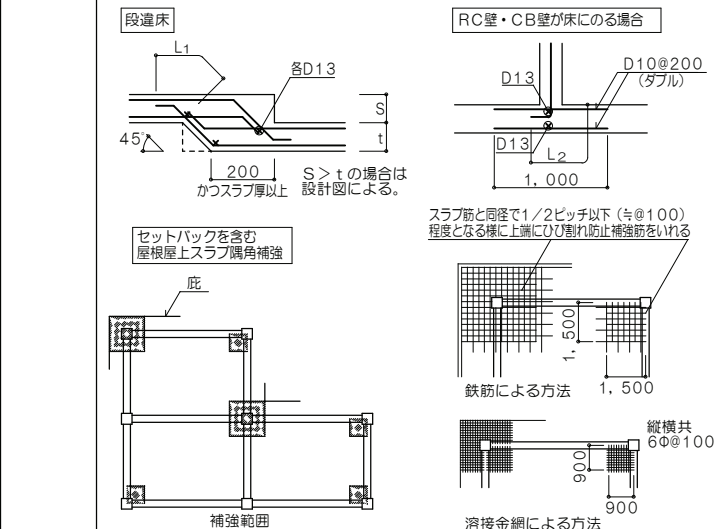
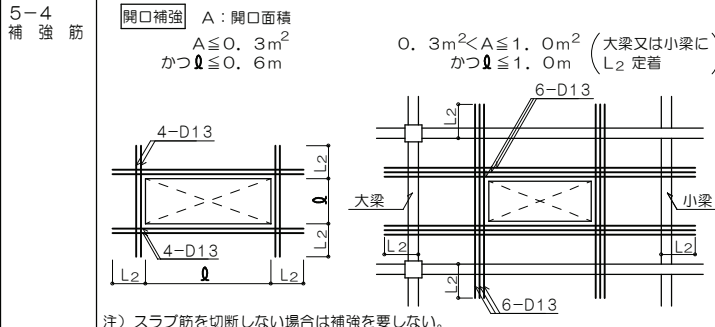
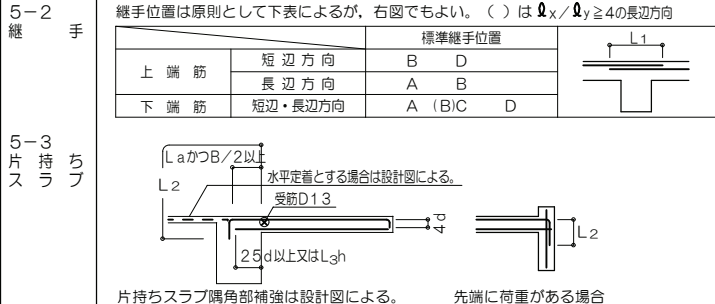
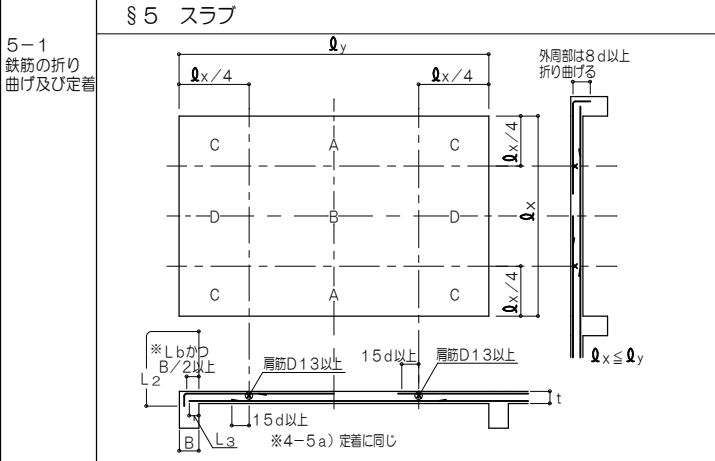
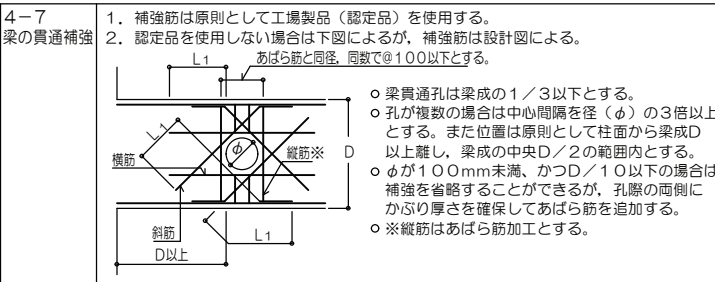
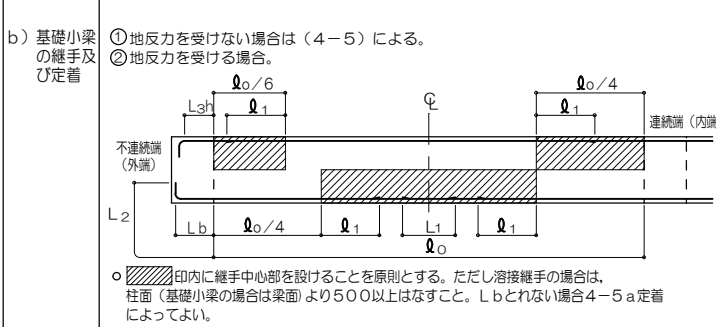
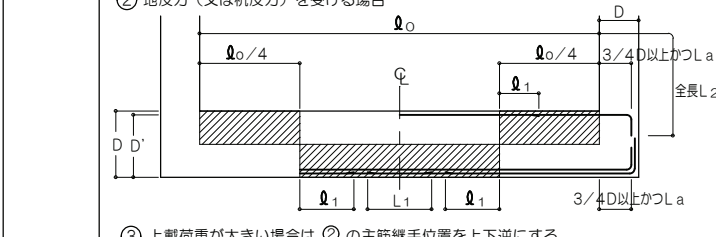
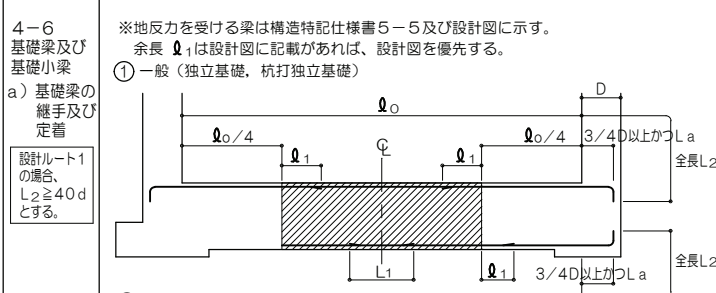
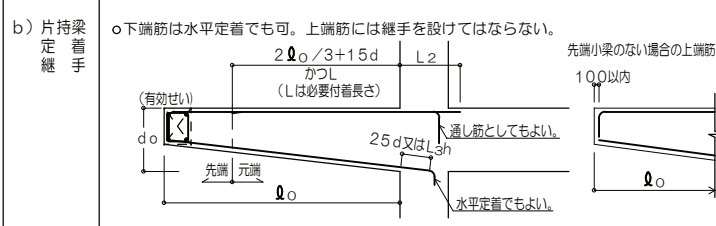
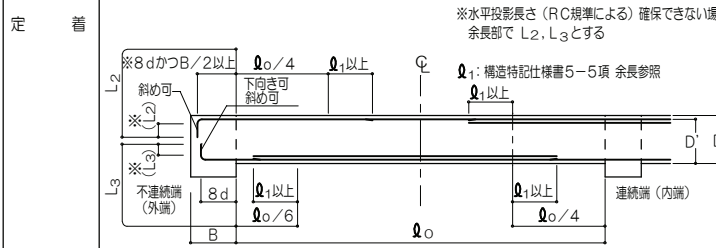
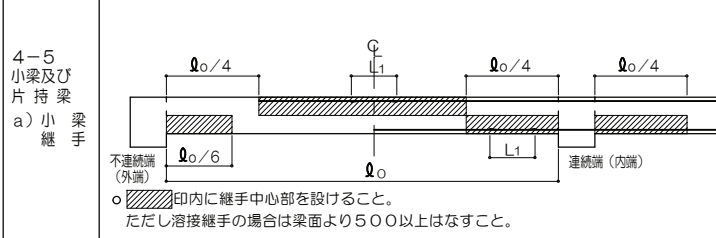
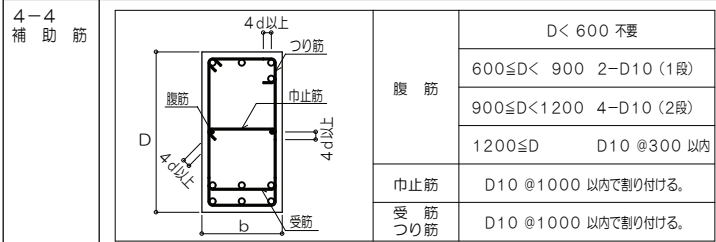


4-2 主筋の定着及び余長  
 外柱  
 設計ルート1の場合、L<sub>2</sub> ≥ 40d とする。



中柱  
 ○梁主筋は原則として通し筋とするが、拘束筋口をあばら筋と同径同ピッチで落とし込む。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)



鳥取県 令和6年度 J2400366 総務部管轄課

1級建築士 登録番号 330399号 株式会社 佐々木構造設計  
構造設計1級建築士 登録番号 9716号 佐々木 良介

設計年月日 (2025) R7.1.1

(有)フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東蔵城町143番地 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689

管理建築士 第325872号 竹中 誠  
担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖  
製図 1級建築士 第 号

名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

SCALE 1: - 図面No. S-03 15 枚の内

鉄骨工作標準図(1)

§ 1 一般事項

- 1-1 基本事項  
 1) 使用材料, 工法等は構造特記仕様書による。  
 2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書1-2-4, 5に指定した共通仕様書および標準仕様書による。  
 3) 製作精度等に関しては, JASS6の付則6「鉄骨精度検査基準」による。  
 4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。
- 1-2 その他

§ 2 共通事項

- 2-1 略号  
 ● AB アンカーボルト  
 ● BPL ベースプレート  
 ● DFPL ダイヤフラム  
 ● FPL フランジプレート  
 ● HTB 高力ボルト  
 ● SPL スプライズプレート  
 ● WPL ウェブプレート  
 ● BH 組立てH形鋼  
 ● CHPL チェッカープレート  
 ● FB フラットバー  
 ● GPL ガセットプレート  
 ● RPL リフプレート  
 ● TB ターンバックル  
 ● W<sub>1-9</sub> 溶接記号(§4参照)

§ 3 ボルト接合

ボルトの長さ

ねじの呼び	締付け長さに加える長さ	
	F8T, F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40

1, 特記以外はすべてS10T(トルシア形高力ボルト, 上図)又はF10Tとする。  
 2, 本締め使用するボルトと, 仮締めボルトの兼用はしてはならない。  
 3, ボルトの接合面の処理は, 締付け摩擦面を平グライнда掛け等を行い, 黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし, ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。締付けは1次締付け後, マーキングを入れてから本締めをする。  
 4, 亜鉛メッキボルトの場合は, すべてF8Tとする。

3-2 高力ボルトのピッチ

呼び径 孔径	標準 ピッチ	最小 はしあき	e	M16	M20	M22	M24
				標準	18	22	24
		40	50	55	60		
		28	34	38	44		
		22	26	28	32		

( )内はボルトが応力方向に3本以上並ばない場合を示す。

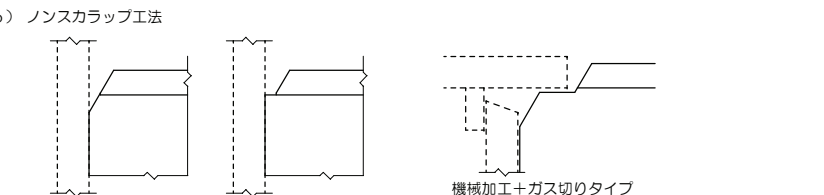
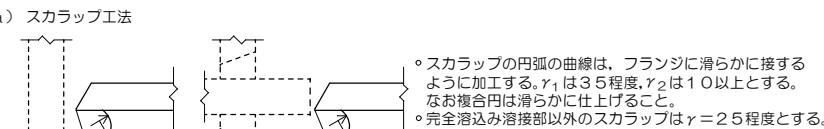
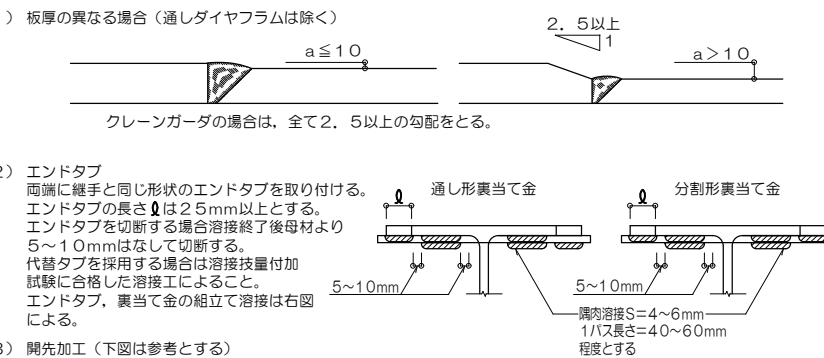
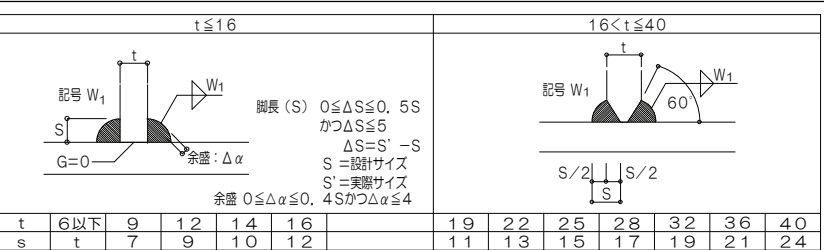
3-3 形鋼のゲージ

ゲージ E <sub>2</sub>	千鳥打ちのピッチb	
	M16, 20, 22	M24
35	50	65
40	45	60
55	25	45

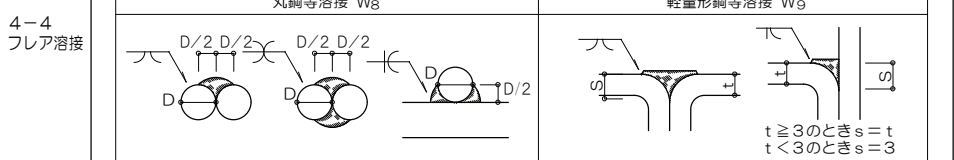
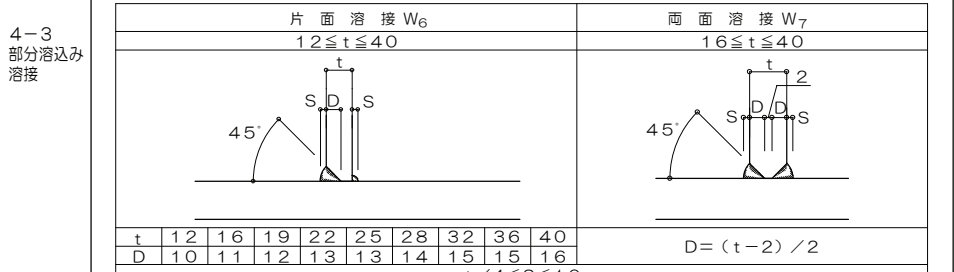
A or B	E <sub>1</sub>	E <sub>2</sub>	最大孔径	B			最大孔径		
				B	E <sub>1</sub>	E <sub>2</sub>			
**50	30	16	16	**100	60	16	**50	30	16
60	35	16	16	125	75	16	65	35	20
65	35	20	20	150	90	22	70	40	20
70	40	20	20	175	105	22	75	40	22
75	40	22	22	200	120	24	80	45	22
80	45	22	24	250	150	24	90	50	24
90	50	24	24	*300	150	40	24	100	55
100	55	24	24	350	140	70	24		
125	50	35	24	400	140	90	24		
130	50	40	24						
150	55	55	24						
175	60	70	24						
200	60	90	24						

\* B=300は千鳥打ちとする。  
 \*\* \*印の欄のg及び最大孔径の値は強度上支障がないとき最小線端距離の規定にかかわらず用いることができる。

§ 4 溶接接合

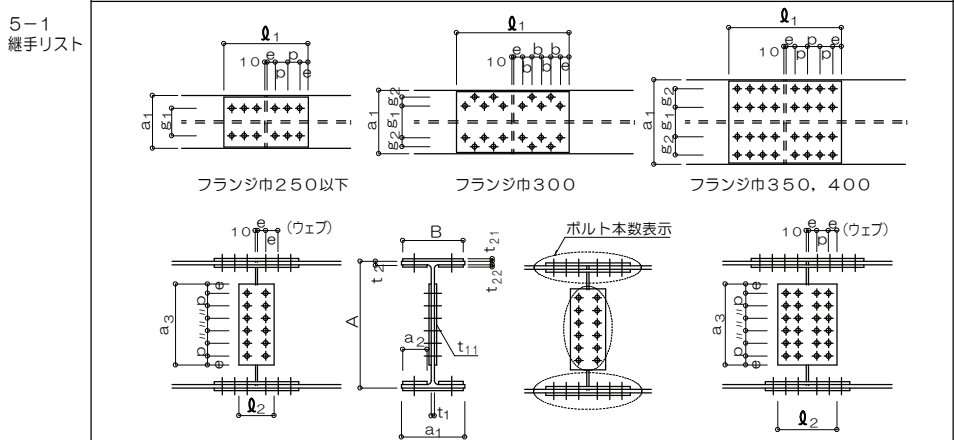


MC・・・はアーキ手溶接 GC・・・はガスシールドアーキ溶接・セルフシールドアーキ溶接の記号を示す。



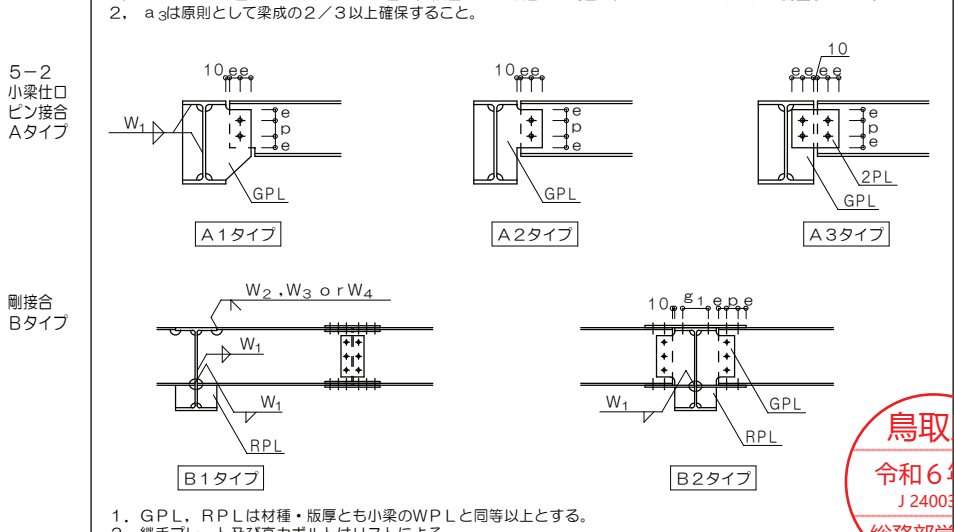
4-5 その他 加工工程中及び現場運搬後においてもアークストライク, ショートヒートをしてはならない。

§ 5 継手



材種	主材	フランジ		ウェブ		
		ボルト 本数	外側溶接	内側溶接	ボルト 本数	溶接
H	A × B × t <sub>1</sub> × t <sub>2</sub>	2PL-	x	x	2PL-	x
BH	A × B × t <sub>1</sub> × t <sub>2</sub>	4PL-	x	x	4PL-	x
H	x x x	x	x	x	x	x
H	x x x	x	x	x	x	x
H	x x x	x	x	x	x	x
H	x x x	x	x	x	x	x
H	x x x	x	x	x	x	x
H	x x x	x	x	x	x	x
H	x x x	x	x	x	x	x
H	x x x	x	x	x	x	x
H	x x x	x	x	x	x	x

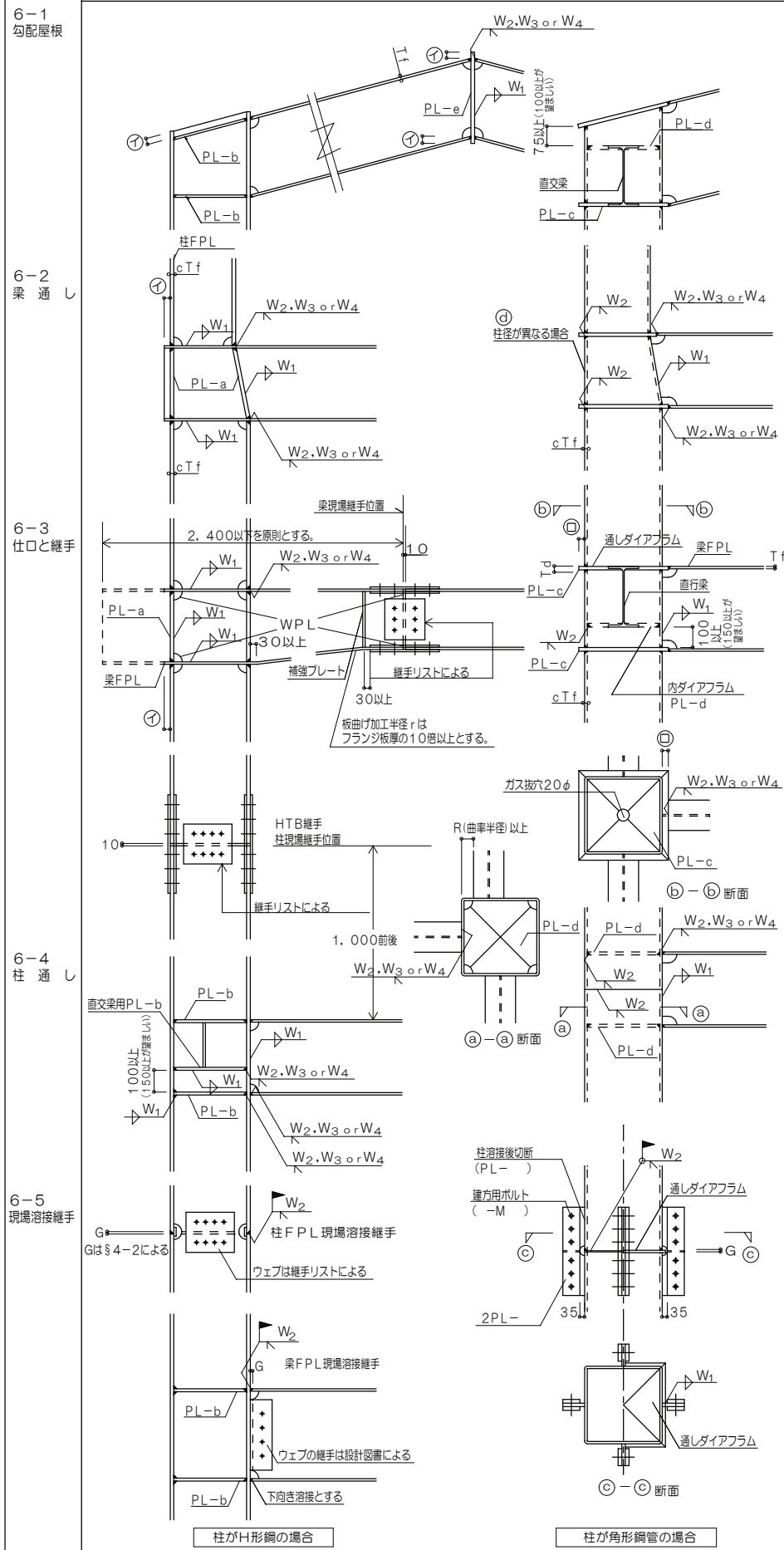
1, フランジPL面もしくはウェブPL面で, 段差1mmを超える場合は, フィラーPLを入れて調整すること。  
 2, a<sub>3</sub>は原則として梁成の2/3以上確保すること。



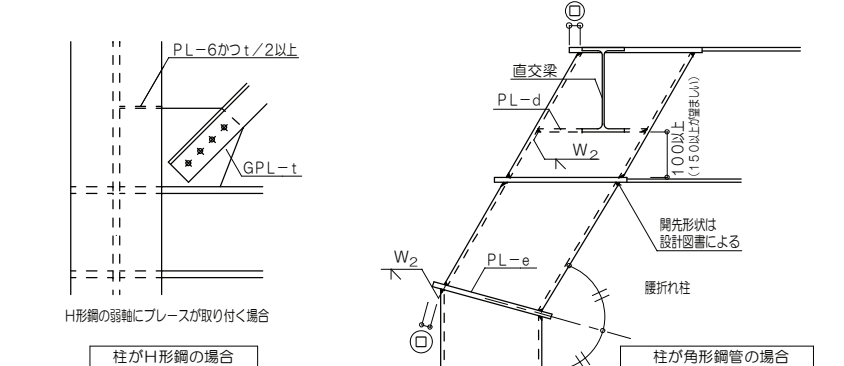
鳥取県  
 令和6年度  
 J2400366  
 総務部営繕課

鉄骨工作標準図(2)

§6 柱梁接合部及び継手

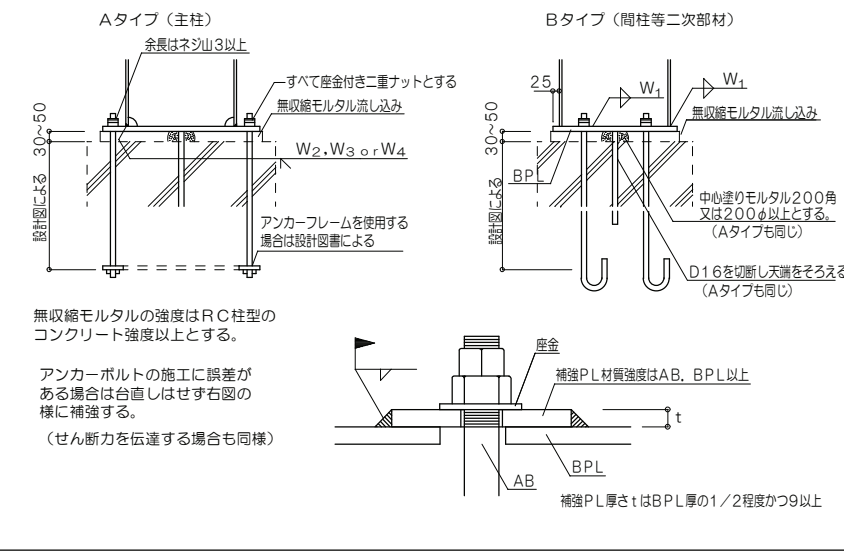


6-6 その他

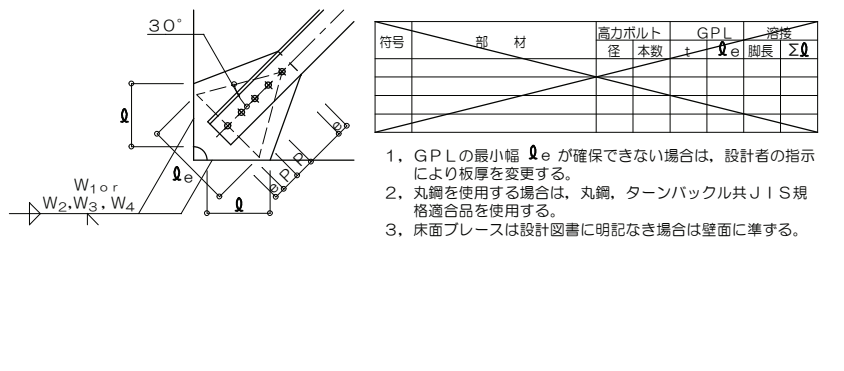


- 1) パネルゾーン内のPLの厚さ  
 1. PL-a (鉛直スチフナ) 上下柱のFPLの厚い方より1サイズUP以上  
 2. PL-b (水平スチフナ) 仕口部に集結する梁の最大FPLより1サイズUP以上  
 3. PL-c (通しダイアフラム) 仕口部に集結する梁の最大FPLより2サイズUP以上かつ柱のFPL以上  
 4. PL-d (内ダイアフラム) 仕口部に集結する梁の最大FPLより1~2サイズUP以上  
 5. PL-e (折れ曲がり部) 梁(柱)のFPLより1サイズUP以上
- 2) 出寸法  
 ① 25mmかつcTf以上  
 ② cTf ≤ 25の場合 25  
 cTf ≥ 28の場合 30
- 3) 注記  
 1. ダイアフラムの材質は特記仕様による。特記なき場合は、接続する柱及び梁の1ランク上質とする。また接続する柱及び梁の強度及び材質の異なる場合は、強度は大きい方に同じとし、材質は上の方の1ランク上質とする。  
 2. ③(6-2項)上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下階柱の厚い方、材質は上下階柱と同材質以上とし、折り曲げ加工、又は溶接加工とする。  
 3. ハンチ部でFPLを折曲げる場合はR ≥ 10Tfとし補強プレートを入れる。ただし、勾配のゆるい場合(1/6程度)は不要。  
 4. ダイアフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジはダイアフラムの厚みの内部で溶接すること。(告示1464)  
 5. 現場溶接を行なう場合は工事監督者の承認を得、養生に十分配慮して行うこと。

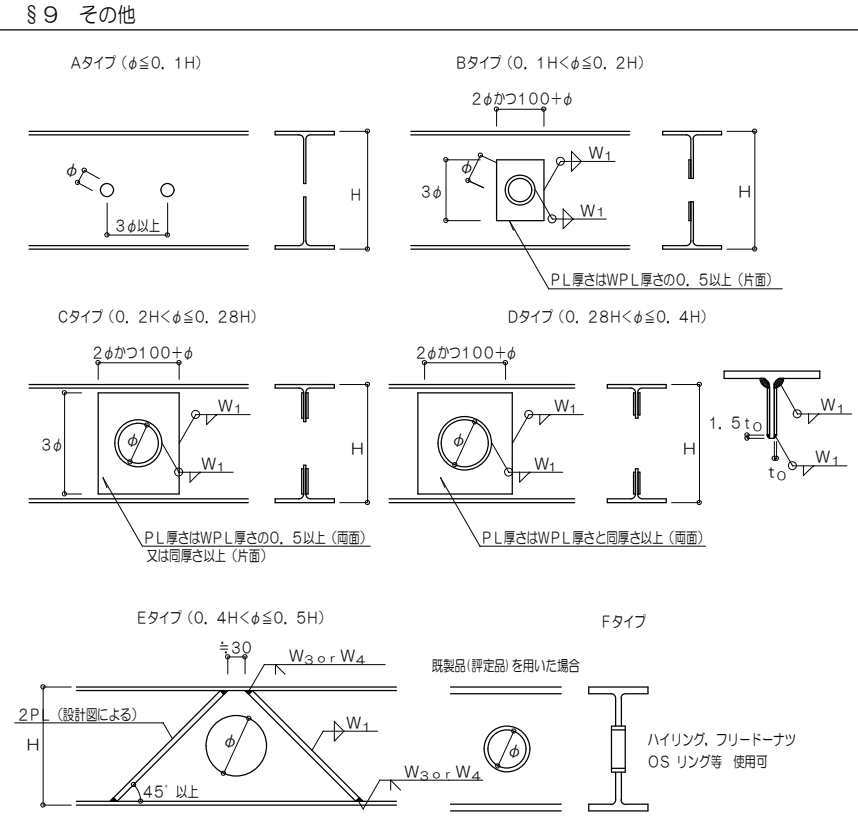
§7 柱脚



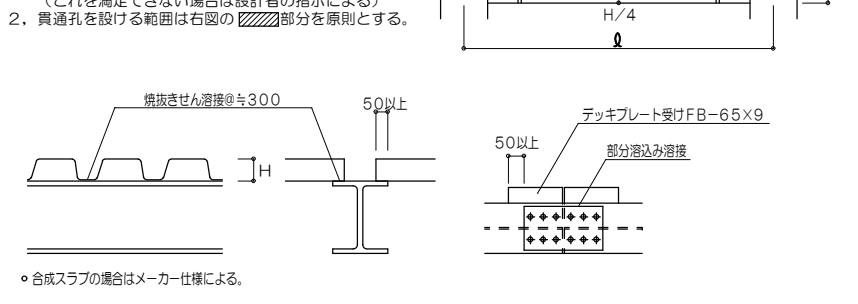
§8 壁面ブレース



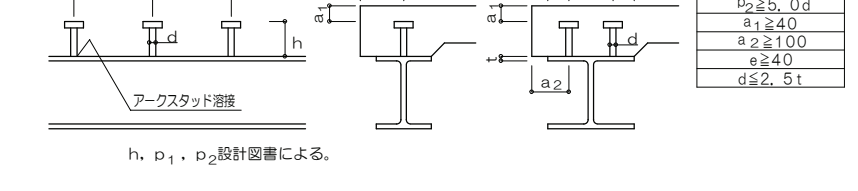
9-1 貫通補強



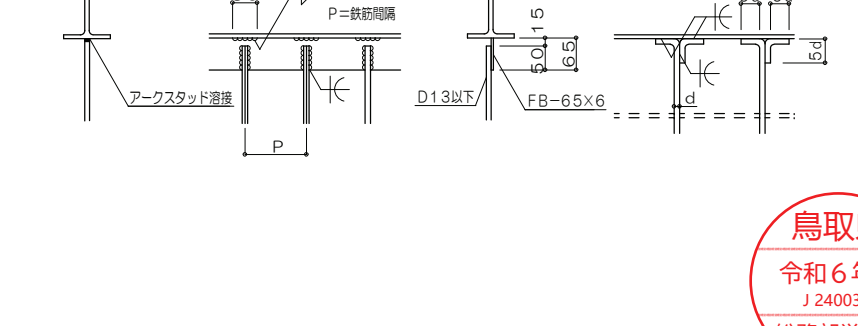
9-2 テッキプレート



9-3 スタッドジベル



9-4 壁筋の溶接



鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

設計年月日	
設計者	
承認者	

**有)フジ総合設計事務所**  
 〒682-0802 鳥取県倉吉市東城町143番地  
 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 第325872号 竹中 誠  
 1級建築士 第379560号 永田 靖  
 担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖  
 製図 1級建築士 第 号

名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
SCALE	1: -
図面No.	S-05
枚の内	16

1級建築士 登録番号 330399号 株式会社 佐々木構造設計  
 構造設計1級建築士 登録番号 9716号 佐々木 良介

# デッキ合成スラブ 設計・施工標準仕様書

e-works+  
開口緩和

タイプ  
B

合成スラブの設計・施工は(一社)日本鋼構造協会編「デッキプレート床構造設計・施工標準」(一社)日本建築学会編「各種合成構造設計指針・同解説」(一社)日本建築学会編「建築工事標準仕様書・同解説のうちJASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」合成スラブ工業会編「大臣認定・無被覆耐火構造 合成スラブの設計・施工マニュアル」日鉄デッキプレートカタログ及び設計・施工便覧による。

## 1. 設計

品名	E250		E275		種類等の記号*1
	板厚(mm)	表面処理	仕様	仕様	
デッキプレート	1.0	めっき	Z12 □ Z27 □ K18 □ その他		SDP2G
	1.2	なし	Z12 □ Z27 □ K18 □ その他	#2	SDPIT
	1.6	めっき	Z12 □ Z27 □ K18 □ その他	#2	SDP2G
(注)	*1 JIS G3352 *2 JIS K5621(2008) 4種の防錆性を有した塗料				

種類	普通コンクリート		種類等の記号*1
	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	仕様	
コンクリート	18	Z1 □ Z24	SDP2G
	24	Z1 □ Z24	SDP2G
デッキ山厚さ(mm)	50 □ 60 □ 70 □ 80 □ 85 □ 90		

溶接金網又は異形鉄筋	溶接金網 (JIS G3551)	異形鉄筋 (JIS G3112, G3117)
溶接金網	φ6-150 □ φ6-100 □	D10-200 □
スーパーEデッキ用システム部品	SEV <sup>+</sup> - <sup>+</sup> □ SEV <sup>+</sup> - <sup>-</sup>	SEV <sup>+</sup> - <sup>-</sup> □ SEV <sup>+</sup> - <sup>+</sup>
デッキプレート端部仕様	エンドクロス □ 小口フタ	
梁との接合形式	頭付キスタッド □ 溶接金網又は異形鉄筋	
認定仕様により適用可能な範囲が異なります。	焼抜き溶接 □ SPW : 標準溶接 18mm以上 ※溶接位置等は特記による。	焼抜き溶接 □ SPW : 標準溶接 18mm以上 ※溶接位置等は特記による。
e-works+開口緩和 (EZ50)	BCJ評定-ST1006-07 ※詳細は7. e-works+開口緩和 (EZ50) 参照	

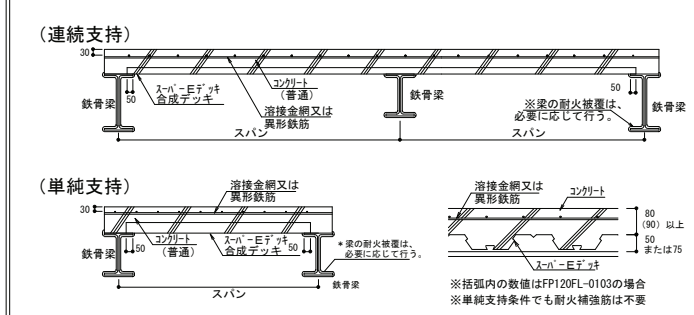
デッキプレート形状・寸法	システム部品
E250 E275	SEF SEV <sup>+</sup> - <sup>-</sup> SEV <sup>+</sup> - <sup>+</sup>
※清部換算スラブ厚さは、E250 24mm, E275 36mmです。	

## 2. 耐火設計 (耐火補強筋不要仕様)

耐火区分	品名	認定番号	認定条件		
			断面仕様	使用条件	
床1時間	E250	FP060FL-0066 FP060FL-0079 FP060FL-0104	21~24 18~24 18~24	単純連続	
	E275	FP060FL-0073 FP060FL-0078	18~24 18~24	単純連続	
	床2時間	E250	FP120FL-0183	18~24	単純連続
		E275	FP120FL-0103	18~24	単純連続

※注意\*3 鉄筋比は、0.2%以上、同時打ちでスラブ増打ちをする場合は注意すること。  
\*4 許容荷重は、全荷重(固定荷重+積載荷重)からスラブ自重を差し引いた数値である。  
\*5 許容スパンは、鉄骨梁の中心間距離とする。  
本表の許容スパンは耐火設計の条件であるので、別途施工時の許容スパンを確認すること。  
\*6 この耐火条件に適合しない場合は吹付けロックウール被覆耐火構造(下記表参照+デッキ板厚注意)を適用する。  
\*7 頭付キスタッドはφ16mm以上φ300mm以下とする。  
\*8 スラブ自重が2.730N/m を超える場合は、超えた重量分を許容積載荷重から差し引く。

認定番号	耐火時間	吹付け厚さ(mm)	かさ比重(g/cm <sup>3</sup> )	品名	デッキ板厚(mm)
FP060FL-0114	1時間	15以上	0.3以上	E250	1.0以上
FP060FL-0115	1時間	15以上	0.3以上	E275	1.0以上
FP120FL-0212	2時間	20以上	0.3以上	E250	1.0以上
FP120FL-0117	2時間	20以上	0.3以上	E275	1.0以上

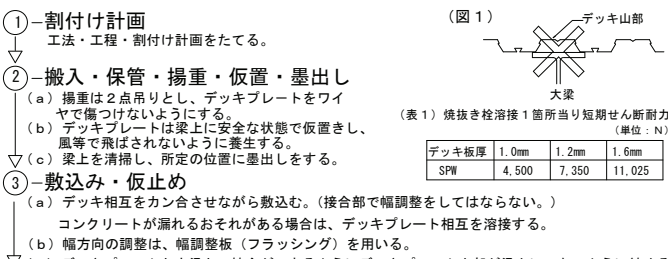


## 3. 施工時許容スパン (単位: m)

品名	板厚(mm)	山上コンクリート厚さ <sup>(注3)</sup>														
		70mm		80mm		85mm		90mm		100mm						
E250	1.0	2.35	3.06	2.90	2.30	2.97	2.85	2.28	2.93	2.82	2.26	2.89	2.79	2.22	2.81	2.74
	1.2	2.48	3.33	3.07	2.43	3.23	3.01	2.41	3.19	2.98	2.39	3.14	2.95	2.34	3.06	2.90
E275	1.0	3.06	3.72	3.73	3.00	3.62	3.68	2.98	3.57	3.66	2.95	3.52	3.63	2.90	3.43	3.59
	1.2	3.24	4.05	3.90	3.18	3.94	3.84	3.15	3.89	3.82	3.12	3.84	3.79	3.07	3.74	3.74
E275	1.6	3.53	4.42	4.16	3.47	4.36	4.10	3.44	4.33	4.08	3.41	4.31	4.05	3.35	4.25	4.00

※注意1 算出方法は、「デッキプレート床構造設計・施工標準」に準拠しています。  
2 単純支持条件の場合は「単梁」の欄を、連続支持条件の場合は「2連梁」「3連梁」欄の数値をご使用下さい。(支持スパンのとり方は右図を参照)  
3 耐火要求のない場合又はロックウール被覆耐火構造(2. 耐火設計参照: 板厚1.2mm以上)とする場合は、山上コンクリート厚さを50mm以上とする必要があります。

## 4. 施工

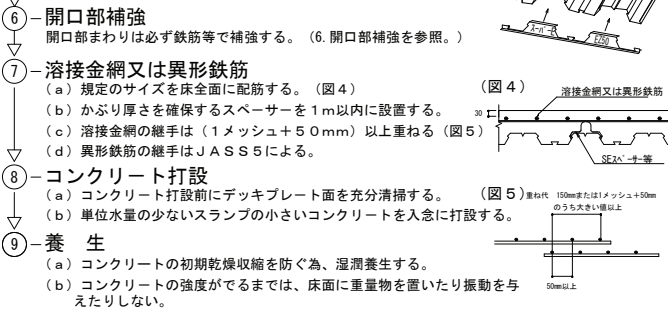


① 割付け計画  
② 搬入・保管・揚重・仮置・墨出し  
③ 敷込み・仮止め  
④ デッキプレートと梁との接合

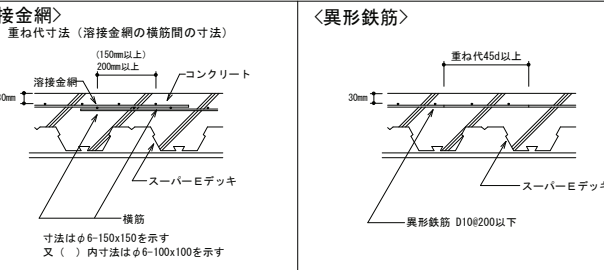
項目	溶接方法
溶接作業者資格	JIS Z 3801基本級以上又はJIS Z 3841基本級以上
溶接棒及び溶接材料	低水素系溶接棒φ4mm
溶接機	交流アーク溶接機AW250A以上又はエンジン溶接機230A以上
標準溶接電流(A)	190~230
溶接条件	アークタイム(sec) 8~12
溶接径(mm)	18以上

項目	溶接方法
溶接作業者資格	JIS Z 3801基本級以上又はJIS Z 3841基本級以上
溶接棒及び溶接材料	低水素系溶接棒φ4mm
溶接機	交流アーク溶接機AW250A以上又はエンジン溶接機230A以上
標準溶接電流(A)	190~230
溶接条件	アークタイム(sec) 8~12
溶接径(mm)	18以上

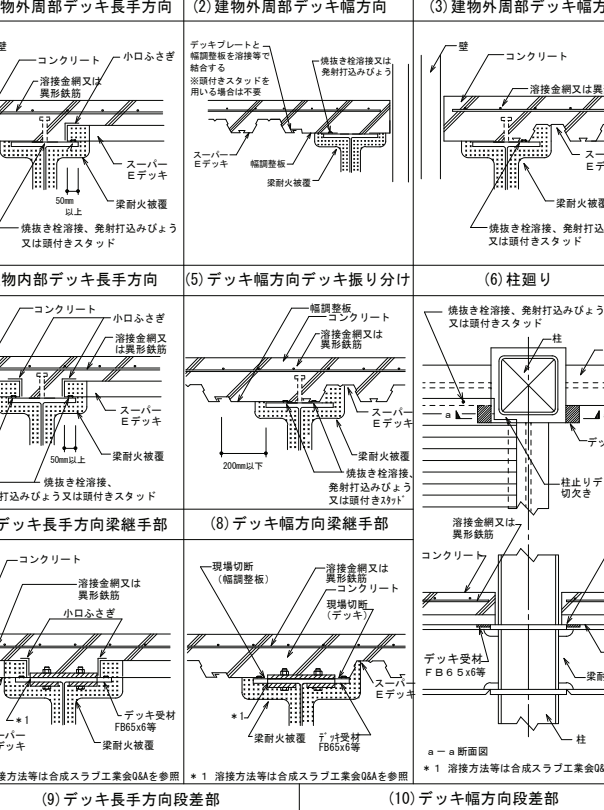
⑤ 小口ふさぎ・コンクリート止め  
⑥ 開口部補強  
⑦ 溶接金網又は異形鉄筋  
⑧ コンクリート打設  
⑨ 養生



## 5-1. 溶接金網又は異形鉄筋の納り(共通)



## 5-2. 標準納まり:S造(鉄骨造)の場合



## 6. ひび割れ拡大防止のための留意点(参考)

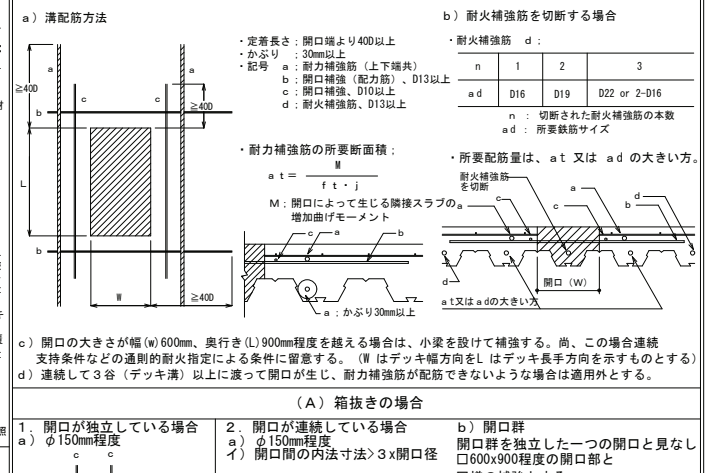
以下のひび割れ拡大防止の対策は、必要に応じて行って下さい。  
(A) 設計上の留意点  
(B) 施工上の留意点

## 7. e-works+開口緩和 (EZ50)

項目	記号	適用範囲
品名	EZ50	
開口寸法	デッキ幅方向 mx デッキ長手方向 my	300mm以下※
開口位置	デッキ幅方向 ex デッキ長手方向 ey	450mm以上 250mm以上
開口率	デッキ幅方向 rx デッキ長手方向 ry	25%以下 12%以下

表7.2 開口率に基づく梁間スパンにおける開口投影長さの和の上限(mm)	
梁間スパンlx, ly (m)	開口投影長さの和(mm)
1.5	375
1.6	400
1.7	425
1.8	450
1.9	475
2.0	500
2.1	525
2.2	550
2.3	575
2.4	600
2.5	625

⑧ 開口部補強(例)  
合成スラブの開口部補強は、原則としてコンクリート硬化後にデッキプレートを切断し、孔あけ(箱抜き)とする。



⑧ 開口部補強(例)の続き  
⑨ 開口部補強(例)の続き

鳥取県  
令和6年度  
2400366  
総務部営繕課

# ISベース柱脚工法設計・施工標準図 (1)

## (SH:角型鋼管用 非保有耐力接合タイプ)

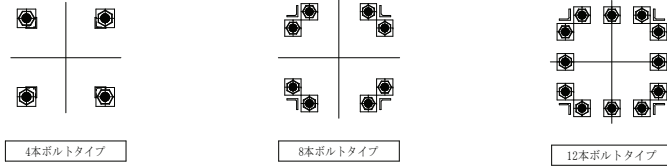
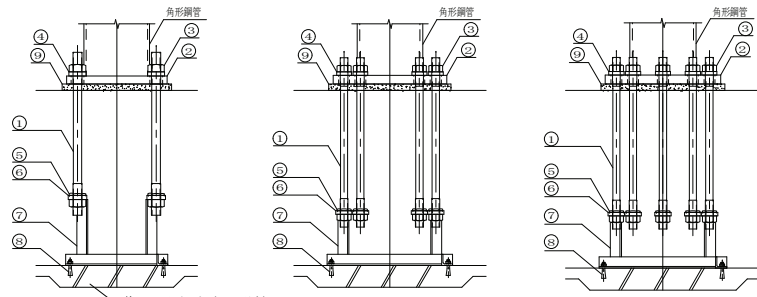
一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCI評定-ST0282-02 (2022年12月16日)

国土交通大臣認定番号 (アンカー用ボルトセット) ※ ( ) はミルメーカーと加工工場を示す。			
MBLT-0116	M24~M48 (朝日工業・アイエスケー中島工場)	MBLT-0180	M24~M48 (朝日工業・アイエスケー前橋工場)
MBLT-0144	M30~M48 (JFE条鋼・アイエスケー中島工場)	MBLT-0181	M30~M48 (JFE条鋼・アイエスケー前橋工場)
MBLT-0164	M52~M76 (JFE条鋼・アイエスケー前橋工場)		

適用柱材
F値=235N/mm <sup>2</sup> , 275N/mm <sup>2</sup> , 295N/mm <sup>2</sup> , 325N/mm <sup>2</sup>
2023年11月作成

**アイエスケー株式会社**  
 (大阪本社) TEL 06-6449-0881 FAX 06-6449-0877  
 (東京支店) TEL 03-3433-0844 FAX 03-3433-0847

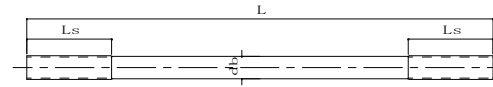
### 1. 構造概要



- ① アンカーボルト
- ② ベースプレート
- ③ 一種ナット (シングルナット) ... 土間コンクリート等で被覆する場合は、シングルナットを標準仕様とする。被覆されない場合は、ダブルナット又は六角リングにて緩み止めを行う。
- ④ 丸座金
- ⑤ 六角リング
- ⑥ 定着板
- ⑦ セットフレーム
- ⑧ セットアンカー
- ⑨ モルタル (30~50mm)

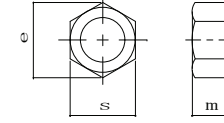
### 3. アンカー用ボルトセット

3-1. アンカーボルト  
 材料: 大臣認定材料 (ISB740C, ISB740E, ISB800B)



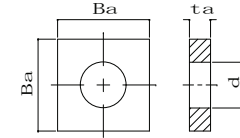
品番	呼び径	ピッチ	db			L	Ls
			ISB740C	ISB740E	ISB800B		
A1	M24	3.0	22.0	-	-	595	100
A22	M30	3.5	28.0	-	-	685	115
A23						785	
A32						725	
A33	M36	4.0	33.15	33.0	-	775	130
A34						825	
A35						925	
A43						945	
A44	M42	4.5	38.92	38.8	-	1045	145
A52						1015	
A53	M48	5.0	45.0	-	-	1115	160
A62						1200	
A72						1265	
A81	M60	5.5	-	56.0	-	1230	205
A82						1330	
A91	M64	6.0	-	60.0	-	1295	215
A92						1395	
AA1						1360	
AA2	M68	6.0	-	64.0	-	1460	225
AB1						1425	
AC1	M76	6.0	-	-	-	1490	245

3-2. ナット  
 種類: 1種六角ナット JIS B 1181  
 強度区分: JIS B 1052 8 (M48以下)  
 強度区分: JIS B 1052 10 (M52以上)



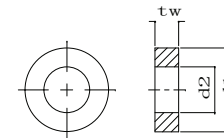
呼び径	m	s	e
M24	19	36	41.6
M30	24	46	53.1
M36	29	55	63.5
M42	34	65	75.0
M48	38	75	86.5
M52	42	80	92.4
M56	45	85	98.1
M60	48	90	104.0
M64	51	95	110.0
M68	54	100	115.0
M72	58	105	121.0
M76	61	110	127.0

3-4. 定着板  
 材質: 一般構造用圧延鋼材 SS400 (M48以下)  
 溶接構造用圧延鋼材 SM490A (M52以上)



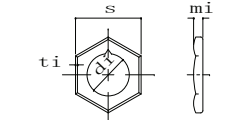
呼び径	品番	Ba	ta	d
M24	P1	50	9	26
M30	P2	65	12	32
M36	P3	75	16	38
M42	P4	85	19	44
M48	P5	95	22	50
M52	P6	115	25	54
M56	P7	120	25	58
M60	P8	130	28	62
M64	P9	135	32	66
M68	PA	140	32	70
M72	PB	150	36	74
M76	PC	155	36	78

3-3. 丸座金  
 材質: 一般構造用圧延鋼材 SS400



呼び径	品番	d1	d2	tw
M24	C1	52	25	9
M30	C2	58	31	12
M36	C3	68	37	16
M42	C4	78	43	19
M48	C5	90	50	19
M52	C6	100	54	25
M56	C7	108	58	28
M60	C8	114	62	32
M64	C9	120	66	36
M68	CA	128	70	36
M72	CB	134	74	36
M76	CC	140	78	36

3-5. 六角リング  
 材質: JIS G3131 SPHC

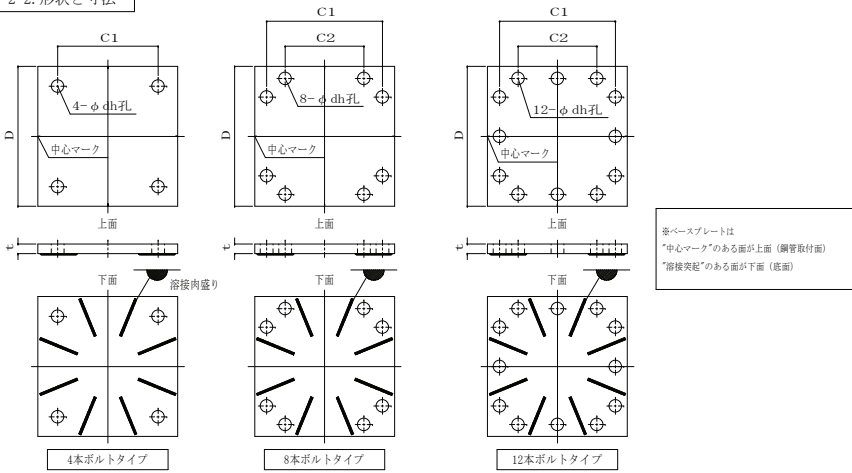


呼び径	S	di	mi	ti
M24	36	22.5	5	1.6
M30	46	28.9	7	2.0
M36	55	33.6	8	2.0
M42	65	39.2	9	2.3
M48	75	45.7	10	2.3
M52	80	49.9	11	2.8
M56	85	52.6	12	2.8
M60	90	56.6	12	3.2
M64	95	60.3	13	3.2
M68	100	64.3	14	3.2
M72	105	68.2	14	3.6
M76	110	72.2	15	3.6

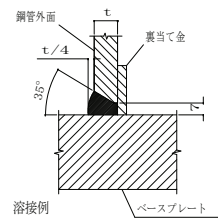
### 2. ベースプレート

2-1. 材質 JIS G 3136 SN490B (t=40mm以下の場合のみ使用)  
 建築構造用認定鋼板 TMCP325B (板厚の制限なしで使用)

2-2. 形状と寸法



2-3. 柱材との溶接

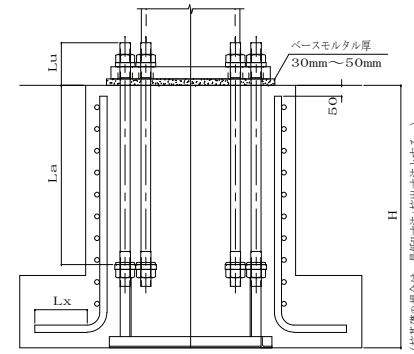


柱材とベースプレートの溶接は、完全溶け込み溶接とする。  
 ※溶接施工に関しては、「日本建築学会; 建築工事標準仕様書 JASS 6鉄骨工事」に準じる。  
 ※柱材のめっき仕様について  
 柱材をめっきする場合は、弊社までご相談ください。

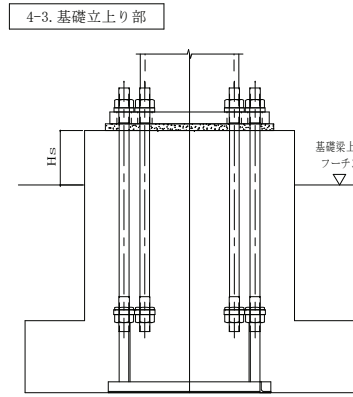
### 4. コンクリート柱形

4-1. 使用材料  
 コンクリート: Fe=21N/mm<sup>2</sup> 以上 (鋼管サイズφ550以下)  
 Fe=24N/mm<sup>2</sup> 以上 (鋼管サイズφ600以上)  
 鉄筋: JIS G 3112 SD295A (D16以下)  
 JIS G 3112 SD345 (D19~D25)  
 JIS G 3112 SD390 (D29以上)

4-2. 形状・配筋



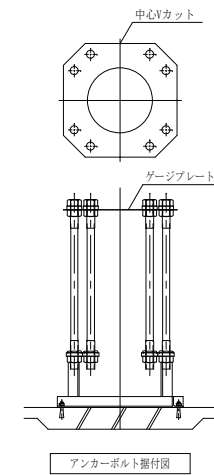
- ・主筋頂部のフックは、設けないことを標準とする。
- ・トップフープは、シングルを標準とする。
- ・Lxは、使用する主筋呼び径の10倍以上とする。
- ・主筋、帯筋の径・本数は、標準柱形の場合を示す。
- ・柱形の幅 (bc) を標準柱形より拡げた場合、検討が必要。
- ・柱形を拡げる場合や、柱芯が偏心する場合は、弊社までご相談ください。



- ・柱形の配筋が標準の場合  
 基礎立上り高さ (Hs) は、250mm以下とする。
- ・立上り高さ (Hs) が250mmを超える場合は、  
 検討が必要となるため、弊社までご相談ください。

### 5. 施工

※ ( ) は、元請施工範囲を示す。  
 6. [コンクリート打設前検査]は、契約内容による。



1. 施工打合せ
2. (捨てコンクリートの打設) ... 捨てコン厚さは100mm以上とする。
3. (墨出し) ... 柱芯を明示する。
4. アンカーボルト据付
5. (配筋・型枠)
  - ゲージプレートを外したり、上に物を置いたり、乗ったりしない。
  - アンカーボルト、セットフレーム等と鉄筋を拘束しない。
  - アンカーボルトに熱を加えない。
6. [コンクリート打設前検査]
7. (コンクリート打設)
8. (鉄骨建方・アンカーボルトの本納)
  - まんじゅう高さは (30~50mm) とする。
  - まんじゅうに使用する材料に規定はない。
  - まんじゅうの大きさは施工マニュアルを参照。
9. ベースモルタルの充てん... ISグラウト以外は使用不可。
10. ナットの緩み確認
11. (充てん型枠脱型・廃棄)

### 6. 施工管理

- ・ISベースの施工 (アンカーボルトの据付及びベースモルタルの充てん) は、弊社が認定した施工者が行う。
- ・施工は、施工マニュアルに準じて行い、施工後「チェックシート」により許容範囲内であることを確認する。
- ・材料は弊社にて支給する。支給品以外の材料を使用した場合、ISベースの性能を保証できない場合がある。
- ・アンカー用ボルトセットは大臣認定材である。形状・寸法・材質の変更、切り欠き・溶接などの加工は認められない。

附記	設計年月日

**(有)フジ総合設計事務所**  
 〒682-0802 鳥取県倉吉市東蔵城町143番地  
 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠	名称
担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
製図 1級建築士 第 号	ISベース柱脚工法設計・施工標準図 (1)

1級建築士 構造設計1級建築士	登録番号 330399号 登録番号 9716号	株式会社 佐々木構造設計 佐々木 良介	SCALE 1: -	図面No. S-07 16 枚の内
--------------------	----------------------------	------------------------	---------------	----------------------------

鳥取県  
 令和6年度  
 J2400366  
 総務部営繕課

ISベース柱脚工法設計・施工標準図(2)  
(SH:角型鋼管用 非保有耐力接合タイプ)

一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCJ評定-ST0282-02 (2022年12月16日)

Table with 4 columns: MBLT-0116, MBLT-0180, MBLT-0181, MBLT-0164 and their corresponding specifications for different steel types and grades.

適用柱材 (F値=235N/mm<sup>2</sup>, 275N/mm<sup>2</sup>, 295N/mm<sup>2</sup>, 325N/mm<sup>2</sup>)  
□ 150 × 150 ~ □ 550 × 550

2023年11月作成

アイエスケ株式会社  
(大阪本社) TEL 06-6449-0881 FAX 06-6449-0877  
(東京支店) TEL 03-3433-0844 FAX 03-3433-0847

Main table with columns for column size, plate, anchor bolt, and concrete. Rows include SH151 to SH556, detailing dimensions and material specifications for various steel pipe sizes.



# 先端羽根付き鋼管杭設計施工標準図

・引抜き評定適用時の許容支持力及び適用範囲については別途カタログをご参照ください。  
 ・本掲載内容及び仕様については、予告なしに変更することがあります。  
 ・本掲載内容及び仕様は、2022年10月現在のものです。

## 【許容支持力および適用範囲】

1. 件名  
 先端羽根付き鋼管杭 スクリューパイルE A Z E T 同等

2. 本工法により施工される基礎ぐいの許容支持力を定める際に求める長期ならびに短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力

1) 長期に生ずる力に対する地盤の許容支持力

$$Ra = \frac{1}{3} [\alpha \bar{N} Ap + (\beta \bar{N} s Ls + \gamma \bar{q} Lc) \Psi] \quad (kN) \dots (i)$$

2) 短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力

$$Ra = \frac{2}{3} [\alpha \bar{N} Ap + (\beta \bar{N} s Ls + \gamma \bar{q} Lc) \Psi] \quad (kN) \dots (ii)$$

ここで、(i)、(ii)式において、

$\alpha$ : 基礎ぐいの先端付近の地盤（地震時に液化化するおそれのある地盤を除く）におけるくい先端支持力係数（ $\alpha=300$ ）

$\beta$ : 基礎ぐいの周囲の地盤（地震時に液化化するおそれのある地盤を除く）のうち砂質地盤におけるくい周面摩擦係数（ $\beta \bar{N} s=15$ を満たす $\beta$ ）

$\gamma$ : 基礎ぐいの周囲の地盤（地震時に液化化するおそれのある地盤を除く）のうち粘土質地盤におけるくい周面摩擦係数（ $\gamma \bar{q} Lc=15$ を満たす $\gamma$ ）

$\bar{N}$ : 基礎ぐいの先端付近（くい先端位置より下方に1Dw（Dw: 羽根の直径）、上方に1Dwの範囲）の地盤の標準貫入試験による打撃回数の平均値（回）

ただし、基礎ぐいの先端地盤が砂質地盤（礫質地盤含む）の場合は  $15 \leq \bar{N}$  とし、60を超える場合は60を上限とする。

また、基礎ぐいの先端地盤が粘土質地盤の場合は  $12 \leq \bar{N}$  とし、60を超える場合は60を上限とする。

$Ap$ : 基礎ぐいの先端の有効断面積（ $m^2$ ）

$$Ap = AD \cdot e$$

$e$ : 有効面積率（ $e=0.5$ ）

$$AD: \text{くい先端面積} \quad AD = \pi \cdot Dw^2 / 4 \quad (m^2)$$

$\bar{N} s$ : 基礎ぐいの周囲の地盤のうち砂質地盤の標準貫入試験による打撃回数の平均値（回）

ただし、 $0 < \bar{N} s$  とし、30を超える場合は30とする。なお、Ns値が0の場合、周面摩擦力を考慮しない。

$\bar{q}$ : 基礎ぐいの周囲の地盤のうち粘土質地盤の一軸圧縮強度の平均値（ $kN/m^2$ ）

ただし、 $0 < \bar{q}$  とし、200を超える場合は200を上限とする。なお、 $q$ 値が0の場合、周面摩擦力を考慮しない。

$Ls$ : 基礎ぐいの周囲の地盤のうち砂質地盤に接する有効長さの合計（m）

$Lc$ : 基礎ぐいの周囲の地盤のうち粘土質地盤に接する有効長さの合計（m）

$\Psi$ : 基礎ぐいの周囲の有効長さ（m）

$$\Psi = \pi \cdot Do$$

$Do$ : くい本体径（m）

3. くい材から決まる許容鉛直支持力

$$Ra2 = fe \cdot Ae \times 10^{-3}$$

$Ra2$ : くい材から決まる長期許容鉛直支持力（kN）

$fe$ : くい材の長期許容応力度（ $= F^{**} / 1.5$ ）

$F^{**}$ : 設計基準強度（ $N/mm^2$ ）

$$F^{**} = F \cdot (0.80 + 2.5te / r) \text{ かつ } F^{**} \leq F$$

$F$ : くい材の許容応力度を決定する場合の基準値  
 (STK400→235N/mm<sup>2</sup>、STK490→325N/mm<sup>2</sup>、SEAH590[STKT590]→440N/mm<sup>2</sup>)

$te$ : 腐食しろを除いた鋼管の肉厚（mm）

$r$ : 鋼管の半径（mm）

$Ae$ : 腐食しろを考慮したくい材の有効断面積（ $mm^2$ ）

4. 適用範囲

1) 適用する地盤の種類

基礎ぐいの先端付近の地盤:

砂質地盤（礫質地盤含む）—— TACP-0635

粘土質地盤 —— TACP-0636

基礎ぐいの周囲の地盤: 砂質地盤及び粘土質地盤

2) 最大施工深さ（m）

杭本体部径	114.3	139.8	165.2	190.7	216.3	267.4	318.5	355.6	406.4
先端砂質地盤（礫質地盤）	14.85	18.17	21.47	24.79	28.11	34.76	41.40	46.22	51.37
先端粘土質地盤	14.8	18.1	21.4	24.7	28.1	34.7	41.0	45.8	-

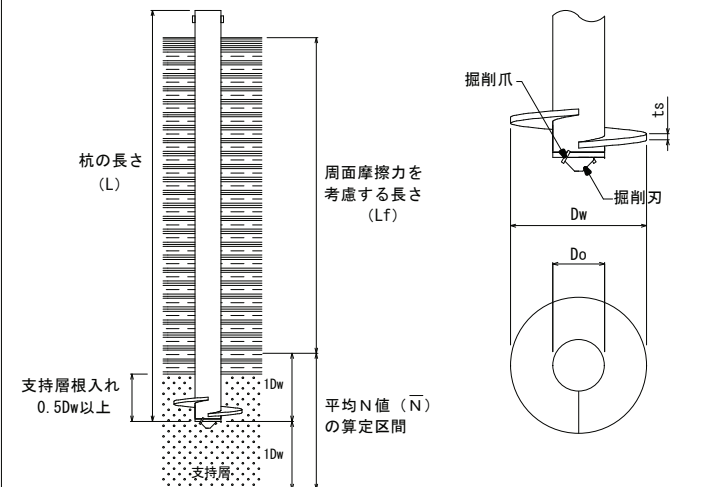
3) 適用する建築物の規模  
 床面積の合計が500,000m<sup>2</sup>以下の建築物

## 【EAZET（イーゼット）の構造・規格】

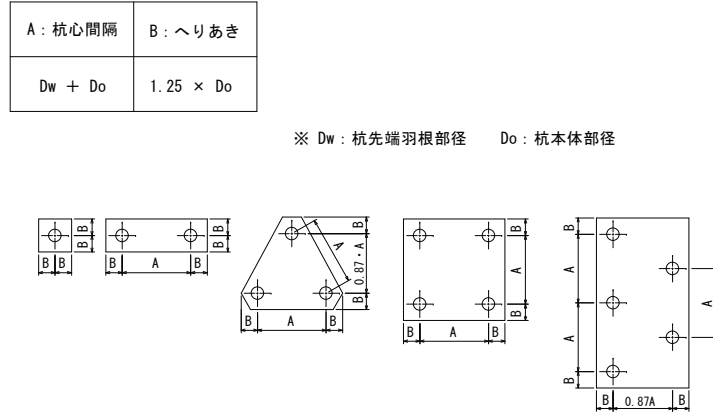
1. 中四国・九州地区向け杭材仕様（沖縄含）				1. 中四国・九州地区向け杭材仕様（沖縄含）			
杭本体部				杭先端羽根部			
径 Do (mm)	STK400	STK490	SEAH590 [STKT590]	径 Dw (mm)	厚 ts (mm)	材質	
	厚 t (mm)					SM490A	
114.3	<6.0>	-	-	250	12		
				300	16		
139.8	<6.6>	-	-	300	16		
				350	19		
				400	19		
165.2	-	7.1	-	350	16		
				450	22		
190.7	-	7.0	-	400	19		
				500	22		
				570 ※2	22		
				470	22		
216.3	-	8.2	<8.2>	550	25		
		<12.7>		600	28		
				650	28		
				500	22		
				580	28		
267.4	-	8.0	<8.0 12.7>	650	28		
		<9.3>		700	28		
		12.7		750	32		
				800 ※1	28		
318.5	-	<7.9 12.7>	-	600	22		
				750	28		
				800	32		
				700	28		
				750	28		
355.6	<9.5>	<12.7>	-	750	28		
				800	32		
406.4	-	<9.5 12.7>	-	800	28		
				880	32		

※1: N値30まで限定 ※2: N値40まで限定  
 ※<>の仕様は標準仕様です。ご検討される場合は弊社担当までお問い合わせください。

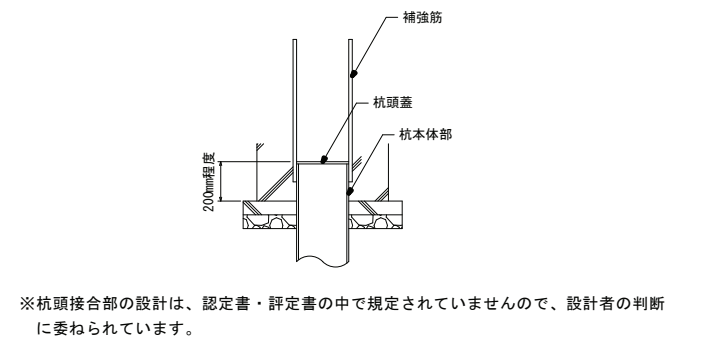
部材	規格
杭本体部	JIS G 3444 一般構造用炭素鋼鋼管 STK400、STK490 MSTL-0230 国土交通大臣認定 建築構造用テーパー鋼管 NS-490TPP MSTL-0419 国土交通大臣認定 基礎ぐい用高強度鋼管 SEAH590[STKT590]
杭先端部	JIS G 3106 溶接構造用圧延鋼材 SM490A



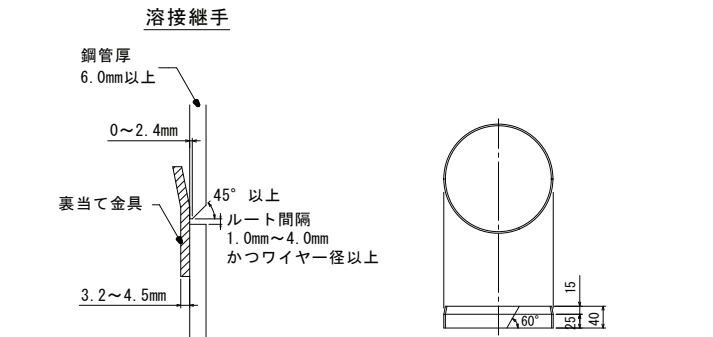
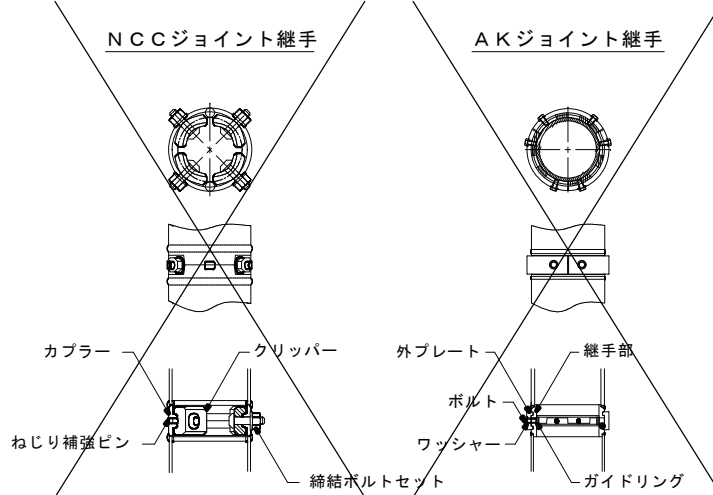
## 【基礎とフーチング形状例】



## 【杭頭接合例】



## 【継手接続例】



## 【施工管理項目一覧】

工程	管理項目	管理方法	管理値
杭材の受け入れ	材料寸法	搬入時に測定検査	・杭径、杭長、肉厚、羽根径、羽根厚に誤りがないこと
	外観不良・数量	搬入時に目視確認	・継手部に異常がないこと
回転埋設	杭心からのずれ	逃げ心棒にて測定	・偏心量±2cm以内
	杭の鉛直性	水準器で確認	・傾斜 1/100以内 ※気泡が中央にあること
溶接継手	回転トルク	施工機械の管理装置（トルク計）	・杭体のねじり強さ以内
	杭の鉛直性	水準器で確認	・傾斜 1/100以内 ※気泡が中央にあること
NCC ジョイント	一次締付けトルク	トルクレンチによる	・ボルトM16→約100N・m ・ボルトM20→約150N・m
	本締め	シャレンチによる	・ピンテールの破断、ボルト余長はネジ山2山以上
AKジョイント	一次締付けトルク	トルクレンチによる	・締付トルク 90N・m±10%
	本締めトルク	トルクレンチによる	・締付トルク 180N・m±10%
支持層の確認	根入れ長さ	施工機械の深度計	・支持層に0.5Dw以上かつ設計時に設定された根入れ長さ以上
	回転貫入量	専用用紙に記録する	・回転貫入量の管理値による
杭頭のずれ	偏心量	逃げ心棒にて測定	・±10cm以内

## 【EAZET（イーゼット）取得済認定、公的評価】

国土交通大臣認定

名称	認定番号	取得年月日
先端羽根付き鋼管杭（名称：スクリューパイルEAZET） （先端地盤：砂質地盤（礫質地盤含む））	TACP-0635	令和4年2月7日
先端羽根付き鋼管杭（名称：スクリューパイルEAZET） （先端地盤：粘土質地盤）	TACP-0636	令和4年2月7日

一般財団法人 日本建築センター評定

件名	番号	取得年月日
鋼管くいに用いる無溶接継手（クリッパー式継手）	BCJ評定-FD0045-09	令和4年10月14日
鋼管杭に用いる接続プレート・嵌合方式無溶接継手（AKジョイント）	BCJ評定-FD0509-03	令和元年6月20日

一般財団法人 ベターリビング評定

件名	認定区分	番号	取得年月日
スクリューパイルEAZET工法における引抜き方向の許容支持力 （先端地盤：砂質地盤礫質地盤を含む）	一般評定	CBL FP004-07号	平成30年7月25日

※φ406.4は砂質地盤[礫質地盤を含む]の場合でも、引抜き支持力に対しては適用できません

一般財団法人 日本建築センター評定

件名	番号	取得年月日
スクリューパイルEAZET工法による基礎ぐいの引抜き方向の地盤の許容支持力 （先端地盤：粘土質地盤）	BCJ評定-FD0579-01	平成30年7月25日



設計年月日	
附記	

**有フジイ総合設計事務所**

〒682-0802 鳥取県倉吉市東蔵城町143番地  
 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 1級建築士 第325872号	竹中 誠
担当・製図 1級建築士 第379560号	永田 靖
製図 1級建築士 第 号	

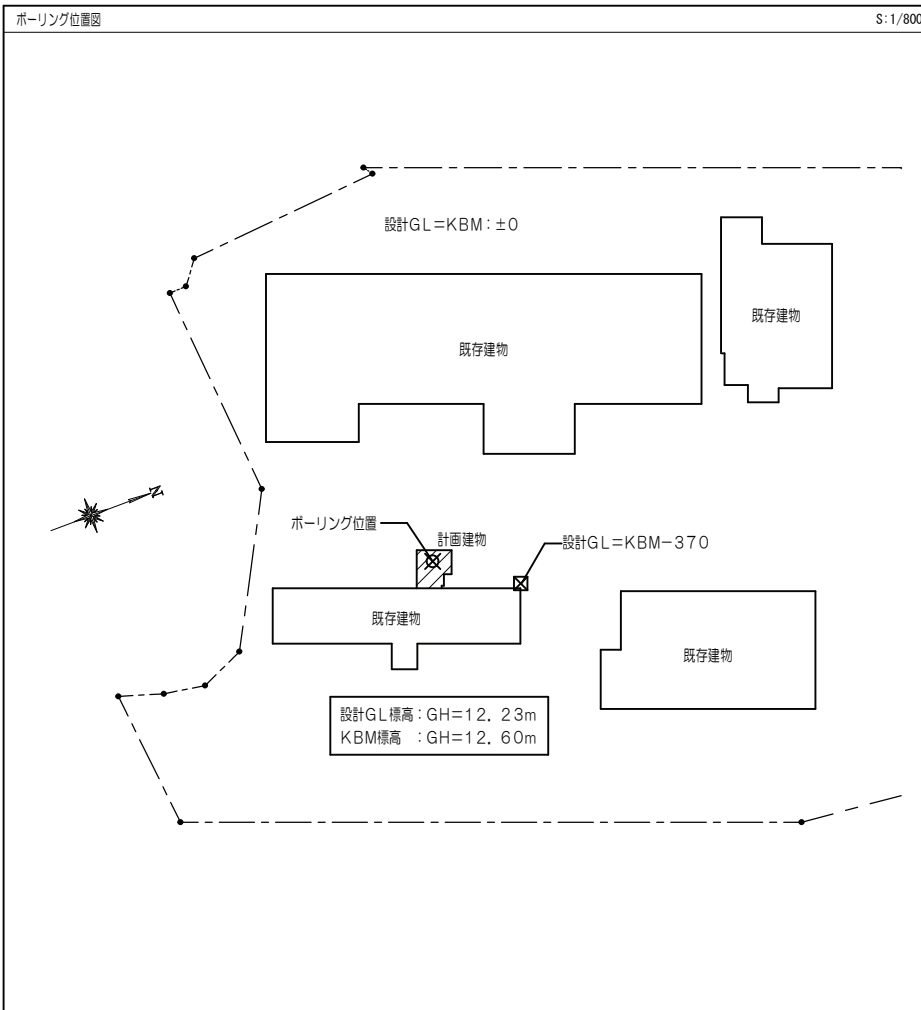
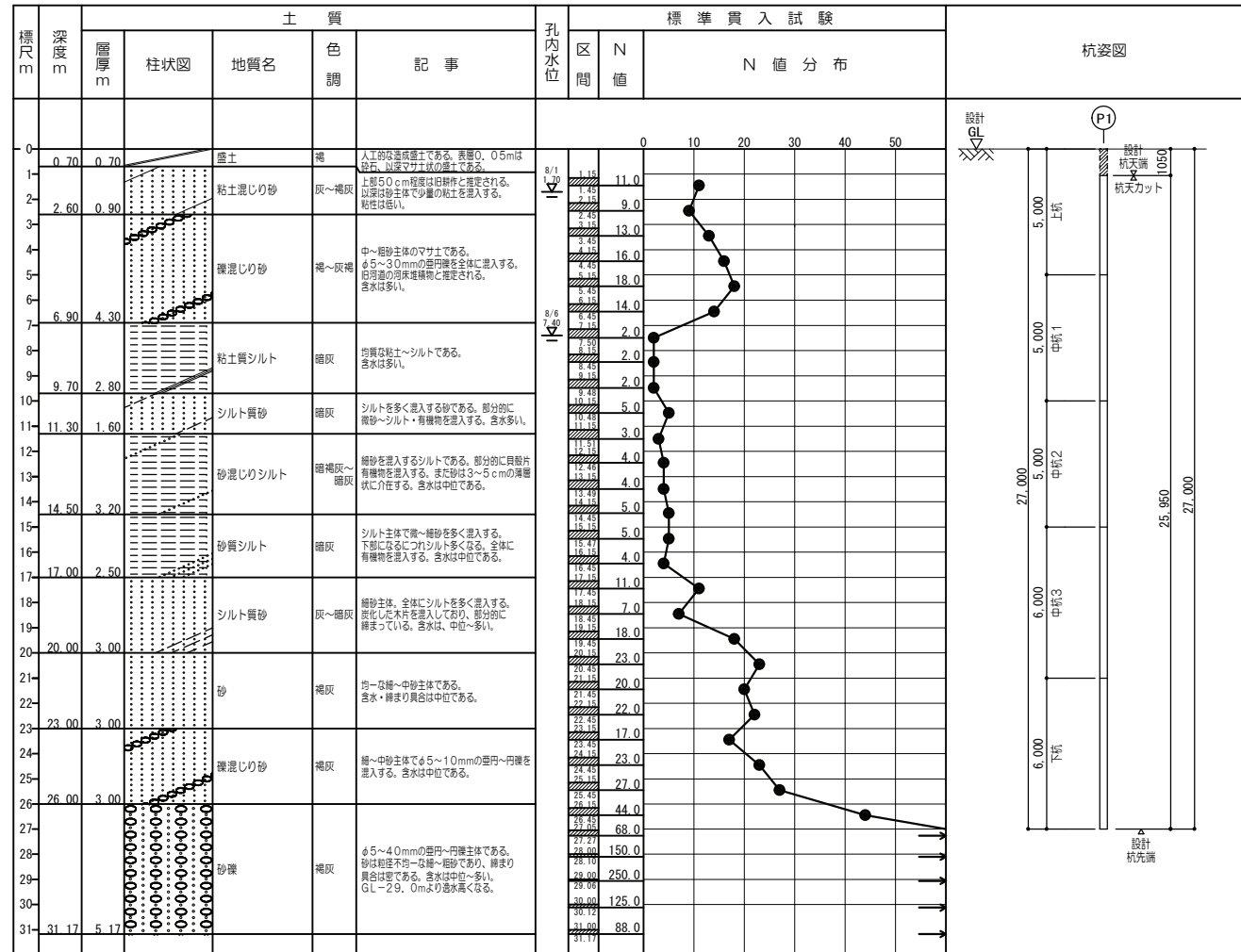
名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
SCALE	1: -
図面No.	S-09
	16 枚の内

1級建築士 構造設計1級建築士	登録番号 330399号 登録番号 9716号	株式会社 佐々木構造設計 佐々木 良介
--------------------	----------------------------	------------------------

ボーリング柱状図

- 1) 設計GL標高: GH=12.23mとする。
- 2) 設計支持力算定用の杭先端平均N値=44としてしている。
- 3) 支持層への貫入不陸の懸念がある。安全側に杭頭余長を考慮している。  
設計杭先端レベルで杭頭カットとすること。

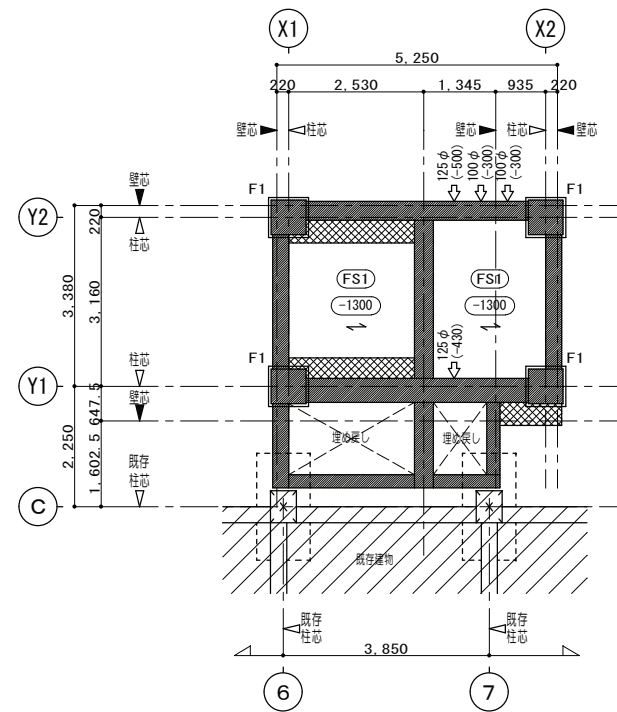
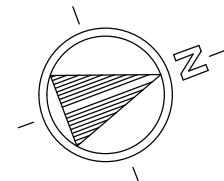
BP-1 調査年月: 2024年7月30日~8月16日  
 孔口標高: 12.23m



鳥取県  
 令和6年度  
 J2400366  
 総務部営繕課

1級建築士 登録番号 330399号 株式会社 佐々木構造設計  
 構造設計1級建築士 登録番号 9716号 佐々木 良介

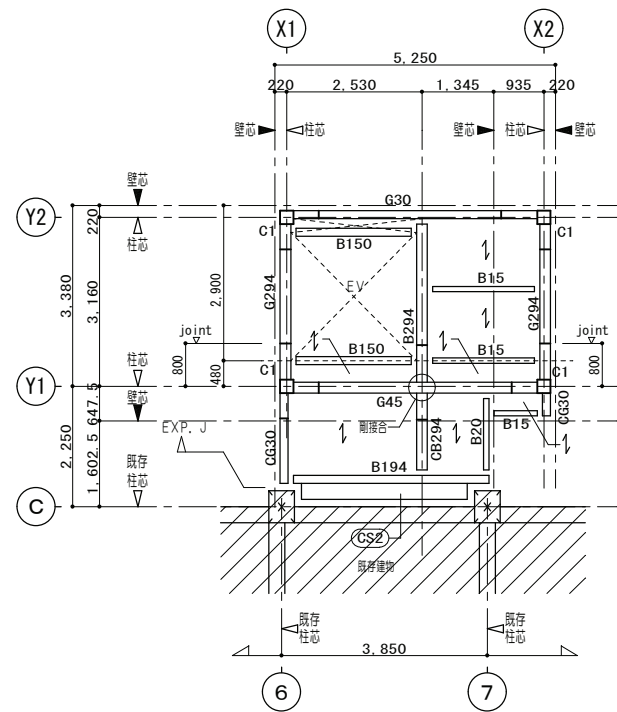
附記	設計年月日	(有)フジ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 永田 靖 1級建築士 第379560号 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) ボーリング柱状図	SCALE 1:800 図面No. S-10 16枚の内



**基礎・ヒット伏図** S:1/100

特記事項：記入なき限り、下記による。

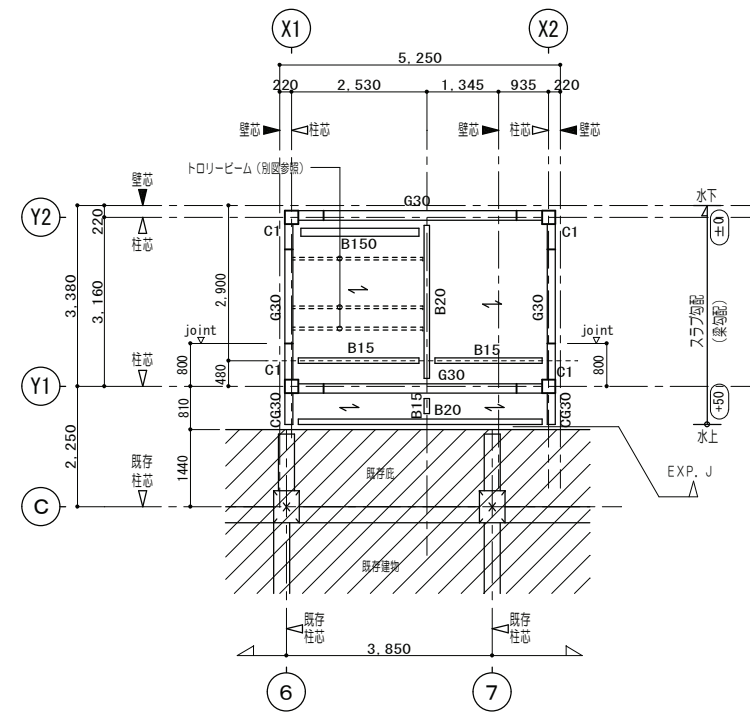
1. (±000) は1FLからのスラブ天端高さを示す。
2. →印は、スラブ主筋方向を示す。
3. 基礎底=設計GL-1250 (1FL-1850) とする。
4. [ハatched] は、基礎梁側面増し打ちを示す。
5. ⊕ は、貫通孔を示し、( ) 数値は、GLからの管下端高さを示す。



**2FL伏図** S:1/100

特記事項：記入なき限り、下記による。

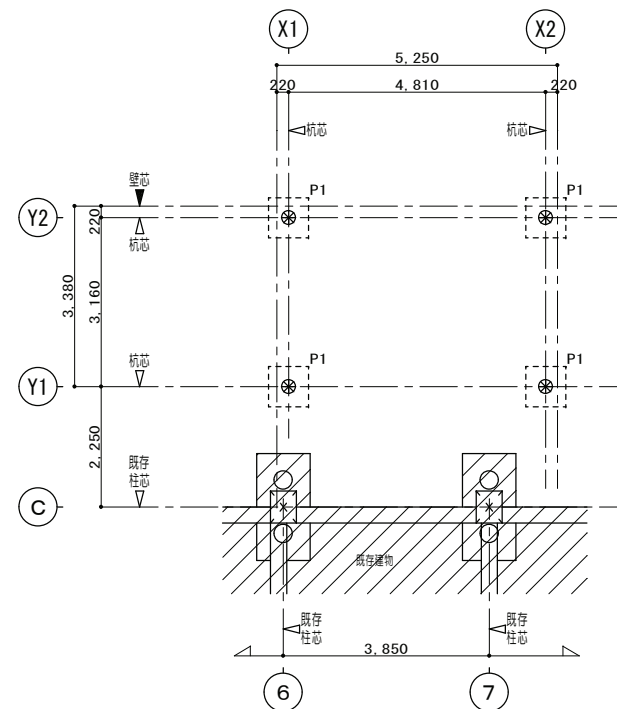
1. JOINT位置は柱芯より600とする。
2. 梁天端=2FL-160とする。
3. スラブ天端=2FL-30とする。
4. →印は、デッキプレート方向を示し、(DS1) とする。
- 5.



**RSL伏図** S:1/100

特記事項：記入なき限り、下記による。

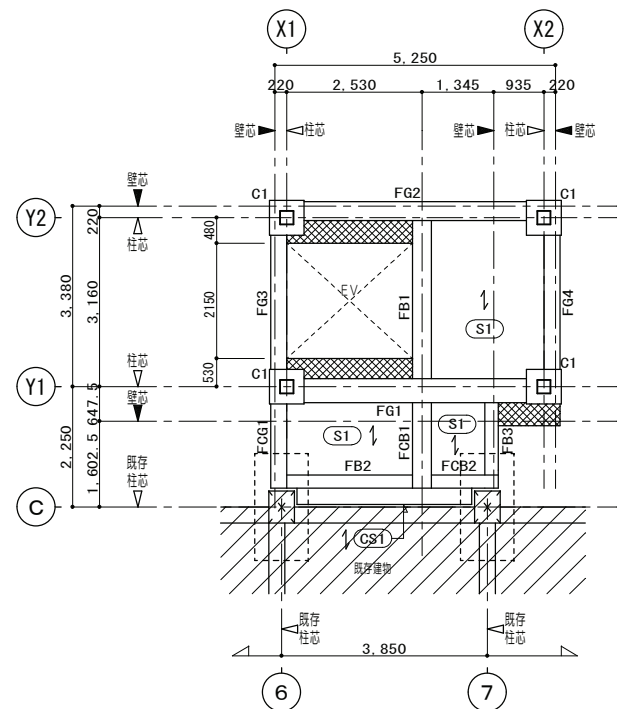
1. JOINT位置は柱芯より600とする。
2. 梁天端=RSL-130~-80とし、スラブ天端-130とする。
3. スラブ天端=RSL±0~-+50とし、(±000) はRSLからのスラブ天端高さを示す。
4. →印は、デッキプレート方向を示し、(DS1) とする。
- 5.



**杭伏図** S:1/100

特記事項：記入なき限り、下記による。

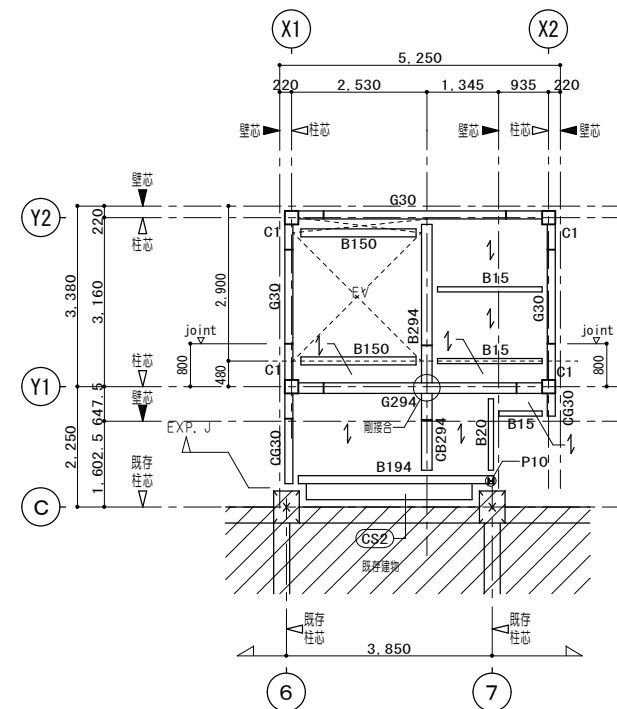
1. 杭天端=設計GL-1050 (1FL-1650) とする。
2. 杭の打設位置水平許容誤差は100mm以下とする。
- 3.
- 4.
- 5.



**1FL伏図** S:1/100

特記事項：記入なき限り、下記による。

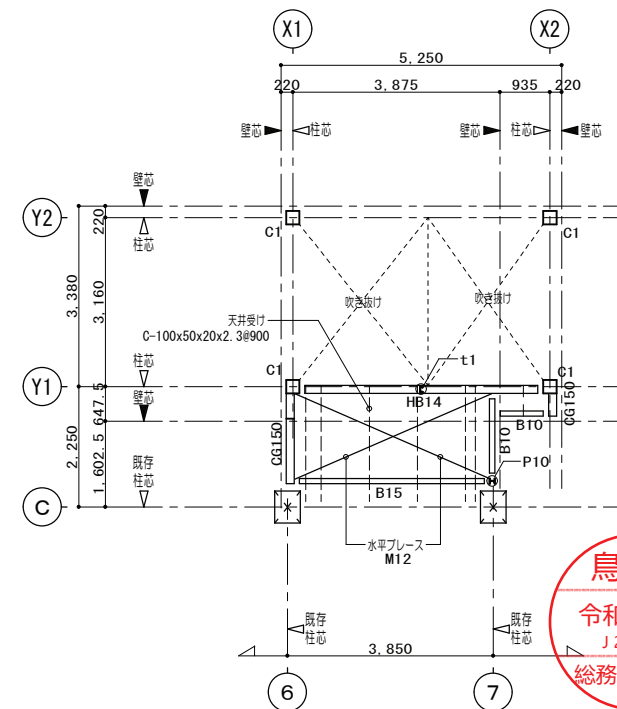
1. 1FL=設計GL+600とする。
2. 基礎梁天端=1FL-250とする。
3. スラブ天端=1FL-30とする。
4. BPL下端=基礎梁天端高さ+30とする。
5. →印は、スラブ主筋方向を示す。
6. [ハatched] は、基礎梁側面増し打ちを示す。



**3FL伏図** S:1/100

特記事項：記入なき限り、下記による。

1. JOINT位置は柱芯より600とする。
2. 梁天端=3FL-160とする。
3. スラブ天端=3FL-30とする。
4. →印は、デッキプレート方向を示し、(DS1) とする。
- 5.

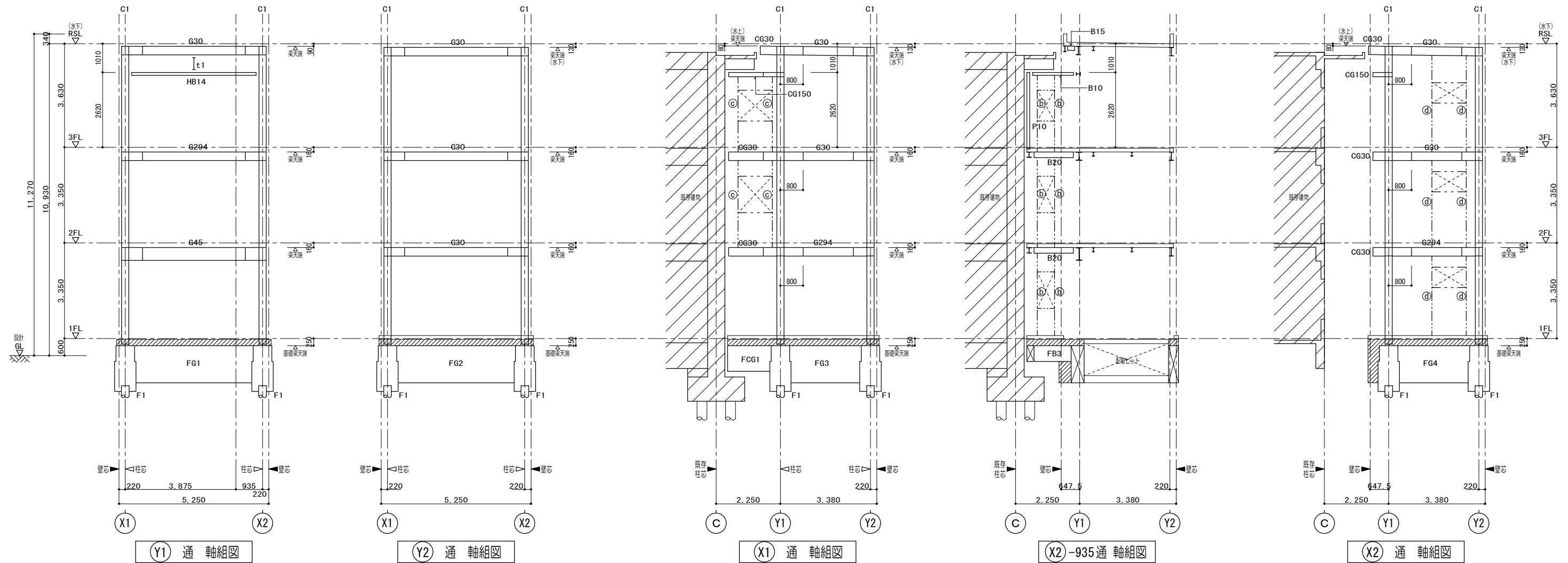


**RSL-1010伏図** S:1/100

特記事項：記入なき限り、下記による。

1. JOINT位置は柱芯より600とする。
2. 梁天端=RSL-1010とする。
3. - - - は、天井受け材C-100x50x20x2.3@900を示す。
- 4.
- 5.

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課



軸組図 S:1/100

- 特記事項：記入なき限り、下記による。
1. JOINT位置は柱芯より600とする。
  2. 印は、基礎梁増し打ちを示す。
  3. - - - は、開口補強材を示し、特記なき開口補強◎とする。
  4. \_\_\_\_\_
  5. \_\_\_\_\_
  6. \_\_\_\_\_

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日

**(有)フジ総合設計事務所**  
〒682-0802 鳥取県倉吉市東蔵城町143番地  
TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 1級建築士 担当・製図 1級建築士 製図 1級建築士	第325872号 第379560号 第 号	竹中 誠 永田 靖
-------------------------------------------------	-----------------------------	--------------

名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
軸組図	

SCALE	1:100	図面No.	S-12
			16
			枚の内

1級建築士 登録番号 330399号 株式会社 佐々木構造設計  
構造設計1級建築士 登録番号 9716号 佐々木 良介

特記事項

※特記なき限り下記による。

1. 使用材料		設計基準強度
コンクリート	区分	
	基礎・基礎梁	F <sub>c</sub> -21
	立ち上り壁・その他躯体	F <sub>c</sub> -21
	土間コンクリート	F <sub>c</sub> -21
	捨てコンクリート	F <sub>c</sub> -18

鉄筋		
	D10~D16	SD295
	D19	SD345

2. 地業		
基礎下	捨てコン	t50 砕石 t60
基礎梁下	捨てコン	t50 砕石 t60 (またはt120)
ピットスラブ下	捨てコン	t50 砕石 t120
土間下	捨てコン	- 砕石 t120

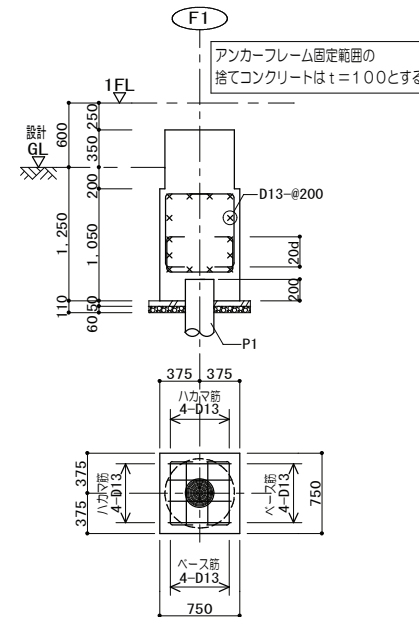
杭リスト

符号	杭本体径	杭本体部			杭先端部			杭全長	本数	設計支持力(kN/本)			杭頭接合部	
		区分	板厚t	材質	杭長L	羽根径Dw	板厚t			材質	長期	短期		終局
P1	φ267.4	上杭	8.0	STK490	5.00m	φ650	28.0	SM490A	27.0m	4 set	押込 730	押込 1460	押込 1710	6-D19 (SD345)
		中杭1	8.0	STK490	5.00m									
		中杭2	8.0	STK490	5.00m									
		中杭3	8.0	STK490	6.00m									
		下杭	8.0	STK490	6.00m									

1. 杭工法 回転設置先端羽根つき小口径鋼管杭 (EAZET工法、認定番号TACP-0621同等)
2. 杭頭接合 杭周溶接工法
3. 杭継手 溶接継手工法

基礎断面リスト

S:1/50



RCスラブ断面リスト

符号	板厚	位置	主筋(外側配置)方向		配筋筋(内側配置)方向		備考
			端部	中央	端部	中央	
S1	150	上階床	D10D13交互-@200	D10D13交互-@200	D10-@200	D10-@200	1階床スラブ
CS1	150	上階床	D10D13交互-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200	1階床スラブ 跳ね出し部
CS2	130	上階床	D13-@300 (シングル配筋)	D13-@300 (シングル配筋)	D13-@200 (シングル配筋)	D13-@200 (シングル配筋)	2・3階床スラブ 跳ね出し部
FS1	250	上階床	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	ピットスラブ
		下階床	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	

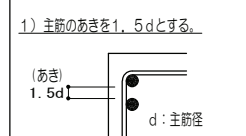
基礎梁断面リスト

S:1/50

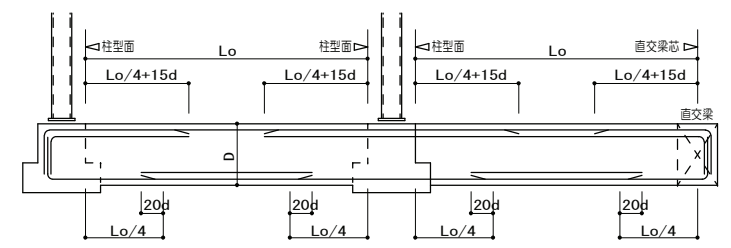
- 1) 巾止め筋は、D10 7@1000とする。
- 2) 2印は、2段筋を示し、2段筋要領図による。
- 3) 主筋本数表示は、1段筋本数/2段筋本数を示す。
- 4) 継手及び定置は、①「一般」とする。※鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)参照
- 5) XY方向主筋の上下関係はどちらでも良い。
- 6)

符号	FG1		FG2	FG3	FG4	FCG1	FB1	FB2	FB3	FCB1	FCB2
	位置	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
1FL	断面図										
B x D	450 x 1300		350 x 1300	300 x 1300	300 x 1300	300 x 900	350 x 1300	250 x 900	250 x 550	350 x 900	250 x 550
上筋筋	4 - D19		3 - D19	2/2 - D19	2/1 - D19	2 - D19	3/1 - D19	2 - D16	2 - D16	3/3 - D19	2/2 - D16
下筋筋	4/2 - D19		4/4 - D19	2 - D19	2 - D19	2 - D19	3 - D19	2 - D16	2 - D16	3 - D19	2 - D16
肋筋	□ - D13 @200		□ - D10 @200	□ - D10 @200	□ - D10 @200	□ - D10 @200	□ - D10 @200	□ - D10 @200	□ - D10 @200	□ - D10 @200	□ - D10 @200
腹筋	6 - D10		6 - D10	6 - D10	6 - D10	4 - D10	6 - D10	4 - D10	-	4 - D10	-

2段筋要領図

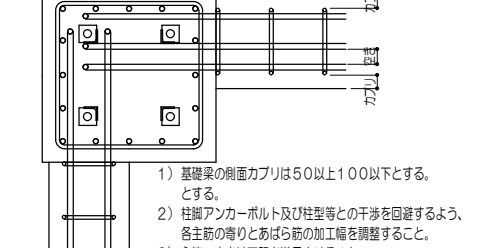


基礎梁主筋カットオフ長さ要領図



- 1) 特記なき限り端部筋カットオフ位置: Lo/4+15d以上
- 2) 特記なき限り中央筋カットオフ位置: Lo/4位置から20d
- 3) 側部に柱が無い場合は、直交梁芯を内法端とする。

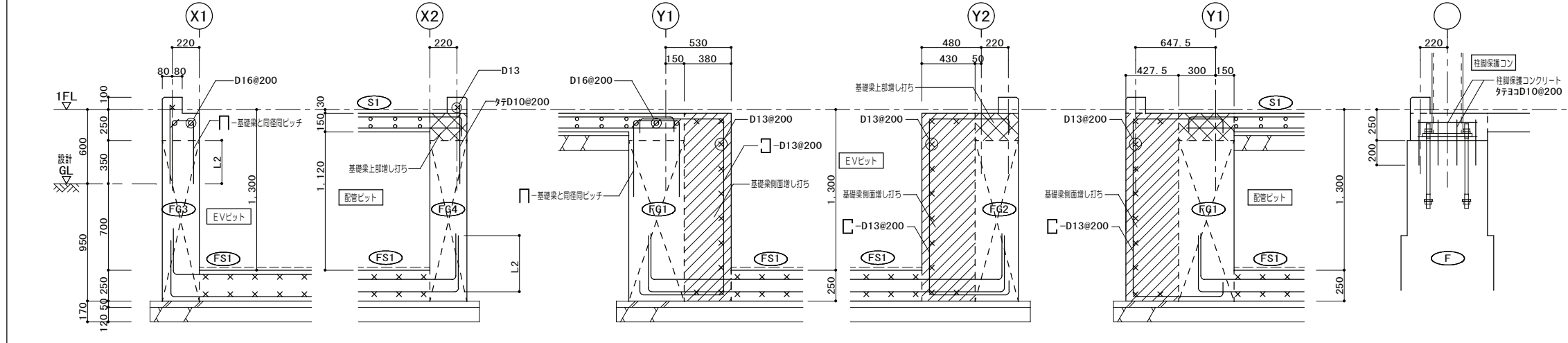
基礎梁配筋要領図



- 1) 基礎梁の側面カブリは50以上100以下とする。
- 2) 柱脚アンカーボルト及び柱型等との干渉を回避するよう、各主筋の寄りとはばら筋の加工幅を調整すること。
- 3) 主筋の空きは下記を満足させること。  
① 呼び径dの1.5倍以上  
② 鉛垂材の最大寸法の1.25倍以上  
③ 2.5mm以上

基礎梁上部増し打ち・立ち上り壁 施工要領図

S:1/30



鉄骨柱 断面リスト S:1/50

- 1) パネルソー板厚は、上下階板厚の大きい方とする。
- 2) I Sベース柱脚工法設計・施工標準図参照のこと。

符号	C1
断面	□ - 250 x 250 x 9
鋼材材質	BCR295
ダイヤフラム材質	(SN490C)
柱脚	I Sベース SH252
柱脚	
柱型断面	
BASE. R.	R- 400 x 400 x 28 メーカー仕様専用材
A. BOLT	4-M30 メーカー仕様専用材
柱型	断面 650 x 650 主筋 16 - D 19 帯筋 □ - D13 @150
備考	-
最大有効軸長比	λ = 63

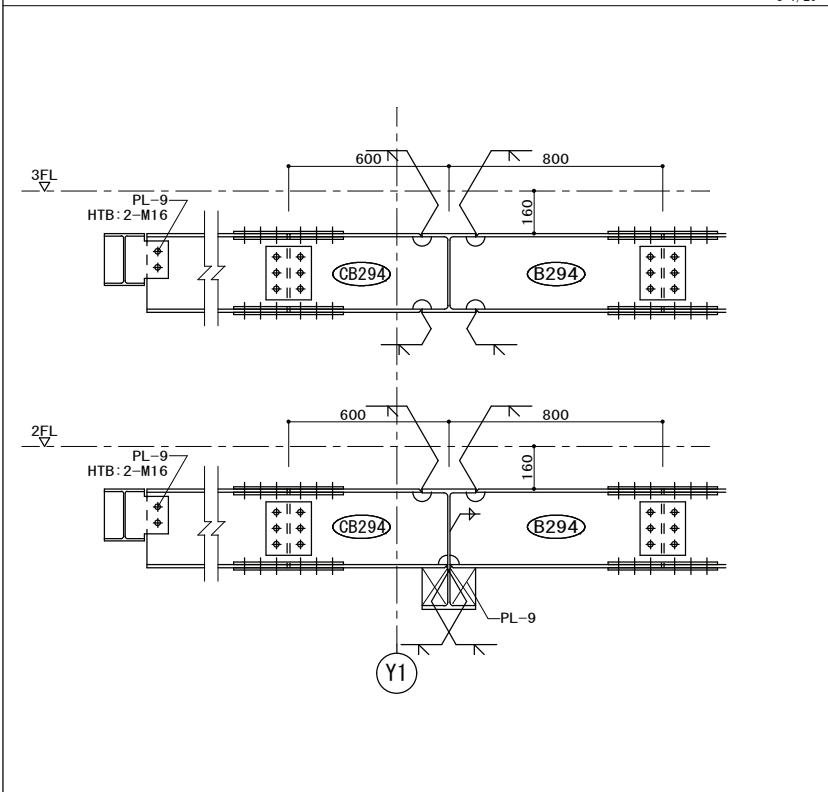
鉄骨 断面リスト

- 1) 高力ボルトはS10Tとする。
- 2) 特記なき鋼材はSS400とする。

符号	部材	備考	
G30	H-300x150x6.5x9	大梁	
G294	H-294x200x8x12	大梁	
G45	H-450x200x9x14	大梁	
CG150	H-150x150x7x10	片持ち梁	
CG30	H-300x150x6.5x9	片持ち梁	
B10	H-100x100x6x8	継手タイプ Ⅱ G. R- 6 HTB: 2-M16	小梁
B15	H-150x75x5x7	継手タイプ Ⅱ G. R- 6 HTB: 2-M16	小梁
B150	H-150x150x7x10	継手タイプ Ⅱ G. R- 9 HTB: 2-M16	小梁
B20	H-200x100x5.5x8	継手タイプ Ⅰ G. R- 9 HTB: 2-M16	小梁
B194	H-194x150x6x9	継手タイプ Ⅰ G. R- 9 HTB: 2-M16	小梁
B294	H-294x200x8x12	継手タイプ Ⅰ G. R- 9 HTB: 3-M20	小梁
CB294	H-294x200x8x12		
P10	H-100x100x6x8	継手タイプ ⊖ G. R- 6 HTB: 2-M16	間柱
t1	[-100x50x5x7.5	継手タイプ ⊖ G. R- 6 HTB: 2-M16	吊材
HB14	H-148x100x6x9	継手タイプ Ⅱ G. R- 6 HTB: 2-M16	前風梁 ヨコ梁
M12	1-M12 (JISタンパ ックル プレス)	G. R- 6 HTB: 1-M16	水平プレス (JIS A 5540)
天井受け	C-100x50x20x2.3@900	G. R- 4.5 普通ボルト 2-M12	(SS400)
開口補強 (a)	L-50x50x6	溶接継合	
開口補強 (b)	L-65x65x6	溶接継合	
開口補強 (c)	L-75x75x6	溶接継合	
開口補強 (d)	L-75x75x9	溶接継合	

連続小梁接合部詳細図

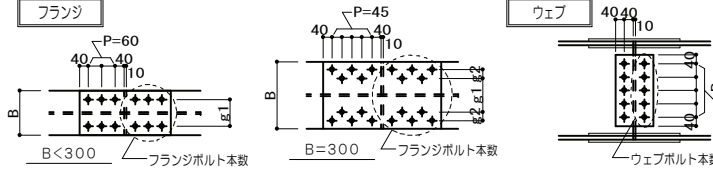
S:1/20



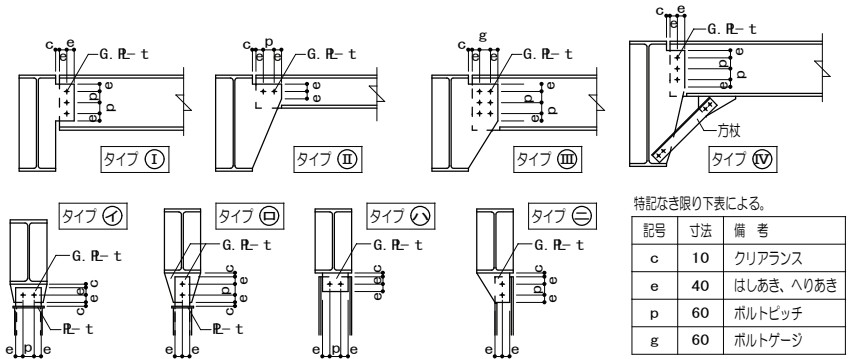
剛接合 (大梁) 継手リスト

断面寸法	フランジ		ウェブ		備考
	ボルト	外添板 (厚 x 幅 x 長さ)	ボルト	添板 (厚 x 幅 x 長さ)	
H-150x150x7x10	2x2-M16	PL- 9x150x290	1x2-M16	2PL- 6x80x350	
H-194x150x6x9	2x2-M16	PL- 9x150x290	2x1-M16	2PL- 6x140x230	
H-300x150x6.5x9	2x2-M16	PL- 9x150x290	3x1-M16	2PL- 6x200x170	
H-294x200x8x12	3x2-M20	PL- 9x200x410	3x1-M20	2PL- 9x200x170	
H-450x200x9x14	3x2-M20	PL-12x200x410	5x1-M20	2PL- 9x320x170	

\*印がある場合は、ウェブの材軸方向のボルト並びをフランジのボルト並びに対して半ピッチ (30mm) 外側にずらすことを表す。

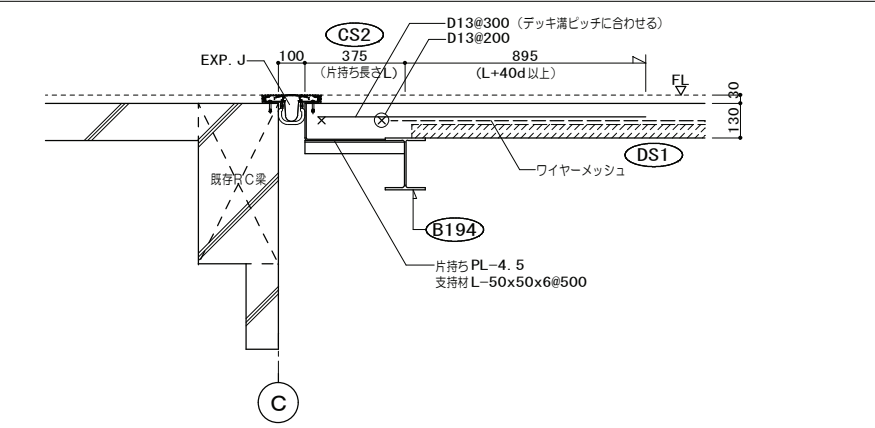


ピン接合 継手リスト



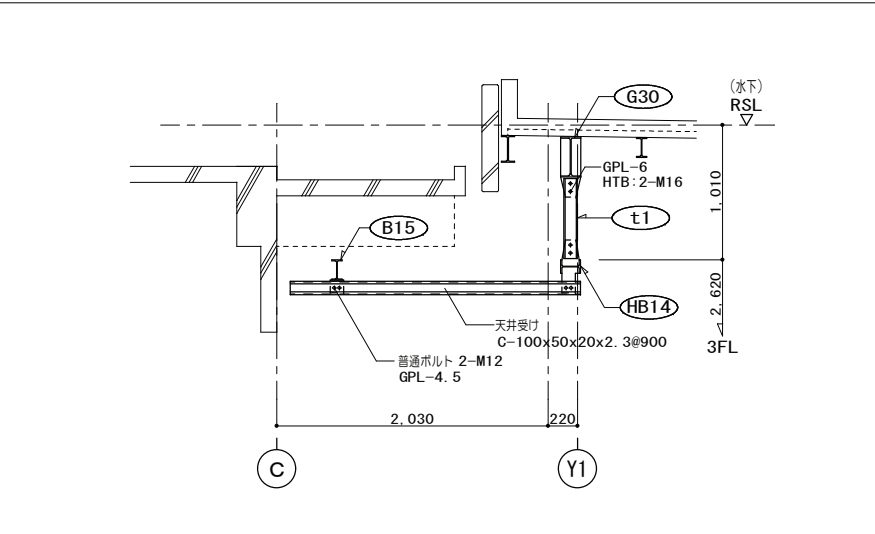
CS2 配筋要領図

S:1/20



3階天井受け詳細図

S:1/40



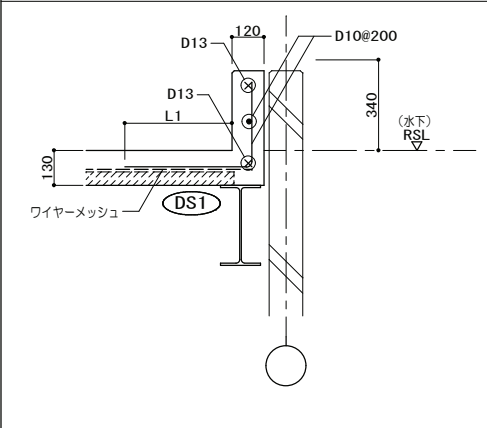
デッキスラブリスト

S:1/30

符号	DS1
断面	
備考	普通コンクリート Fc=21N 山 t=80

パラベット配筋要領図

S:1/20



附記

設計年月日

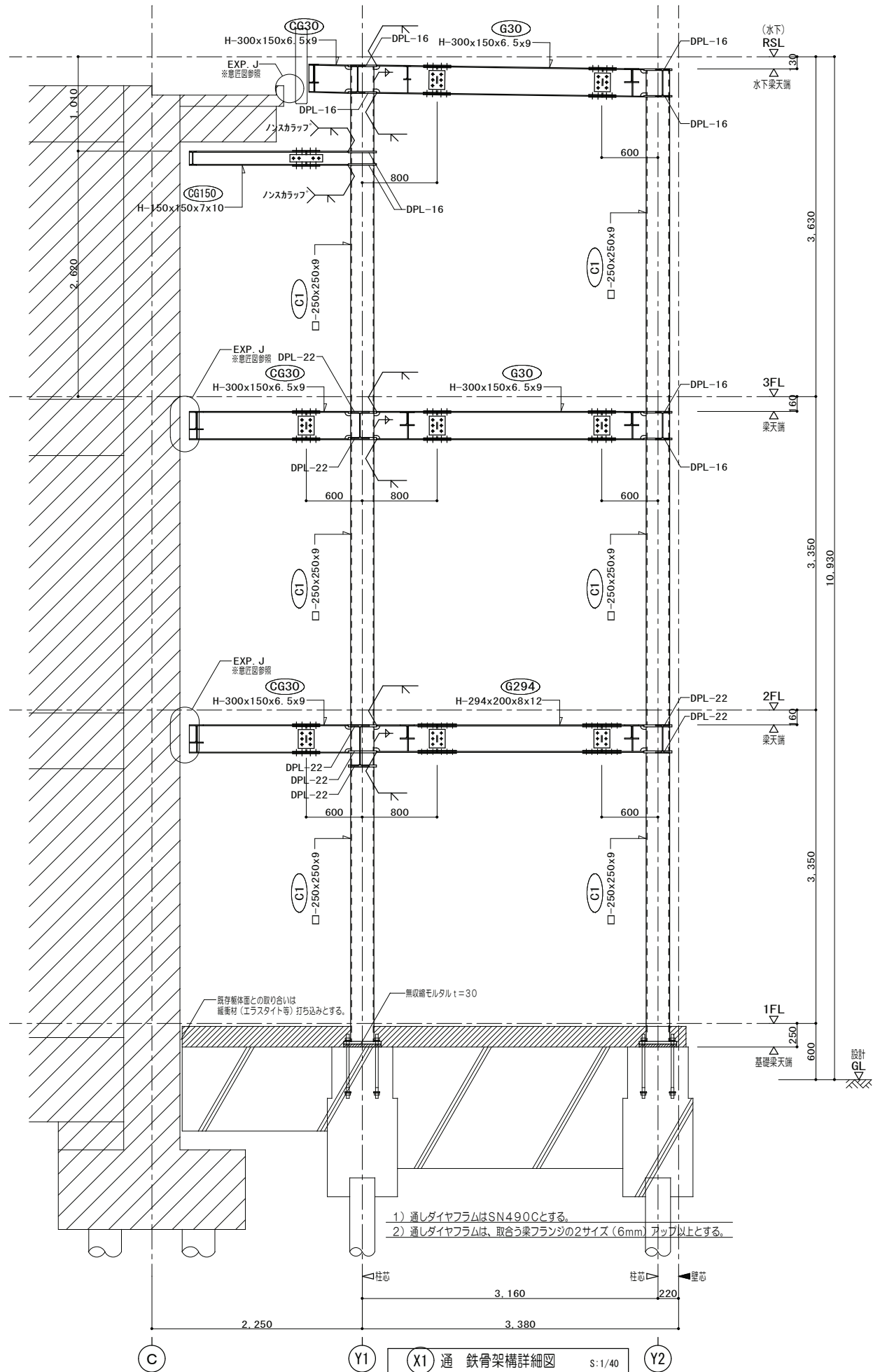
**(有)フジ総合設計事務所**  
〒682-0802 鳥取県倉吉市東蔵城町143番地  
TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 第325872号 竹中 誠  
1級建築士 永田 靖  
担当・製図 第379560号  
製図 1級建築士 第 号

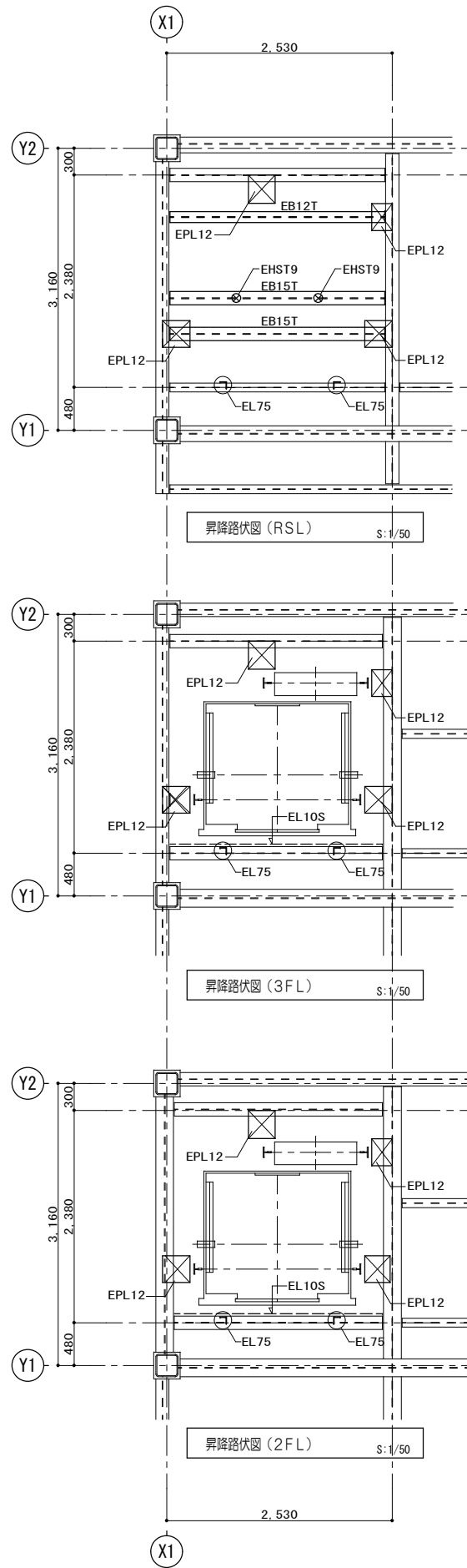
名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)  
鉄骨部材リスト

1級建築士 登録番号 330399号 株式会社 佐々木構造設計  
構造設計1級建築士 登録番号 9716号 佐々木 良介  
SCALE 1:50・40 30・20  
図面No. S-14  
16 枚の内

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

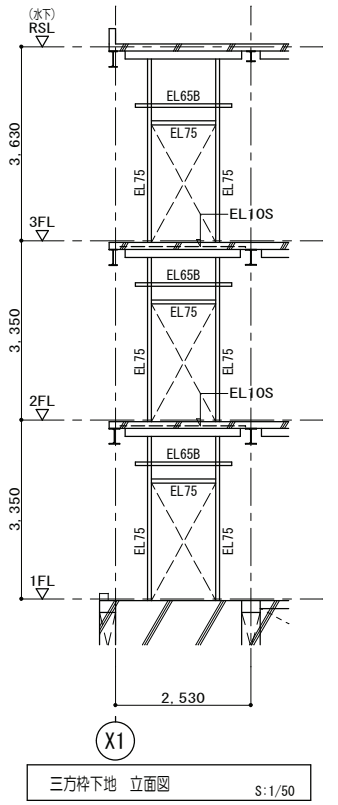
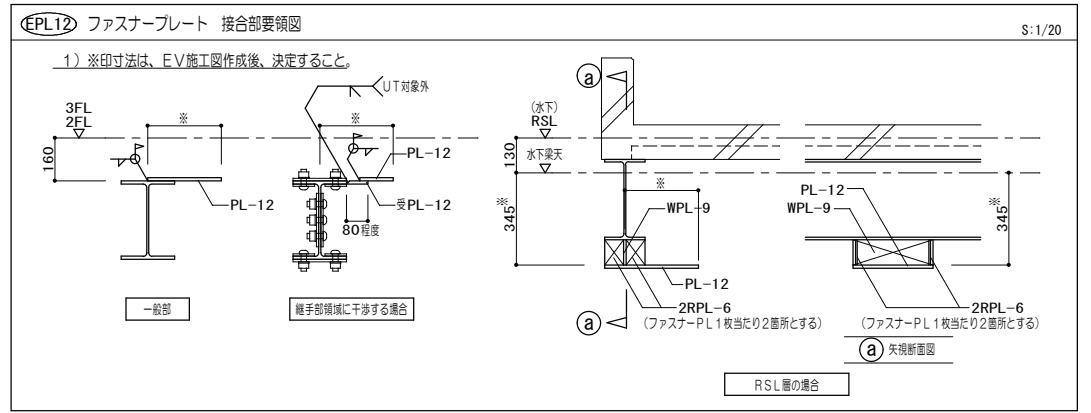
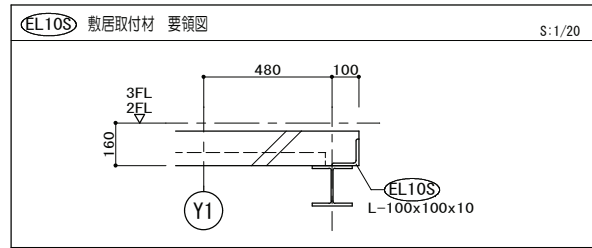
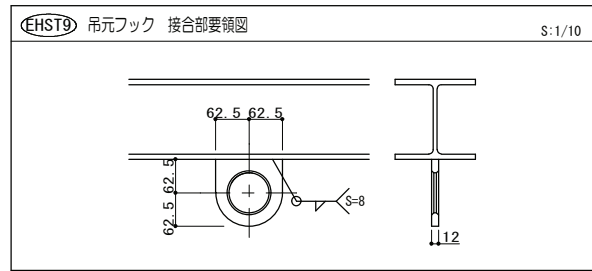
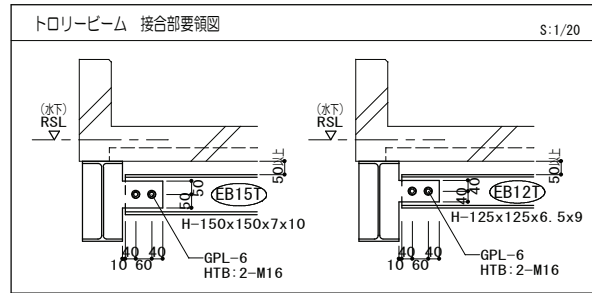


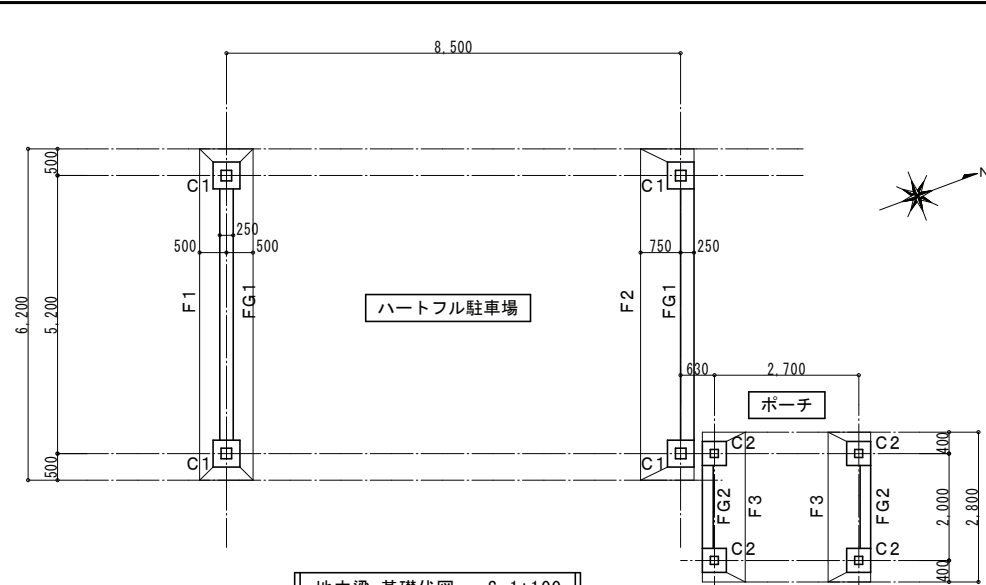
昇降機周辺部材



部材リスト

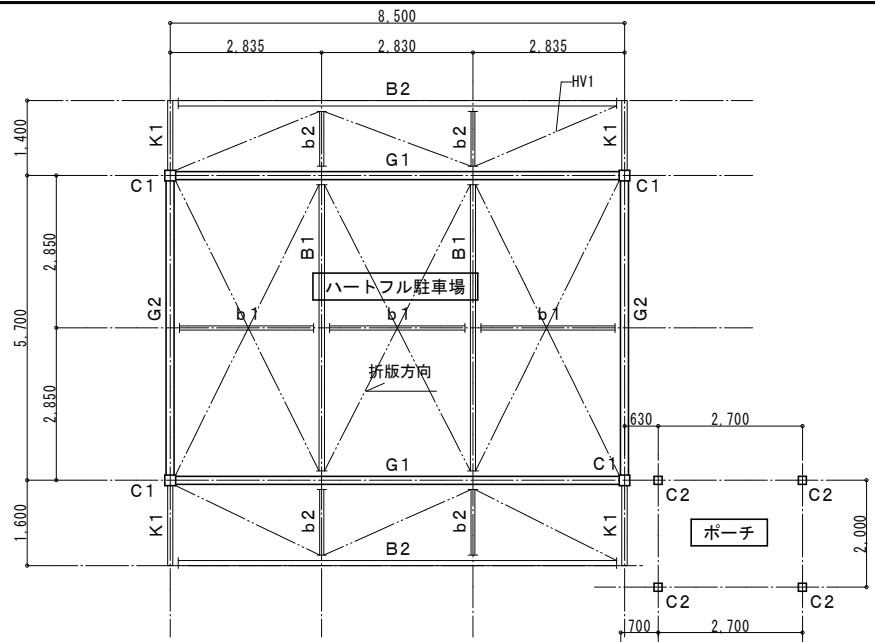
符号	部材	備考
EPL12	PL-12	ファスナープレート
EL75	L-75x75x6	三方枠取付材
EL65B	L-65x65x6	バックアングル取付材
EL10S	L-100x100x10	敷居取付材
EHST9	t12 (φ75穴付)	吊元フック (荷重9, 8kN用)
EB15T	H-150x150x7x10	トローリービーム (荷重19, 6kN)
EB12T	H-125x125x6.5x9	トローリービーム (荷重9, 8kN)





地中梁・基礎伏図 S=1:100

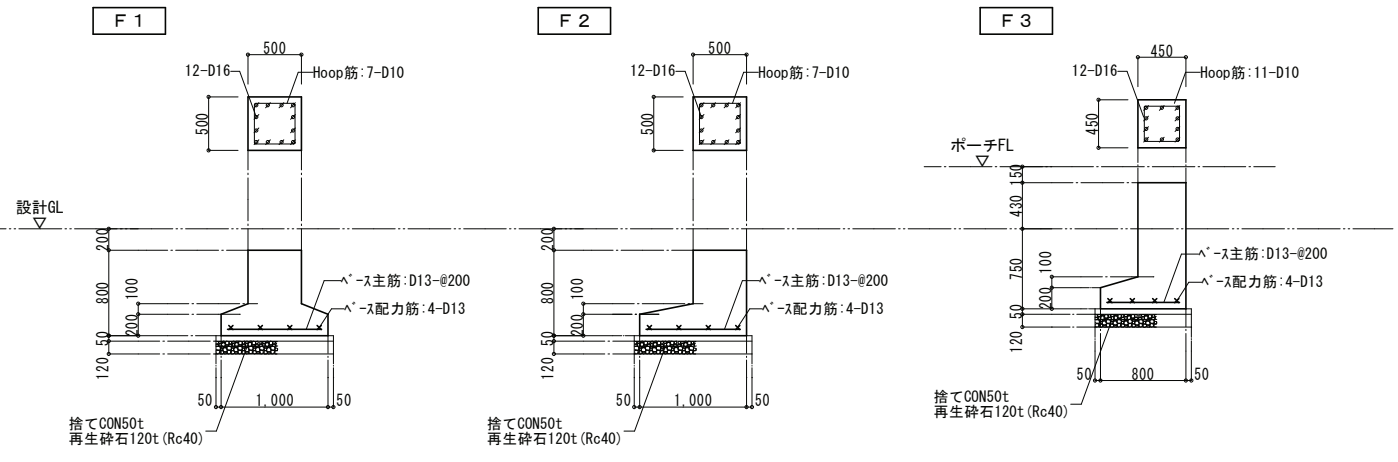
・コンクリート強度 基礎:Fc=21(+3)N-15-20  
 捨てCON:Fc=18N-15-20  
 ・砕石 再生砕石(Rc40)



梁伏図 S=1:100

鉄骨部材リスト	
G1	SS400 H-300×150×6.5×9
G2	SS400 H-250×125×6×9
G3・G4	SS400 H-200×100×5.5×8
K1	SS400 H-250×125×6×9
K2・K3	SS400 H-200×100×5.5×8
B1・B2	SS400 H-200×100×5.5×8
b1・b2	SS400 H-150×75×5×7
b4・b5	SS400 H-150×75×5×7
折版受材 SS400 2C-100×50×20×2.3	
HV1	SS400 M16 1-M16(F10T), GPL-9*70, 羽子板6t, JIS規格品
・部材は全て溶融亜鉛メッキ。特記なきはHTB-F8T	

基礎リスト S=1:50



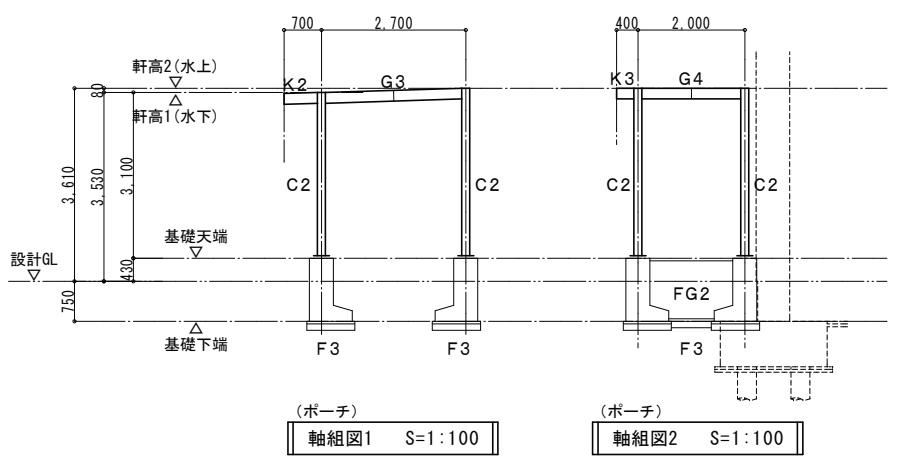
基礎梁リスト S=1:50

符号	FG 1	FG 2
位置	全域	全域
断面		
B × D	250 × 700	200 × 1080
上端部	2/2-D16	2/2-D16
下端部	2/2-D16	2/2-D16
スタラップ	D10-@250	D10-@250
腹筋	2-D10	4-D10

※巾止め筋は、@1,000内外とする。

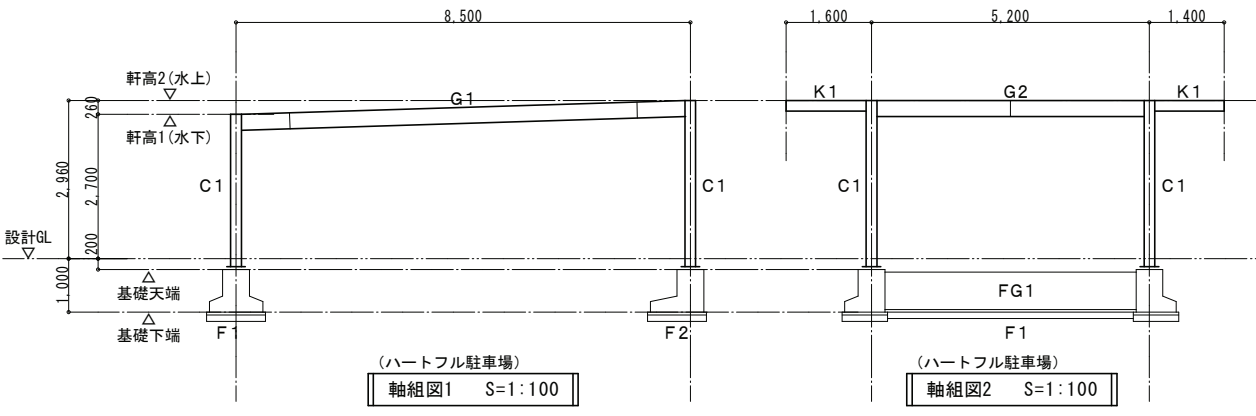
柱・柱脚リスト S=1:50

符号	C 1	C 2
部材	STKR400 □-200×200×9	STKR400 □-150×150×9
断面		
B. PL	350×350×19	300×300×16
A. Bolt	8-M22	4-M20



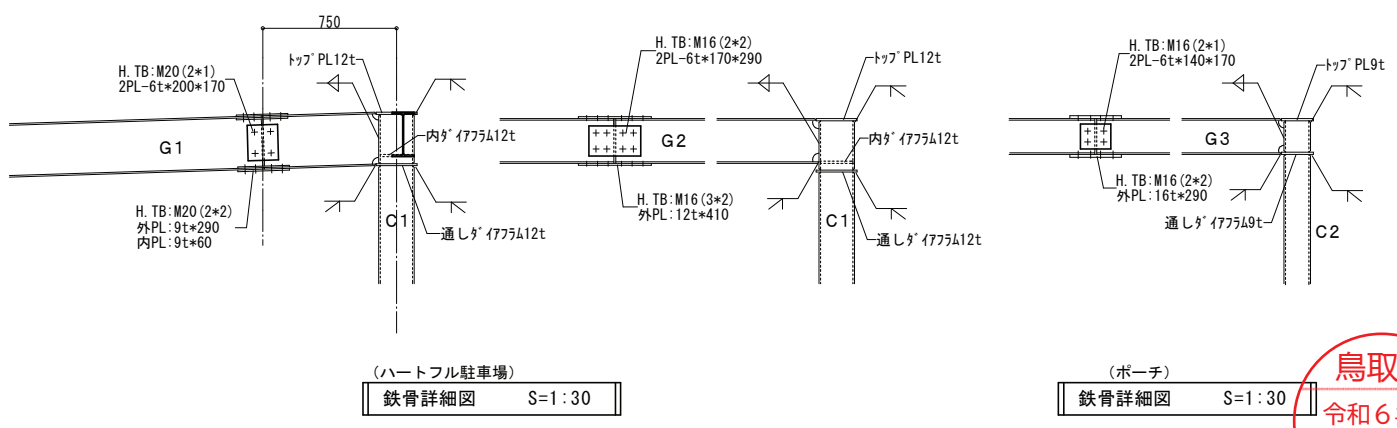
(ポーチ) 軸組図1 S=1:100

(ポーチ) 軸組図2 S=1:100



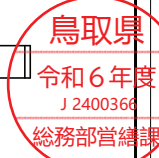
(ハートフル駐車場) 軸組図1 S=1:100

(ハートフル駐車場) 軸組図2 S=1:100



(ハートフル駐車場) 鉄骨詳細図 S=1:30

(ポーチ) 鉄骨詳細図 S=1:30



# 昇降機設備工事特記仕様書

## I. 工事概要

1 工事場所 倉吉市福庭町二丁目

## 2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	本館棟 (EV棟増築)	S造	3	83.85	( 7 ) 項	ｼﾌﾞ設置は建築工事
2	本館棟 (既設建物)	RC造	3	915.82	( ) 項	
3					( ) 項	
4					( ) 項	
5					( ) 項	

## 3 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1					屋外	備考
		1	2	3	4	5		
●エレベーター設備	○							
●非常用エレベーター設備								
●エスカレーター設備								
●小荷物専用昇降機設備								
●建築工事								
●電気設備工事								
●機械設備工事								

4 改修内容 ・エレベーター新設：D-F式, 13人乗り, 乗用兼車椅子用900kg

## II. 特記仕様

### 1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書のうち、●印の付いたものによる。
  - 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準仕様書」という。）
  - 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
  - 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準図」という。）
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（令和4年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

### 2 特記事項

- 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は●印の付いたものを適用する。
  - 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。●印と⊙印の付いた場合は両方を適用する。
- 一般共通事項のうち（1、2、4、5、7、8、9、10、17、18、19）項は、●建築 ●電気設備 工事特記仕様書による。

項目	特記事項																																																																																																																																																						
① 官公署その他への手続 2 電気保安技術者	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。 工事現場における電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。																																																																																																																																																						
3 発生材の処理等	引渡しを要するもの ※無し ●有り ( ● 機器類 ● 配管材料 ● ) 特別管理産業廃棄物 ※無し ●有り ( ● ) 再生資源の利用を図るもの ※無し ●有り ( ● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ● 建設発生木材 ● )																																																																																																																																																						
④ 施工図等 ⑤ 完成写真等	引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」及び「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督員の指示による。																																																																																																																																																						
⑥ 完成図等	次を図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部数</th><th>電子データの提出</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工程毎</td><td>※1部 ●部</td><td>●要 ●不要</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督職員の指示による</td><td>※2部 ●部</td><td>●要 ●不要</td></tr></tbody></table>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出	工事写真	カラーサービス判	各工程毎	※1部 ●部	●要 ●不要	完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部 ●部	●要 ●不要																																																																																																																																							
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出																																																																																																																																																			
工事写真	カラーサービス判	各工程毎	※1部 ●部	●要 ●不要																																																																																																																																																			
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部 ●部	●要 ●不要																																																																																																																																																			
⑦ 他工事との取合い	合併工事の場合は工種区分とする。 <table border="1"><thead><tr><th>他工事との取合い</th><th>本工事</th><th>電気設備</th><th>機械設備</th><th>建築</th></tr></thead><tbody><tr><td>●昇降路築造工事</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●昇降路内足場組立解体</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●乗場三方枠取付形鋼</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●乗場ボタン、インジケータ取付形鋼</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●乗場敷居取付形鋼</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●昇降路内中間ビーム</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●各階出入口の開閉（乗場位置表示器・押釦等含む）</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●各階出入口枠周囲のモルタル詰工</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●乗場機器取付後周囲の壁及び床等の仕上げ工事</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●ピット内防水工事</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●昇降路頂部に機器吊上げ用フック、トロリービーム取付工事</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●動力用電源の昇降機制御盤までの配管配線工事</td><td>●</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●照明用電源の昇降機制御盤までの配管配線工事</td><td>●</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●アース線（D種）の制御盤までの引き込み工事</td><td>●</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●昇降路外のインターホン用配管配線工事</td><td>●</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●昇降路内点検用コンセント設置工事</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●昇降路内照明設備</td><td>●</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●昇降路内換気設備</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td><td>●</td></tr><tr><td>●昇降路内の煙感知器設置工事</td><td>●</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●非常放送用配管配線工事</td><td>●</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●遠隔監視メンテナンス用配管配線工事</td><td>●</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●軽量鉄骨壁のボックス取付用下地</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●コンクリート壁、床、貼り貫通部のスリーブ</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●スリーブ・箱入</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●箱入れ補強</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●補強</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●機器類のコンクリート基礎</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●天井点検口</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr></tbody></table>	他工事との取合い	本工事	電気設備	機械設備	建築	●昇降路築造工事	●	●	●	※	●昇降路内足場組立解体	●	●	●	※	●乗場三方枠取付形鋼	●	●	●	※	●乗場ボタン、インジケータ取付形鋼	●	●	●	※	●乗場敷居取付形鋼	●	●	●	※	●昇降路内中間ビーム	※	●	●	●	●各階出入口の開閉（乗場位置表示器・押釦等含む）	※	●	●	●	●各階出入口枠周囲のモルタル詰工	●	●	●	●	●乗場機器取付後周囲の壁及び床等の仕上げ工事	●	●	●	※	●ピット内防水工事	●	●	●	※	●昇降路頂部に機器吊上げ用フック、トロリービーム取付工事	●	●	●	※	●動力用電源の昇降機制御盤までの配管配線工事	●	※	●	●	●照明用電源の昇降機制御盤までの配管配線工事	●	※	●	●	●アース線（D種）の制御盤までの引き込み工事	●	※	●	●	●昇降路外のインターホン用配管配線工事	●	※	●	●	●昇降路内点検用コンセント設置工事	※	●	●	●	●昇降路内照明設備	●	※	●	●	●昇降路内換気設備	●	●	※	●	●昇降路内の煙感知器設置工事	●	※	●	●	●非常放送用配管配線工事	●	※	●	●	●遠隔監視メンテナンス用配管配線工事	●	※	●	●	●軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	※	●	●	●	●機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線	※	●	●	●	●コンクリート壁、床、貼り貫通部のスリーブ	●	●	●	●	●スリーブ・箱入	※	●	●	●	●箱入れ補強	●	●	●	※	●補強	●	●	●	※	●機器類のコンクリート基礎	●	●	●	※	●天井点検口	●	●	●	※
他工事との取合い	本工事	電気設備	機械設備	建築																																																																																																																																																			
●昇降路築造工事	●	●	●	※																																																																																																																																																			
●昇降路内足場組立解体	●	●	●	※																																																																																																																																																			
●乗場三方枠取付形鋼	●	●	●	※																																																																																																																																																			
●乗場ボタン、インジケータ取付形鋼	●	●	●	※																																																																																																																																																			
●乗場敷居取付形鋼	●	●	●	※																																																																																																																																																			
●昇降路内中間ビーム	※	●	●	●																																																																																																																																																			
●各階出入口の開閉（乗場位置表示器・押釦等含む）	※	●	●	●																																																																																																																																																			
●各階出入口枠周囲のモルタル詰工	●	●	●	●																																																																																																																																																			
●乗場機器取付後周囲の壁及び床等の仕上げ工事	●	●	●	※																																																																																																																																																			
●ピット内防水工事	●	●	●	※																																																																																																																																																			
●昇降路頂部に機器吊上げ用フック、トロリービーム取付工事	●	●	●	※																																																																																																																																																			
●動力用電源の昇降機制御盤までの配管配線工事	●	※	●	●																																																																																																																																																			
●照明用電源の昇降機制御盤までの配管配線工事	●	※	●	●																																																																																																																																																			
●アース線（D種）の制御盤までの引き込み工事	●	※	●	●																																																																																																																																																			
●昇降路外のインターホン用配管配線工事	●	※	●	●																																																																																																																																																			
●昇降路内点検用コンセント設置工事	※	●	●	●																																																																																																																																																			
●昇降路内照明設備	●	※	●	●																																																																																																																																																			
●昇降路内換気設備	●	●	※	●																																																																																																																																																			
●昇降路内の煙感知器設置工事	●	※	●	●																																																																																																																																																			
●非常放送用配管配線工事	●	※	●	●																																																																																																																																																			
●遠隔監視メンテナンス用配管配線工事	●	※	●	●																																																																																																																																																			
●軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	※	●	●	●																																																																																																																																																			
●機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線	※	●	●	●																																																																																																																																																			
●コンクリート壁、床、貼り貫通部のスリーブ	●	●	●	●																																																																																																																																																			
●スリーブ・箱入	※	●	●	●																																																																																																																																																			
●箱入れ補強	●	●	●	※																																																																																																																																																			
●補強	●	●	●	※																																																																																																																																																			
●機器類のコンクリート基礎	●	●	●	※																																																																																																																																																			
●天井点検口	●	●	●	※																																																																																																																																																			

項目	特記事項
⑧ 工事に電力・水・その他	
⑨ 表示板	
⑩ 工事用仮設備	
11 図形等の表示	
12 電気容量及び機器表示	
⑬ 電線本数・管路等	
⑭ 補修など	
15 はつり	
16 はつり工事における非破壊検査	
17 足場	
18 工事安全計画書等	
⑰ 火災保険等	
20 鳥取県公共工事環境配慮指針	
21 工場立会検査	

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。  
設ける。（寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一緒に表示する。）

※ 工事表示板 ● お願い表示板

900

建築工事中

工事名 ○○○○○○新築工事  
構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建  
延べ面積○○○㎡  
工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで  
設計者 ○○○○設計  
監理者 ○○○○監理  
○総合事務所建築環境建築局  
○○○○○設計  
施工者 ○○○○建設  
連絡先 電話 ○○-○○○○  
夜間 ○○-○○○○  
現場責任者 ○○ ○○

地色 白  
地色  
7桁記号  
SYR6. 5/11

1,200

御通行中の皆様へ

令和○○年○月工事完成予定

簡単なバス、又は立面図を掲載する  
(拡大カラーコピーを張り付けてもよい)

事業の目的  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

現在の進捗率○○%  
事業協力をお願い  
工事期間中は、ご連絡をおかけしますが、ご理解とご協力よろしくお願ひします。

施工者 ○○○○建設  
連絡先 TEL ○○-○○○○  
発注者 鳥取県 鳥取県○○総合事務所建築環境建築局  
連絡先 電話 ○○-○○○○  
建設住宅課 ○○担当  
TEL ○○-○○○○

地色 白  
地色  
7桁記号  
SYR6. 5/11

記入要領

- 書体は角ゴシックとする。
- お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。

構内に作ることが ※出来る ●出来ない

機器類は、図示する形状、配管等などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。  
電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。  
機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。  
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

探査方法 ※電磁誘導式 ●放射線透過検査 ●

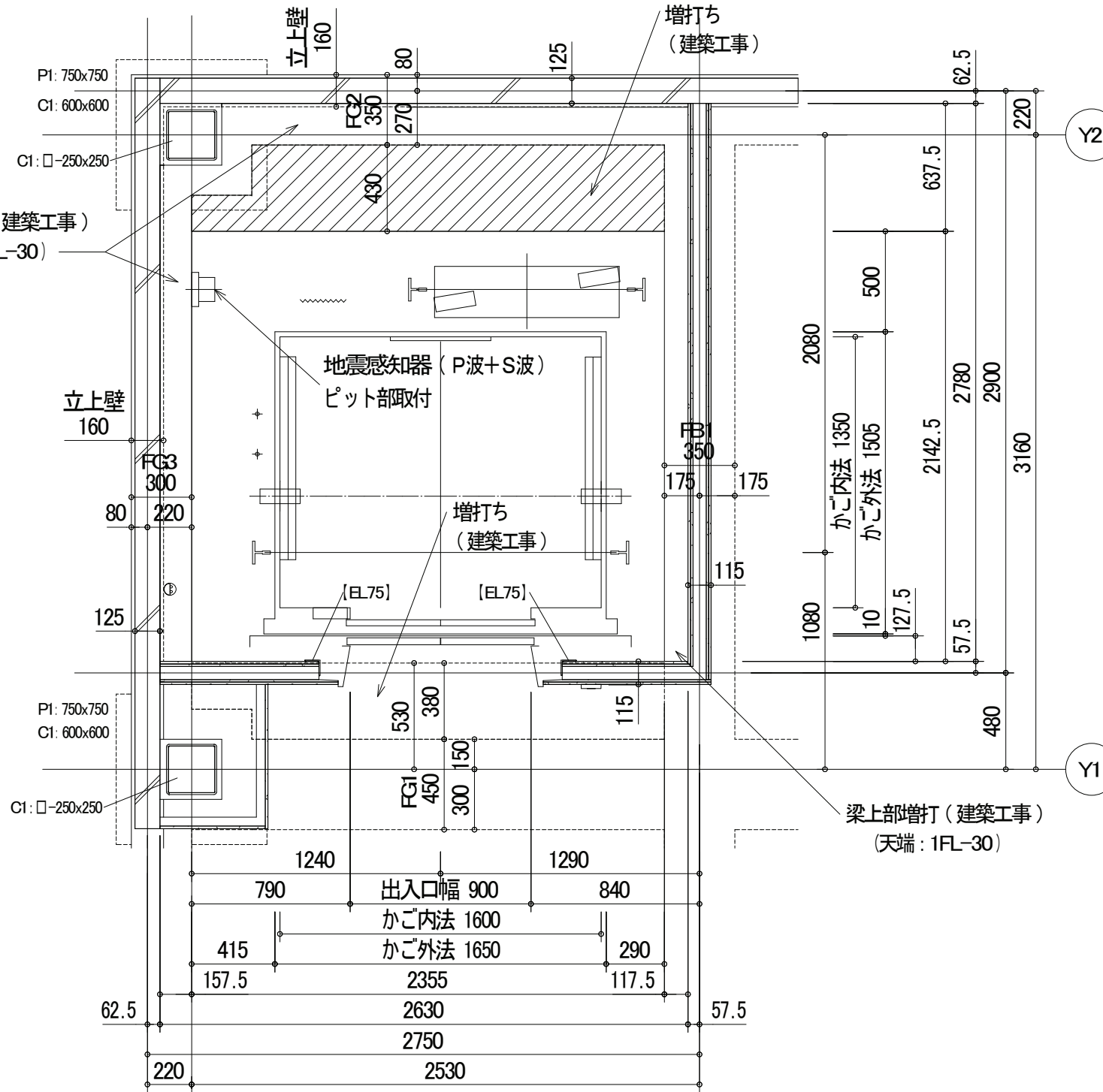
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。  
建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。  
工事目的物及び工事材料等工事途中の事故に伴う損害を補てんするための火災保険等加入する。  
(保険の加入期限は工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)

対象工事  
※無し ●有り



号機名	1号機	号機名	1号機	号機名	1号機	号機名	1号機																		
項目は ● を適用する。		かご室		3-A-3 乗場		3-A-6 耐震措置																			
<b>機器</b> <table border="1"> <tr> <td>構造</td> <td>● ロープ式 (機械室 ○ あり ● なし ) ○ 間接油圧式</td> </tr> <tr> <td>用途</td> <td>○ 乗用 ○ 人荷共用 ● 車いす兼用 ○ 寝台用 ○ 荷物用 ○ 非常用</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>● 普及型 (標仕第2章による) ○ 一般型 (標仕第3章による)</td> </tr> <tr> <td>載積量</td> <td>900 kg ( 13人 )</td> </tr> <tr> <td>速度</td> <td>45 m/min</td> </tr> <tr> <td>出入口の数</td> <td>● 1 (正面のみ) ○ 2 (貫通二方向型) 正面: 箇所 背面: 箇所</td> </tr> <tr> <td>停止階</td> <td>● 1F~3F ○ 不停止階 F~F ● 階高 3350 mm</td> </tr> <tr> <td>制御方式 (ロープ式)</td> <td>● 可変電圧可変周波数制御 (VVVF) ○ 交流2段速度制御 (AC2)</td> </tr> <tr> <td>基準階</td> <td>● 1階 ○ 階</td> </tr> </table>		構造	● ロープ式 (機械室 ○ あり ● なし ) ○ 間接油圧式	用途	○ 乗用 ○ 人荷共用 ● 車いす兼用 ○ 寝台用 ○ 荷物用 ○ 非常用	種類	● 普及型 (標仕第2章による) ○ 一般型 (標仕第3章による)	載積量	900 kg ( 13人 )	速度	45 m/min	出入口の数	● 1 (正面のみ) ○ 2 (貫通二方向型) 正面: 箇所 背面: 箇所	停止階	● 1F~3F ○ 不停止階 F~F ● 階高 3350 mm	制御方式 (ロープ式)	● 可変電圧可変周波数制御 (VVVF) ○ 交流2段速度制御 (AC2)	基準階	● 1階 ○ 階	○ 各階案内表示板 ・各階案内表示板の仕様は、アルミニウム等の額縁で、A3版の透明な合成樹脂製プレートと複写用紙が差込み可能な構造とする。 ● インターホン ● かご内操作盤組込み ○ 館内放送用スピーカー ○ 一般 ○ 非常 ○ 一般非兼用 ○ BGM ○ 自動案内 ● かご内換気 照明器具 ○ 光天井 (アクリルカバー付) ○ 間接照明 ○ ダウンライト ● 各社標準 ● 着脱式壁保護材 ● 磁石式又は粘着式 ○ フック式 ● FL+1,800まで ● 荷摺 (ステンレス) (● 人荷用 (0.3m程度) ) ○ トランクルーム ● 要 ○ 不要 ・かご室内付加仕様を有する場合は、標準仕様書第9編第3章3.2.2.3 かご室(カ)に示すものを全て備えるものとし、かご内専用操作盤上に専用インジケータを設置するカバープレートの仕上げは、製造者標準仕様とする。また、乗場には専用乗車ボタンを設置し、カバープレートの仕上げは製造者の標準仕様とする。		三方枠 材質 ○ 化粧鋼板 (1.5mm以上) ○ 塗装鋼板 (1.5mm以上) ● ステンレスヘアライン (1.5mm以上) ○ ステンレスエッチング (1.5mm以上) ○ ステンレス自然発色 (1.5mm以上) ○ 各社標準 ○ その他 乗場の敷居 材質 ○ アルミ ● ステンレス ○ 鋼製 ○ 各社標準 乗場の戸 材質 ○ 塗装鋼板 (1.5mm以上) ( 階 ) ● 化粧鋼板 (1.5mm以上) ( 各階 ) ○ ステンレス (ヘアライン) (1.5mm以上) ( 階 ) ○ ステンレス (エッチング) (1.5mm以上) ( 階 ) ○ ステンレス (自然発色) (1.5mm以上) ( 階 ) ○ 各社標準 ○ その他 性能 ● 遮炎遮煙性能 ○ 遮炎性能 ・遮炎遮煙性能を有する防火設備は、建築基準法第68条の26第1項及び同法施工令第112条第14項二号に適合したものとす。 乗場ボタン 種類 ○ 一般用 ○ 身障者用 ● 一般用、身障者用一体型 材質 (プレート) ○ ステンレスヘアライン ● 各社標準 乗場の付加仕様 ● 乗場点字注意銘板 ● 乗場側利用者検知機能 インジケータ 材質 ○ ステンレスヘアライン ● 各社標準 取り付け位置 ○ 扉板に組込み ○ 出入口上部 ○ 乗場ボタンに組み込む 種類 ● 各社標準 ○ デジタル式 ○ 照光式 ○ ホールランタン ○ ホールランタン (○樹脂製 ○その他) ) ○ かごの昇降方向を知らせる音声装置 幕板 材質 ○ 塗装仕上鋼板 (1.5mm以上) ○ 化粧鋼板 (1.5mm以上) ○ ステンレス (ヘアライン) (1.5mm以上) ○ ステンレス (エッチング) (1.5mm以上) ○ ステンレス (自然発色) (1.5mm以上) ● 各社標準 ○ その他 非常着床用出入口 ○ 要 (仕様は別図による) パーキングスイッチ ● 要 (取付階 1階) かご呼び出しスイッチ ○ 要 (取付階 階) ○ 押しボタンスイッチ ○ キースイッチ 認証システム ○ 要 (取付階 階) ○ テンキー式 ○ その他 ( )		・エレベーター設備機器の固定等は、すべて「昇降機技術基準の解説2016年版」による。 対象機器の耐震安全分類は、(○耐震クラスS14 ●耐震クラスA14)とする。 3-A-7 塗装・電気配線・その他 塗装標準 ● 1種 (表面平面度0.30mm:乗用) ○ 2種 (表面平面度0.40mm:乗用・人荷用・寝台用) ○ 3種 (表面平面度0.50mm:荷物用) 保守遠隔監視 (電話回線) ○ 要 ○ 配線 (制御盤~) (延長 m) ● 配線接続以外別途工事 非常用エレベーター付加仕様 ○ 要 (標仕第4章による) その他付加仕様 ○ 不停止階制御 不停止階 ( 階 ) ● かご内強制換気 ○ 再生電力備蓄システム ● 乗場側利用者検知機能 あと施工アンカーの施工 ○ 改修標仕 第2編 第5章による 耐震計算を行う機器等 ○ 昇降路内機器 ○ 機械室内機器 ○ レール、ブラケット等 鉄筋、埋込み配管等の検査の実施 ○ 施工箇所全て ○ 損傷を与える可能性がある場合のみ 性能確認試験・施工後確認試験の数量 ○ 全数 ○ 施工日、施工箇所、施工人員、7ヶ所の種類及び呼び径ごとに1箇所 引張試験荷重 (非破壊試験) ○ 耐震計算結果 (安全率を含む。) で得られた引抜力の1.5倍の荷重ただし、アンカーの耐力性能未達の荷重とする。 ○ 別途監督員の指示による 3-B-1 エレベーター監視盤 エレベーター監視盤 ○ 単独設置 ○ 複合設置 ○ 設置場所 ( ) 表示操作部 ○ 停止位置表示 ○ 商用・発電機電源表示 ○ 状態表示 (運転・上昇・下降・異常等) ○ 各管制運転・管制完了表示 ○ 停電時自動着床表示 その他付加仕様 ○ 地震時管制スイッチ (自動・切・手動) ○ 火災時管制スイッチ (自動・切・手動) ○ 帰着時管制スイッチ (帰着・切・継続) ○ パーキングスイッチ (運転・休止) 3-C-1 かご及び三方枠の形状 かご内法寸法 間口 1600 mm 奥行 1350 mm 高さ 2300 mm かご内の有効出入口寸法 幅 900 mm 高さ 2100 mm 三方枠の形状 大枠 3-C-2 機械室及び昇降路 昇降路 間口(ピット) mm 奥行(ピット) mm 間口(一般) mm 奥行(一般) mm ピット深さ mm 最上階OH mm 非常通報 (イタホ) ● 非常時の連絡先は昇降機メンテナンス契約に含めることとし、遠隔監視サービスインターフェース (電話回線利用) により行う。	
構造	● ロープ式 (機械室 ○ あり ● なし ) ○ 間接油圧式																								
用途	○ 乗用 ○ 人荷共用 ● 車いす兼用 ○ 寝台用 ○ 荷物用 ○ 非常用																								
種類	● 普及型 (標仕第2章による) ○ 一般型 (標仕第3章による)																								
載積量	900 kg ( 13人 )																								
速度	45 m/min																								
出入口の数	● 1 (正面のみ) ○ 2 (貫通二方向型) 正面: 箇所 背面: 箇所																								
停止階	● 1F~3F ○ 不停止階 F~F ● 階高 3350 mm																								
制御方式 (ロープ式)	● 可変電圧可変周波数制御 (VVVF) ○ 交流2段速度制御 (AC2)																								
基準階	● 1階 ○ 階																								
3-A-1 駆動装置等 (機械室なしの場合は機械室不要 電動機は昇降路内、電源室及び制御盤は昇降路内又は乗場に設置)		かごの戸		3-A-4 昇降路内機器		3-C-2 機械室及び昇降路																			
<table border="1"> <tr> <td>電動機容量</td> <td>Ac-4.5 kw ● 各社標準</td> </tr> <tr> <td>再生電力備蓄機能</td> <td>○ 有</td> </tr> <tr> <td>防音対策 (油圧式)</td> <td>○ 要 (別紙仕様による)</td> </tr> <tr> <td>予備品収納箱 (機械室毎)</td> <td>○ 要 (鉄製キャビネット)</td> </tr> <tr> <td>乗合方式</td> <td>○ 単式自動 (荷物用) ● 乗合全自動 (SC) ○ 群乗合全自動 (MSC) (2台並列) ○ 全自動群管理 (GSS) ○ 全自動群管理ヒューリス (GSS・PS) ○ 群管理対象機: 号機~ 号機 ○ 専用運転付</td> </tr> <tr> <td>管制運転等</td> <td>● 地震時管制運転 (S波、P波感知器付き) ● 火災時管制運転 ○ 非常時発電 (自家発) 時管制運転 ● 停電時救出運転 (停電時着床装置) ● ビット冠水時管制運転 ○ 巻上機を底部に設置する場合のみ ○ 浸水時管制運転 ○ 長尺物振れ管制運転 ● 閉じ込み時リスタート運転 ○ 緊急地震速報運動運転</td> </tr> </table>		電動機容量	Ac-4.5 kw ● 各社標準	再生電力備蓄機能	○ 有	防音対策 (油圧式)	○ 要 (別紙仕様による)	予備品収納箱 (機械室毎)	○ 要 (鉄製キャビネット)	乗合方式	○ 単式自動 (荷物用) ● 乗合全自動 (SC) ○ 群乗合全自動 (MSC) (2台並列) ○ 全自動群管理 (GSS) ○ 全自動群管理ヒューリス (GSS・PS) ○ 群管理対象機: 号機~ 号機 ○ 専用運転付	管制運転等	● 地震時管制運転 (S波、P波感知器付き) ● 火災時管制運転 ○ 非常時発電 (自家発) 時管制運転 ● 停電時救出運転 (停電時着床装置) ● ビット冠水時管制運転 ○ 巻上機を底部に設置する場合のみ ○ 浸水時管制運転 ○ 長尺物振れ管制運転 ● 閉じ込み時リスタート運転 ○ 緊急地震速報運動運転	仕上 ○ 塗装鋼板 ● 化粧鋼板 ○ ステンレス ○ 防犯窓 ○ 各社標準 開閉方式 ● 2枚両開き戸 (C0) ○ 4枚両開き戸 (200) ○ 2枚片開き戸 (2S) ○ 3枚片開き戸 (3S) ○ 各社標準 ○ その他 (戸開走行保護装置等2009改正建基法対応) セイフティシュー ○ 片側 ● 両側 かご出入口検出装置 ● 多光軸式 ○ 光電管式 かご操作盤 材質 ○ ステンレス ● 各社標準 ● 登録呼び取消し機能 ● 開延長ボタン (荷物用・人荷共用・寝台用) かご内インジケータ 仕上 ○ ステンレス ○ アルミニウム ● 各社標準 取付位置 ○ 出入口上部 ○ 操作盤上部 ○ 操作盤組込 ● 各社標準 表示方法 ○ デジタル式 ○ 照光式 ○ カラー液晶式 ● 各社標準 かご内防犯カメラ ○ 本工事 ○ 別途工事 ○ 録画装置 (○本工事 ○別途電気設備工事 ○ ) ○ 録画装置設置場所 ( ) ○ モニター設置場所 ( )		中間ビーム ○ 要 ● 不要 ビット内タラップ ○ 要 ● 不要 昇降路の排水対策 ○ ビット内排水管 (別途工事) ○ その他 3-A-5 安全装置 非常止め装置 ○ 不要 手動ブレーキ ● 要 開放装置 ○ 不要		昇降路 間口(ピット) mm 奥行(ピット) mm 間口(一般) mm 奥行(一般) mm ピット深さ mm 最上階OH mm 非常通報 (イタホ) ● 非常時の連絡先は昇降機メンテナンス契約に含めることとし、遠隔監視サービスインターフェース (電話回線利用) により行う。							
電動機容量	Ac-4.5 kw ● 各社標準																								
再生電力備蓄機能	○ 有																								
防音対策 (油圧式)	○ 要 (別紙仕様による)																								
予備品収納箱 (機械室毎)	○ 要 (鉄製キャビネット)																								
乗合方式	○ 単式自動 (荷物用) ● 乗合全自動 (SC) ○ 群乗合全自動 (MSC) (2台並列) ○ 全自動群管理 (GSS) ○ 全自動群管理ヒューリス (GSS・PS) ○ 群管理対象機: 号機~ 号機 ○ 専用運転付																								
管制運転等	● 地震時管制運転 (S波、P波感知器付き) ● 火災時管制運転 ○ 非常時発電 (自家発) 時管制運転 ● 停電時救出運転 (停電時着床装置) ● ビット冠水時管制運転 ○ 巻上機を底部に設置する場合のみ ○ 浸水時管制運転 ○ 長尺物振れ管制運転 ● 閉じ込み時リスタート運転 ○ 緊急地震速報運動運転																								
3-A-2 かご内		かご室		3-A-5 安全装置		3-C-2 機械室及び昇降路																			
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">かご室</td> <td rowspan="2">床仕上げ</td> <td>乗用人荷用寝台用</td> <td>○ 長尺シート ○ ゴムタイル張り(3mm以上) ○ 合成樹脂系タイル(2mm以上) ● 各社標準</td> </tr> <tr> <td>荷物用</td> <td>○ 縞鋼板(3.2mm以上) ○ 床用鋼板張り</td> </tr> <tr> <td colspan="2">敷居材質</td> <td>○ アルミ ● ステンレス (SUS430) ○ 各社標準</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">壁面仕上</td> <td>○ 鋼板塗装仕上 (単色) ○ 化粧鋼板仕上 ○ ステンレス板張り仕上 ● 各社標準</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">○ 表示装置</td> <td>○ 管制運転等表示装置</td> <td></td> </tr> </table>		かご室	床仕上げ	乗用人荷用寝台用	○ 長尺シート ○ ゴムタイル張り(3mm以上) ○ 合成樹脂系タイル(2mm以上) ● 各社標準	荷物用	○ 縞鋼板(3.2mm以上) ○ 床用鋼板張り	敷居材質		○ アルミ ● ステンレス (SUS430) ○ 各社標準		壁面仕上		○ 鋼板塗装仕上 (単色) ○ 化粧鋼板仕上 ○ ステンレス板張り仕上 ● 各社標準		○ 表示装置		○ 管制運転等表示装置		○ 要 (取付階 階) ○ テンキー式 ○ その他 ( )		昇降路 間口(ピット) mm 奥行(ピット) mm 間口(一般) mm 奥行(一般) mm ピット深さ mm 最上階OH mm 非常通報 (イタホ) ● 非常時の連絡先は昇降機メンテナンス契約に含めることとし、遠隔監視サービスインターフェース (電話回線利用) により行う。			
かご室	床仕上げ			乗用人荷用寝台用	○ 長尺シート ○ ゴムタイル張り(3mm以上) ○ 合成樹脂系タイル(2mm以上) ● 各社標準																				
		荷物用	○ 縞鋼板(3.2mm以上) ○ 床用鋼板張り																						
敷居材質		○ アルミ ● ステンレス (SUS430) ○ 各社標準																							
壁面仕上		○ 鋼板塗装仕上 (単色) ○ 化粧鋼板仕上 ○ ステンレス板張り仕上 ● 各社標準																							
○ 表示装置		○ 管制運転等表示装置																							
管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠 担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖 製図 1級建築士 第 号		設計年月日 . . . .		名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) 昇降機設備工事特記仕様書(2)		SCALE 図面No. EV-2 6枚の内																			
管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠 担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖 製図 1級建築士 第 号		設計年月日 . . . .		名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) 昇降機設備工事特記仕様書(2)		SCALE 図面No. EV-2 6枚の内																			





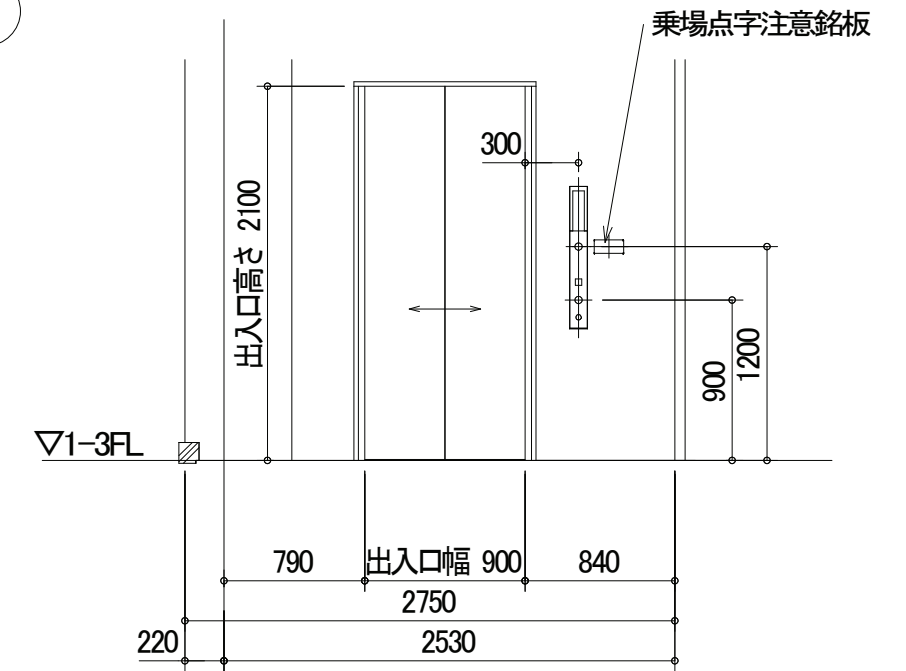
昇降路平面図 (1FL)

1:20

⊕	ピット点検用コンセント	(電気工事)
⚡	T. C保護金網	(エレベーター工事)

レール反力リスト (地震時作用荷重)		No. 1
かご側	Px	4.50 kN
一般階	Py	2.30 kN
かご側	Px	5.10 kN
最上階	Py	3.60 kN
おもり側	Px	7.10 kN
一般階	Py	3.60 kN
おもり側	Px	10.60 kN
最上階	Py	7.10 kN

上記 荷重による柱及び梁のたわみは5mm以下となるよう選定下さい。



出入口正面図

1:30

電源設備

(1台1回線)

(高圧)

号機名	No. 1		
電源設備容量	動力	210V	4kVA
	照明	100V	1.5kVA
最大電流	23.4A		
動力線サイズ (mm <sup>2</sup> )	5.5	8	14
最大引込み距離 (m)	73	112	196
建屋側MCCB	40A		
接地線最小サイズ	3.5mm <sup>2</sup>		
インターホン用配線	φ0.9×10本		
電話用配管・配線	φ19配管・電話線1P		
ピットコンセント容量	1kVA/台		

鉄骨部材記号表 (建築工事)

部材記号	部材用途	部材サイズ
EPL12	ファスナープレート	PL-12
EL75	三方棒取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
H-ST9	吊元 (荷重9.8kN用)	t12 (φ75穴付)
EB15T	トローリービーム (荷重19.6kN)	H-150x150x7x10
EB12T	トローリービーム (荷重9.8kN)	H-125x125x6.5x9

附記	設計年月日

**(有)フジ総合設計事務所**  
 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地  
 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

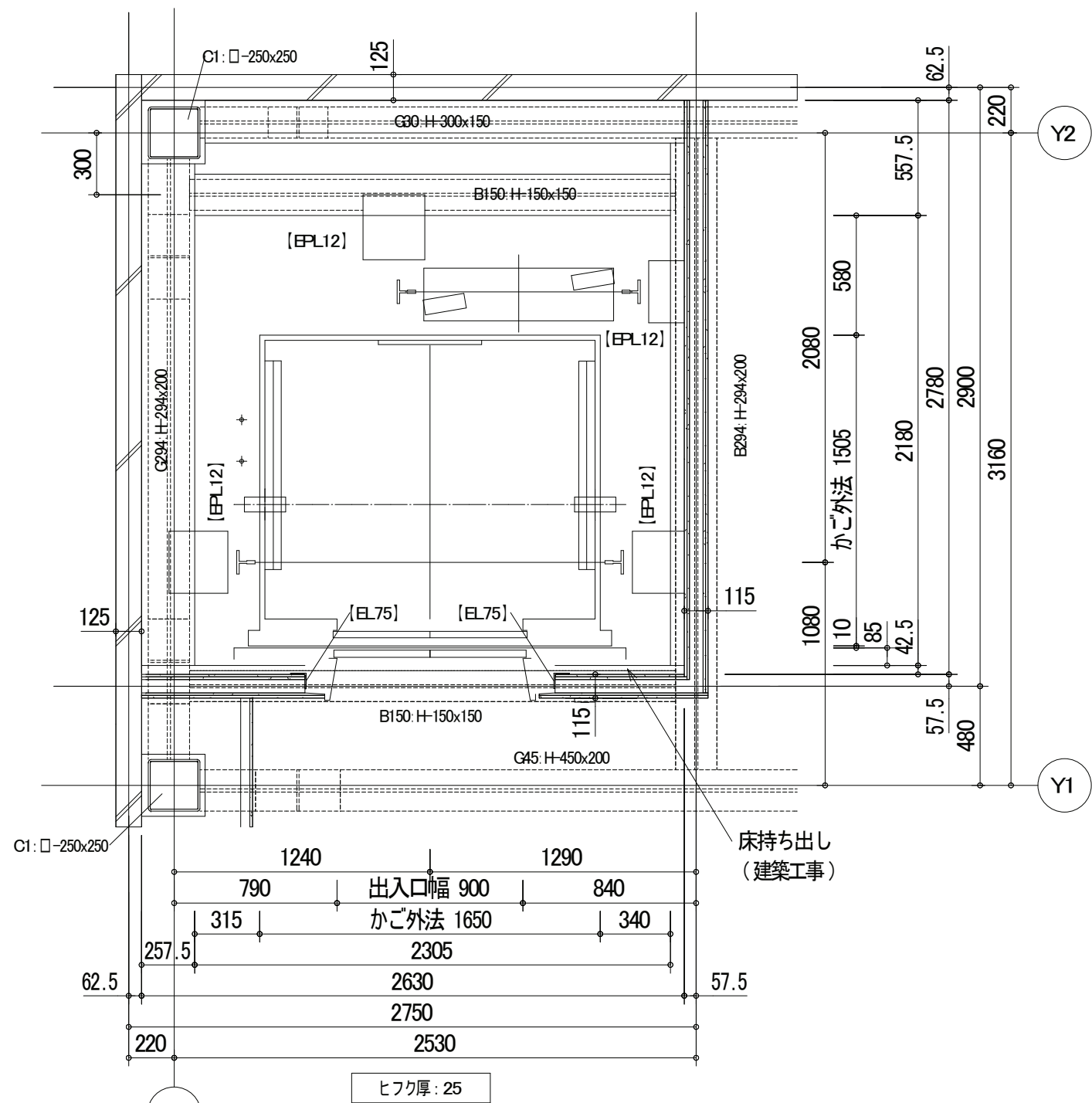
管理建築士	竹中 誠
1級建築士 第325872号	
担当・製図	永田 靖
1級建築士 第379560号	
製図	
1級建築士 第 号	

名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
昇降機設備図(1)	

SCALE	1:20・30
-------	---------

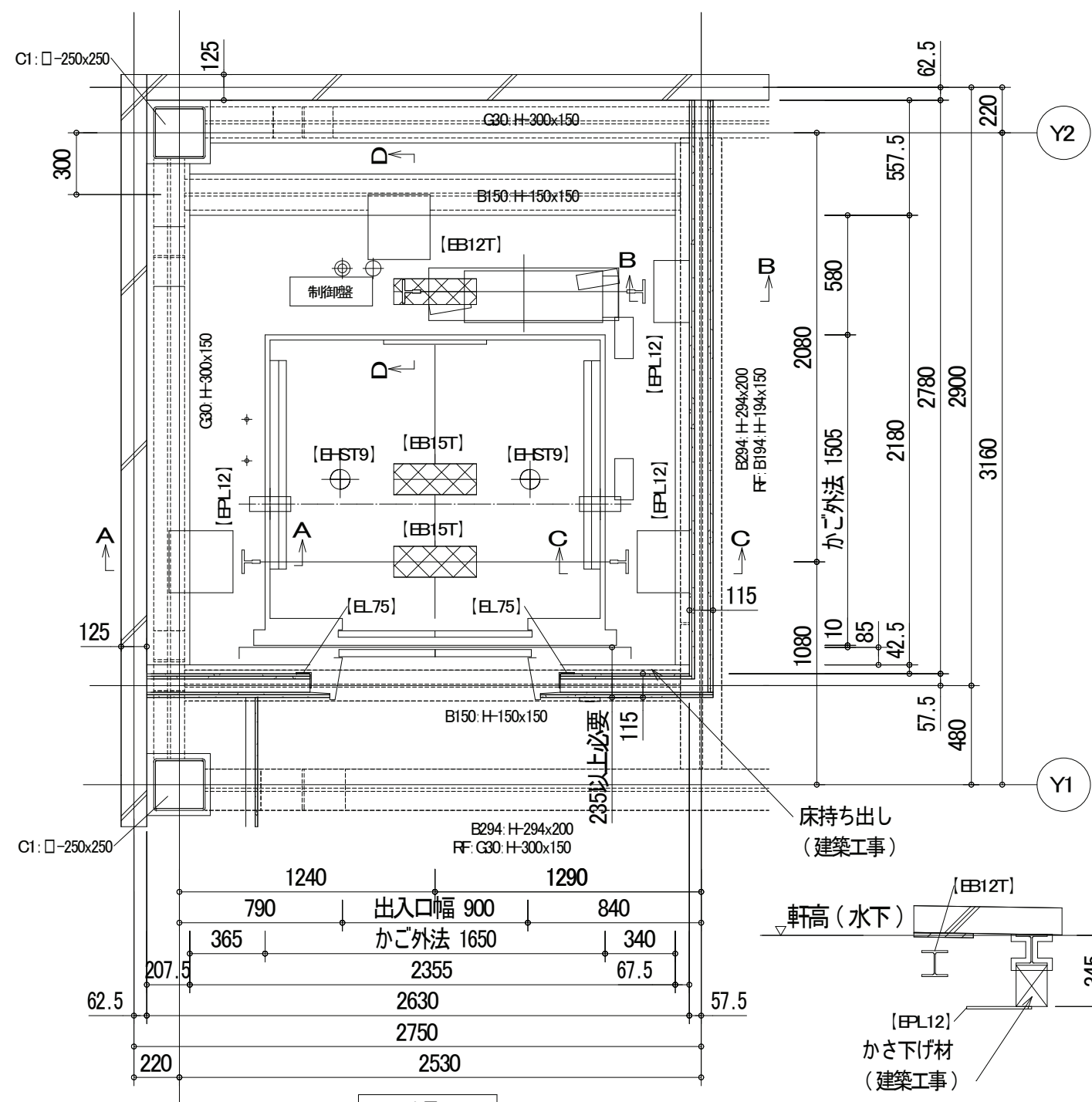
図面No.	EV-3
枚の内	6

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課



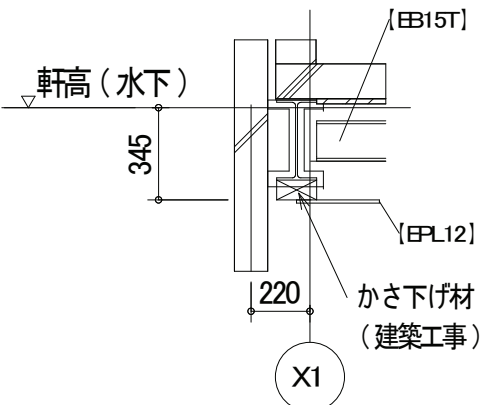
昇降路平面図 (2FL)

1 : 20



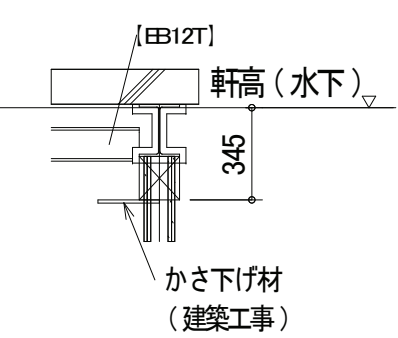
昇降路平面図 (3FL)

1 : 20



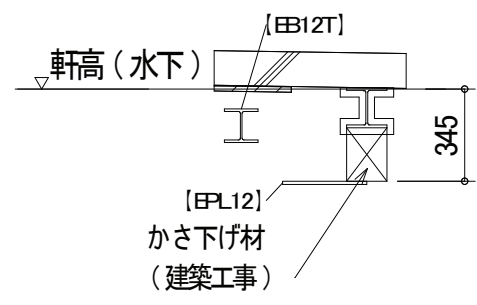
A-A断面

1 : 20



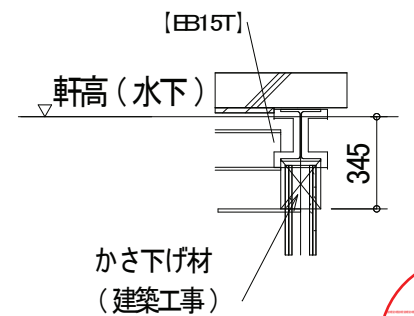
B-B断面

1 : 20



D-D断面

1 : 20



C-C断面

1 : 20

鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EPL12	ファスナープレート	PL-12
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元 (荷重9.8kN用)	t12 (φ75穴付)
EB15T	トロリービーム (荷重19.6kN)	H-150x150x7x10
EB12T	トロリービーム (荷重9.8kN)	H-125x125x6.5x9

⊕ 吊元フック[EHS9]	・荷重 : 9.8 kN	(建築工事)
⊕ 電源引込み (受電盤への接続)	・動力・照明・接地線	(電気工事)
	3階FL-1350mm 引出長さ3m	
⊕ 配線引込み	・インターホン配線、電話線	(電気工事)
	3階FL-650mm 引出長さ3m	

附記

設計年月日

**(有)フジ総合設計事務所**  
 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地  
 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 竹中 誠  
 1級建築士 第325872号  
 担当・製図 永田 靖  
 1級建築士 第379560号  
 製図 1級建築士 第 号

名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)  
 昇降機設備図(2)

SCALE 1:20  
 図面No. EV-4  
 6枚の内

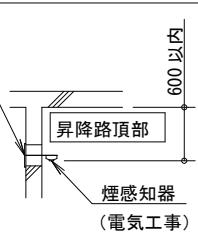
鳥取県  
 令和6年度  
 J2400366  
 総務部管轄課

※煙感知器と天井点検口について打ち合わせの事

煙感知器詳細

施錠装置付点検扉

- 1.5mm以上の鋼板製（電気工事）
  - リミットスイッチ付（エレベーター工事）
- 昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は外部に引き出した状態で点検可能な構造とする。  
屋外の場合は、防水形点検扉とする。



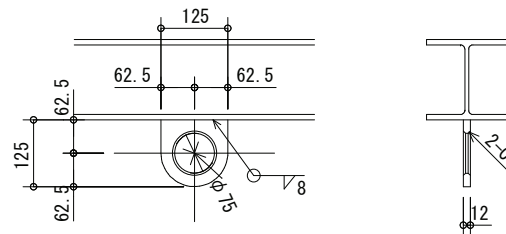
点検ボックスは下記エレベーター昇降路専用用品として下さい。

- ・ホーチキ (KUS-1C (W))
- ・能美防災 (FXS J001A-HU)
- ・ニッタン (NID-T-G)
- ・パナソニック (BV95351+BV95381H)

製品の型番は、仕様変更などで変更・廃止されている場合があります

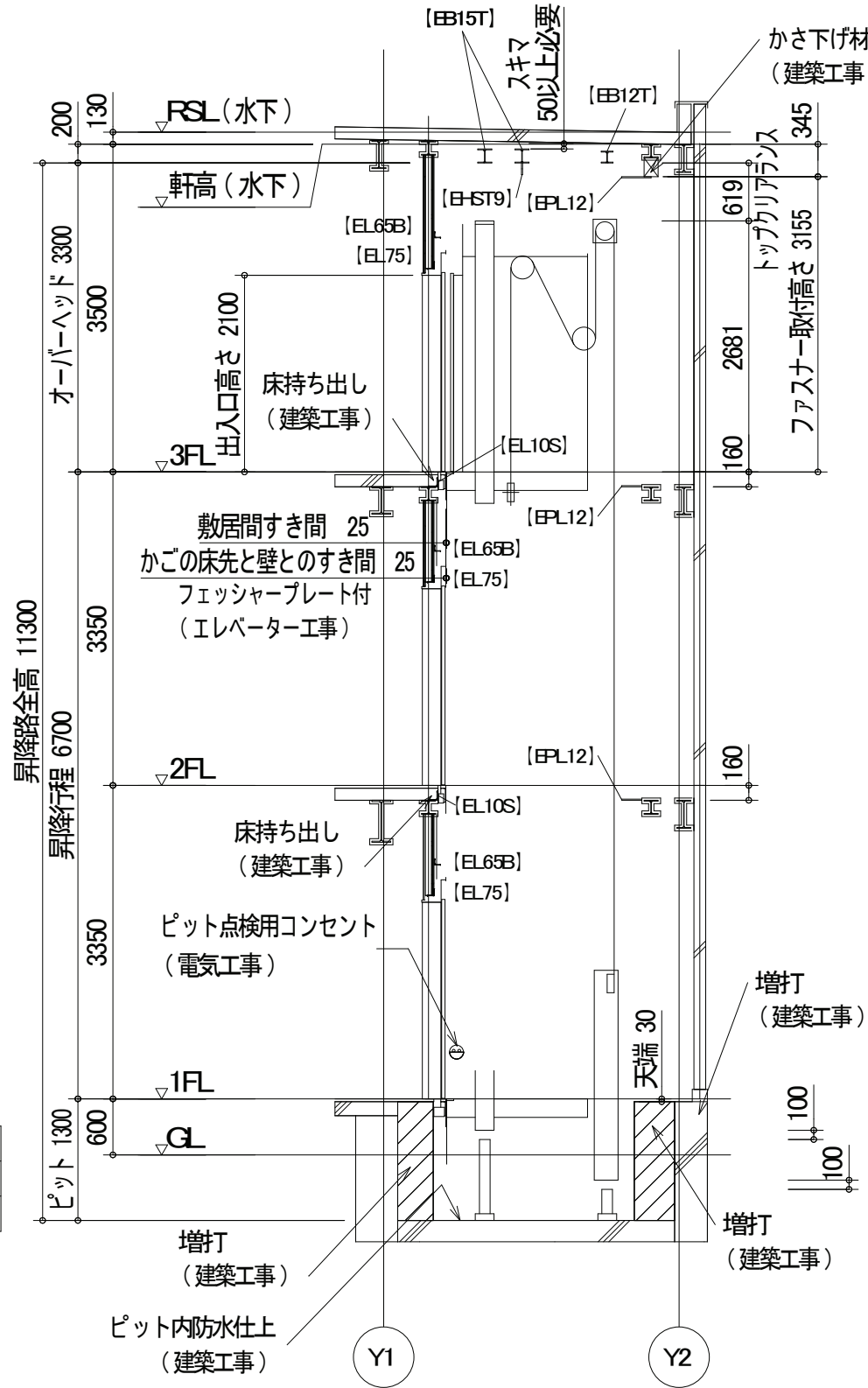
吊元フック詳細【EHST9】

吊元フック荷重：9.8kN



※全周すみ肉溶接脚長8mm

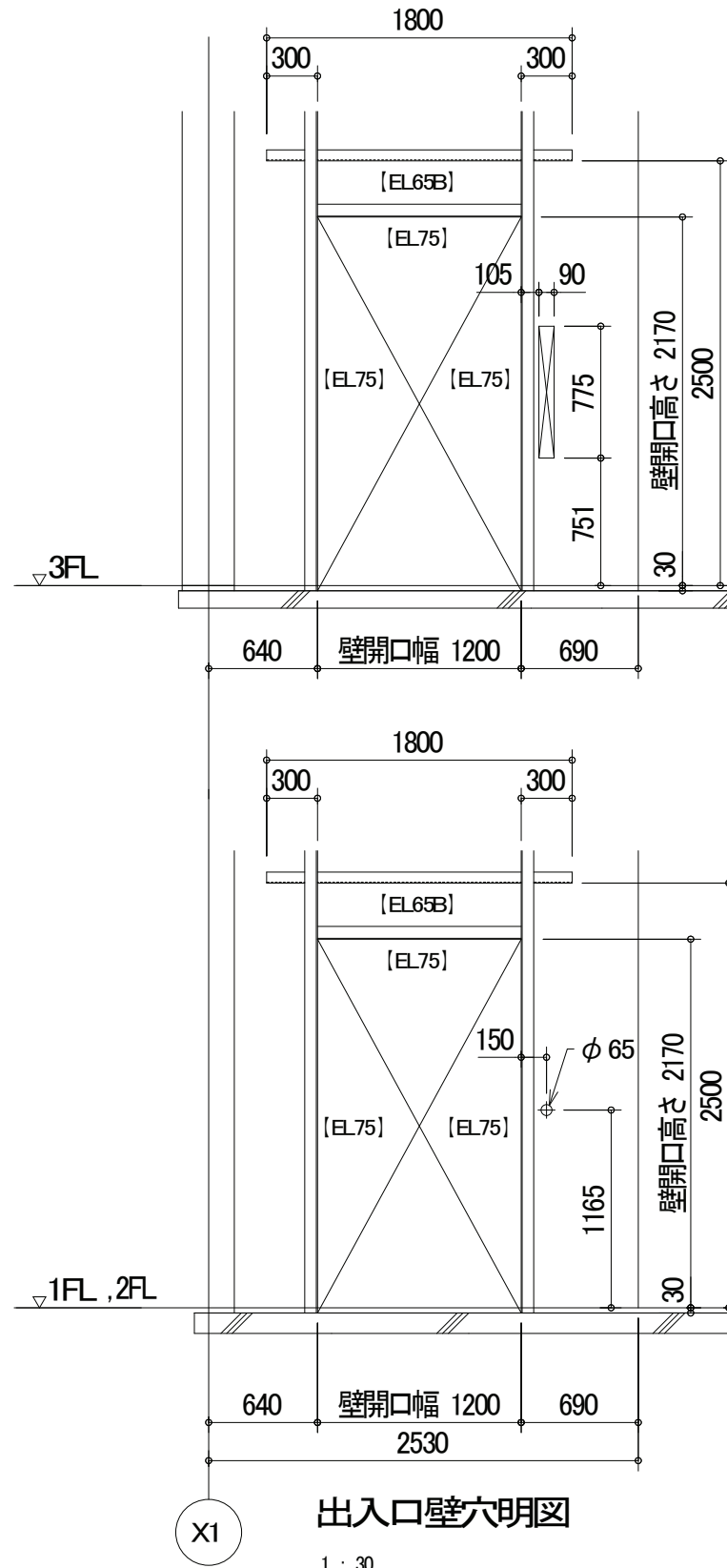
No. 1		
ピット反力		81.50kN
ピット衝撃荷重	かご側	69.20kN
	C/W側	53.50kN



昇降路縦断面図

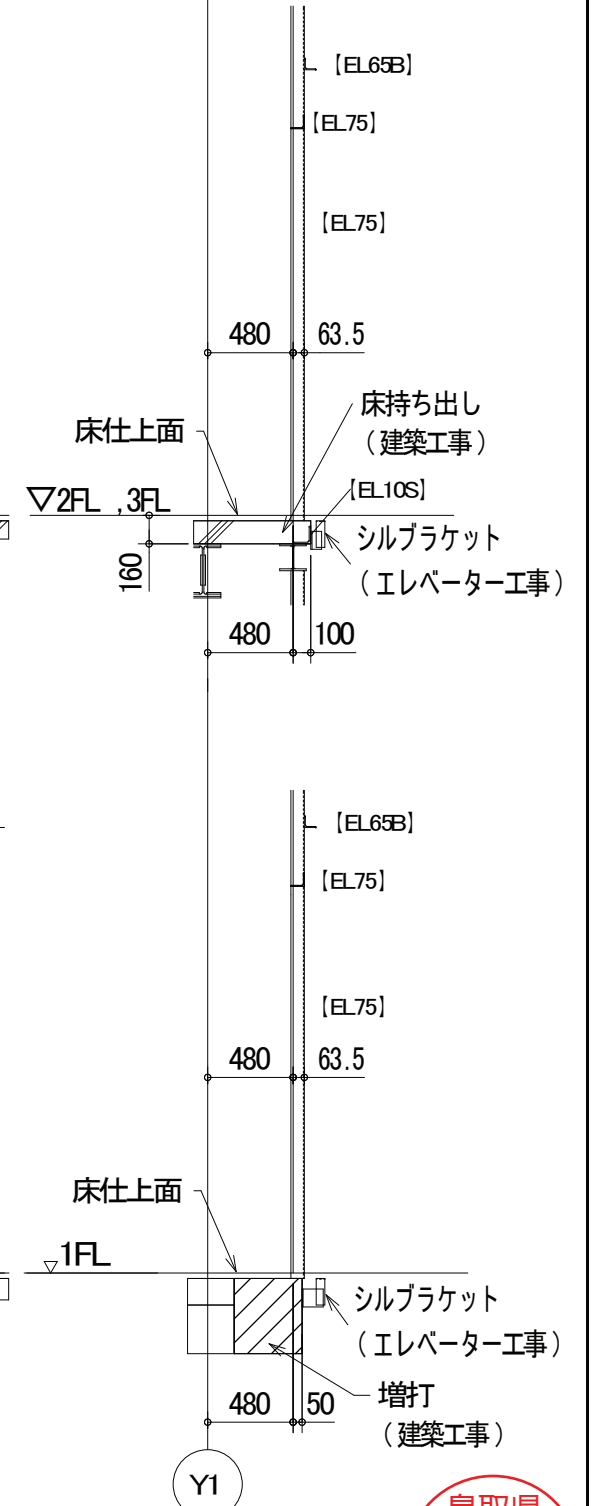
1:50

※点検用タラップはピットに保管



出入口壁穴明図

1:30



断面図

1:30

鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EPL12	ファスナープレート	PL-12
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元 (荷重9.8kN用)	t12 (φ75穴付)
EB15T	トロリービーム (荷重19.6kN)	H-150x150x7x10
EB12T	トロリービーム (荷重9.8kN)	H-125x125x6.5x9

附記	設計年月日

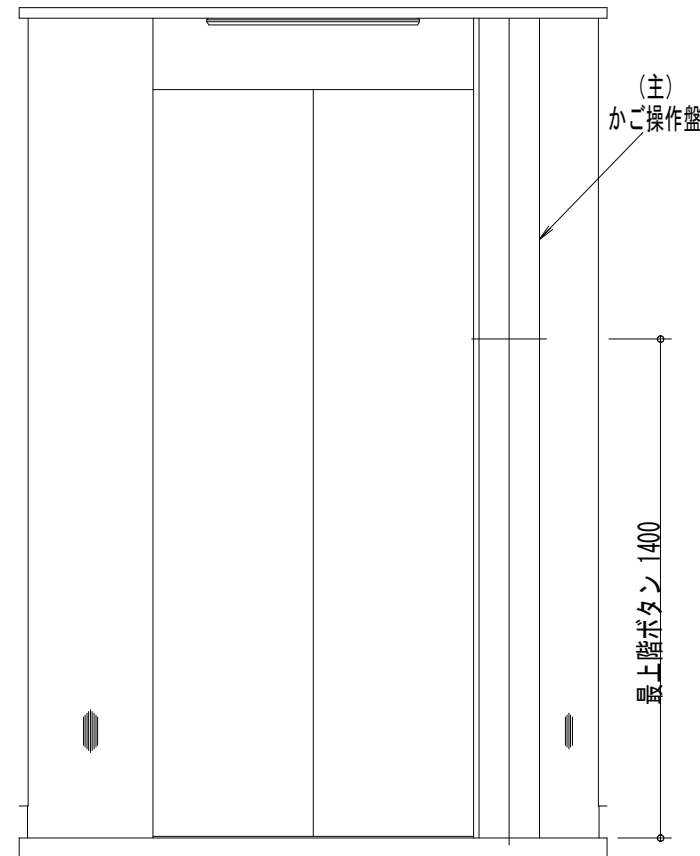
**(有)フジ総合設計事務所**  
〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地  
TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士	竹中 誠
1級建築士 第325872号	
担当・製図	永田 靖
1級建築士 第379560号	
製図	
1級建築士 第 号	

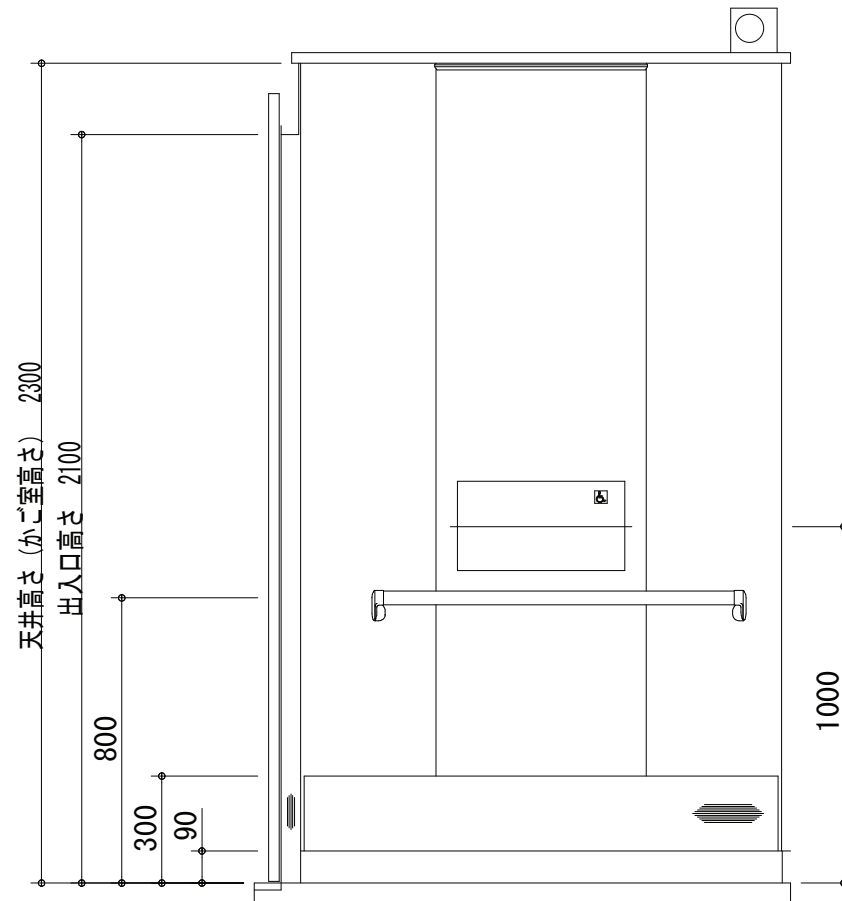
名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備)
昇降機設備図(3)	

SCALE	1:30・50
図面No.	EV-5
	6枚の内

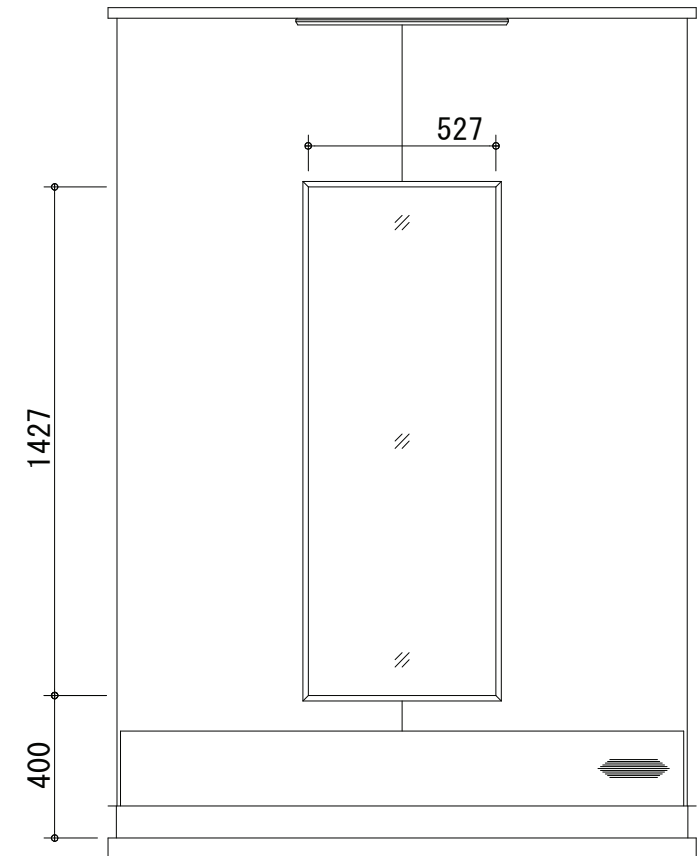
鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課



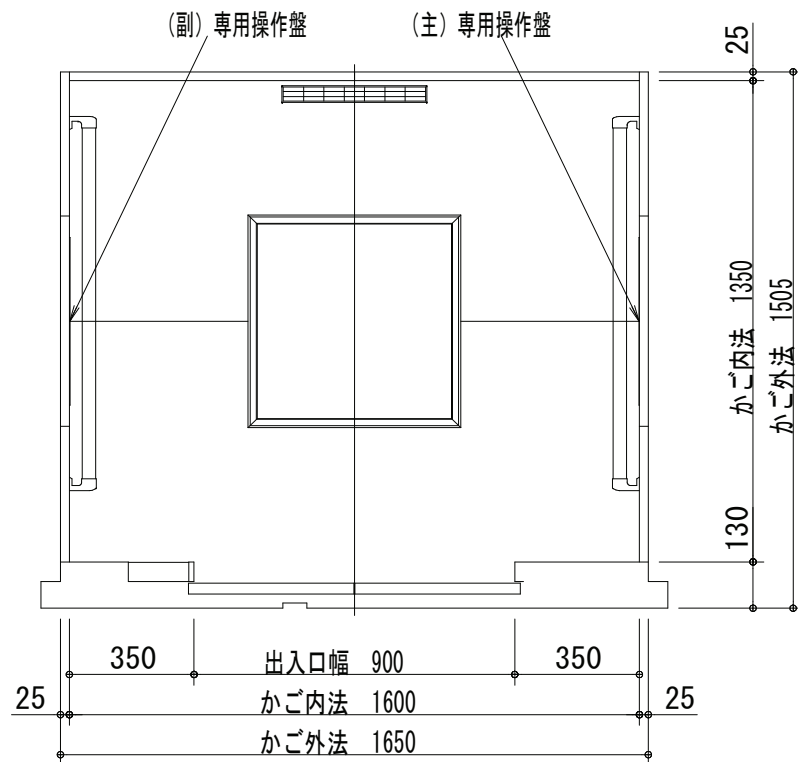
正面図



側面図



背面図



平面図

かがし室意匠図

1:15

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

附記	設計年月日	 <b>(有)フジイ総合設計事務所</b> 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町143番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠 担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(建築)(昇降機設備) 昇降機設備図(4)	SCALE 1:15	図面No. EV-6 6 枚の内

# 産業人材育成センター倉吉校 バリアフリー化工事 (電気設備)

## 図面目録

図面No.	図面名称	縮尺
E-1	図面目録	—
E-2	電気設備工事特記仕様書(1)	—
E-3	電気設備工事特記仕様書(2)	—
E-4	付近見取図・敷地配置図	1:400
E-5	①本館棟:1.2.3階 電灯設備 改修後 平面図	1:50
E-6	①本館棟:1階 電灯 動力設備 改修後 平面図	1:100
E-7	①本館棟:2階 動力設備 改修後 平面図	1:100
E-8	①本館棟:3階 動力設備 改修後 平面図	1:100
E-9	①本館棟:1階 構内交換 誘導支援設備 改修後 平面図	1:100
E-10	①本館棟:2.3階 構内交換 誘導支援設備 改修後 平面図	1:50
E-11	①本館棟:1階 自動火災報知設備 改修後 平面図	1:100
E-12	①本館棟:2.3階 自動火災報知設備 改修後 平面図	1:50
E-13	①本館棟:1階 動力設備 撤去 平面図	1:100
E-14	①本館棟:2.3階 動力設備 撤去 平面図	1:100

附記

設計年月日

**(有)フジ総合設計事務所**  
〒682-0802 鳥取県倉吉市東蔵城町1-4-3番地  
TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689

管理建築士 竹中 誠  
1級建築士 第325872号  
担当・製図 永田 靖  
1級建築士 第379560号  
製図  
1級建築士 第 号

名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(電気設備)

図面目録

SCALE

鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

図面No.

E-1

14  
枚の内

# 電気設備工事特記仕様書

## I. 工事概要

1 工事場所 倉吉市福庭町二丁目

## 2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m <sup>2</sup> )	消防法施行令第1条第一の区分	備考
1	本館棟	RC造	地上3F	915.82m <sup>2</sup>	( ) 項	
2	エレベーター棟(本館棟)	S造	地上3F	83.85m <sup>2</sup>	( ) 項	
3					( ) 項	
4					( ) 項	
5					( ) 項	

## 3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号					屋外	備考
	1	2	3	4	5		
◎電灯設備	○	○					
◎動力設備	○	○				○	
●電熱設備							
●雷保護設備							
●受変電設備							
●電力貯蔵設備							
●発電設備							
●構内情報通信網設備							
◎構内交換設備	○	○					
●情報表示設備							
●映像・音響設備							
●拡声設備							
◎誘導支援設備	○	○					
●テレビ共同受信設備							
●監視カメラ設備							
●駐車場管制設備							
●防犯・入退室管理設備							
◎火災報知設備	○	○					
●中央監視制御設備							
●医療関係設備							
◎構内配電線路						○	
●構内通信線路							
●テレビ電波障害防除設備							
●機械設備工事							
●建築工事							

## 4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。) ◎の付いたものを適用する。

項目	特記事項
電灯設備	◎電気方式 ●非常用照明器具 ●誘導灯
動力設備	◎電気方式
雷保護設備	●受雷部 ●避雷導線 ●接地極
受変電設備	●電気方式 ●契約電力 ●設備方式 ●機器類

項目	特記事項
電力貯蔵設備	●直流電源装置 ●交流無停電電源装置(UPS)
発電設備	●自家発電装置 ●太陽光発電装置 ●風力発電装置
通信情報設備	●構内情報通信網設備 ◎構内交換設備 ●情報表示設備 ●映像・音響設備 ●拡声設備 ◎誘導支援設備 ●テレビ共同受信設備 ●監視カメラ設備 ●駐車場管制設備 ●防犯・入退室管理設備 ◎自動火災報知設備 ●自動閉鎖設備 ●非常警報設備 ●ガス漏れ火災警報設備
中央監視	●形式 ●監視制御対象設備 ●伝送方式
構内配電線路	◎電気方式 ◎施工方法 ◎外灯点滅方式
構内通信線路	●用途 ●施工方法
テレビ電波防除	●対策方針 ●責任分界点

## II. 特記仕様

### 1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の標準仕様書のうち、◎印の付いたものによる。
  - ◎公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。)
  - ◎公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「改修標準仕様書」という。)
  - ◎公共建築設備工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。)
- 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事にも含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

### 2 特記事項

- 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は◎の付いたものを適用する。
  - ◎の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。◎と※の付いた場合は共に適用する。
- 一般共通事項のうち( ) 項は、● 建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。

項目	特記事項
◎官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
◎電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り ( ) 項は、● 建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ●本工事において調査を行う ( ● PCB使用機器 ● アスベスト含有設備資機材 ( ● 配線用遮断機 ● ) ) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り
3 電気工事士	
4 工事安全計画書等	
◎発生材の分析及び処理	

管理建築士 1級建築士 担当・製図 1級建築士 製図 1級建築士	第325872号 竹中 誠 第379560号 永田 靖 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(電気設備)
-------------------------------------------------	---------------------------------------------	------------------------------------

◎ 機材等	一般共通事項
◎ 機材の品質・性能証明	
◎ 施工図等	
◎ 完成写真等	
◎ 完成図等	
◎ 他工事との取合い	
◎ 工事用電力・水・その他	
◎ 表示板	
14 足場	

本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ. 機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。  
なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。  
使用する機材がⅢ. 機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。  
国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを出発する。

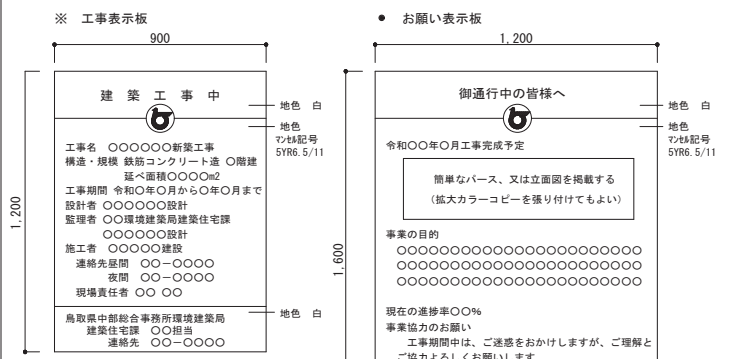
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	● 要 ● 不要
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	● 要 ● 不要

区 分	名 称	部 数
※ 完成図原図	完成図 ● 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1 部
※ 完成図 2つ折製本	◎ 完成図 ◎ 完成図(縮小版) ◎ 施工図	※ 2部 ● 部
※ 完成図書	● 完成図(縮小版) ※ A4版市販ファイル ● A4版黒表紙製本 ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部
※ 保証書		1 部
※ 官公署届出書類		1 部

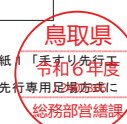
◎ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。

他工事との取合い		電気設備	機械設備	建築
◎ コンクリート壁、床、梁貫通部	補 強 スリーブ・箱入	● ● ※	● ● ●	● ● ●
● 鉄骨造の開口及び補強		● ● ● ※	● ● ●	● ● ●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)		※ ● ● ●	● ● ●	● ● ●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		※ ● ● ●	● ● ●	● ● ●
◎ 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠 補 強	※ ● ● ● ※	● ● ● ※	● ● ● ※
● OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		● ● ● ※	● ● ●	● ● ●
◎ 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切 り 込 み 補 強	※ ● ● ● ※	● ● ● ※	● ● ● ※
● 自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		● ● ● ※	● ● ●	● ● ●
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)		● ● ● ※	● ● ●	● ● ●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ● ※ ●	● ● ●	● ● ●
● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線		● ● ※ ●	● ● ●	● ● ●
● テレビアンテナ	基 礎 アンカーボルト	● ● ● ※	● ● ●	● ● ●
◎ 天井点検口		● ● ● ※	● ● ●	● ● ●
● 自立型制御盤の基礎		※ ● ● ●	● ● ●	● ● ●
● 機器類のコンクリート基礎	屋 上 設 置	● ● ● ※	● ● ●	● ● ●

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。  
設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する)  
※ 工事表示板 ● お願い表示板



- 記入要領
- 書体は角ゴシックとする。
  - お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。
- 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり置き置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。



設計年月日	

管理建築士 1級建築士 担当・製図 1級建築士 製図 1級建築士	第325872号 竹中 誠 第379560号 永田 靖 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(電気設備)
-------------------------------------------------	---------------------------------------------	------------------------------------

SCALE	図面No. E-2
電気設備工事特記仕様書(1)	
14 枚の内	

15 工外用仮設物
16 土工事
17 電線類
18 電線本数・管路等
19 屋外露出配管の仕上げ
20 露出配管の塗装
21 波付硬質合成樹脂管(FEP)
22 フラッシュプレートの材質
23 カバープレートの表示
24 プルボックスの塗装
25 耐震施工
26 接地極
27 屋上、屋側の支持金物等
28 結露防止
29 アスベスト含有建材の処理
30 補修など
31 はつり
32 はつり工事における非破壊検査
33 あと施工アンカー
34 室内空気中の化学物質の濃度測定
35 火災保険等
36 鳥取県公共事業環境配慮指針
37 建築物省エネ法
1 照明器具
2 一般照明の照度測定
3 非常用照明の照度測定
4 照明制御の照度測定等
2 1 機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。
設計用標準水平震度
設置場所 機器種別 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器
上層階 機器 1.5 1.0
防振支持の機器 2.0 2.0 1.5
水 槽 類 1.5 1.0
中間階 機器 1.0 0.6
防振支持の機器 1.5 1.5 1.0
水 槽 類 1.0 0.6
地下及び1階 機器 0.6 0.4
防振支持の機器 1.0 1.0 0.6
水 槽 類 1.5
上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階
中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
水槽類には燃料小出槽を含む
重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ● )
設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。
接地極の材料は次による。
接地の種類 記号 接地抵抗値 接地極
● 共同接地 E A E D 10Ω以下 EB×3連-2組
● 共同接地 E A E C E D 10Ω以下 EB×3連-2組
● A種 E A 10Ω以下 EB×3連-2組
● B種 E B Ω以下 EB×2連-2組
● C種 E C 10Ω以下 EB×3連-2組
● D種 E D 100Ω以下 EB×1
● 高圧避雷器 E L H 10Ω以下 EB×3連-2組
● 交換機用 E t Ω以下 EB×3連-1組
● 通信用 E A t 10Ω以下 EB×3連-2組
● 通信用 E D t及びE D a 100Ω以下 EB×1
● 電話引込口の保安器用 E L t 100Ω以下 EB×1
● 測定用 E o - EB×1
(連結の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)
(E D E D t E D a E L t E o の場合、EBはD=10 L=1000 または W=30 L=900 以上とする)
(その他単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)
ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとす。
外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。
公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。
処理を行うアスベスト含有建材の仕様等
建材の内容・箇所 仕様等 処理を行う範囲
※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。
※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。
● 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。
分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
● アスベスト粉じん濃度測定を行う。
(測定時期： 測定場所： 測定点： )
● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等設ける。
● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
対象箇所( )
10 増幅器 形式(● 卓上形 ● ラック形) 定格出力(W) 性能(● Hi形 ● Lo形)
● 増幅器の入出力配線と外部配管(壁ボックス等)の接続はコネクタによる。
11 音声誘導装置 検出方式(● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式)
12 火災報知設備
1 自動火災報知設備 受信機(● 型 級 回線(番積型) ● 複合形 ● 単独形)
2 自動閉鎖設備 ● 防火戸用(※ ラッチ式 ● 電磁式)
● 防煙ダンパー用(※ 電動復帰 ● 手動復帰)
● 防火シャッター用(※ 別途工事 ● 本工事)
検知器(● 天井取付形 ● 壁取付形)
3 ガス漏れ火災警報設備
13 構内配電線路
1 施工方法 埋設深さ(※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。
● GL-600以上(● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ● ))
2 地中箱 蓋の記号表示は錆型流込み(鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。
3 高圧負荷開閉器 ● 閉鎖形(● 軽耐塩形 ● 重耐塩形) ● 地絡検電付(※ 方向性 ● 無方向性)
● 避雷器内蔵
※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。
4 高圧ケーブルの端末部 高圧ケーブルの両端部にシースの締め対策(熱縮テープによるシースずれ止め対策等)を行う。
5 高圧ケーブルの屋外端末処理 ● 一般形 ● 耐塩形
6 標識シート ※ 高圧 ● 低圧
7 照明用ポール 照明用ポールには配線用遮断器(トリップ機能なし)又はカットアウトスイッチ(兼通しヒューズ)を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。
14 構内通信線路
1 施工方法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。
● GL-600以上(● ))
2 地中箱 蓋の記号表示は錆型流込み(鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。
● データ回線 ● 電話 ● CATV ●
15 テレビ電波受信障害調査
1 調査仕様 図面に記載されていない事項は、すべて(一社)日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領(地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。
2 テレビ電波受信障害調査時期 ※ 事前 ● 中間 ※ 事後
3 受信する受信波及び地点数 中継局 波： 地点
中継局 波： 地点
※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部
16 その他
1 機器取付高
機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。
名称 測点 取付高(mm)
電力共通
取引用計器 地上～窓中心 1,800～2,000
引込開閉器 地上～中心 1,800～2,200
電
分電盤・OA盤・実験盤 床上～中心 1,500(上端1,900以下)
スイッチ ” 1,300
”(多機能トイレ) ” 1,100
コンセント(一般) ” 300
”(和室) ” 150
”(台上) 台上～中心 150
”(土間) 床上～中心 800～1,300
”(車椅子用) ” 900
灯
ブラケット(一般) ” 2,100～2,300
”(踊場) ” 2,000～2,500
”(鏡上) 鏡上端～中心 150
動力
壁掛形制御盤 床上～中心 1,500(上端1,900以下)
手元開閉器 ” 1,500
操作スイッチ ” 1,300
構内交換
端子盤 床上～下端 300
保安器箱 天井下～上端 200
壁付アウトレット 床上～中心 300
”(和室) ” 150
電気時計
壁掛形親時計 床上～中心 1,500(上限1,900以下)
子時計 ” 天井高×0.9
拡声
壁掛形スピーカ 床上～中心 天井高×0.9
壁付アッテネータ ” 1,300
2 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。
III. 機材
工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。
ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。
株式会社電機工業所 ㈲平木電機産業
小林制御電機 ㈲富士オートメーション
勝英産業㈱ ㈲増岡電機製作所
鳥取県 令和6年度 J2400366 総務部岩崎課

Table with 2 columns: 設計年月日 and 設計者. Includes fields for 設計年月日, 設計者, and 設計者.

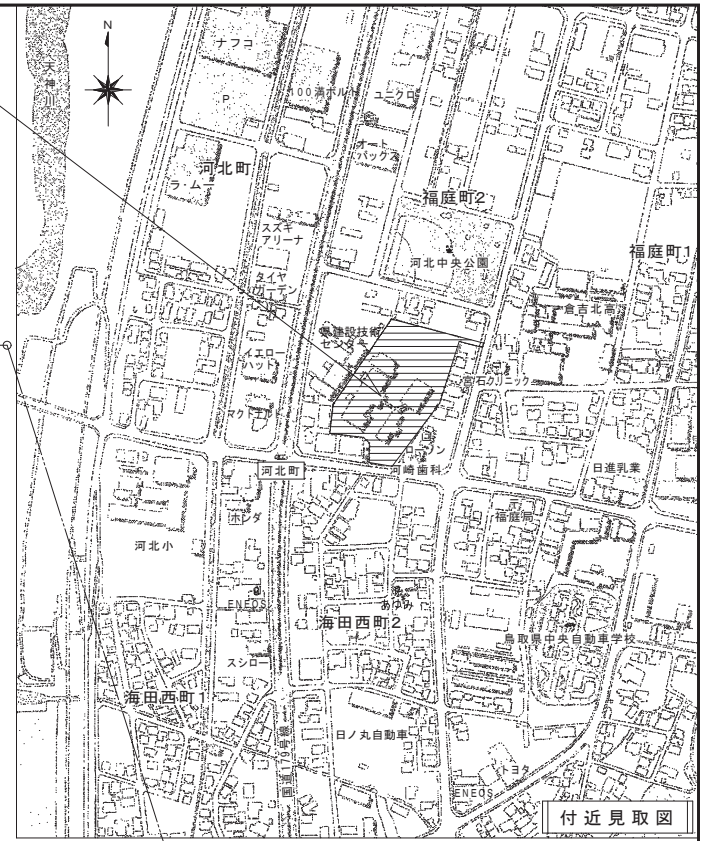
Logo and contact information for (有)フジイ総合設計事務所. Address: 〒682-0802 鳥取県倉吉市東蔵城町143番地. TEL: 0858(24)6688 FAX: 0858(24)6689.

Table with 4 columns: 名称, SCALE, 図面No., and 枚の内. Includes project name '産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(電気設備)', scale 'SCALE', drawing number '図面No. E-3', and sheet count '枚の内 14'.

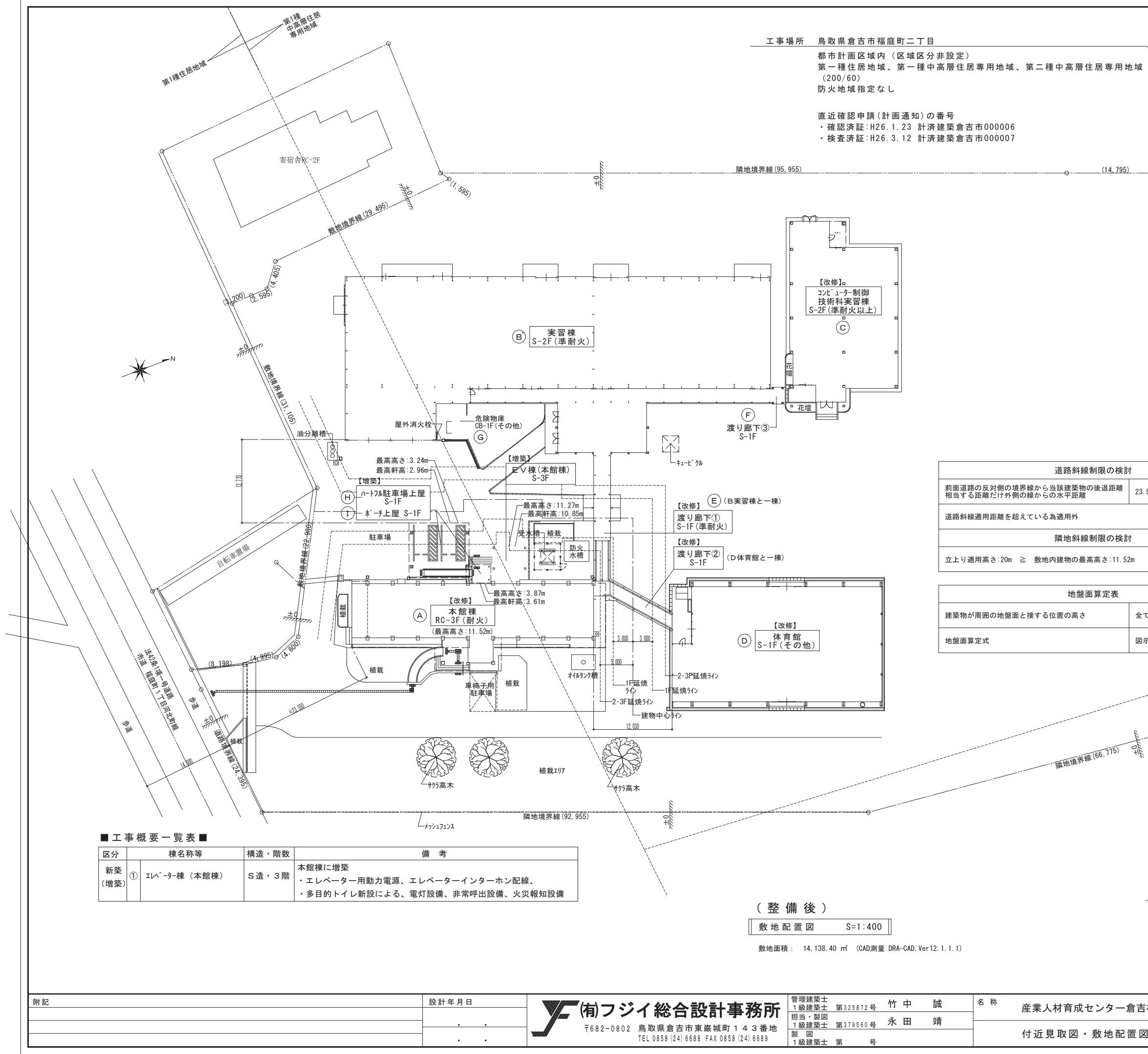
工事場所 鳥取県倉吉市福庭町二丁目

都市計画区域内（区域区分非設定）  
 第一種住居地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域  
 (200/60)  
 防火地域指定なし

直近確認申請（計画通知）の番号  
 ・確認済証：H26.1.23 計済建築倉吉市000006  
 ・検査済証：H26.3.12 計済建築倉吉市000007



付近見取図



道路斜線制限の検討	
前面道路の反対側の境界線から当該建築物の後退距離相当する距離だけ外側の線からの水平距離	23.55+14.00+23.55 = 61.10
道路斜線適用距離を超えている為適用外	
隣地斜線制限の検討	
立上り適用高さ:20m ≥ 敷地内建物の最高高さ:11.52m	より適合
地盤面算定表	
建築物が周囲の地盤面と接する位置の高さ	全てGL±0
地盤面算定式	図示より地盤面はGL±0

■ 工事概要一覧表 ■

区分	棟名称等	構造・階数	備考
新築 (増築)	① ILベ-ター棟 (本館棟)	S造・3階	本館棟に増築 ・エレベーター用動力電源、エレベーターインターホン配線、 ・多目的トイレ新設による、電灯設備、非常呼出設備、火災報知設備

(整備後)

敷地配置図 S=1:400

敷地面積: 14,138.40 m<sup>2</sup> (CAD測量 DRA-CAD, Ver12.1.1.1)

凡例

記号	名称	適用
■	分電盤	盤結線図参照
○	LEDダウンライト	LRS1-13
●	操作ユニット	1回路用 連続入一切自動
●24	埋込スイッチ	24時間換気用
▽	熱線センサー付自動スイッチ	親機
□	天井換気扇	機械設備工事
⊙2	埋込コンセント	2P15A×2
⊙2E	埋込コンセント	2P15A×2 接地極付
⊠	プルボックス銅板製	300×300×200
⊘	防火区画貫通処理	

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。  
 ——— EM-EEF1.6-2C 天井内配線  
 - - - EM-EEF1.6-3C 天井内配線  
 - - - EM-EEF2.0-3C 天井内配線
2. 既設建物内の調査を十分に行い施工を行う。
3. 新設壁内はPF管にて保護を行う。
4. エクспанションジョイントを通過する配線は余長を見込むこと。

容量 (VA)	負荷名称	回路番号
52	1階 多目的トイレ照明	①
600	1階多目的トイレオストメイトコンセント	③
1,260	2階多目的トイレコンセント	⑤
52	3階 多目的トイレ照明	⑦
600	3階多目的トイレオストメイトコンセント	⑨
1,500	エレベーター制御盤電源	⑪
	予備	⑬

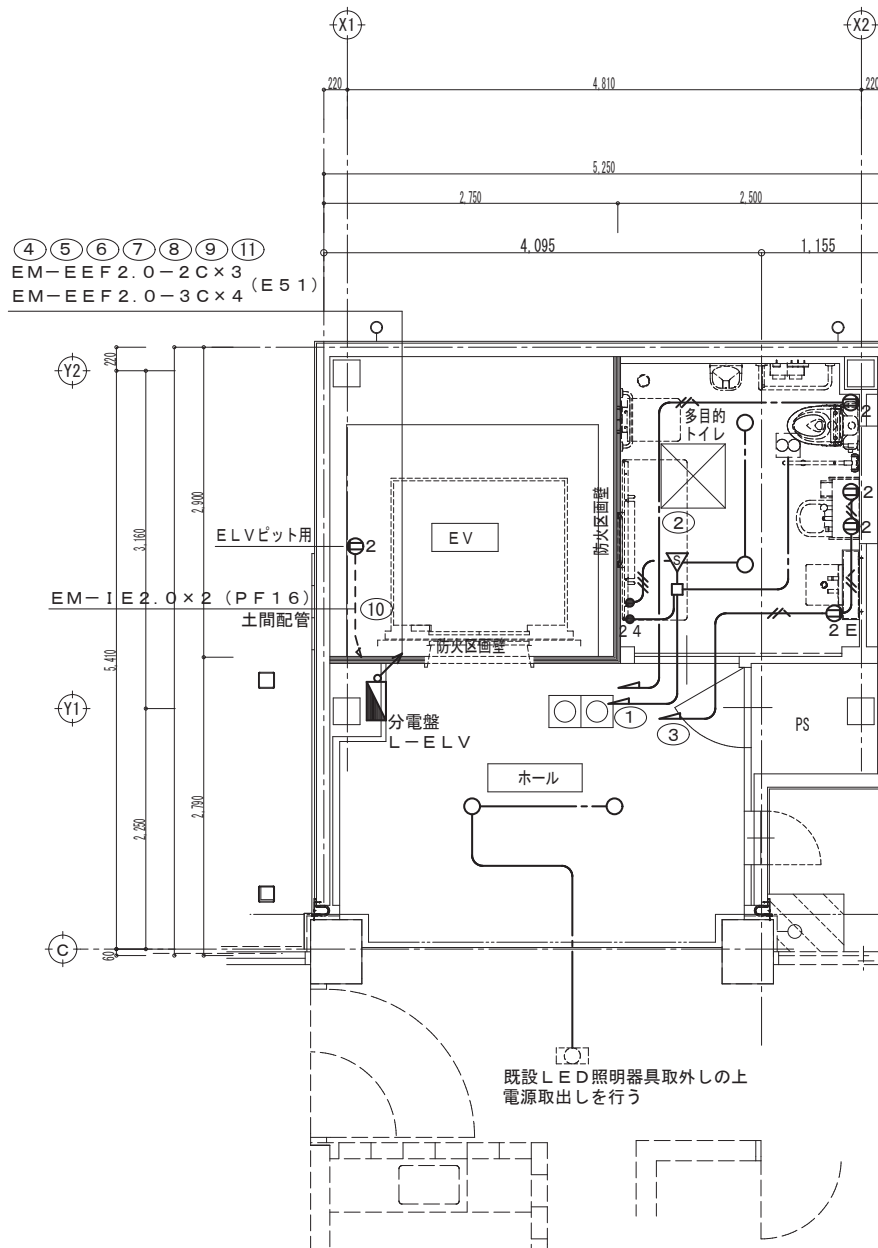
1φ3W 105/210V  
EM-CE8'-3C  
MCCB 3P  
50AF/50AT  
単3中性線欠相保護付

回路番号	負荷名称	容量 (VA)
②	1階多目的トイレコンセント	1,260
④	2階 多目的トイレ照明	52
⑥	2階多目的トイレオストメイトコンセント	600
⑧	3階多目的トイレコンセント	1,260
⑩	1階エレベーターピットコンセント	100
⑫	外灯	340
⑭	予備	

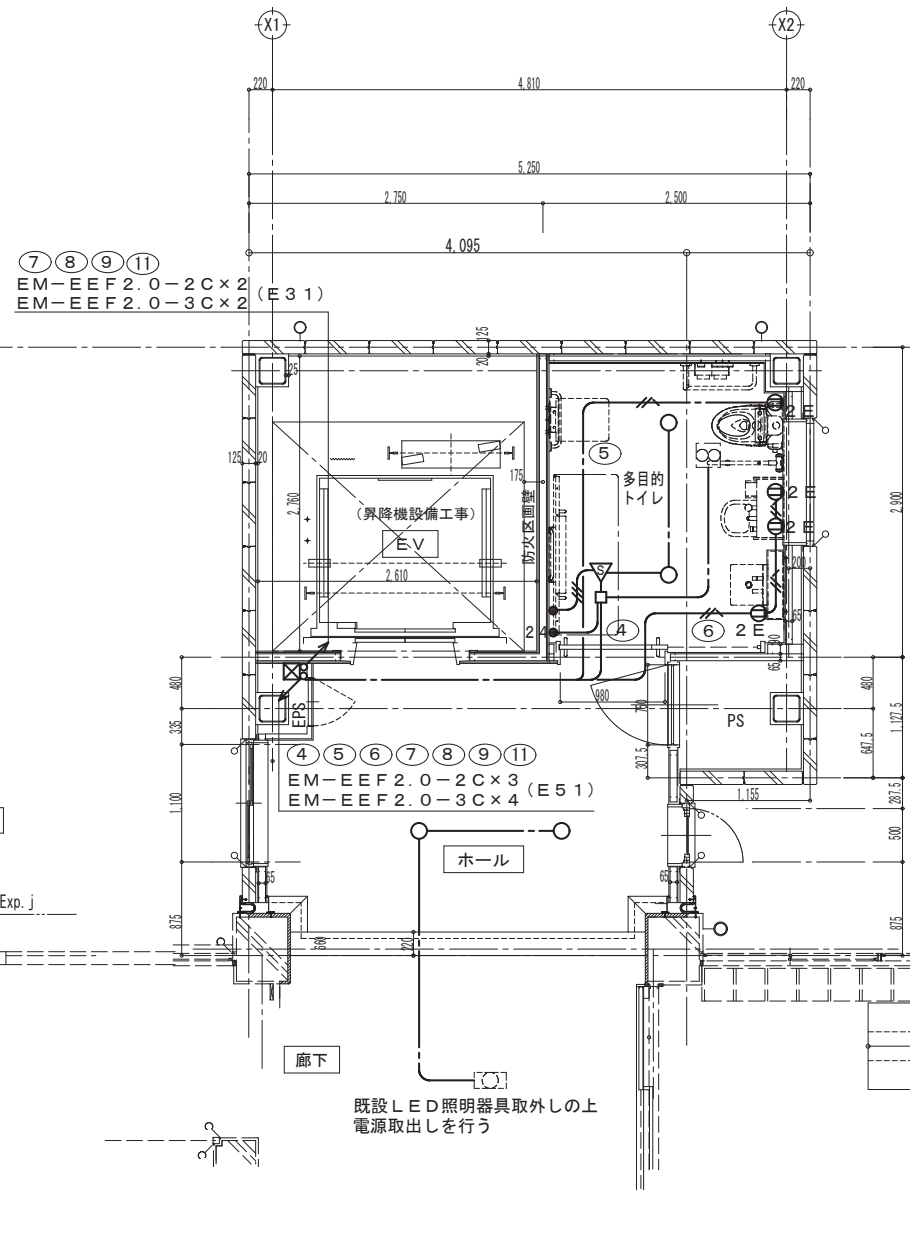
分電盤 L-ELV 盤結線図

MCCB2P 50AF/20AT×7  
ELCB2P 50AF/20AT×7  
年間タイマー×1

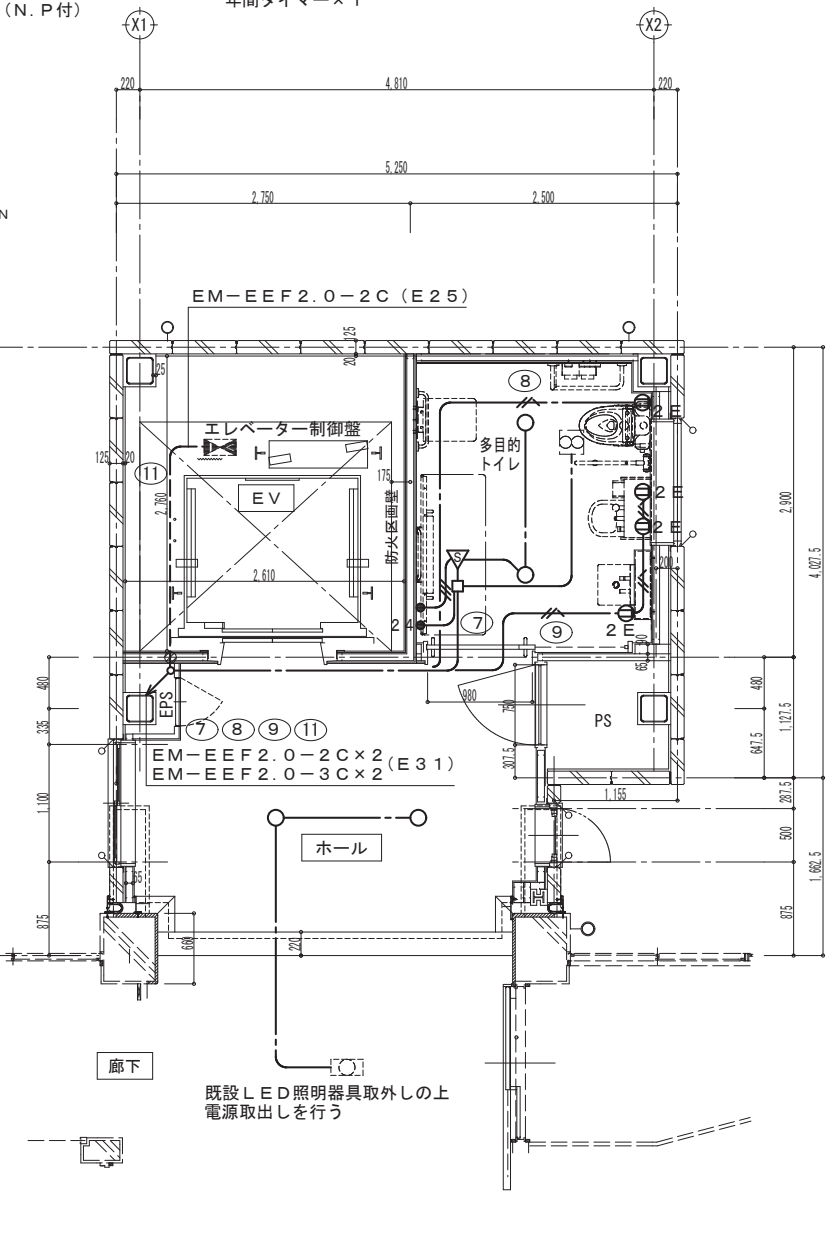
埋込型 (N.P付)



1階 電灯設備 改修後 平面図 S=1:50

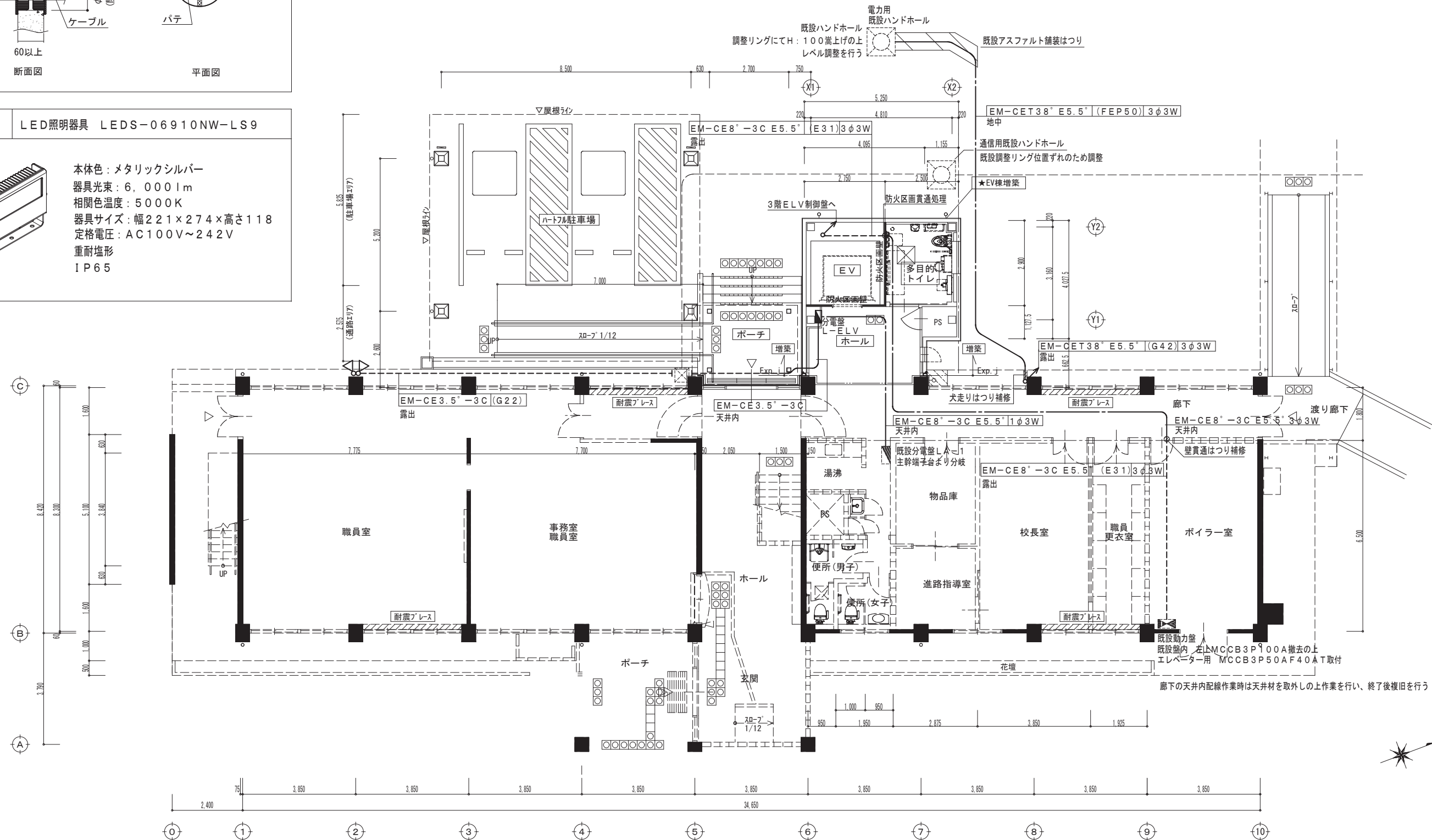
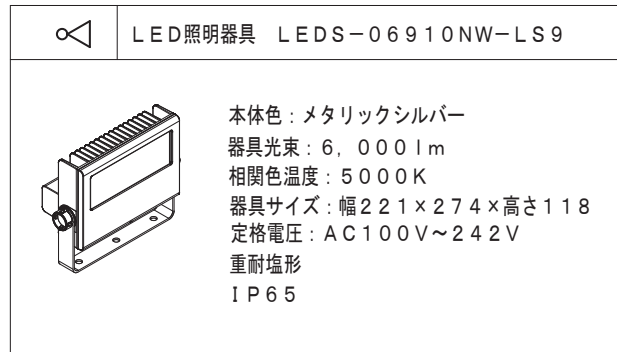
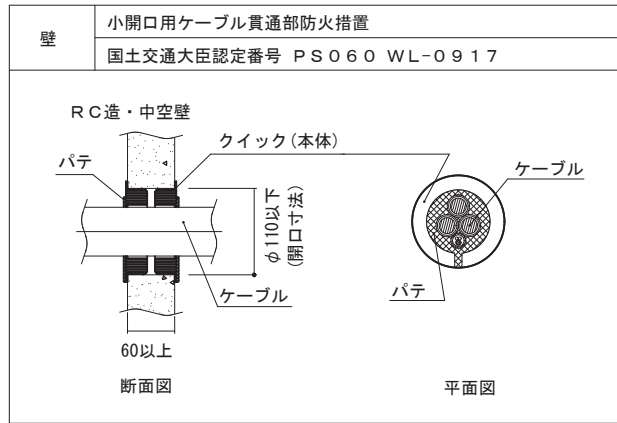


2階 電灯設備 改修後 平面図 S=1:50



3階 電灯設備 改修後 平面図 S=1:50

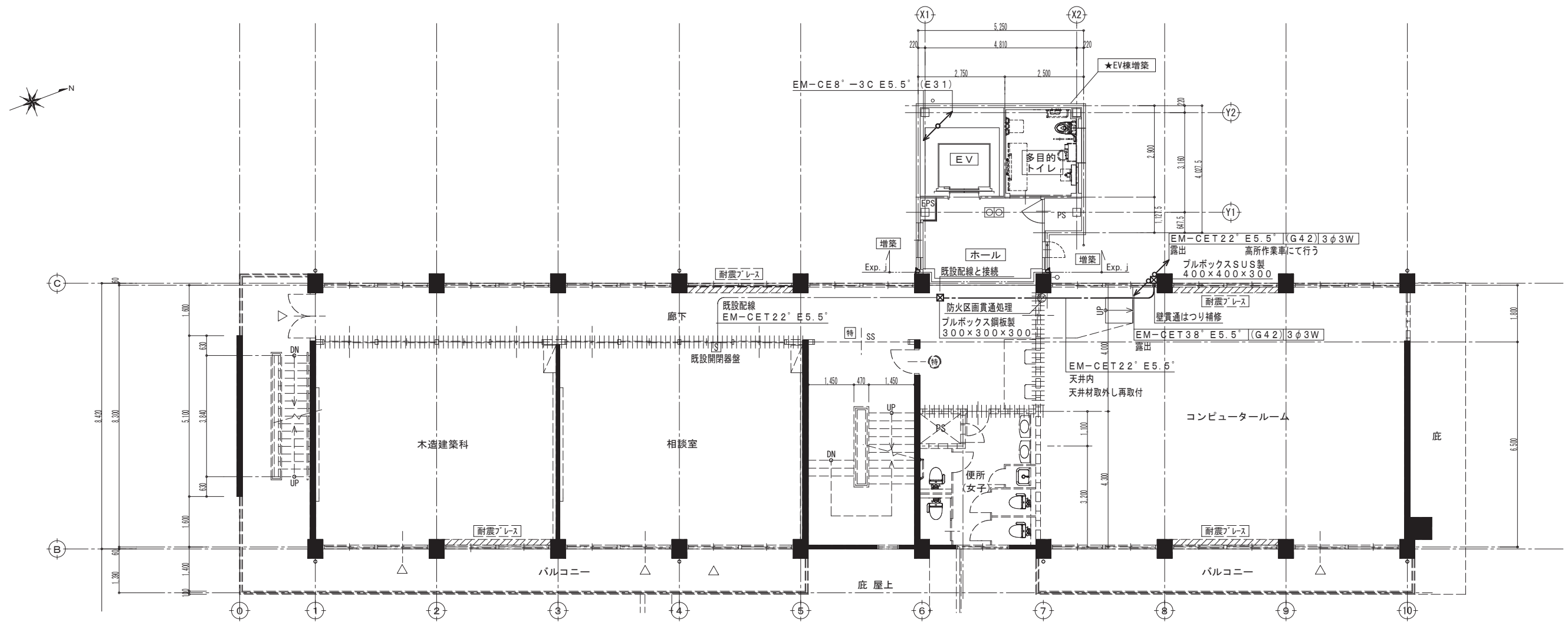
防火区画部分 貫通処理 各設備共通 (参考図)



1階 電灯 動力設備 改修後 平面図 S=1:100



<p>管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 1級建築士 永田 靖 製図 第379560号 1級建築士 第 号</p>	<p>管理建築士 竹中 誠 1級建築士 第325872号 担当・製図 1級建築士 永田 靖 製図 第379560号 1級建築士 第 号</p>	<p>名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(電気設備) ①本館棟：1階 電灯 動力設備 改修後 平面図</p>	<p>SCALE 1:100 図面No. E-6 14枚の内</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------



2階 動力設備 改修後 平面図 S=1:100

附記	設計年月日

**(有)フジ総合設計事務所**  
 〒682-0802 鳥取県倉吉市東蔵城町143番地  
 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

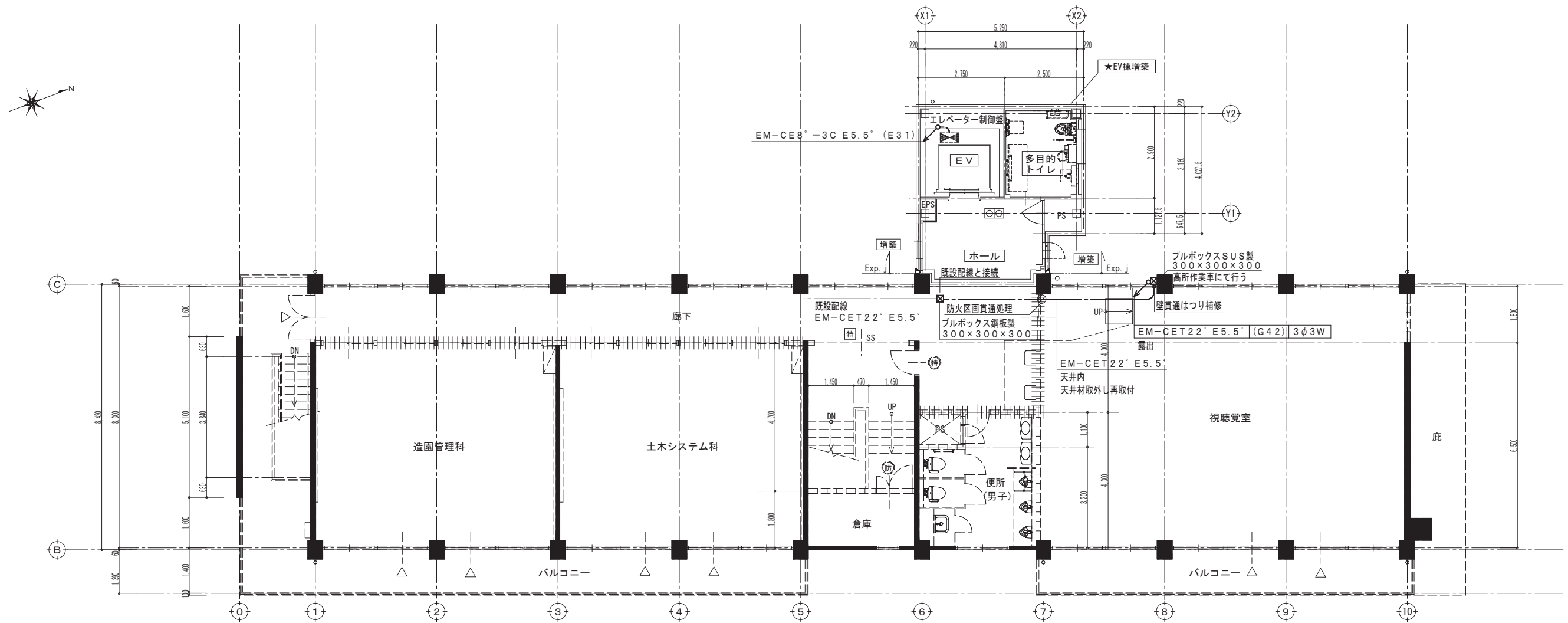
管理建築士 1級建築士 第325872号	竹中 誠
担当・製図 1級建築士 第379560号	永田 靖
製図 1級建築士 第 号	

名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事 (電気設備)
①本館棟 : 2階 動力設備 改修後 平面図	

SCALE	1:100
-------	-------

図面No.	E-7
枚の内	14





3階 動力設備 改修後 平面図 S=1:100

附記	設計年月日

管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠
担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖
製図 1級建築士 第 号

**(有)フジ総合設計事務所**  
〒682-0802 鳥取県倉吉市東蔵城町143番地  
TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事 (電気設備)
①本館棟 : 3階 動力設備 改修後 平面図	

SCALE	1:100
図面No.	E- 8 / 14 枚の内



凡例

記号	名称	適用
□□□	トイレ呼出表示器	3窓用 露出型
■	呼出ボタン	紐付き
○	表示灯	LED式
●	複旧ボタン	
☒	フルボックス鋼板製	200×200×200 通信共用
■	ELVインターホン	支給品取付
☒	既設受信機	20窓
○	防火区画貫通処理	

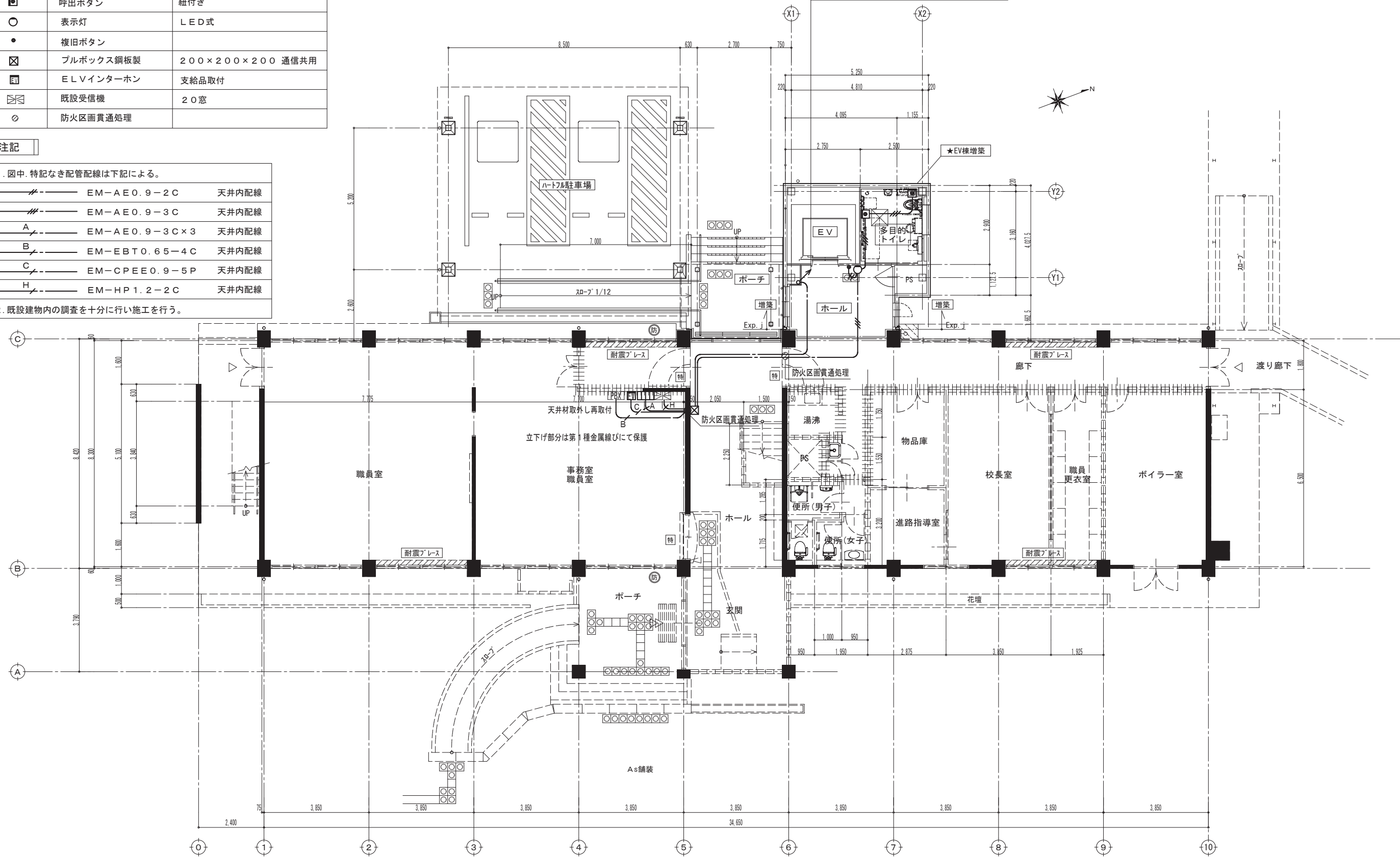
注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。

—	EM-AE0.9-2C	天井内配線
—	EM-AE0.9-3C	天井内配線
A	EM-AE0.9-3C×3	天井内配線
B	EM-EBT0.65-4C	天井内配線
C	EM-CPEE0.9-5P	天井内配線
H	EM-HP1.2-2C	天井内配線

2. 既設建物内の調査を十分に行い施工を行う。

EM-EBT0.65-4C ELV電話用  
 EM-HP1.2-2C ELV火災信号  
 EM-CPEE0.9-5P ELVインターホン (E31)  
 EM-AE0.9-3C×2 トイレ呼出



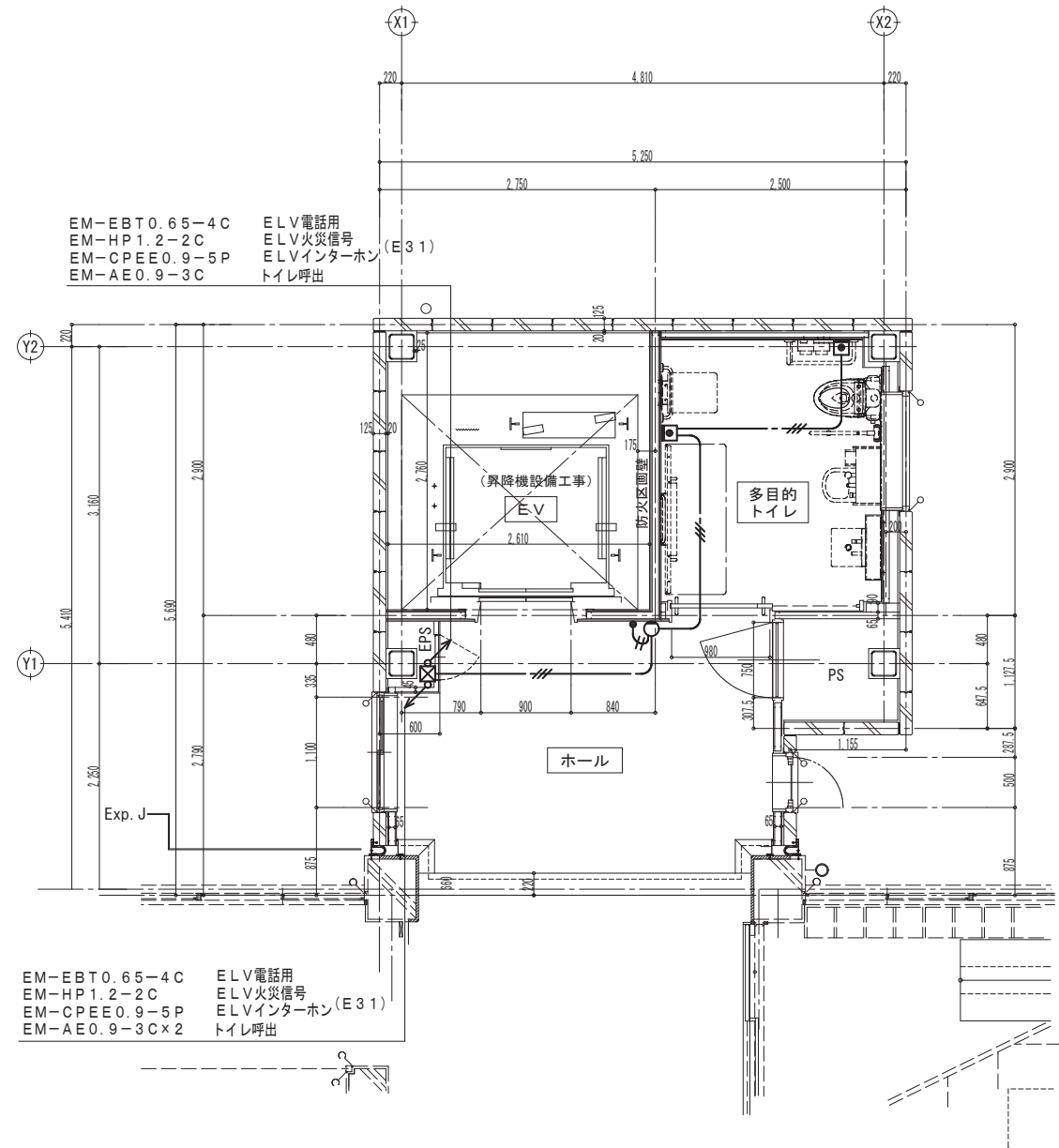
1階 構内交換 誘導支援設備 改修後 平面図 S=1:100



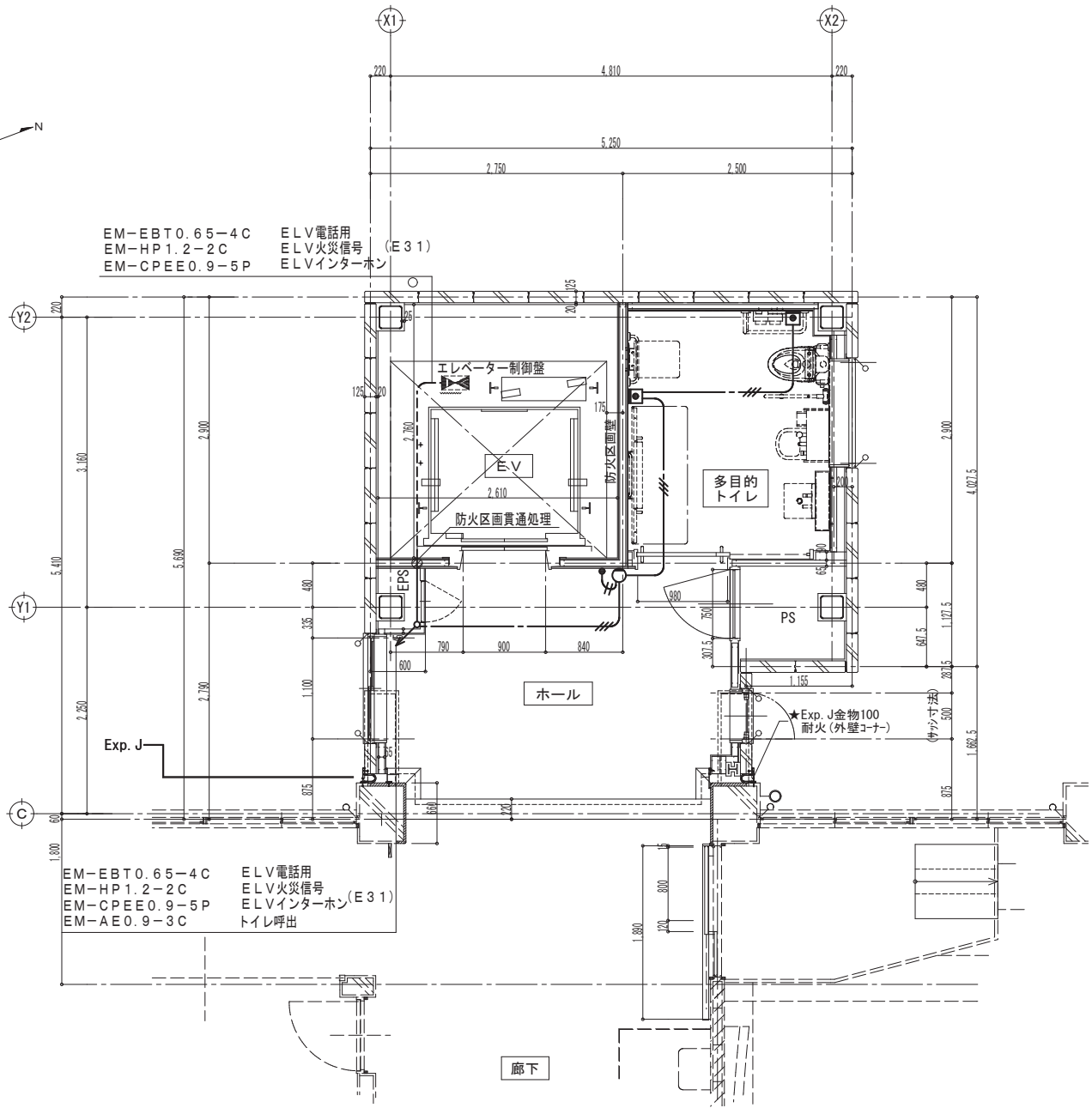
附記	設計年月日	管理建築士 第325872号 竹中 誠 1級建築士 第379560号 永田 靖 担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖 製図 1級建築士 第 号	名称 産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事（電気設備） ①本館棟：1階 構内交換 誘導支援設備 改修後 平面図	SCALE	図面No.
				1:100	E-9
				14 枚の内	

凡例		
記号	名称	通用
■	呼出ボタン	紐付き
○	表示灯	LED式
●	複旧ボタン	
☒	プルボックス鋼板製	200×200×200 通信共用
○	防火区画貫通処理	

注記		
1. 図中、特記なき配管配線は下記による。		
---	EM-AE0.9-2C	天井内配線
---	EM-AE0.9-3C	天井内配線
2. 既設建物内の調査を十分に行い施工を行う。		
3. 新設壁面内はP.F管にて保護を行う。		



2階 構内交換 誘導支援設備 改修後 平面図 S=1:50



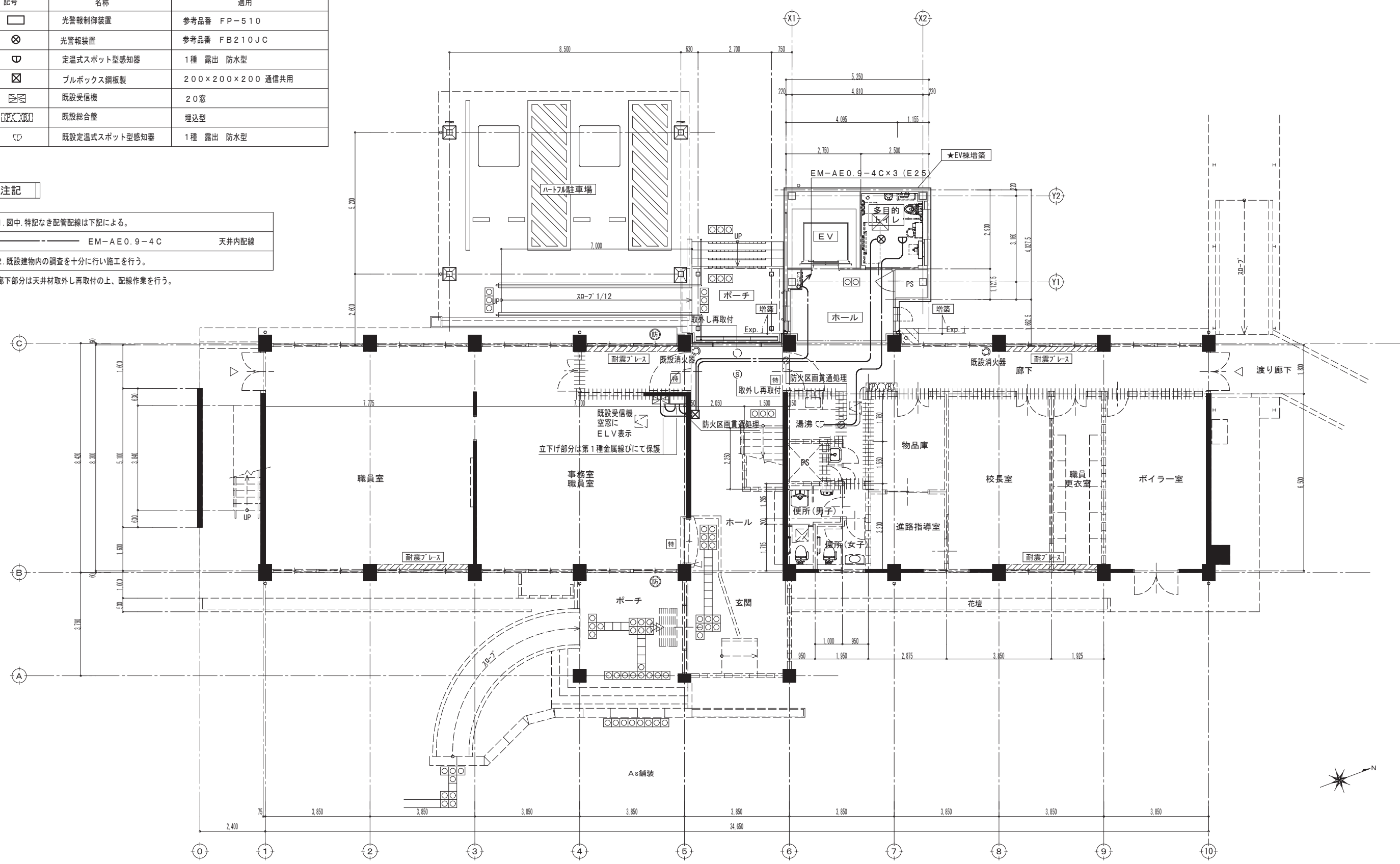
3階 構内交換 誘導支援設備 改修後 平面図 S=1:50

凡例

記号	名称	適用
□	光警報制御装置	参考品番 FP-510
⊗	光警報装置	参考品番 FB210JC
⊕	定温式スポット型感知器	1種 露出 防水型
⊠	ブルボックス鋼板製	200×200×200 通信共用
⊞	既設受信機	20窓
⊞	既設総合盤	埋込型
⊕	既設定温式スポット型感知器	1種 露出 防水型

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。  
 EM-AE0.9-4C 天井内配線
2. 既設建物内の調査を十分に行い施工を行う。  
 廊下部分は天井材取外し再取付の上、配線作業を行う。

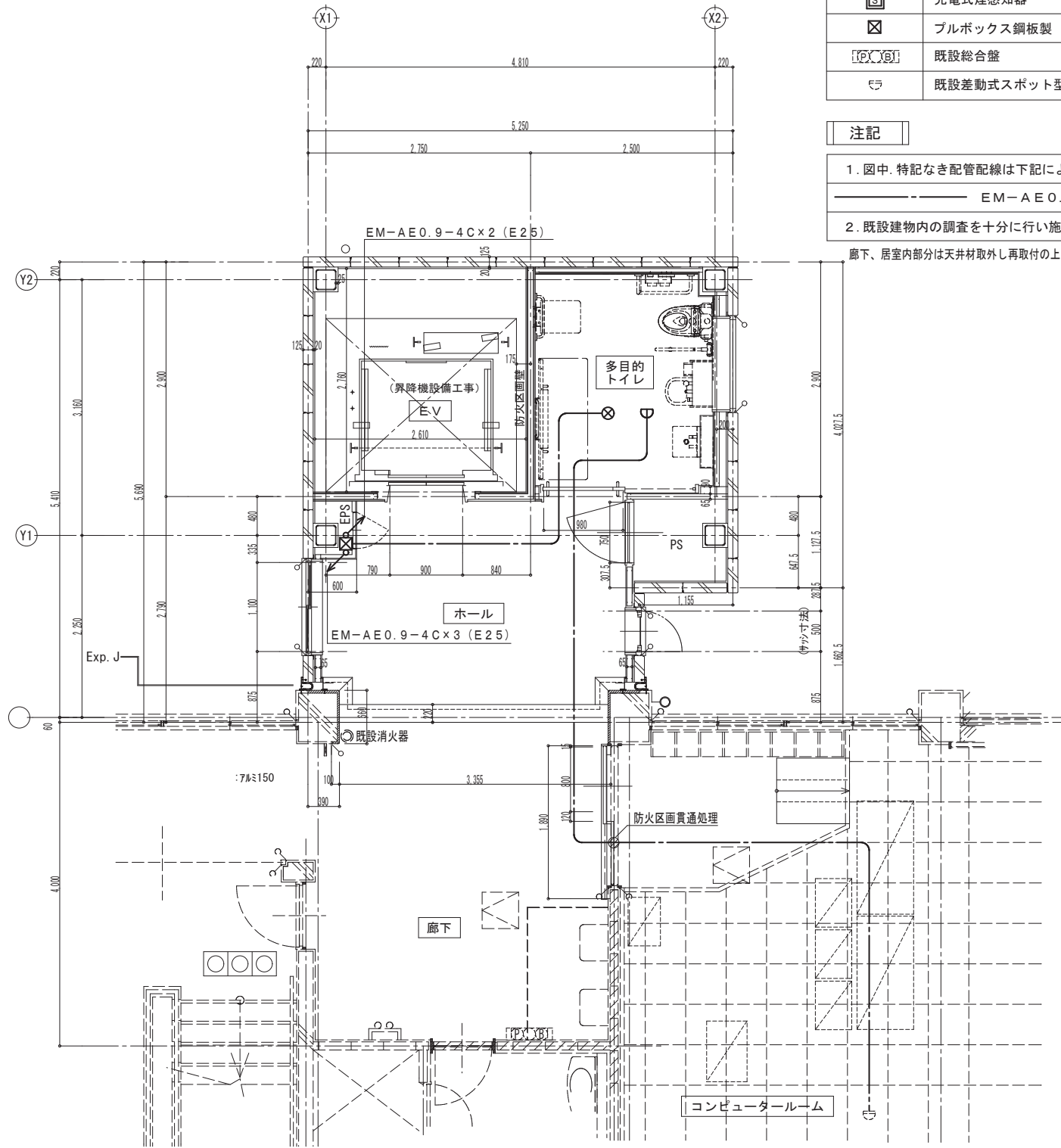


1階 自動火災報知設備 改修後 平面図 S=1:100

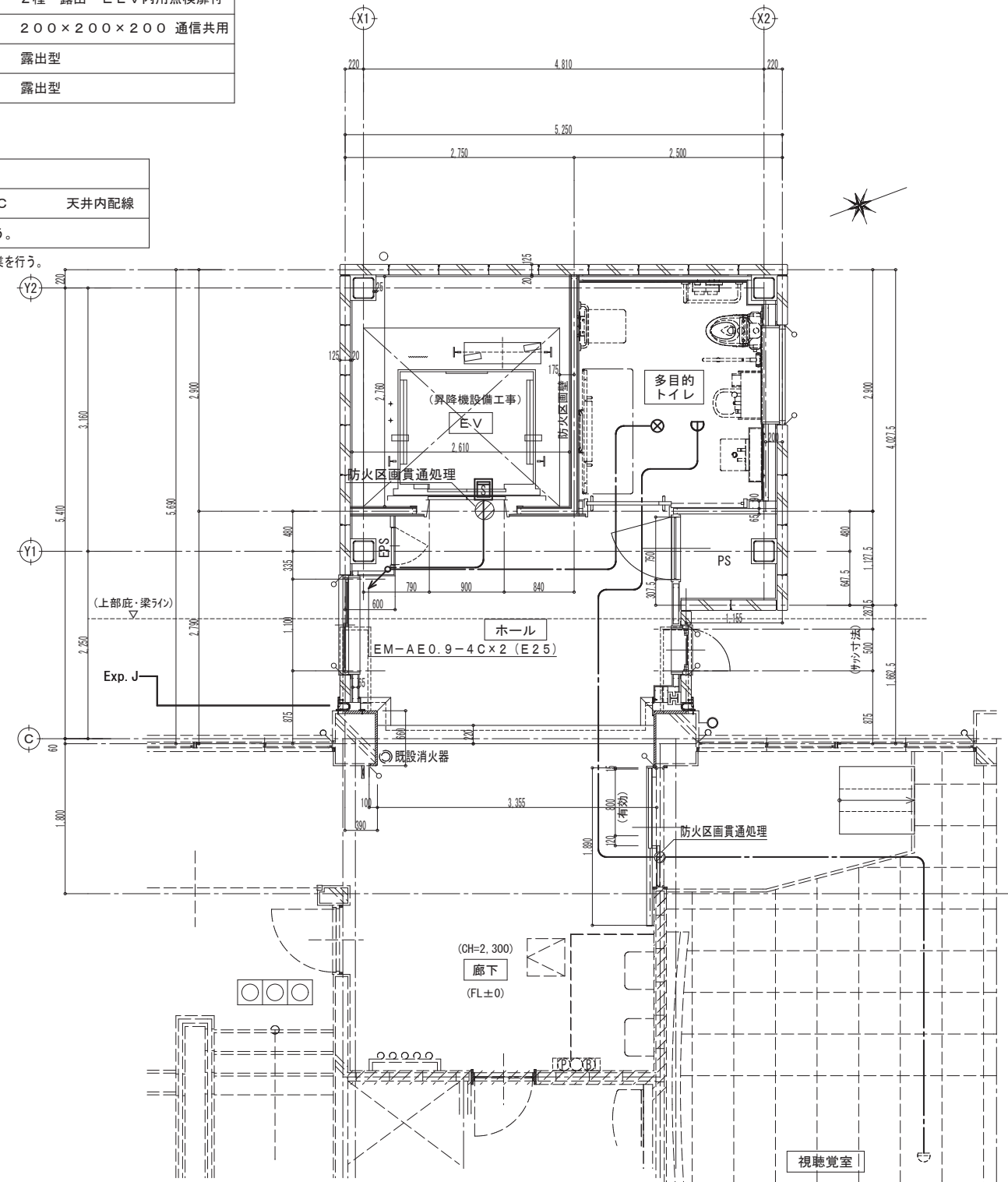


記号	名称	適用
⊗	光警報装置	参考品番 FB210JC
∇	定温式スポット型感知器	1種 露出 防水型
⊠	光電式煙感知器	2種 露出 ELV内用点検扉付
⊠	プルボックス銅板製	200×200×200 通信共用
⊠	既設総合盤	露出型
⊠	既設差動式スポット型感知器	露出型

- 注記**
1. 図中、特記なき配管配線は下記による。  
 ——— EM-AE0.9-4C 天井内配線
  2. 既設建物内の調査を十分に行い施工を行う。  
 廊下、居室内部分は天井材取外し再取付の上、配線作業を行う。



2階 自動火災報知設備 改修後 平面図 S=1:50



3階 自動火災報知設備 改修後 平面図 S=1:50

附記	設計年月日

**(有)フジイ総合設計事務所**  
 〒682-0802 鳥取県倉吉市東蔵城町143番地  
 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

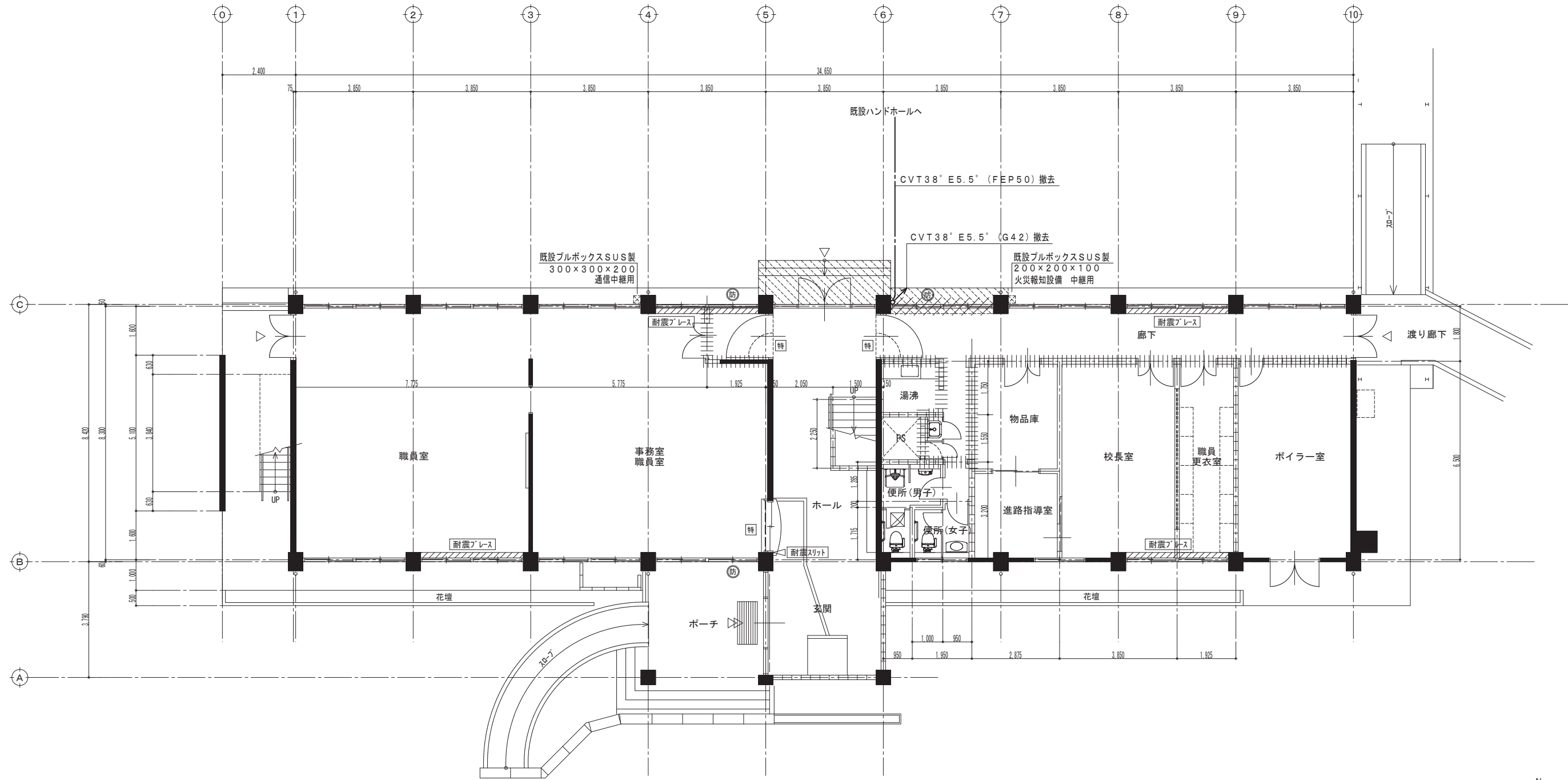
管理建築士 1級建築士 担当・製図 1級建築士 製図 1級建築士	第325872号 第379560号 第 号	竹中 誠 永田 靖
-------------------------------------------------	-----------------------------	--------------

名称	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事（電気設備）
①本館棟：2.3階 自動火災報知設備 改修後 平面図	

SCALE	1:50
-------	------

図面No.	E-12
枚の内	14





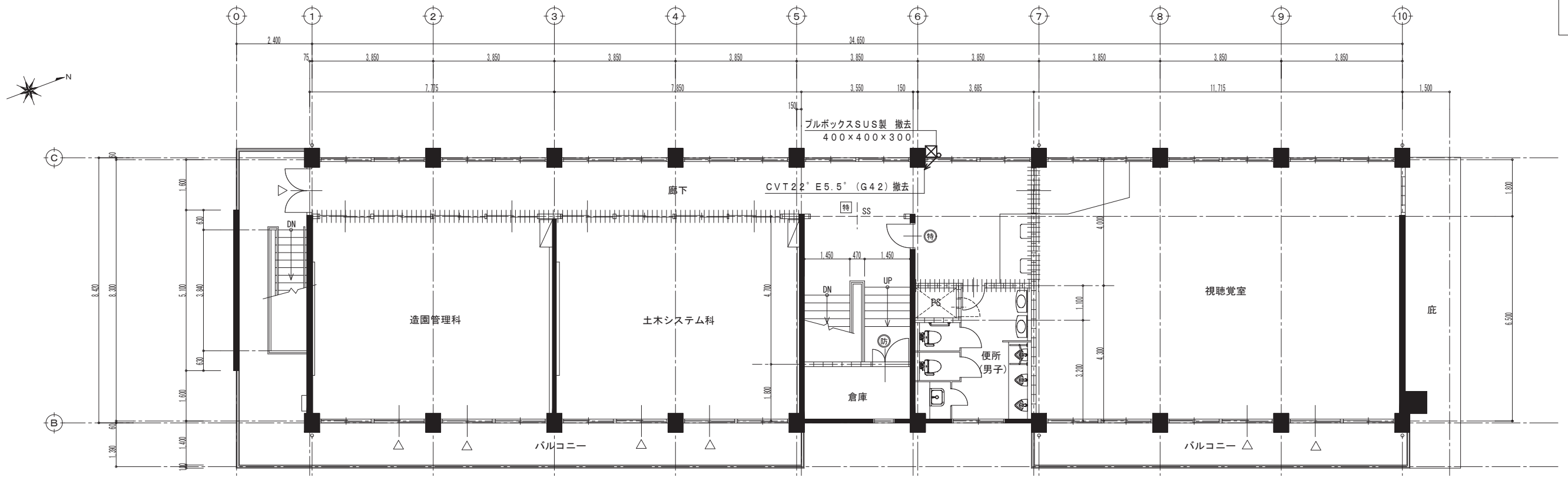
1階 動力設備 撤去 平面図 S=1:100

//// or // ※撤去部分を示す

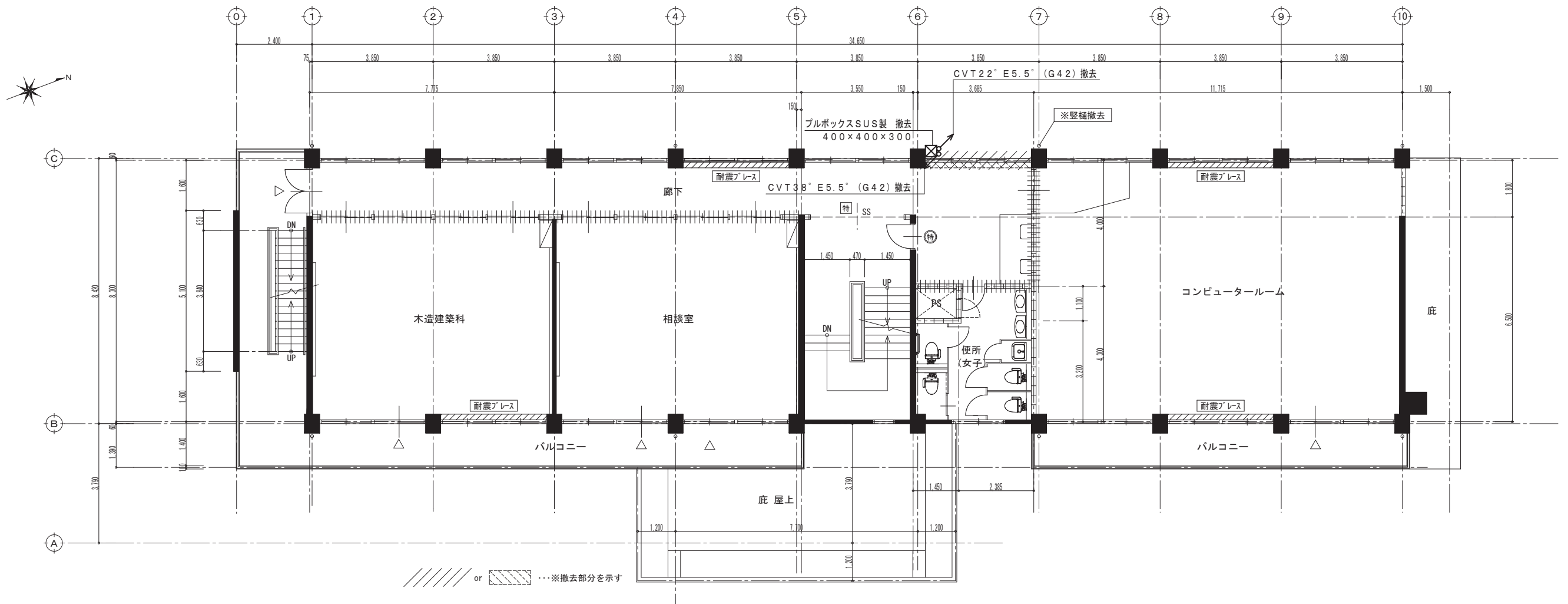


鳥取県  
令和6年度  
J2400366  
総務部営繕課

凡例	
防	令第109条防火設備(旧乙種防火戸(常時閉鎖式))
特	特定防火設備(旧甲種防火戸(常時閉鎖式))
特	特定防火設備(旧甲種防火戸(煙感連動式))
	令第114条壁(防火上主要な間仕切壁)



3階 動力設備 撤去 平面図 S=1:100



2階 動力設備 撤去 平面図 S=1:100

附記	設計年月日

**有)フジ総合設計事務所**  
 〒682-0802 鳥取県倉吉市東蔵城町143番地  
 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689

管理建築士 1級建築士 第325872号 竹中 誠	名称
担当・製図 1級建築士 第379560号 永田 靖	産業人材育成センター倉吉校バリアフリー化工事(電気設備)
製図 1級建築士 第 号	①本館棟: 2.3階 動力設備 撤去 平面図

SCALE	図面No.
1:100	E-14
14枚の内	

鳥取県  
 令和6年度  
 J2400366  
 総務部管轄課

# 産業人材育成センター一敷地内舗装工事

図面番号	図面名称	縮尺
A - 00	図面タイトル 図面リスト	—
A - 01	建築改修工事特記仕様書- (1)	N0-SCALE
A - 02	建築改修工事特記仕様書- (2) 工事概要 付近見取図	N0-SCALE
A - 03	配置図兼平面図【撤去】【改修前】	S=1/300
A - 04	配置図兼平面図 仕上表 求積表【改修後】	S=1/300
A - 05	断面詳細図 断面詳細図- 1【改修前】【改修後】	S=1/20
A - 06	断面詳細図 断面詳細図- 2【撤去】【改修前】【改修後】	S=1/20
A - 07	断面詳細図 断面詳細図- 3【撤去】【改修前】【改修後】	S=1/20

設計 小林建築設計室



10  
その他

27  
埋戻し土  
[20. 2. 2]  
[21. 2. 2]  
28  
路床  
[22. 2. 2, 3]  
[22. 2. 1]

※B種

路床の材料		
種別	材料	厚さ(mm)
○盛土	○A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]	○図示
・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラ [G] ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・砂	・図示
・フィルター層	・砂	・図示

路床安定処理  
 ・添加材料による安定処理  
 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種  
 ・フライアッシュセメントB種  
 ・生石灰 ( ) ・消石灰 ( )  
 添加量 kg (目標CBR ・3以上 )  
 目標CBRを満足する添加量の確認方法  
 ・安定処理土のCBR試験  
 ・ジオテキスタイル  
 単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上  
 厚さ(mm) ・0.5~1.0  
 引張強さ ・90N/5cm (10kgf/5cm) 以上  
 透水係数 ・1.5×10<sup>-2</sup> cm/sec以上

試験  
 砂の粒度試験 ・行う ・行わない  
 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない  
 路床断面の試験 ・行う ・行わない  
 現場CBR試験 ・行う ・行わない

路盤の厚さ ○図示

路盤材料

種類	
砕石	・クラッシュヤラン ・粒度調整砕石
再生材	○クラッシュヤラン [G] ・粒度調整砕石 [G]
	・クラッシュヤラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]

路盤断面の試験 ※行う ・行わない

アスファルト舗装の構成及び厚さ ○図示

材料  
 アスファルト ・再生アスファルト [G] ・ストレートアスファルト  
 骨材 ・道路用砕石  
 ・アスファルトコンクリート再生骨材 [G]

加熱アスファルト混合物の種類

区分	地域	種類
表層	○一般地域	○密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)
		・密粒度アスファルト混合物 (13F)

シーラントの施工 ・行う ○行わない

試験  
 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない  
 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

JIS K 5665 (路面標示用塗料) による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	適用部位
※3種 1号	溶解	粉体状	・白	・150 ・100 ・300 ・400	・1.0	・白線 ・車椅子駐車場ライン ・白線 停止7分 ・白線 2分5分
・1種 [G]	常温					
・2種 [G]	加熱	液状				

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 [G]

【建築物概要】

工事場所 倉吉市福庭町  
 用途地域 第一種中高層専用地域  
 敷地面積 一㎡  
 建物用途 車庫  
 構造 一  
 延べ面積 一㎡

【工事概要】

- 敷地内舗装

【工事仕様】

- 車両の使用時は、車両附近に交通誘導員を配置し、通行者及び利用者、周辺建築物、周辺工作物等の事故防止に十分注意すること。
- 本工事に伴い、敷地内通路、周辺建物、周辺工作物等に被害、損傷等を与えた場合は、すみやかに監督員に報告すると共に、請負業者の責任に於いて復旧すること。
- 本工事に於いて使用する建設機械(車両、発動発電機含む)は、排出ガス対策型建設機械を使用し、かつ、低騒音型、低振動型を使用すること。
- 本工事に解体撤去作業のホコリ対策についても、頻りに清掃するなど、塵埃が起きないように十分配慮すること。
- 本工事に伴う不燃物、可燃物及び再生可能物等は、別々に分類し、処分すると共に産業廃棄物処理に関する法律を遵守すること。
- 本工事で撤去された搬出物が、敷地内、道路内等に落下することのないよう、運搬車両に落下防止措置を行うこと。

【施工時特記事項】

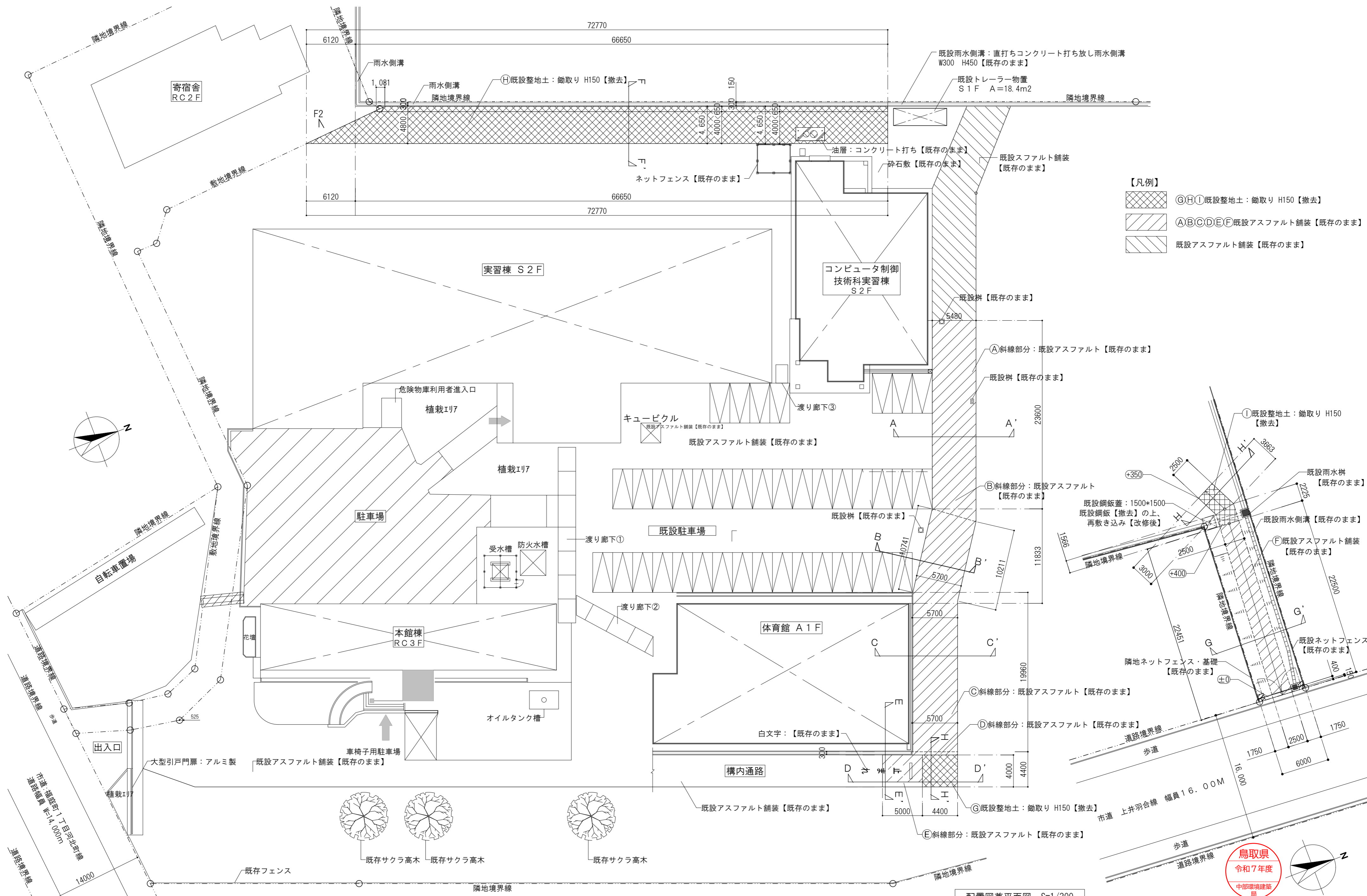
- 本工事は、施設使用のまま工事を行うため、監督員、施設関係者と協議の上安全を語り施工をおこなうこと。

【工事場所】

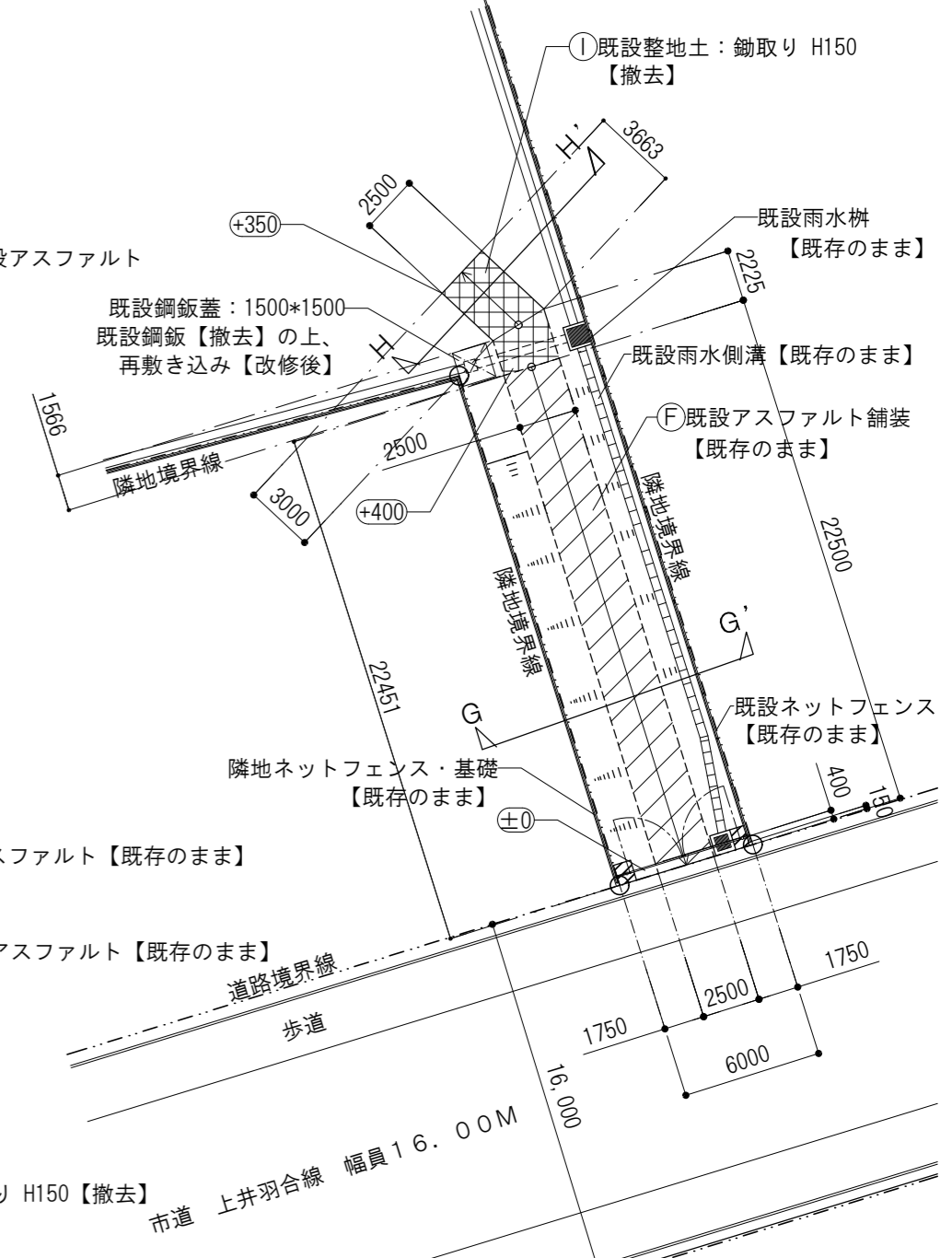


COMMENT	TITLE 産業人材育成センター敷地内舗装工事	SCALE NO-SCALE	<b>小林建築設計室</b> KOBAYASHI ARCHITECTS 一級建築士事務所 鳥取県登録 第03-1328号 一級建築士登録番号 第159196号 小林 一生		DESIGNER SEAL 	DRAW 	PROJECT NO	DRAWING NO A-02
	DRAWING NAME 建築改修工事特記仕様書一 (2) 工事概要 付近見取図	DATE 2025年12月	A3 PLATE SIZE 70.7%					



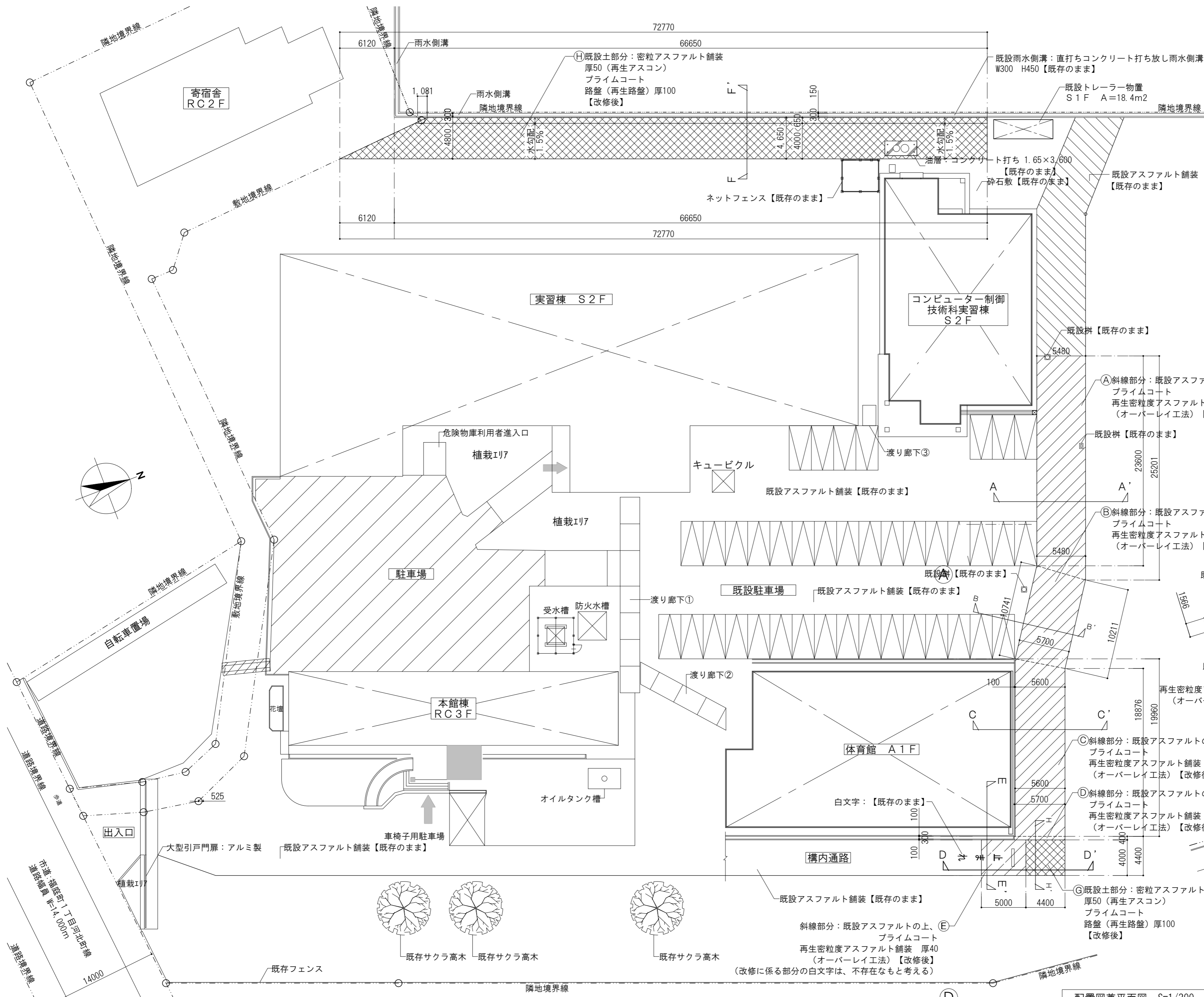


- 【凡例】**
- ④⑨⑩ 既設整地土：鋤取り H150 【撤去】
  - ①②③④⑤⑥ 既設アスファルト舗装 【既存のまま】
  - 既設アスファルト舗装 【既存のまま】



配置図兼平面図 S=1/300

COMMENT	TITLE	産業人材育成センター敷地内舗装工事	SCALE	S=1/300	<b>小林建築設計室</b> KOBAYASHI ARCHITECTS 一級建築士事務所 鳥取県登録 第03-1328号 一級建築士登録番号 第159196号 小林 一生	DESIGNER SEAL	DRAW	PROJECT NO	DRAWING NO
	DRAWING NAME	配置図兼平面図 【撤去】 【改修前】	DATE	2025年12月		A3 PLATE SIZE			

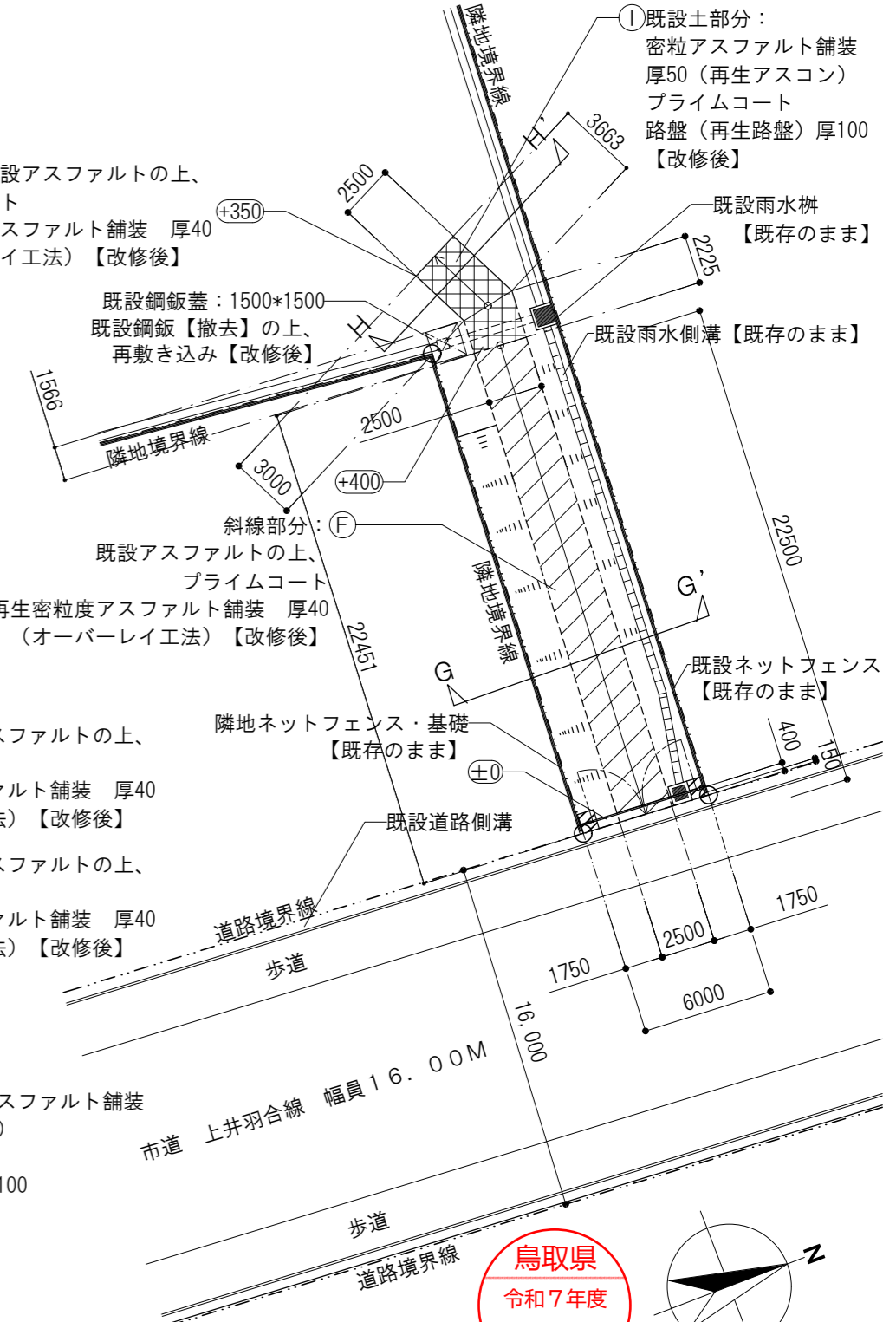


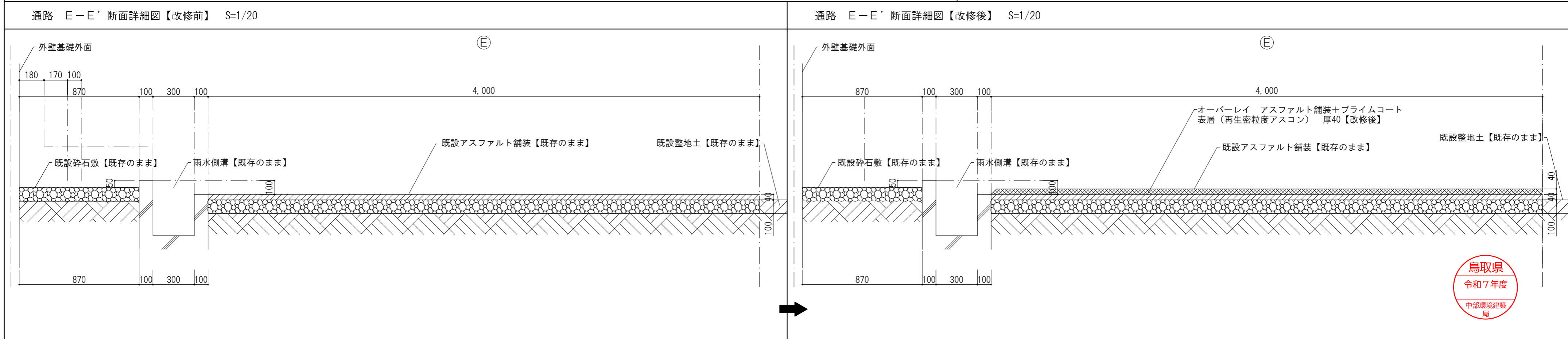
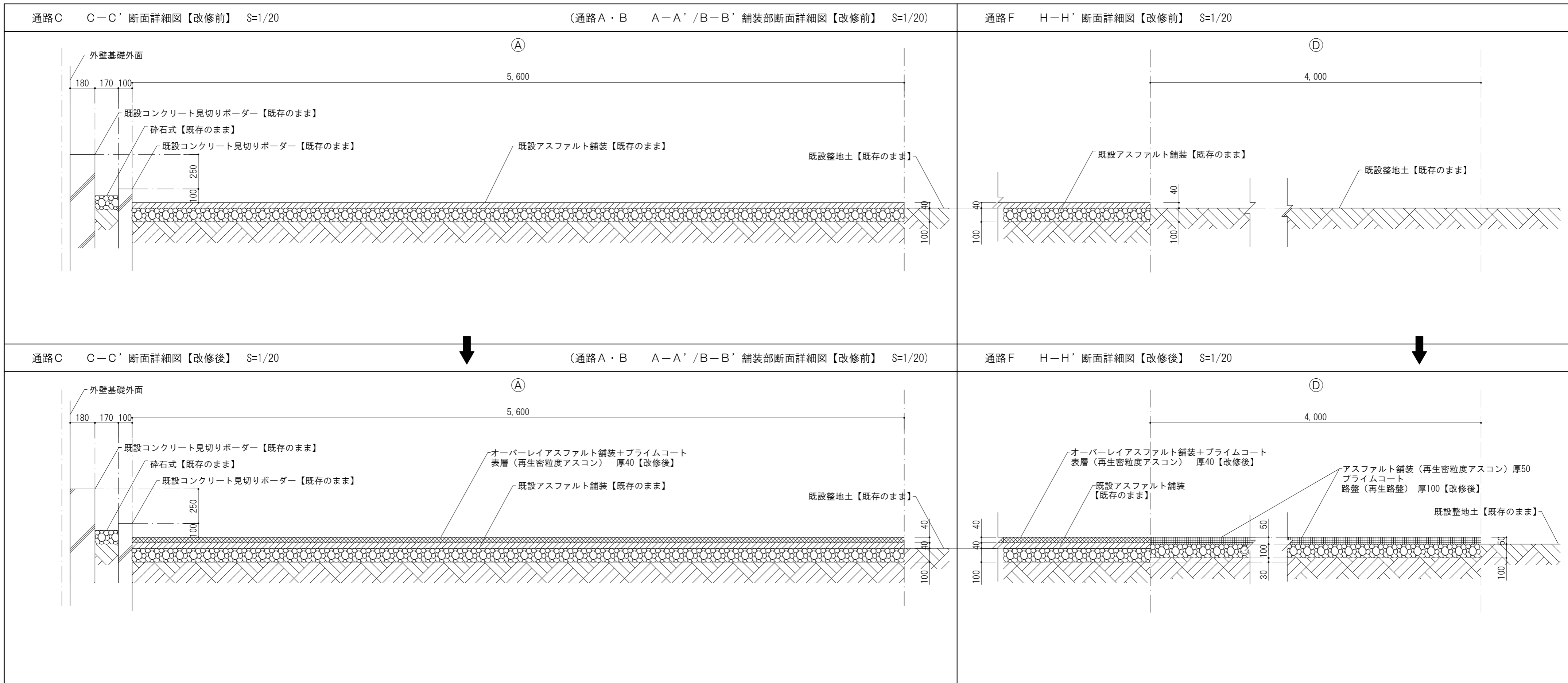
**改修部アスファルト舗装数量計算表**

記号	計算	面積 (m <sup>2</sup> )	単位
【舗装-1】			
A	(23.6+25.201) 5.48×1/2	133.71474	
B	(10.211+10.741) 5.7×1/2	59.7132	
C	(18.876+19.96) 5.6×1/2	108.7488	
D	5.7×0.4	2.28	
E	5.0×4.0	20.00	
小計		324.45674	m <sup>2</sup>
G	4.4×4.0	17.60	
小計		17.60	m <sup>2</sup>
【舗装-2】			
H	(66.65+72.77) 4.65×1/2-1.65×3.6	318.2415	
小計		318.2415	m <sup>2</sup>
【舗装-3】			
F	(22.451+22.50) 2.5×1/2	56.18875	
I	(3.0+3.663) 2.5×1/2	8.32875	
	(1.566+2.225) 2.5×1/2	4.73875	
合計		69.25625	m <sup>2</sup>
工法別集計			
アスファルト舗装	G+I+H=17.60+324.15+318.0675	354.8175	m <sup>2</sup>
オーバーレイ工法	A+B+C+D+E+F=324.46+56.19	380.65	m <sup>2</sup>

**【仕上表】**

	①既設整地土撤去の上、プライムコート 密粒アスファルト舗装 厚50 (再生アスコン) 路盤 (再生路盤) 厚100 【改修後】
	②斜線部分: 既設アスファルトの上、プライムコート 再生密粒度アスファルト舗装 厚40 (オーバーレイ工法) 【改修後】
	③斜線部分: 既設アスファルトの上、プライムコート 再生密粒度アスファルト舗装 厚40 (オーバーレイ工法) 【改修後】
	④既設アスファルト舗装 【既存のまま】

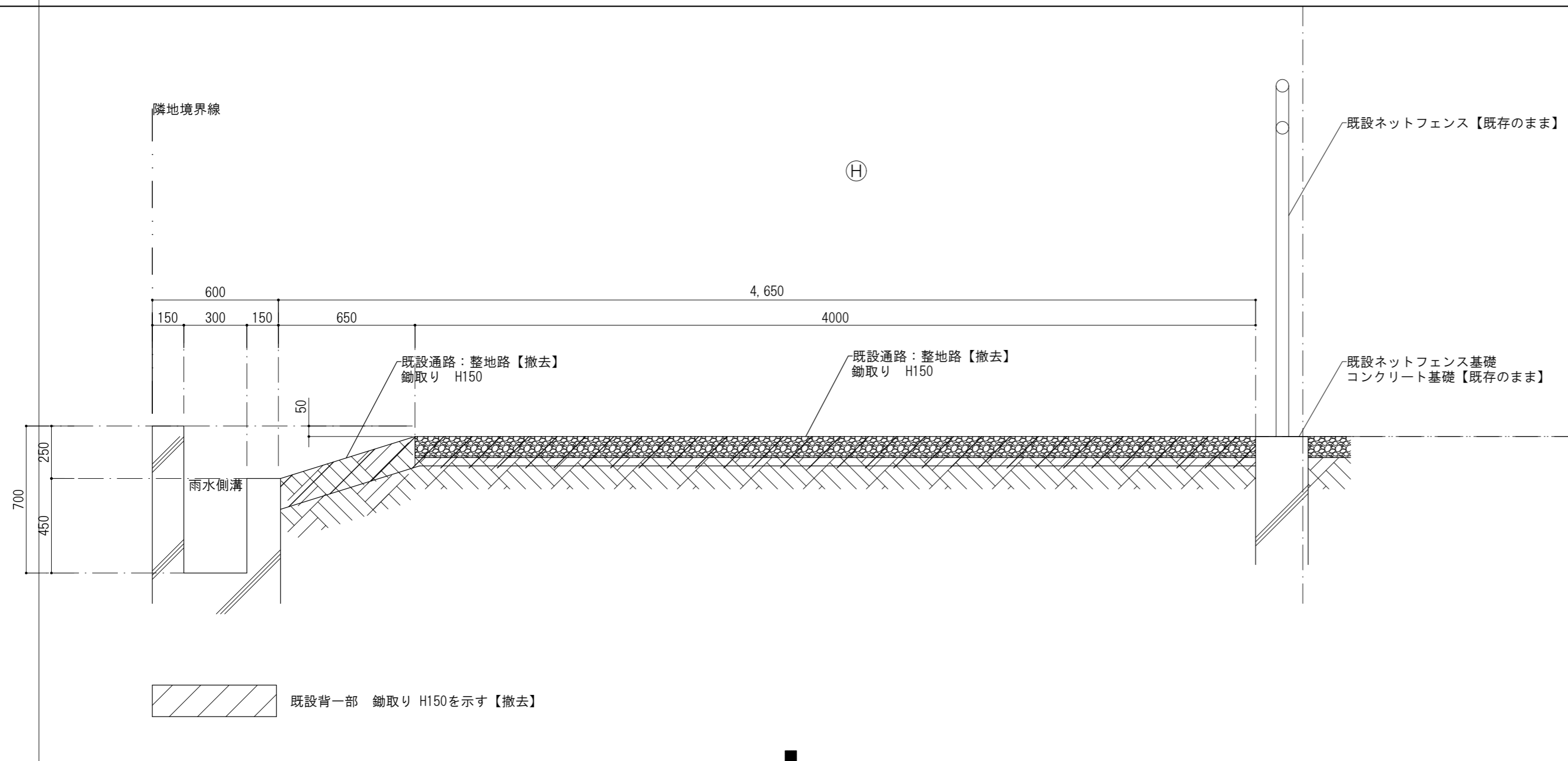




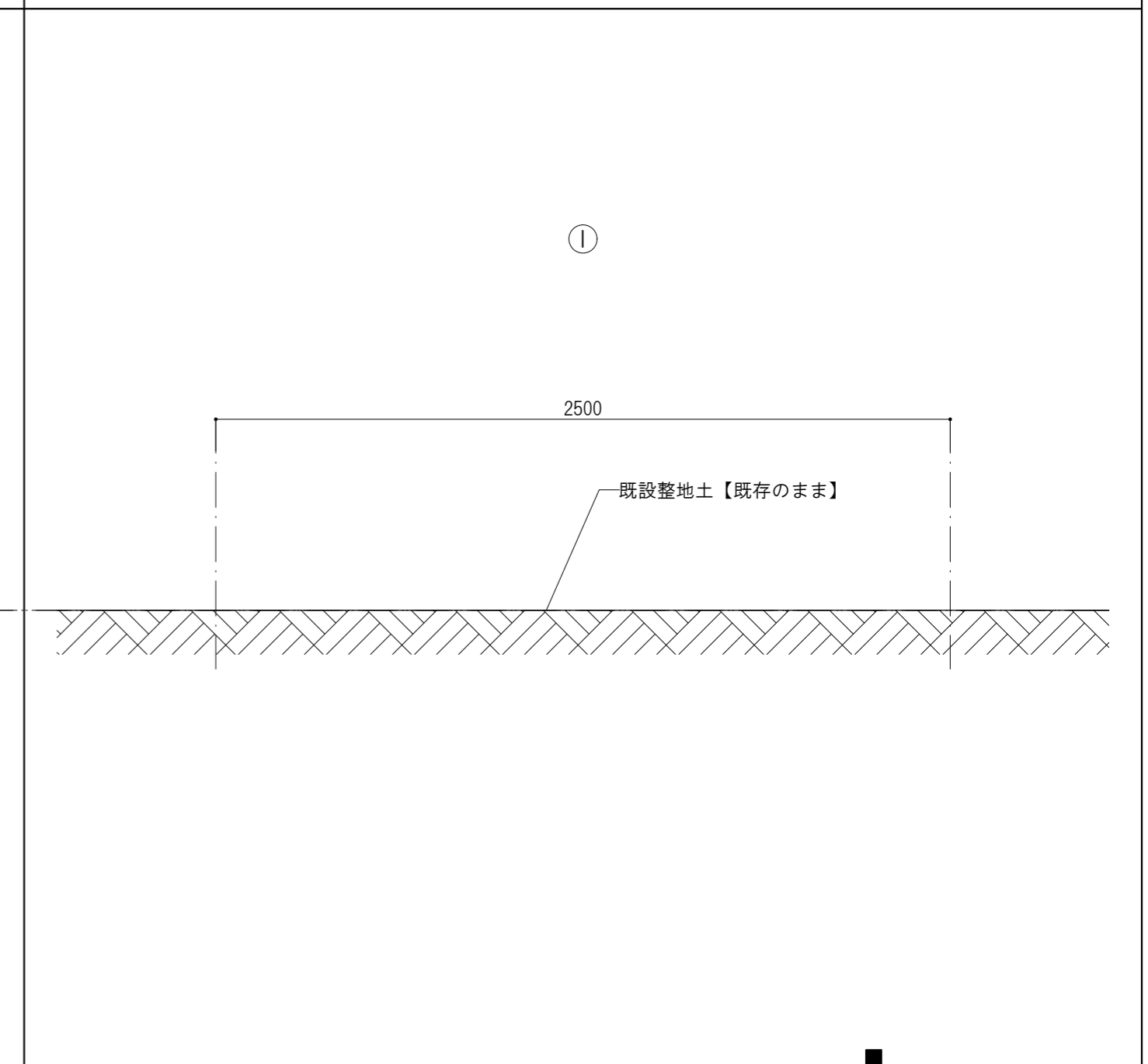
COMMENT	■オーバーレイ部分：A・B・Cエリア5か所（既設柵廻りを含む）の陥没部処理、 その上、全体的に不陸調整をおこなう。	TITLE	敷地内舗装工事	SCALE	S=1/20	<b>小林建築設計室</b> KOBAYASHI ARCHITECTS 一級建築士事務所 鳥取県登録 第03-1328号 一級建築士登録番号 第159196号 小林 一生	DESIGNER SEAL	DRAW	PROJECT NO	DRAWING NO
		DRAWING NAME	断面詳細図-1【改修前】【改修後】	DATE	2025年12月		A3 PLATE SIZE	70.7%		



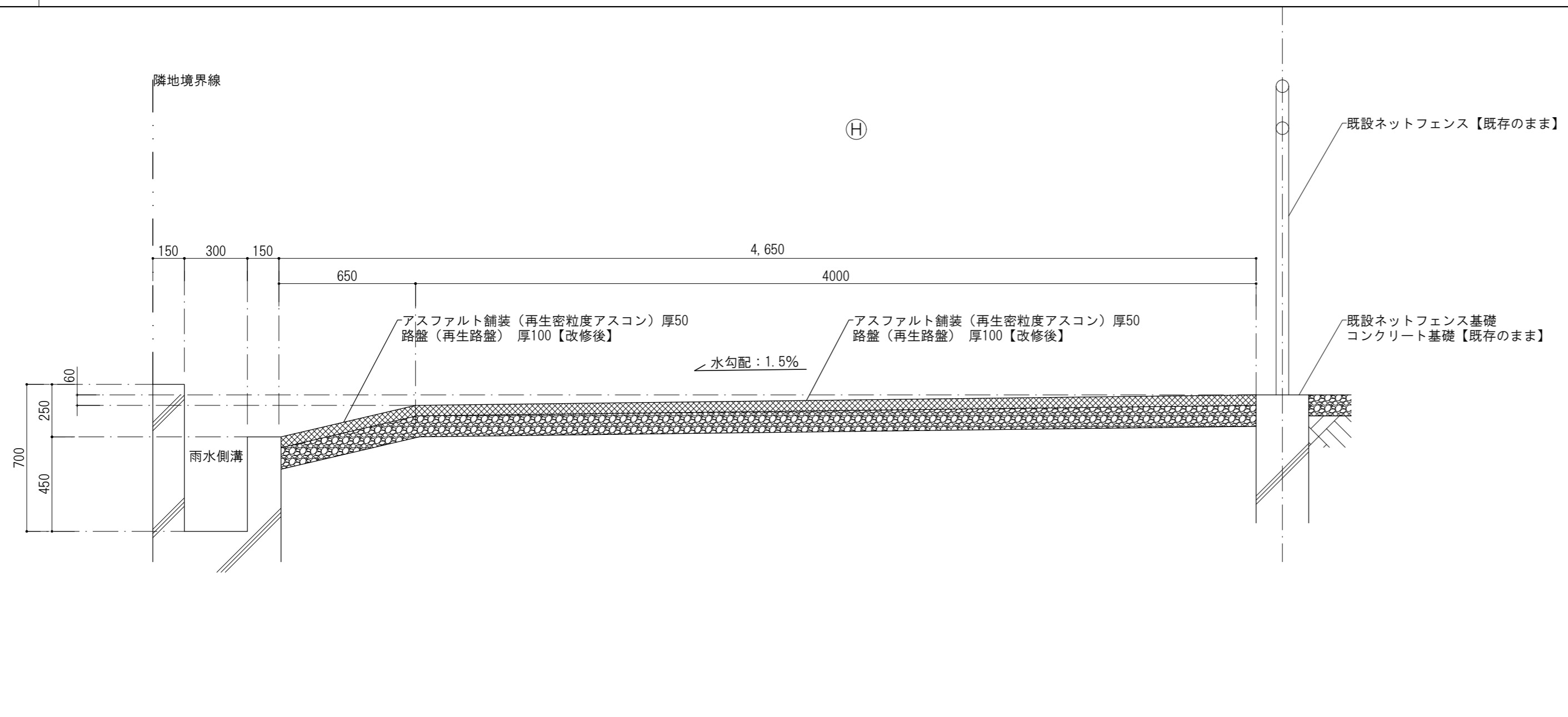
通路G F-F' 断面詳細図【改修前】 S=1/20



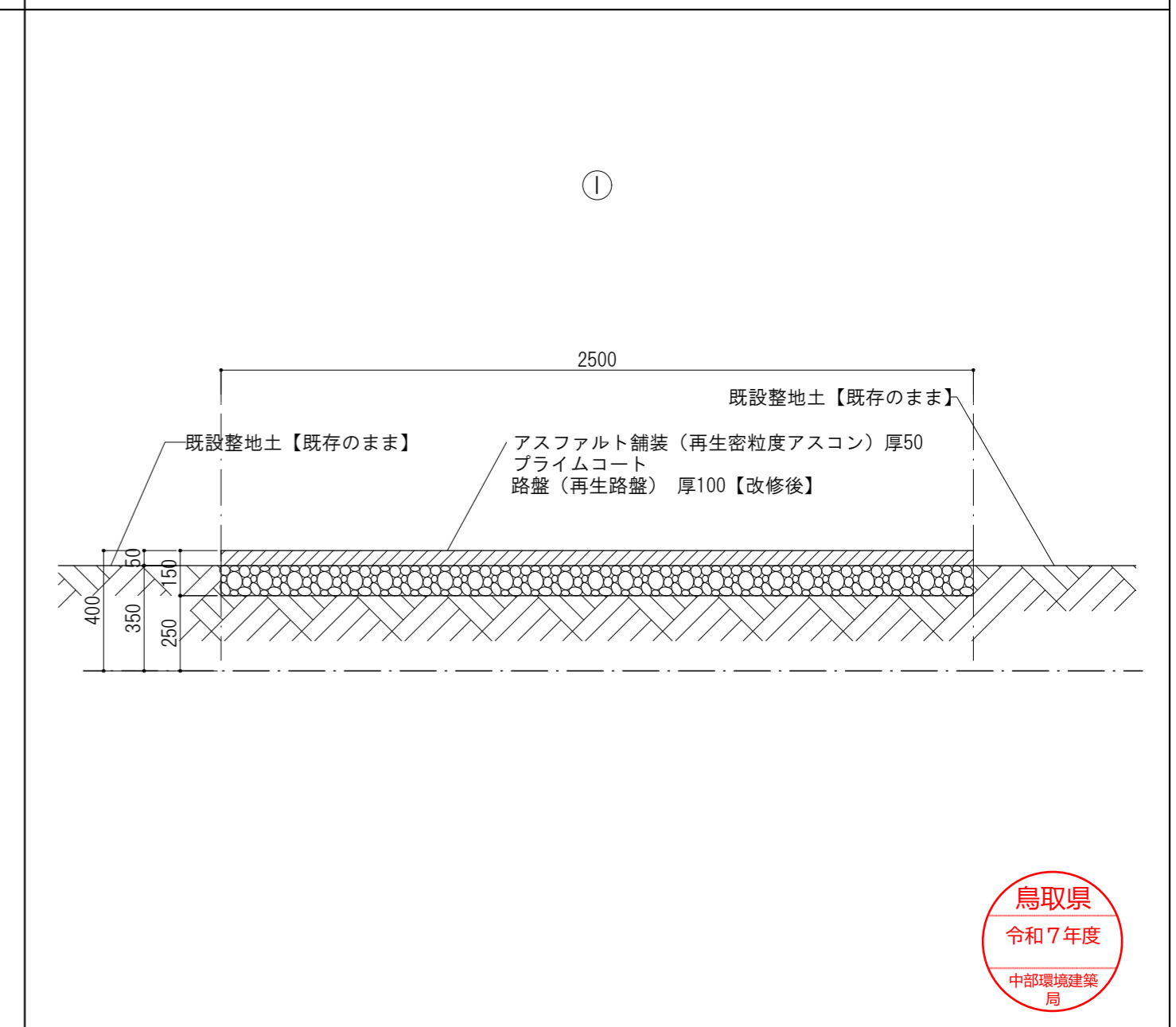
通路G H-H' 断面詳細図【改修前】 S=1/20



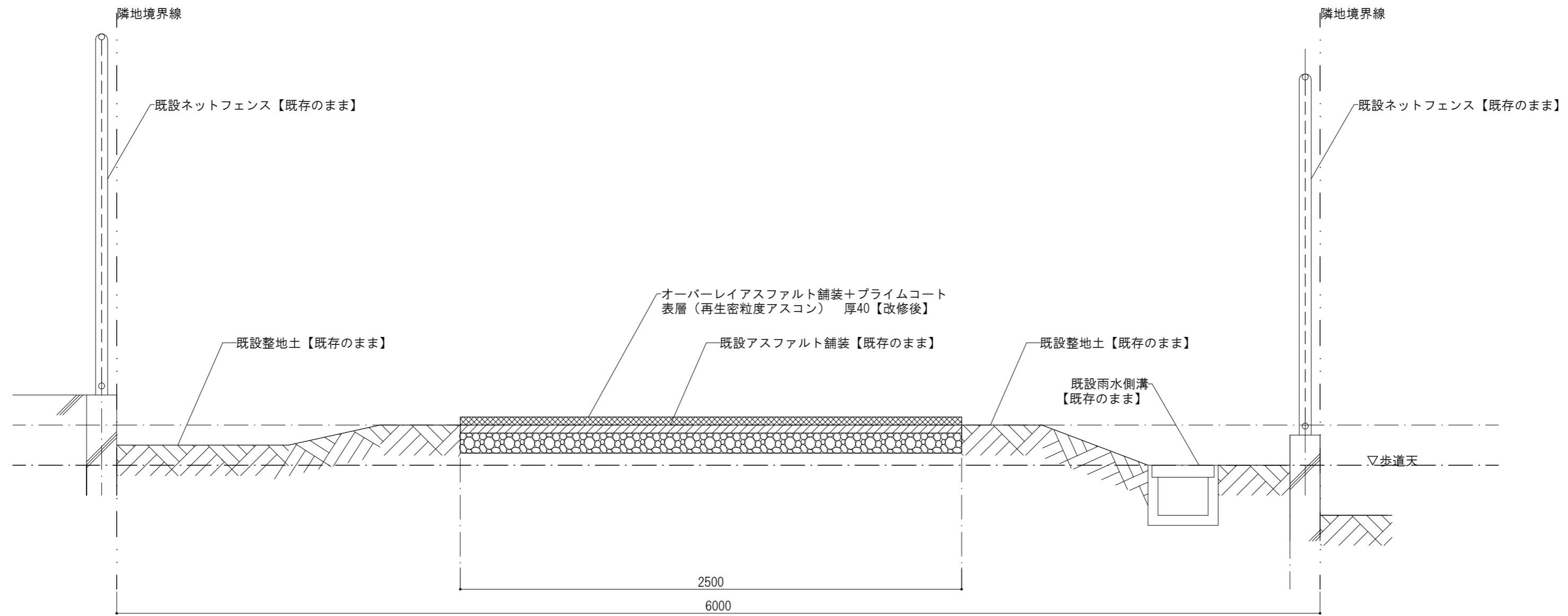
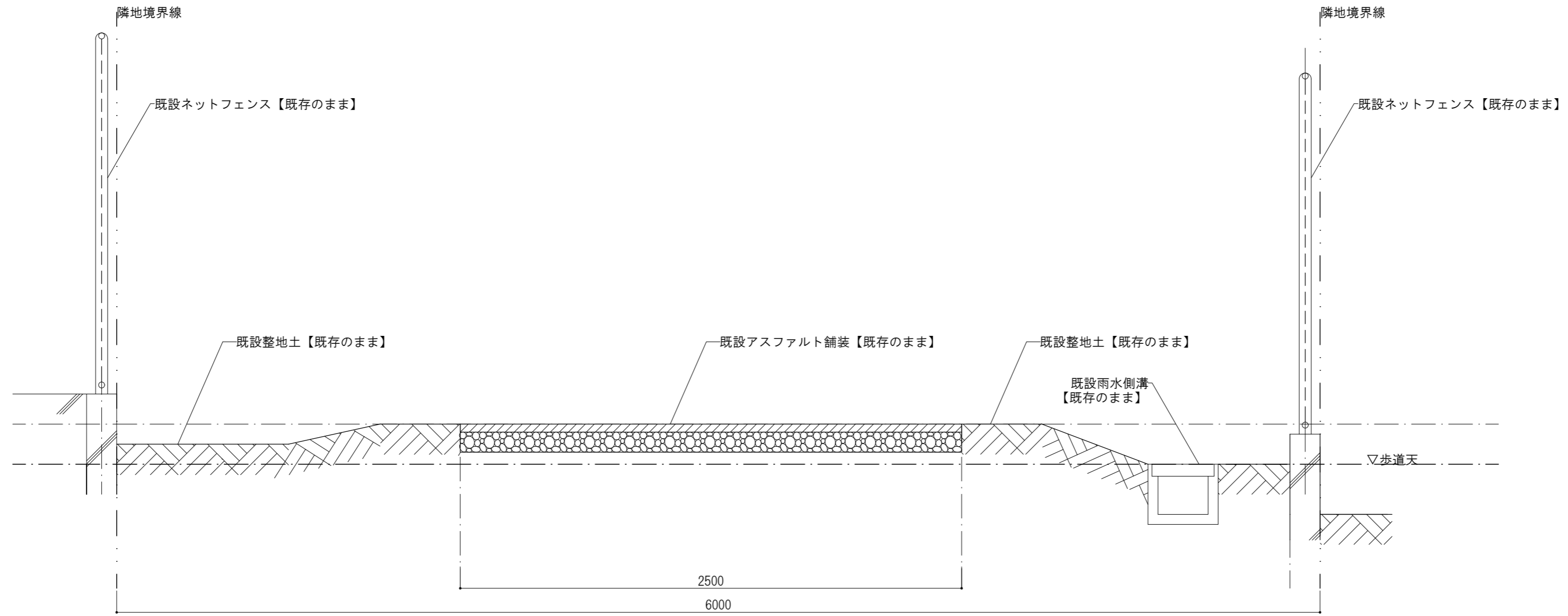
通路G F-F' 断面詳細図【改修後】 S=1/20



通路G H-H' 断面詳細図【改修後】 S=1/20



COMMENT	TITLE	産業人材育成センター敷地内舗装工事	SCALE	S=1/20	<b>小林建築設計室</b> KOBAYASHI ARCHITECTS 一級建築士事務所 鳥取県登録 第03-1328号 一級建築士登録番号 第159196号 小林 一生	DESIGNER SEAL	DRAW	PROJECT NO	DRAWING NO
	DRAWING NAME	断面詳細図-2【撤去】【改修前】【改修後】	DATE	2025年12月		A3 PLATE SIZE	70.7%		



COMMENT	TITLE	産業人材育成センター敷地内舗装工事	SCALE	S=1/20	<b>小林建築設計室</b> KOBAYASHI ARCHITECTS 一級建築士事務所 鳥取県登録 第03-1328号 一級建築士登録番号 第159196号 小林 一生	DESIGNER SEAL	DRAW	PROJECT NO	DRAWING NO
	DRAWING NAME	断面詳細図-3【撤去】【改修前】【改修後】	DATE	2025年12月		A3 PLATE SIZE	70.7%		